

平成19年度

決算に係る施策の成果報告書

天草市

目 次

1.	普通会計決算の概要	1
2.	一般会計	8
3.	国民健康保険特別会計	220
4.	老人保健医療特別会計	228
5.	介護保険特別会計	232
6.	公共下水道事業特別会計	251
7.	特定環境保全公共下水道事業特別会計	255
8.	農業集落排水事業特別会計	258
9.	漁業集落排水事業特別会計	260
10.	浄化槽市町村整備推進事業特別会計	264
11.	簡易水道事業特別会計	267
12.	国民健康保険診療施設特別会計	274
13.	歯科診療所特別会計	275
14.	国民宿舎特別会計	276
15.	埠頭事業特別会計	277
16.	斎場事業特別会計	278
17.	一町田財産区特別会計	280
18.	新合財産区特別会計	280
19.	富津財産区特別会計	280

(注) 1. 決算額は四捨五入で記載。

2. 決算額の財源内訳欄2段書きの場合、下段()は補助率に基づいた額で、その差額は翌年度で精算。

1. 普通会計決算の概要※

(1) 決算規模及び決算収支

平成19年度の決算は、歳入が前年度に比較して0.6%、305,226千円の増で51,236,802千円、歳出が1.9%、938,800千円の増で50,275,547千円となりました。歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支が961,255千円、この額から繰越明許費のために翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は939,703千円の黒字となっています。

実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は488,448千円の赤字となり、この単年度収支に基金積立金747,077千円、繰上償還金112,933千円を加算し、積立金取崩額195,000千円を差し引いた実質単年度収支は176,562千円の黒字となっています。

〔決算の収支状況〕

(単位：千円・%)

区 分		平成18年度	平成19年度	差 引	伸 率
歳 入 総 額	A	50,931,576	51,236,802	305,226	0.6
歳 出 総 額	B	49,336,747	50,275,547	938,800	1.9
形 式 収 支	C = A - B	1,594,829	961,255	△ 633,574	△ 39.7
翌年度繰越財源	D	166,678	21,552	△ 145,126	△ 87.1
実 質 収 支	E = C - D	1,428,151	939,703	△ 488,448	△ 34.2
単 年 度 収 支	F	△ 374,884	△ 488,448	△ 113,564	△ 30.3
積 立 金	G	1,288,782	747,077	△ 541,705	△ 42.0
繰 上 償 還 金	H		112,933	112,933	皆増
積立金取崩額	I		195,000	195,000	皆増
実質単年度収支	F + G + H - I	913,898	176,562	△ 737,336	△ 80.7

※ 普通会計とは、個々の地方公共団体の財政比較や統一的な掌握のために、地方財政統計（決算統計）上統一的に用いられる会計区分です。具体的には、公営事業会計以外の会計を統合して一つの会計としてとりまとめたもので、天草市では、一般会計、歯科診療所特別会計、斎場事業特別会計を合算して、その合計額から重複部分（繰出金、繰入金）を控除した純計決算額です。

(2) 歳入

平成19年度歳入決算額は、51,236,802千円で、前年度に比べ305,226千円増加しています。歳入項目ごとの決算額は下表のとおりです。

前年度と比較しますと、自主財源は、繰越金が減少しましたが、市税が税源移譲により大幅に増額、繰入金が庁舎建築基金や減債基金等が増額したことにより、全体では6.9%増加しています。

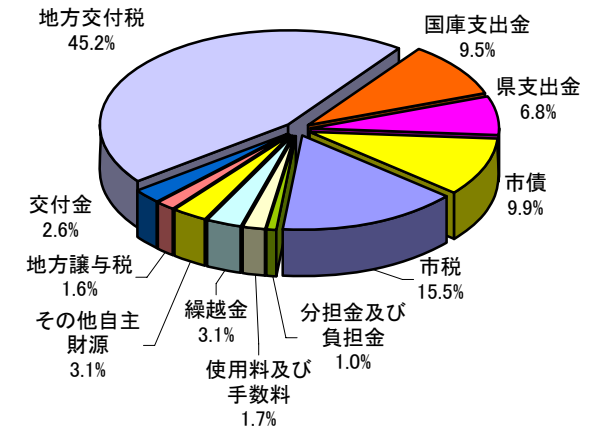
一方、依存財源は、国庫支出金が広域ネットワーク整備事業等により増額、県支出金が漁港整備事業等により増額、市債が地域振興基金分により増額となりましたが、地方譲与税及び地方特例交付金が税源移譲により減額、地方交付税が地方財政計画の減額により大幅な減額となりましたので、依存財源全体では1.3%の減額となりました。

歳入決算額

(単位：千円・%)

区 分		平成18年度	平成19年度	差 引 額	伸 率	構成比
自 主 財 源	市 税	7,459,156	7,931,881	472,725	6.3	15.5
	分 担 金 及 び 負 担 金	582,923	531,529	△ 51,394	△ 8.8	1.0
	使 用 料 及 び 手 数 料	912,064	894,090	△ 17,974	△ 2.0	1.7
	財 産 収 入	95,786	229,948	134,162	140.1	0.5
	寄 附 金	40,918	4,291	△ 36,627	△ 89.5	0.0
	繰 入 金	12,713	705,654	692,941	5,450.6	1.4
	繰 越 金	1,994,733	1,594,829	△ 399,904	△ 20.0	3.1
	諸 収 入	629,263	640,619	11,356	1.8	1.3
	小 計	11,727,556	12,532,841	805,285	6.9	24.5
依 存 財 源	地 方 譲 与 税	1,386,540	792,993	△ 593,547	△ 42.8	1.5
	利 子 割 交 付 金	24,856	32,209	7,353	29.6	0.1
	配 当 割 交 付 金	15,058	21,055	5,997	39.8	0.1
	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	12,434	9,967	△ 2,467	△ 19.8	0.0
	地 方 消 費 税 交 付 金	951,652	913,829	△ 37,823	△ 4.0	1.8
	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	9,582	10,125	543	5.7	0.0
	自 動 車 取 得 税 交 付 金	264,201	250,278	△ 13,923	△ 5.3	0.5
	地 方 特 例 交 付 金	167,914	60,286	△ 107,628	△ 64.1	0.1
	地 方 交 付 税	23,910,308	23,157,171	△ 753,137	△ 3.1	45.2
	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	14,997	14,618	△ 379	△ 2.5	0.0
	国 庫 支 出 金	4,350,983	4,868,649	517,666	11.9	9.5
	県 支 出 金	3,248,995	3,492,381	243,386	7.5	6.8
	市 債	4,846,500	5,080,400	233,900	4.8	9.9
小 計	39,204,020	38,703,961	△ 500,059	△ 1.3	75.5	
合 計	50,931,576	51,236,802	305,226	0.6	100.0	

19年度構成比



(3) 歳出

平成19年度歳出決算額は、50,275,547千円で、前年度に比べ938,800千円増加しています。目的別・性質別の項目ごとの金額は次のとおりです。

① 目的別歳出

歳出の目的別分類は、行政活動のどの分野にどれだけの経費が投入されたかをみるためのものです。行政目的により、議会費、総務費、民生費、衛生費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、教育費、災害復旧費、公債費等に大別することができます。これらを前年度と比較し、増減が大きいものについて説明します。

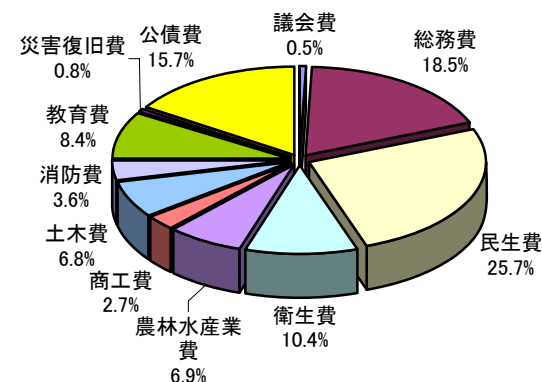
総務費	広域ネットワーク整備事業、天草支所建設事業、地域振興基金積立金、退職手当の増
商工費	天草宝島国際交流会館ポルト整備事業、下田温泉ふれあい館プラット建設事業、下田温泉足湯整備事業の増
教育費	高浜小学校建設事業、統合中学校建設事業（用地）、牛深総合センター整備事業の減、牛深学校給食センター整備事業の増
災害復旧費	公共土木施設災害復旧事業、農林水産施設災害復旧事業の減

目的別歳出決算

(単位：千円・%)

区 分	平成18年度	平成19年度	差 引 額	伸 率	構成比
議 会 費	223,058	254,291	31,233	14.0	0.5
総 務 費	7,461,331	9,287,493	1,826,162	24.5	18.5
民 生 費	12,631,806	12,941,476	309,670	2.5	25.7
衛 生 費	5,180,931	5,225,440	44,509	0.9	10.4
農 林 水 産 業 費	3,633,783	3,475,934	△ 157,849	△ 4.3	6.9
商 工 費	848,082	1,347,200	499,118	58.9	2.7
土 木 費	3,775,233	3,402,475	△ 372,758	△ 9.9	6.8
消 防 費	1,987,565	1,824,786	△ 162,779	△ 8.2	3.6
教 育 費	4,702,316	4,239,492	△ 462,824	△ 9.8	8.4
災 害 復 旧 費	1,184,158	377,536	△ 806,622	△ 68.1	0.8
公 債 費	7,708,484	7,899,424	190,940	2.5	15.7
諸 支 出 金					0.0
合 計	49,336,747	50,275,547	938,800	1.9	100.0

19年度構成比



② 性質別歳出

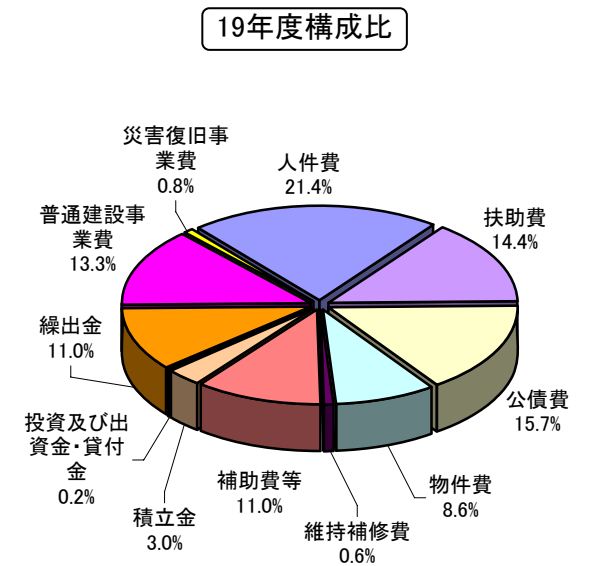
地方自治体の経費を性質別に分類すると、人件費・扶助費・公債費のように法令上又はその性質上支出を義務づけられている義務的経費。道路橋梁・公園・学校・公営住宅等の建設に要する経費である投資的経費。物件費、繰出金、補助費等のその他の経費に大別することができます。これらを前年度と比較し、増減が大きいものについて説明します。

人件費	職員給の減、退職手当の増
物件費	新電算システム整備委託料、保育士派遣業務委託料、地籍調査委託料の増
普通建設事業費	まちづくり交付金事業、広域ネットワーク整備事業の増、高浜小学校建設事業の減
災害復旧事業費	公共土木施設災害復旧事業、農林水産施設災害復旧事業の減

性質別歳出決算

(単位：千円・%)

区 分	平成18年度	平成19年度	差 引 額	伸 率	構成比	
義務的経費	人 件 費	10,496,695	10,743,087	246,392	2.3	21.4
	扶 助 費	7,028,003	7,254,218	226,215	3.2	14.4
	公 債 費	7,708,484	7,899,424	190,940	2.5	15.7
	計	25,233,182	25,896,729	663,547	2.6	51.5
その他の経費	物 件 費	4,043,442	4,334,433	290,991	7.2	8.6
	維 持 補 修 費	310,292	313,055	2,763	0.9	0.6
	補 助 費 等	5,340,425	5,518,847	178,422	3.3	11.0
	積 立 金	1,296,340	1,508,347	212,007	16.4	3.0
	投資及び出資金・貸付金	123,100	118,751	△ 4,349	△ 3.5	0.2
	繰 出 金	5,364,314	5,511,049	146,735	2.7	11.0
	計	16,477,913	17,304,482	826,569	5.0	34.4
投資的経費	普通建設事業費	6,441,494	6,696,800	255,306	4.0	13.3
	災害復旧事業費	1,184,158	377,536	△ 806,622	△ 68.1	0.8
	失業対策事業費					
	計	7,625,652	7,074,336	△ 551,316	△ 7.2	14.1
合 計	49,336,747	50,275,547	938,800	1.9	100.0	



(4) 財政指標の推移

①財政力指数

団体の財政力の強弱を、基準財政需要額に対する基準財政収入額の割合で判断するもので、1に近くあるいは1を超えるほど財源に余裕があるものとされています。

②経常収支比率

市税・普通交付税を中心とする経常一般財源が、人件費・扶助費・公債費のように容易に縮減することの困難な経常経費に、どの程度投入されているかによって、財政構造の弾力性を判断するものです。一般的には、この数値が低いほど財政構造に弾力性があります。平成19年度は、分母である経常一般財源等は、税源移譲により市税は増加したものの、それ以上に地方譲与税が減少、さらに地方交付税、臨時財政対策債の減額により、全体では963,808千円の減額となりました。一方、分子である経常経費に充当した一般財源は、団塊の世代の退職金、臨時財政対策債等の償還による公債費、特別会計への繰出金の増などにより、全体では、223,994千円の増額となり、経常収支比率は、98.4%と昨年度より3.6ポイント増加しました。

③実質公債費比率

公債費による財政負担の程度を客観的に示す指標として、実質的な公債費（普通会計の公債費＋公営企業の元利償還金への一般会計からの繰出金＋一部事務組合等の公債費への負担金等の公債費類似経費）に費やした一般財源の額が、標準財政規模（地方公共団体の一般財源の標準規模を表すもの）に占める割合を表すもので、実質公債費比率が18%以上の団体については、地方債の発行に許可が必要になります。平成19年度から算定方法が変更になり、特定財源に都市計画税を算入できるようになりましたので、前年度より1.6ポイント減少し16.2%になりました。

④積立金現在高

天草市合併直後の残高は91億円でしたが、その後決算剰余金の積み立て等により増加しており、平成19年度末現在高は112億円となっています。

⑤市債現在高

天草市財政運営の基本方針として、市債借入額は元金償還金を超えないようにしていますので、天草市合併後から順調に減少しており、平成19年度末現在高は、627億円となっています。しかし、合併前にそれぞれの団体で借り入れていた市債が多く残っていますので、他団体に比較するとかなり高額となっています。

	財政力指数	経常収支比率 (%)	実質公債費比率 (%)	積立金現在高 (億円)	市債現在高 (億円)
平成16年度	0.252	95.9	18.1	123.9	661.8
平成17年度	0.260	98.2	17.5	91.5	660.5
平成18年度	0.278	94.8	17.8	104.0	644.1
平成19年度	0.298	98.4	16.2	112.0	627.2

(5) 他団体との比較

①決算額

団体名	天草市	県内市	類似団体
金額（億円）	502.8	371.7	250.0

天草市の決算額は、県内市の1.3倍強あり、類似団体の約2倍になっています。2市8町が合併したということもありますが、かなり過大になっていますので、財政健全化計画に沿って適正規模に縮小しなければなりません。

②財政力指数

団体名	天草市	県内市	類似団体
指数	0.298	0.442	0.630

天草市の指数は、県内市の3分の2となっており、県内の市では最下位となっています。類似団体と比較すると、2分の1以下となっており、全国の類似団体でも最下位となっています。

③経常収支比率

団体名	天草市	県内市	類似団体
比率（%）	98.4	94.6	92.1

天草市の比率は、県内市と比較すると、3.8ポイント財政の硬直化が進んでおり、類似団体と比較すると6.3ポイントも上回っています。経常的な経費を削減しなければ、ますます硬直化が進んでいき、市の判断で自由に執行できる金額が少なくなります。

④実質公債費比率

団体名	天草市	県内市	類似団体
比率（%）	16.2	15.8	16.1

天草市の比率は、県内市、類似団体と比較してもほとんど差はありません。しかし、今後一般財源の収入が減少すると悪化することも予想されますので、公債費の減額に努めなければなりません。

⑤積立金現在高

団体名	天草市	県内市	類似団体
金額（億円）	112.0	49.3	50.9

天草市の現在高は、県内市、類似団体と比較しても2倍以上の金額がありますので、予期しない急な支出があっても積立金の範囲内は対応できます。しかし、今後の財源不足に対応するためには、ある程度の金額を確保しておく必要があります。

⑥市債現在高

団体名	天草市	県内市	類似団体
金額（億円）	627.2	468.0	299.1

天草市の現在高は、県内市の約1.3倍あり、類似団体と比較すると2倍以上もあります。合併前にそれぞれの団体で借り入れた市債がたくさんありますので、今後は出来るだけ借入額を少なくして、適正な規模まで減少させなければなりません。

※類似団体は、人口や産業構造の比率に近い全国の団体の平均。数値は県内市、類似団体ともに平成18年度決算分。

2.一般会計

(1)議会費 (1)議会費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
5.2 } 5.3	1 議 会 費	政務調査費	10,459	一般財源 10,459	(交付総額) 月額3万円×12月×30名 = 10,800,000円 (返済額) 341,382円 (使途総額) 10,458,618円 (使途内容) 視察研修費 7,686,215円 資料作成費 305,929円 書籍購入費 611,586円 広報広聴費 2,734,747円 その他費用 7,398円 うち自己負担 887,257円	議員が、市政の調査研究を行うために、その経費の実費弁償として交付し、領収証及びその他資料を添えての報告を義務付けている。 平成18年度は、執行率約93%にとどまったが、平成19年度は約97%の執行率であり、議員各位が明確な目的意識をもつての視察研修や、議会だよりの発行、必要専門図書購入等に充てており、有益に活用された。

(2)総務課 (1)総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
5.3 } 5.4	1 一 般 管 理 費	国際交流事業	86	一般財源 86	<市民交流活動> 天草市国際交流市民ボランティアと共同で実施。イベントへの参加、交流会・会議開催。 4/21(土) 牛深川や参加 34人。ALT(外国語指導助手)17人、市民ボランティア17人。 5/12(土)社協主催”子どもフェスティバル”参加。ALT7人、市民ボランティア11人。英語教材を使った遊び、母の日カード作り。 10/24(水)会議、7人出席。活動を計画した。 12/1(土)交流会18人。ALT6人、市民ボランティア12人。 <姉妹都市交流事業> H19.7/29~8/2、学生訪問団4人受入 滞在中は、歓迎パーティ・市内名所巡り・放課後児童クラブとの交流・陶芸体験・倉岳中学校主催の交流会(郷土料理作り、えびす太鼓鑑賞、熊本とエンシニタス市紹介など)等を実施。	イベントの参加や交流会を通して、参加者同士の交流が深まり、その後活動への参加者が増えた。 訪問者と市民とが交流する機会を持つことができ、親睦が深まった。またホームステイを通してお互いの文化や生活習慣を体験することができた。交流者同士の友好関係が築かれた。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																		
5.3 } 5.4	1 一般管理費	国際交流事業 (つづき)			<p><その他研修・講演会参加> 平成19年度国際交流推進ワークショップ参加。 H19.12/11～12、滋賀県大津市 多文化共生講演会出席。H20.2/15 熊本県庁</p> <p>【事業費内訳】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">旅費</td> <td style="text-align: right;">55,190円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">9,689円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">20,500円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">85,379円</td> </tr> </table>	旅費	55,190円	需用費	9,689円	役務費	20,500円	合計	85,379円	これからの姉妹都市交流の形態のありかたについて、講義や分科会を通して全国の各自治体担当者との意見交換・共通の課題についても確認ができた。										
旅費	55,190円																							
需用費	9,689円																							
役務費	20,500円																							
合計	85,379円																							
5.4 } 5.5	2 行政管理費	情報公開制度	0		<p>【情報公開制度の運用実績】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">請求者数</td> <td style="text-align: right;">110人</td> </tr> <tr> <td>請求件数</td> <td style="text-align: right;">320件</td> </tr> </table> <p>請求件数は、領収書、支出伝票等の書類を1件としてカウント。 請求に係る決定</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">・全部公開</td> <td style="text-align: right;">176件</td> </tr> <tr> <td>・一部公開</td> <td style="text-align: right;">127件</td> </tr> <tr> <td>・非公開</td> <td style="text-align: right;">17件</td> </tr> <tr> <td>不服申立ての件数</td> <td style="text-align: right;">2件</td> </tr> <tr> <td>不服申立てに係る決定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・不服申立てには理由がないため棄却</td> <td style="text-align: right;">1件</td> </tr> <tr> <td>・行政文書一部公開決定の処分を取り消し、行政文書非公開決定とした。</td> <td style="text-align: right;">1件</td> </tr> </table>	請求者数	110人	請求件数	320件	・全部公開	176件	・一部公開	127件	・非公開	17件	不服申立ての件数	2件	不服申立てに係る決定		・不服申立てには理由がないため棄却	1件	・行政文書一部公開決定の処分を取り消し、行政文書非公開決定とした。	1件	本制度の実施により、市が保有する行政文書の公開を請求する市民の権利が明確になるとともに、市政についての市民の知る権利が保障されることで、市民の市政への参加が促進され、透明性の高い公正で民主的な市政の発展が図られている。
請求者数	110人																							
請求件数	320件																							
・全部公開	176件																							
・一部公開	127件																							
・非公開	17件																							
不服申立ての件数	2件																							
不服申立てに係る決定																								
・不服申立てには理由がないため棄却	1件																							
・行政文書一部公開決定の処分を取り消し、行政文書非公開決定とした。	1件																							
		個人情報保護制度	0		<p>【個人情報保護制度の運用実績】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">請求者数</td> <td style="text-align: right;">0人</td> </tr> </table>	請求者数	0人	本制度の実施により、市が保有する個人情報の開示及び訂正を求める権利が明らかになることで、個人の権利・利益の保護、市政の適正かつ円滑な運営が図られている。																
請求者数	0人																							

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																								
5.5 ┆ 5.7	3 交通安全対策費	交通安全運動	1,628	一般財源 1,628	春・秋の交通安全及び年末年始の交通事故防止運動の実施 参加者 6,900人 (事業費内訳) 需用費 1,628,126円	警察署、交通安全協会等と連携して、運動出発式各種交通キャンペーン等を実施したことにより、参加者を始め、市民に広く交通事故防止を周知し交通安全に寄与した。 新入学児童にランドセルカバー、生徒に反射タスキを配布し、交通事故防止に寄与した。 ・交通事故件数等の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>死亡者</th> <th>傷者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成15年</td> <td>339件</td> <td>3人</td> <td>439人</td> </tr> <tr> <td>平成16年</td> <td>381件</td> <td>11人</td> <td>484人</td> </tr> <tr> <td>平成17年</td> <td>358件</td> <td>6人</td> <td>453人</td> </tr> <tr> <td>平成18年</td> <td>349件</td> <td>6人</td> <td>446人</td> </tr> <tr> <td>平成19年</td> <td>322件</td> <td>6人</td> <td>414人</td> </tr> </tbody> </table>		件数	死亡者	傷者	平成15年	339件	3人	439人	平成16年	381件	11人	484人	平成17年	358件	6人	453人	平成18年	349件	6人	446人	平成19年	322件	6人	414人
			件数	死亡者	傷者																									
		平成15年	339件	3人	439人																									
平成16年	381件	11人	484人																											
平成17年	358件	6人	453人																											
平成18年	349件	6人	446人																											
平成19年	322件	6人	414人																											
交通安全教室	273	一般財源 273	交通安全教室開催 62回 4,821人 (事業費内訳) 報償費 273,000円	交通安全協会、自転車二輪車商協同組合、警察署等と連携し、年齢にあった交通安全を実施することにより幼児から高齢者までの交通安全に対する意識の向上を図ることができた。 ・交通安全教室開催状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>団体数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼・保育園</td> <td>26</td> <td>1,456人</td> </tr> <tr> <td>小・中学校</td> <td>21</td> <td>2,890人</td> </tr> <tr> <td>老人会他</td> <td>15</td> <td>475人</td> </tr> </tbody> </table>		団体数	参加者	幼・保育園	26	1,456人	小・中学校	21	2,890人	老人会他	15	475人														
	団体数	参加者																												
幼・保育園	26	1,456人																												
小・中学校	21	2,890人																												
老人会他	15	475人																												
交通事故防止対策	7,475	一般財源 7,475	交通指導員を設置し、街頭指導、交通整理等の実施 交通指導員 136人 (事業費内訳) 報酬 6,248,330円 費用弁償 343,600円 研修旅費 43,160円 需用費 739,590円 研修時車借上料 100,000円 7,474,680円	通学路等の街頭交通指導、交通安全教室での指導、イベント時の交通整理等により事故防止に寄与した。 ・活動状況(延べ実績) 街頭指導 1,908人 イベント等交通整理 588人 交通安全教室他 29人																										

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
5.5 ） 5.7	3 交通安全対策費	防犯灯整備事業	43,209	県支出金 5,600 一般財源 37,609	防犯灯の整備及び維持管理 新設 167基 器具修理等 371基 電球交換 1958基 19年度末 防犯灯数 9,394基 (事業費内訳) 電球購入他 235,737円 電気料 29,701,857円 修繕料 6,649,012円 防犯灯保険料 85,620円 管理委託料 854,910円 工事請負費(25件) 5,682,141円 43,209,277円	防犯灯の整備及び適正な維持管理に努めることにより、通学路及び地域住民の夜間の生活の安全が確保され、安全な環境づくりが図られた。
		交通安全施設整備事業	15,972	一般財源 15,972	交通安全施設の整備 カーブミラー設置 35基 防護策 791m 区画線 6,108m (事業費内訳) 修繕料 99,015円 工事請負費(14件) 15,873,418円 15,972,433円	交通安全施設の整備により、道路における交通環境の改善を行い、交通事故防止を図り、併せて交通の円滑化を図った。
		天草地区交通安全教育講習員制度負担金	1,953	一般財源 1,953	交通安全教育講習員制度運営のための負担金 講習員 2人 (事業費内訳) 総事業費 3,880,978円 うち市負担金 1,953,000円	交通安全講習員により、きめ細やかな講習が実施され、市民の交通安全意識の高揚と交通事故防止が促進された。 交通安全講習実績(天草市管内) 実施回数 129回 参加者 8,751人
		交通安全協会補助金	1,680	一般財源 1,680	交通安全協会の活動、運営のための補助金 (事業費内訳) ・天草地区協会決算額 6,713,000円 うち市補助金 1,143,000円 ・牛深地区協会決算額 1,538,457円 うち市補助金 537,000円	交通事故防止、交通安全運動の取り組み等が促進され、交通事故防止、意識の高揚が図られた。 また、イベント等での交通整理への協力により、安全な運営に寄与された。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
59	5 職員研修費	職員研修事業	3,919	一般財源 3,919	<p>1 階層別研修(天草広域連合主催)</p> <p>(1) 管理者研修 管理職研修(課長級及び課長補佐級職員対象) 参加者 41人</p> <p>(2) 監督者研修 監督者研修(係長対象) 参加者 37人</p> <p>(3) 一般職研修 第2部研修(採用10年目職員対象) 参加者19人 第1部研修(採用5年目職員対象) 参加者29人 政策形成能力向上研修(全職員対象) 参加者18人 折衝能力向上研修(全職員対象) 参加者38人</p> <p>2 専門研修</p> <p>(1) 熊本県主催研修 142,000円 IT研修会(全職員対象) 参加者 275人 文書作成ソフト(基礎及び応用)、表計算ソフト(基礎及び応用)、データベースソフト(基礎及び応用)、パワーポイント(基礎及び応用)、ネットワーク(基礎及び応用)、サーバ構築、セキュリティ基礎 自治体女性中堅職員研修(課長補佐級職員対象) 参加者 2人</p> <p>(2) 市長会研修 46,960円 女性職員研修(女性職員対象) 参加者 2人 海外研修(ヨーロッパにおける環境対策等) 参加者 1人</p> <p>(3) 人権教育研修(採用4年目及び5年目職員対象) 参加者 5人 86,000円</p> <p>(4) その他の研修(全職員対象) 参加者 40人 1,735,273円 日本経営協会(公有財産管理の効率的な処理事務、市場化テストの導入手法と課題解決対応の実務、自治体のための行政経営改革、接遇指導者育成研修他)、職場におけるメンタルヘルス研修会、埋蔵文化財担当者研修他</p> <p>3 派遣研修</p> <p>(1) 市町村職員中央研修所研修(全職員対象) 参加者 8人 820,438円 電子自治体構築の情報技術(1人)、財政運営(1人)、財務会計~実践公会計改革~(2人)、地域福祉サービス(1人)、ふるさと回帰と地域間交流(2人)、住民と行政の協働(1人)</p> <p>(2) 自治大学校研修(30歳以上50歳未満の係長又は係長級職員対象) 参加者 2人 1,038,513円 研修期間 ・平成19年10月16日から平成19年12月21日まで ・平成20年1月9日から平成20年3月19日まで</p> <p>(3) 熊本県等派遣研修(庁内公募を実施し、職員の希望等を踏まえ、派遣する職員及び派遣先を選定) ・内閣府 1人 ・熊本大学 1人 ・熊本県16人</p> <p>4 職員研修事業(全職員対象) 参加者 1人 50,000円 平成20年2月4日から平成20年2月5日まで(NOMA行政管理講座:地方公営企業における会計・経理実務)</p>	<p>各研修を受講することによって、職員の意識改革、知識の習得及び資質の向上が見込まれる。</p>

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果								
5.9 ） 6.0	6 契約管理費	入札及び契約の適正化推進 事業 工事検査業務	942	一般財源 942	<p>入札監視委員会の開催（4回） 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律による指針に基づき入札監視委員会を設置。平成19年度からは委員を2名増員し7名により審議を行った。</p> <p>天草市物品購入等の入札及び契約に係る情報等の公表要領及び天草市物品購入等指名等審査委員会規則の制定</p> <p>請負額が250万円を超える工事について、工事検査係で一括して検査を行い、厳正かつ的確な評定の実施を図る。</p> <p>工事検査実績 387件 現場立入点検調査実績 139回</p> <p>(事業内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">報酬</td> <td style="text-align: right;">162,000円</td> </tr> <tr> <td>旅費（費用弁償）</td> <td style="text-align: right;">102,226円</td> </tr> <tr> <td>その他の事務経費</td> <td style="text-align: right;">678,085円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">942,311円</td> </tr> </table>	報酬	162,000円	旅費（費用弁償）	102,226円	その他の事務経費	678,085円	計	942,311円	<p>第三者機関による入札・契約事務に対する審議を通じて、個々具体的な事務の執行状況を明らかにすることにより、透明性の向上はもとより、質の高い入札契約事務を確保するとともに、事業者の健全な育成を推進することができた。</p> <p>物品購入について要領等を整備し、入札・契約事務の適正化を図った。</p> <p>建設工事の適正な施工の確保及び品質の確保を期し建設業の健全な発展が図られた。</p>
報酬	162,000円													
旅費（費用弁償）	102,226円													
その他の事務経費	678,085円													
計	942,311円													

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
60	7 広報広聴費	広報広聴事業	21,665	その他 841 一般財源 20,824	<p>【広報紙「市政だより天草」の発行】</p> <p>市の施策や事業などの特集、まちの話題、行政からのお知らせなどを掲載し市民へ周知した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行回数 24回(1日号、15日号) ・1回当たりの発行部数 約36,200部 ・年間発行部数 868,700部 ・1部当たりの単価 25.60円(1部32頁の場合) ・年間発行総頁数 本紙298頁 おしらせ版232頁 <p>【ホームページによる情報の発信と管理】</p> <p>市の施策や事業、イベント、行事、お知らせなど、ホームページを活用した情報の発信とその管理を行った。・更新、公開した件数1,508件</p> <p>【広聴事業】</p> <p>ホームページのご意見箱や郵便などにより、市への意見や質問、要望などが多く寄せられた。その意見などを各部署へ連絡し投稿者への対応依頼や秘書課で文書による回答を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページご意見箱等 193件(内文書回答73件) ・郵便などによるもの 6件(内回答2件) <p>【市勢要覧の発行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2008天草市市勢要覧の発行 1,000部(40頁) <p>(事業費内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 共済費 181,166円 賃金 1,367,988円 旅費 118,742円 需用費 17,171,259円 役務費 857,880円 委託料 1,663,200円 使用料及び賃借料 215,114円 備品購入費 0円 負担金補助及び交付金 89,450円 計 21,664,799円 	<p>・市民の暮らしに必要な情報や市政運営状況などの行政情報を掲載し、市民への周知を図った。また、観光イベントや行事などの情報を市のホームページに掲載することで、市内外の人へも情報提供することができた。</p> <p>・市民から行政への意見や質問、要望などに回答することで、市政の現状を理解していただくとともに、意見を踏まえて事務を改善することで、市民サービスの改善を図ることができた。</p> <p>・写真や文章、統計資料を用いて市の自然や産業、行事、市民生活などを掲載した市勢要覧を作成。市外から来られた人や市内の教育機関・公共機関・金融機関などに配付することで、天草市の現状を紹介することができた。</p>

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
6.1 ） 6.3	9 財産管理費	本庁舎等管理費	118,178	その他 3,813 一般財源 114,365	本庁を含む市有財産（庁用車を除く）の維持管理 （事業費内訳） 需用費 25,586,585円 役務費 29,167,653円 委託料 41,309,893円 使用料及び賃借料 21,781,533円 原材料費 11,550円 備品購入費 320,890円 計 118,178,104円	庁舎の安全管理及び環境衛生の保全と快適環境の維持に努め、庁舎本体の保全及び付帯設備の機能向上と延命を図った。 また、市有財産の火災・盗難・不法行為・事故防止のための維持管理を行い、安全確保に努めた。 遊休市有地の有効活用を図るため、地積測量や鑑定など業務委託を行い民間へ売却処分し、財源の確保に努めた。 遊休市有地等の売却 土地 4 2 筆 9,838.72㎡ 107,700,120円 その他（減歩割戻金） 1,398,000円 計 109,098,120円
		本庁舎等営繕工事	17,101	一般財源 17,101	（事業費内訳） ・河浦旧学習館解体工事 3,685,500円 ・一町田小横倉庫解体工事 3,360,000円 ・旧新町自治公民館解体工事 2,730,000円 ・新和地区宅地造成工事他5件 6,317,389円 ・寺中自治公民館敷地災害復旧工事 1,008,000円 計 17,100,889円	老朽化した施設を解体することで、台風等の際に周辺住民の安全確保が図られた。 遊休市有地の造成を行い処分することで、自主財源の確保が出来た。 その他、本庁の暖房用温水ポンプ改修等により設備の長寿命化と市有財産の保全に努めた。
		車両管理費	34,537	その他 1,842 一般財源 32,695	（事業費内訳） 需用費 21,005,541円 役務費 10,075,207円 公課費 1,679,500円 その他 1,776,454円 計 34,536,702円	市の公用車の総保有台数は356台で、その内リース車両が56台となっており、週1回の点検を実施することで車両の故障を未然に防ぎ燃費や車両の耐用年数、事故防止に努めた。
		車両購入事業	13,483	一般財源 13,483	・公用車リース料 12,695,672円 ・公用車購入 787,735円 計 13,483,407円	リース車両の導入にあたっては、低燃費車等の導入を積極的に行い経費の削減に努め、地球環境に配慮した取組を行なった。また、公用車購入は、リース期間が満了した車を購入し、経費の削減に努めた。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
6.4 ） 6.5	1.1 企 画 費	総合計画策定事業	961	一般財源 961	【総合計画の策定】 計画書の作成 500冊 (事業費内訳) 消耗品費 29,631円 印刷製本費 892,500円 通信運搬費 39,000円 961,131円	平成18年度に地方自治法第2条第4項に基づき、まちづくりを総合的かつ計画的に進めていくために策定した総合計画の冊子を作成した。 計画的に行政運営を行うために、冊子を役所内に設置し、職員へ周知した。併せて、職員への説明会を開催した。 市民から市政運営の理解と協力を得ながら、まちづくりを推進するため、冊子を公共施設等に設置するとともに各種団体に送付した。併せて、広報紙等に概要を掲載し周知を図った。
		市立病院等に関する審議会事業	6,117	一般財源 6,117	【市立病院等の経営の在り方等に関する審議】 地域医療の在り方や市立病院が果たすべき役割及び経営形態について検討するための審議会を設置し、審議の参考とするため、市民からの意見・提言の募集、4病院3診療所を対象とした経営診断、昨年度に実施した病院受療動向調査の分析結果などを報告した。 ・審議会の開催 3回 ・庁内検討委員会の開催 4回 ・意見募集(8月～9月) 23件 ・経営診断(7月～2月) 4,811,730円 ・病院受療動向調査分析(平成19年2月～11月) 1,000,000円 (事業費内訳) 報酬 150,000円 旅費等 155,360円 委託料 5,811,730円 6,117,090円	市内における医療機関の受療動向や市民からの地域医療に対する意見・提言、専門家による経営診断結果を踏まえることで、少子高齢化や人口減少が著しい天草地域に相応しい審議会での審議内容を導くことができる。 また、市立病院独自で取り組んできた経営改善についても、これまで気付かなかった新たな視点や手法を指摘されたことで、市立病院職員の意識改革にも繋がり、一体的に取り組むことでの効果が期待できる。
		島原・天草・長島架橋建設促進期成会負担金	1,020	一般財源 1,020	【期成会負担金】 島原・天草・長島架橋建設促進活動への負担金 1,020,000円	島原・天草・長島架橋構想及び九州西岸軸構想推進大会等を通じ、構想の必要性・効果等をアピールするとともに、地元の期待と情熱を示すことにより、架橋建設の早期実現を促進した。 また、スポーツ大会を通じて、島原・天草・長島地域の交流を図り、連携を強めた。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果						
6.4 } 6.5	1.1 企画費	行政改革推進事業	533	一般財源 533	<p>【第1次天草市行政改革大綱及び実施計画（集中改革プラン）の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政改革推進本部会議 3回開催 ・行政改革推進調整会議 2回開催 ・行政改革審議会 3回開催 ・保育所民営化等計画策定委員会 3回開催 ・補助金負担金検討委員会 1回開催 <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">委員報酬</td> <td style="text-align: right;">396,000円</td> </tr> <tr> <td>旅費等</td> <td style="text-align: right;">136,465円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">532,465円</td> </tr> </table>	委員報酬	396,000円	旅費等	136,465円		532,465円	<p>平成19年2月に策定した第1次天草市行政改革大綱及び実施計画（集中改革プラン）に基づき、天草市づくりの理念である「日本の宝島“天草”の創造」を実現するため、10年後の天草市を見据えた持続可能な行政運営の確立を目標に改革を推進しており、概ね計画どおり進行している。</p> <p>推進期間：平成18年から平成22年の5年間 基本方針：市民との協働による行政運営の推進 経営感覚を取り入れた行政運営の確立 質の高い職員による行政運営の確立 推進項目：49項目</p>
委員報酬	396,000円											
旅費等	136,465円											
	532,465円											
6.5 } 6.7	1.2 地域振興費	第3セクター経営改善事業	4,962	一般財源 4,962	<p>【第3セクター経営診断】</p> <p>第3セクター経営診断業務委託委託料 4,962,195円</p> <p>経営診断先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社うしぶか ・株式会社リップランド ・株式会社プラスファイブ ・有限会社愛夢里 ・株式会社くらたけ 	<p>本市が50%以上を出資している第3セクター5社について経営診断を行い、経営課題の解決を図る経営改革・改善策の提言を行った。また、経営革新計画となる平成20年度事業計画・活動計画の策定の指導・助言を行った。</p>						
		天草空港周辺景観整備事業	492	一般財源 492	<p>天草空港道路沿線花壇植栽管理委託。 天草空港から本渡市街にかけての主要地方道本渡五和線の道路沿線花壇へ四季の花を植栽した。</p> <p>植栽管理委託料 492,450円</p>	<p>道路沿線の3箇所の花壇面積406㎡の敷地に年間を通じ5種類の花（マリーゴールド・サルビア・日々草・パンジー・キンセンカ）3,290本を植栽し、維持管理を行い道路沿線美化の整備を図った。</p>						

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
6.5 ） 6.7	1.2 地域振興費	地域自立コミュニティ活動 支援事業	65,758	一般財源 65,758	【まちづくり協議会への補助金交付】 ・本渡まちづくり協議会 16,857,741円 ・牛深まちづくり協議会 10,265,983円 ・有明まちづくり協議会 5,663,000円 ・御所浦まちづくり協議会 4,036,000円 ・倉岳まちづくり協議会 3,934,000円 ・栖本まちづくり協議会 2,692,783円 ・新和まちづくり協議会 4,326,000円 ・五和まちづくり協議会 7,952,000円 ・天草まちづくり協議会 4,555,000円 ・河浦まちづくり協議会 5,475,670円 65,758,177円	それぞれの地域において、住民が主体となって地域の自立に向けた様々な取組みがなされており、「住民主体・行政支援型」のまちづくりを全市的に浸透させることができた。
		まちづくりモデル支援事業	2,177	一般財源 2,177	【モデル事業を行う団体への補助金交付】 ・五和まちづくり協議会 1,000,000円 ・NPO法人AFURE 248,724円 ・本渡まちづくり協議会 428,664円 ・小宮地地区振興会 500,000円 2,177,388円	合併して2年目を迎えた本年は、4団体より先進的な事業の提案があり、3月に天草宝島マップの紹介と併せてモデル事業の事例発表も行った。他の地域へも刺激を与えることができ、今後更に活発な地域づくり活動が展開されることが予想される。 五：IMPACT 2 N：子育て分野におけるコミュニティ・センター開発事業 本：本渡シティツーリズム事業 小：「仕切網」を活用した地域振興計画
		まちづくり推進事業	2,278	一般財源 2,278	【審議会、視察研修、講演会等の実施】 ・報酬 642,000円 ・講演会講師謝金 295,054円 ・旅費 1,067,185円 ・消耗品費 76,938円 ・借上げ料（マイクロバス） 196,350円 2,277,527円	講演会及び先進地視察研修等を通して、少しずつではあるが自立した住民自治体制が確立されつつある。また、リーダー育成については、各地域でも取り組んでおり、今年度より地域づくり担当職員の研修会も実施している。 まちづくり審議会 10回（10審議会で各1回開催） 先進地視察研修 2回（42名：担当職員） 講演会 3回（延662名） 職員研修 3回（延130名）

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
6.5 ） 6.7	1.2 地域振興費	コミュニティ助成事業	8,800	その他 8,800	【宝くじ普及広報の助成】 ・西海荒波太鼓の会 2,500,000円 ・東浜区 6,300,000円 8,800,000円	(財)自治総合センターの宝くじ普及広報の助成(880万円全額助成)を有効に活用し、コミュニティの健全な発展を図ることができた。 西海荒波太鼓の会：太鼓・法被等 東浜区：コミュニティセンター整備
		日本の宝島“天草”地域財産再発見事業	4,319	その他 4,319	【地域財産一覧・財産マップづくり】 ・講師謝金 1,390,000円 ・旅費 481,146円 ・消耗品費 12,000円 ・印刷製本費 2,435,391円 4,318,537円	(財)地域活性化センターの助成(全額助成)を有効に活用し、29の地区振興会において天草宝島マップをつくることができた。自分たちの地域を見直し、改めてその地域の良さを再発見する機会となった。
		コミュニティ拠点施設整備事業	75,842	その他 60,000 一般財源 15,842	【コミュニティ拠点施設整備への補助金交付】 ・施設整備補助金 75,841,920円	厚生労働省の先進的事業支援特例交付金(60,000千円)を有効に活用し、廃校となっていた旧天附中学校校舎を地域コミュニティの拠点施設として生まれ変わらせることができた。
		御所浦・水俣航路対策事業	984	一般財源 984	【航路対策事業補助金】 乗合海上タクシーを運航する事業者(協会)へ補助金支出 ・週3日、1日3便運航 ・平成20年1月運航開始 ・補助金算出基礎 運航経費-収益額(乗船料金) 運航経費 1,507,200円 収益額 523,000円 984,200円	御所浦～水俣間の海上交通が確保され、通院、買物、また学生の帰省等の交通手段として利用されることで住民福祉の向上に寄与した。 (輸送実績)H20年1月～3月 541人
		企業誘致促進事業	727	一般財源 727	企業誘致パンフレットの発行 ・発行部数 5000部 ・頁数 8ページ ・一部当たりの単価 75.6円 (事業費内訳) 旅費 348,761円 需用費 378,000円 726,761円	本パンフレットは主に県内及び天草市出身者や天草市に関係のある企業経営者をターゲットに配布し、「天草市で新たに企業を起こしてみたい」という気運が高められるオリジナリティ溢れるパンフレットとして作成した。

(2) 総務費 (1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
65 ＼ 67	12 地域振興費	渡船運航事業	2,010	一般財源 2,010	【運航業務委託料】 ・横浦島（御所浦町）渡船運航業務 661,500円 ・横島（新和町）渡船運航業務 1,348,200円 2,009,700円	離島地域住民の日常生活（通院、買物等）の交通手段を確保することで、住民福祉の向上に寄与した。 （輸送実績） ・横浦島 941人/年 ・横島 378人/年
		天草空港利用促進協議会負担金	5,976	一般財源 5,976	【協議会負担金】 協議会で空港利用促進対策として、PR事業及び旅行企画商品等への助成事業を実施。 5,976,000円	天草空港に就航している天草エアラインの利用促進事業を実施することで、空港のPR及び利用促進が図られ、地域振興に寄与した。 （輸送実績） 82,299人/年
		地方バス路線運行維持対策事業	221,030	県支出金 31,933 一般財源 189,097	【地方バス路線運行維持対策費補助金】 産交バス(株)へ補助金支出 ・運行対策分 28,131,000円 （国庫補助対象路線 4路線） ・運行等特別対策分 192,899,000円 （自主運行路線 59路線） 221,030,000円	学生の通学や高齢者を中心とする地域住民の交通手段が確保され、住民福祉の向上に寄与した。 （輸送実績） 602,729人/年
		御所浦地域乗合自動車運行事業	9,614	一般財源 9,614	【乗合自動車運行補助金】 ・御所浦町内5路線運行 ・補助金算出基礎 運行経費－収益額（運賃） 運行経費 12,186,836円 収益額 △2,573,200円 9,613,636円	御所浦地域の公共交通として、日常生活（通院、買物等）の交通手段を確保することで、住民福祉の向上に寄与した。 （輸送実績） 9,774人/年
		天草エアライン機材維持費補助金	15,466	一般財源 15,466	【機材維持費補助金】 機材維持費（重整備費用）を熊本県及び天草2市1町で補助金支出 メインランディングギア（脚部）交換 12,481,776円 プロペラ交換 2,984,683円 15,466,459円	天草エアライン(株)に対し、航空機の機材整備費用を補助することで、安定運航を維持し地域振興に寄与した。 （輸送実績） 82,299人/年

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
68 ） 70	13 電算情報処理費	地域情報化事業	5,933	一般財源 5,933	【天草市地域情報化基本計画策定業務委託】 平成19年度事業費 5,932,500円 市が抱える課題を解決するため情報支援施策の位置づけと技術革新の早い情報通信技術の活用に向けた中長期の計画を策定した。 ・業務委託の範囲 通信に係る情報格差状況の調査 放送に係る共聴施設の現況調査 携帯電話に係る利用可能エリアの現況調査 広域ネットワークの展望と手法 地域ICT利活用協議会との連携 上記を取りまとめ、分析した基本計画の策定	平成22年までに実施する事業を前期計画とし、広域ネットワーク整備事業、地域ICT活用モデル構築事業のほか、地域インターネット環境普及のためのADSL化補助事業などの計画を行い、後期計画で実施を検討する事業について、研究を行った。
		地域ICT利活用モデル構築事業	43,423	国庫支出金 43,423	【「Webの駅 天草情報タワー」の構築】 平成19年度事業費 43,423,279円 (事業内訳) 「Webの駅構築システム」 Webの駅の根幹となる基本機能を備えたシステム 「観光ガイドシステム」 地域の情報交流や観光客への情報提供 「商店街活性化システム」 ネット上に仮想店舗の紹介	地域の団体や有識者及び利用者などで構成する「天草市地域ICT利活用推進協議会」が主体となり、地域における情報交流の促進や観光客などへの情報提供を目的とした「Webの駅構築システム」・「観光ガイドシステム」、人的つながりの再構築とICTの融合を目指す「商店街活性化システム」を構築・運用し、観光客の増加や地域経済の復興等を促し、地域コミュニティの活性化が図られた。
		広域ネットワーク整備事業	645,417	国庫支出金 249,996 地方債 359,300 一般財源 36,121	【広域ネットワーク整備事業】 平成18年度繰越事業 645,416,943円 (事業内訳) 本渡・牛深・河浦地区93の公共施設を光ファイバを使ってネットワーク化を行い、高速の通信環境を整えた。 ・本庁、別館、支所2カ所、出張所5カ所 ・小中学校31校 ・公民館11館 ・その他施設42カ所	本渡・牛深・河浦地区93の公共施設を光ファイバでネットワーク化することにより、広域行政情報の提供や学校教育支援のシステムを構築し、公共サービスの向上を図った。また、情報通信基盤を整備したことにより、学校間における情報通信格差の解消が図られた。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
68 ） 70	13 電算情報処理費	熊本県・市町村電子自治体 共同運営協議会負担金	11,419	一般財源 11,419	平成19年度総事業費 422,217,985円 本市負担額 11,419,181円 (本市負担割合：総事業費の約2.7%)	県と市町村が共同で電子申請受付システムの検討・導入を行い、平成19年度は入札参加資格申請など230種類の手続きについて電子化を行った。 県と市町村が共同で電子申請システムの開発を行うことで、利便性向上と経費の削減が図られた。
		新電算システム整備事業	461,462	国庫支出金 461,461 一般財源 1	【戸籍電算化業務委託】 177,240,000円 平成18年度繰越 【基幹系システム整備業務委託】 平成18年度繰越 160,681,573円 【図書館システム改修業務委託】 平成18年度繰越 24,622,500円 【財務・人給システム改修業務委託】 平成18年度繰越 7,785,750円 【業務用パソコン更新】 73,112,130円 平成18年度繰越 【その他業務システム改修】 18,019,695円 平成18年度繰越	紙戸籍(旧1市7町分)の電子化により、戸籍事務処理の迅速化と正確性を確保し住民サービスの向上を図る。 行政事務の中心となる基幹系システムを新たに構築し、運用経費の削減を図る。また、総合窓口導入とコンビニ収納への対応を可能とする。 市内図書館のネットワーク化を行い、蔵書図書の有効利用を図った。
		電算情報処理費広域連合負担金	116,738	一般財源 116,738	【天草広域電算処理負担金】 (負担金内訳) 電算ネットワーク管理運営費 67,194,000円 機器リース料 29,897,000円 回線使用料 6,762,000円 住基ネット保守料 5,438,000円 システム改修費 5,457,000円 事務局費 1,990,000円 本市負担額 116,738,000円	天草市の行政事務の基本である住基、税及び教育関連等の電子計算機システムに係る業務を停滞なく行うことができた。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位:千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
70 ┆ 71	14 男女共同参画費	人権啓発活動地方委託事業	317	国庫支出金 315 一般財源	【人権の花運動の実施】 花の栽培を通して、人権意識の高揚を図る。 小学校2校で実施(下浦第一小学校、一町田小学校) 2【女性の人権に関する講演会の開催】 会場:天草市民センター展示ホール 参加者 100人 (事務費内訳) 報償費 50,000円 旅費 9,415円 需用費 257,913円 <u>317,328円</u>	花の栽培を通して、人権擁護の意識が育成された。また、講演会では、人権に対する正しい理解と知識を深め、人権を尊重する意識の普及高揚が図られた。
		男女共同参画推進啓発事業	789	一般財源 789	【男女共同参画のまちづくり講座の開催】 有明・栖本・御所浦・河浦・天草で実施 参加者延べ450人 【出前講座】 8ヶ所 参加者 342人 【男女共同参画計画策定】 本誌 1,000部 ・ ダイレクト版 4,000部 【その他啓発事業】 宣言都市ミット(大津市)、フォーラム(玉名市)参加 啓発用教材(DVD,VHS)購入 (事業費内訳) 報償費 81,400円 旅費 136,584円 需用費 483,000円 備品購入費 87,650円 <u>788,634円</u>	一般市民を対象とした「男女共同参画まちづくり講座」や地域団体や職場、高齢者学級などで「出前講座」を実施し、男女共同参画の推進を図った。 また、計画の期間をH20年度からH23年度の4年間とする男女共同参画計画を策定し、計画の周知・啓発を行うため、計画書の印刷を行った。
		男女共同参画フォーラム事業	167	一般財源 167	【男女共同参画フォーラムの開催】 ・2008天草つのでフェスタ 牛深総合センター 参加者 400人 (事業費内訳) 報償費 63,000円 旅費 76,600円 需用費 27,948円 <u>167,548円</u>	牛深地域の市民・市民団体を中心として組織する実行委員会が企画・運営を行い、「2008天草つのでフェスタ」を開催した。市民・行政の協働による事業実施で、多くの市民の参加により意識の高揚が図られ、開催地域の活性化に繋がった。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
70 ┆ 71	14 男女共同参画費	男女共同参画推進リーダー 養成事業	229	一般財源 229	【男女いきいきステップアップセミナーの開催】 2回シ-ズで実施(1回は県と共催) 参加者延べ39人 【県地域リーダー育成事業への派遣】 東京都・埼玉県(3泊4日) 職員1人 【各種研修への参加】 6回参加 市民21人 延べ職員9人 (事業費内訳) 報償費 28,000円 旅費 188,940円 研修負担金 12,676円 229,616円	先進地研修や各種研修会等へ参加することで、男女共同参画社会づくりのための幅広い知識と行動力を備え、積極的に地域社会等で活躍する人材の育成を行った。
		男女共同参画審議会	422	一般財源 422	【男女共同参画審議会の開催】 6回開催 審議会委員 15人 (事業費内訳) 報酬 360,000円 旅費 61,840円 421,840円	条例第22条に基づく審議会において平成19年3月に諮問した男女共同参画計画について、6回の審議会を開催し審議した他、パブリックコメント(10箇所)で公聴会も実施)を経て、平成20年2月19日に答申が行われた。
		男女共同参画社会推進団体 等補助金	292	一般財源 292	【男女共同参画推進団体への事業補助】 ・本渡北地区振興会 ・ついででフェスタ実行委員会 【男女共同参画関係研修会に参加する市民へ補助】 県リーダー育成事業2人 宣言都市サミット(大津市)4人 男女共同参画推進団体等補助金 291,673円	男女共同参画社会を推進する団体等が主催する講演会及びイベントの開催に対し、補助金を交付し支援することによって、市民の意識の高揚と団体活動の活性化が図られた。また、リーダーとしての意識を持つ市民に対し、研修参加費用の一部を補助することで、幅広い知識と行動力を備え、積極的に地域社会で活躍する人材の育成を行った。
		天草人権擁護委員協議会補 助金	1,004	一般財源 1,004	【天草人権擁護委員協議会へ補助】 人権擁護委員 34人 人権擁護委員協議会補助金 1,004,075円	基本的人権を擁護し人権思想の高揚のために、支所単位で特設人権相談所の開設や子どもから高齢者までへの人権啓発活動を実施し、市民の意識の高揚が図られた。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
7.2 ） 7.5	1.6 支所及び出張所 費	牛深支所営繕工事	2,956	国庫支出金 1,066 一般財源 1,890	牛深支所庁舎改修工事 1,890,000円 牛深支所駐車場入口設置工事 1,065,750円	<p>・支所1階フロアの殆どのブラインドが壊れており、修理にも部品が古く対応できなくなり維持することが困難になったため、新しく取替を行い、機能性及び景観の向上を図った。また、市民課に個別で保険や年金等の相談ができるスペースが無かったため、市民が安心して相談ができるようにパーティションで相談室を設置し、利便性の向上を図った。</p> <p>・支所駐車場の西側には車の進入口が無く、商店街利用者等から休日に駐車場を利用しやすいようにしてほしいと要望があったため、新たに進入口を設置し、駐車場利用者及び歩行者への利便性を向上させた。</p>
		河浦支所営繕工事	6,074	県支出金 6,000 一般財源 74	河浦支所庁舎進入路工事 6,074,242円	<p>・平成18年7月22日の水害発生の時、河浦町の多くの地区で床下浸水が起き、防災地域対策部の機能である支所は、周辺道路が冠水し、消防積載車両等も稼働できない状況であった。</p> <p>そのため車両の乗り入れが迅速にできるよう支所横の一町田小学校側からの連絡橋に通じる連絡道路を新設した。その後、大雨時の支所周辺の冠水の際には、連絡道路により、河浦管内の状況確認の為に巡視車両が往来できる大きな成果であった。</p>
		支所施設管理経費	164,648	一般財源 164,648	<p>【各支所施設管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛深支所 38,047,487円 ・有明支所 25,379,989円 ・御所浦支所 8,734,940円 ・倉岳支所 11,145,185円 ・栖本支所 10,109,679円 ・新和支所 17,771,958円 ・五和支所 25,257,431円 ・天草支所 13,015,561円 ・河浦支所 15,005,344円 <p style="text-align: right;">計 164,467,574円</p>	各支所庁舎の安全管理及び環境衛生の保全及び快適環境の管理に努め、庁舎本体の保全及び付帯設備の機能向上と維持を図った。市民の対応や各種行政活動の場として機能することができた。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
75 ┆ 76	17 アーカイブズ費	公文書整理事業	20,533	一般財源 20,533	【行政文書の受入及び調査】 本庁及び各支所公文書の移管受入（累計） 16,680箱 文書引継書の作成完了 本庁分 H19年度以前受入分 有明支所分 H18・19年度受入分 倉岳、栖本、御所浦支所分 H19年度受入分 机上パソコンによる職員閲覧 本庁分 H19年度以前受入分 有明、栖本、新和、牛深支所分 H18・19年度受入分 倉岳、御所浦支所分 H19年度受入分 天草支所分 H18年度受入分 (事業費内訳) 共済費・賃金(臨時分) 14,953,897円 委託料(警備等) 2,383,647円 備品購入費(書庫整理棚等) 1,117,680円 その他(消耗品費等) 2,077,371円 20,532,595円	合併前の旧市町から移管した公文書の目録データ化を行い、イントラ上での行政利用が一段と進んだ。
		アーカイブズ施設管理経費	1,241	一般財源 1,241	【本館の事業環境整備】 空調設備、パソコン環境整備 備品購入費(エアコン等) 1,241,104円	事務室など2室に空調設備を設置し、またパソコンの環境整備を行った。
		アーカイブズ事務経費	6,635	一般財源 6,635	【地域史料の受入・調査整理】 ・郷土新聞「みくに新聞」マイクロ撮影委託 ・館所蔵史料の台帳作成、中西家文書収納 ・河浦水損被害公文書の真空凍結乾燥 (事業費内訳) 報酬(館長・委員) 2,498,400円 旅費(費用弁償等) 1,182,920円 委託料(新聞撮影業務等) 1,000,965円 その他(消耗品費等) 1,952,883円 計 6,635,168円	河浦支所の公文書35箱の真空凍結乾燥による復元を行った。 運営審議会から「アーカイブズの普及活動について」の答申を得た。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
76 ┆ 77	18 諸 費	天草地区防犯協会負担金	3,930	一般財源 3,930	天草地区防犯協会の活動、運営等のための負担金 構成：天草市・苓北町 (活動内容) 防犯活動の啓発、自主防犯活動の推進、カギかけ運動の推進、青少年の健全育成活動、薬物乱用防止教室の開催等 協会決算額 4,116,600円 うち市負担金 3,930,000円	防犯思想の普及、啓発及び防犯活動等が実施され犯罪のない明るく住みよい地域社会づくりが促進された。 カギかけ推進(キャンペーン等) 11回 街頭補導の実施 14回 薬物乱用防止教室 16回
		天草警察署沿岸警備協力会負担金	621	一般財源 621	天草警察署沿岸警備協力会の活動、運営等のための負担金 (活動内容) 沿岸警戒、沿岸パトロール、沿岸広報活動等 協会決算額 863,884円 うち市負担金 621,000円	沿岸犯罪や事故及び密入国などの予防活動等を実施され、沿岸の安全対策が図られている。 沿岸警戒 18回 沿岸パトロール 3回
		牛深警察署沿岸警備協力会負担金	630	一般財源 630	牛深警察署沿岸警備協力会の活動、運営等のための負担金 (活動内容) 沿岸警戒、沿岸パトロール、沿岸広報活動等 協会決算額 790,855円 うち市負担金 630,000円	沿岸犯罪や事故及び密入国などの予防活動等を実施され、沿岸の安全対策が図られている。 沿岸警戒 8回 沿岸パトロール 16回
		牛深地区防犯協会補助金	4,368	一般財源 4,368	牛深地区防犯協会の活動、運営等のための補助金 (活動内容) 活動内容：防犯活動の推進、少年の非行対策及び被害防止対策推進、覚せい剤等薬物乱用の防止、良好な生活環境を守るための活動推進等 協会決算額 4,584,880円 うち市補助金 4,368,000円	防犯思想の普及、啓発及び防犯活動等が実施され犯罪のない明るく住みよい地域社会づくりが促進された。 青色回転灯装備支援 23個 街頭補導の実施 5回 薬物乱用防止教室 2回

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
77 5 78	19 庁舎建設費	天草支所庁舎建設事業	278,987	地方債 247,000 その他 31,987	天草支所施設概要 鉄骨造2階建て 屋根カラー鋼板瓦棒葺き 床面積 924.90㎡ (事業費内訳) 需用費 1,259,395円 役務費 1,551,532円 委託料 ・天草支所庁舎建築工事監理業務 4,651,500円 使用料及び賃借料 31,500円 備品購入 9,135,499円 工事請負費 ・天草支所庁舎建築本体工事 128,625,000円 ・天草支所庁舎電気設備工事 48,300,000円 ・天草支所庁舎機械設備工事 42,000,000円 ・天草中学校テニスコート移設工事 8,331,750円 ・天草支所防災無線移設工事 4,830,000円 ・天草支所外構工事 14,371,243円 ・天草支所山崩発生予知施設監視装置移設工事 976,500円 ・旧天草支所庁舎解体工事 13,012,391円 ・天草支所駐車場整備工事 1,911,000円 小計 278,987,310円	天草支所庁舎建設にあたっては、華美な要素を排除し、機能性・効率性を重視し建設に要する費用の削減に努めた。また、市民サービスの向上を重視し、あらゆる人にとって使いやすいバリアフリー化を図った。
		御所浦支所庁舎建設事業	2,774	地方債 2,600 一般財源 174	事業年度：平成19年度～平成22年度 事業費：440,000千円 建築面積：1,200㎡（2階建） 委託料 ・御所浦支所庁舎新築工事地質調査業務 調査箇所＝5ヶ所（さく孔深度4m～13m） 2,773,668円	御所浦支所庁舎新築工事にあたり、予定地の地質を調査し、基本・実施設計の資料とした。

(2) 総務費 (2) 徴税費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
78 ） 79	2 課 税 費	固定資産税管理支援業務 委託事業	1,355	一般財源 1,355	<p>固定資産情報管理システムにおける旧本渡市管内の19年中データの経年異動処理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地籍データ取込変換 一式 ・地番不突合処理 10,000筆 ・家屋現況図データ更新 500棟 ・路線価データ取込み 一式 <p>(事業費内訳) 委託料 1,354,500円</p>	<p>地籍データ及び土地・家屋のデータを更新することにより、最新のデータが使用できるようになった。土地・家屋の所在確認及び地目の認定等評価全般に活用している。</p>
		固定資産標準地鑑定業務 委託事業	25,000	一般財源 25,000	<p>平成21年度評価替えに向けて、標準宅地の選定及び鑑定評価書作成、時点修正意見書作成を行った。(19年度～20年度事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準宅地の選定・鑑定評価書の作成 432地点 ・時点修正意見書作成 1式 <p>(事業費内訳) 委託料(契約額) 40,950,000円 うち19年度支払額 25,000,000円</p>	<p>19年度においては、宅地標準地の鑑定評価書及び時点修正意見書を作成したことにより、土地価格が下落している174標準地について、20年度課税分の評価額の下落修正を実施した。</p>

(2) 総務費

(2) 徴税費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																		
78 ） 79	2 課 税 費	家屋全棟調査事業	22,123	一般財源 523 国庫支出金 21,600	<p>【家屋全棟調査事業】 19～21年度事業 固定資産税の調査客体（家屋）の現況を的確に把握し、バラツキのない評価の統一を図り、適正かつ公平な課税の実現を図るため、市内約73,000棟の在来家屋を3年間で調査する。</p> <p>（事業費内訳）</p> <table border="0"> <tr> <td>社会保険料（臨時職員）</td> <td>1,782,281円</td> </tr> <tr> <td>臨時職員賃金</td> <td>14,017,670円</td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td>2,289,395円</td> </tr> <tr> <td>郵便料</td> <td>180,000円</td> </tr> <tr> <td>車両借上料</td> <td>1,106,805円</td> </tr> <tr> <td>複写機使用料</td> <td>530,227円</td> </tr> <tr> <td>機械器具購入費</td> <td>558,600円</td> </tr> <tr> <td>コンピュータ購入費</td> <td>1,658,412円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>22,123,390円</td> </tr> </table> <p>・調査班 19年度1班3名×7班 20年度以降1班3名×19班</p> <p>・事務所 19年度五和支所内 20年度五和支所他数力所</p> <p>・調査方法 一次調査（外観調査） 二次調査（内部調査）</p> <p>・調査区域及び年度 19年度 五和地区 20年度 本渡、新和地区 21年度 有明、栖本、倉岳、御所浦 牛深、天草、河浦地区</p>	社会保険料（臨時職員）	1,782,281円	臨時職員賃金	14,017,670円	消耗品	2,289,395円	郵便料	180,000円	車両借上料	1,106,805円	複写機使用料	530,227円	機械器具購入費	558,600円	コンピュータ購入費	1,658,412円	計	22,123,390円	五和地区の全家屋約9,500棟の一次調査を終了した。そのうち二次調査の対象となった未評価家屋約1,200棟、増築約960棟、滅失約600棟等の二次調査を現在実施している。
社会保険料（臨時職員）	1,782,281円																							
臨時職員賃金	14,017,670円																							
消耗品	2,289,395円																							
郵便料	180,000円																							
車両借上料	1,106,805円																							
複写機使用料	530,227円																							
機械器具購入費	558,600円																							
コンピュータ購入費	1,658,412円																							
計	22,123,390円																							

(2) 総務費

(3) 地籍調査費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
80 ） 81	1 地籍管理費	地籍基準点修正業務事業	2,507	一般財源 2,507	本町本・新休・下河内の一部 対象面積 A = 3.02Km ² (10点) 委託料 2,506,848円	昭和40年代地籍調査時の筆界点の誤差が大きい為、既設基準点(図根三角点)誤差の確認・修正する事により、地籍調査の再調査を行なう際の詳細測量の基礎となった。
		地籍集成字図作成業務事業	756	一般財源 756	有明町楠南の一部 対象面積 A = 4.43Km ² (35字) 委託料 756,000円	有明支所は、地籍情報管理システムが導入されていないので、集成字図を整備する事により住民への早急な対応及び情報提供に役立った。
		地籍基準点設置業務事業	2,077	一般財源 2,077	御所浦町御所浦全域 対象面積 A = 0.75Km ² (30点) 委託料 2,076,736円	公共工事等で滅失している地籍基準点(図根三角点・図根多角点)を復元設置することにより公共事業及び土地異動(分筆・合筆)等の測量の基礎として役立った。
		過年度数値情報化業務事業	378	一般財源 378	楠浦町今村地区 対象面積 A = 0.07Km ² (97筆) 楠浦町方原地区 対象面積 A = 0.12Km ² (146筆) 委託料 168,000円 天草町大江地区 対象面積 A = 0.25Km ² (376筆) 委託料 210,000円 委託料合計 378,000円	土地開発(圃場整備事業)による現地と地籍図及び筆属性(地番・地目・面積等)のデータを整備し、地籍情報管理システムへ移行する事により、住民へ最新情報データを提供する事が出来た。
		登記嘱託事務事業	2,395	一般財源 2,395	・昭和41年度調査時の地図訂正及び地積更正(本庁) 楠浦町字今村 地内 筆数 2筆 委託料 742,623円 ・昭和49年度調査時の地図訂正(本庁) 本渡町本渡字丸田 地内 筆数 1筆 委託料 377,685円 ・昭和44年度調査時の地図訂正及び地積更正(本庁) 本町新休字上天面 地内 筆数 2筆 委託料 532,014円 ・平成9年度調査時の地図訂正(河浦支所) 河浦町字今富 地内 筆数 2筆 委託料 368,508円 ・平成8年度調査時の復元測量(河浦支所) 河浦町字崎津 地内 筆数 1筆 委託料 374,335円 委託料合計 2,395,165円	不動産登記法第14条地図が明確化され分筆及び合筆の登記に役立った。

(2) 総務費

(3) 地籍調査費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果								
8.1 ） 8.2	2 地籍調査費	地籍調査事業（牛深区域）	106,153	県支出金 78,293 一般財源 27,860	<p>【補助事業】 補助率 7.5/10</p> <p>業務内容：一筆地調査及び地籍調査測量業務委託 調査地区：天草市魚貫町・二浦町・牛深町の一部</p> <ul style="list-style-type: none"> 一筆地調査：64字、5,487筆（6.48k㎡） 測量業務委託：87,150,000円 （地籍測量：C・D・F・G・H工程） <p>〔委託内訳〕</p> <ul style="list-style-type: none"> H18調査区域 3.92k㎡（G・H工程） H19調査区域 6.48k㎡（C・D・F工程） <p>【事業費内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>報酬</td> <td>12,615,600円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>87,150,000円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>6,387,071円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>106,152,671円</td> </tr> </table>	報酬	12,615,600円	委託料	87,150,000円	事務費	6,387,071円	合計	106,152,671円	<p>国土調査法に基づき、一筆毎の土地について、その所有者、地番及び地目を調査し、境界を確認して測量を行い、地積を算出し、地籍簿、地籍図を作成した。</p> <p>その成果は国土交通大臣の承認を経て県知事が認証し、法務局へ送付され不動産登記法第14条第1項の地図として旧字図に代わり備え付けられる。</p> <p>また、地籍の成果は公共事業の計画、防災対策、安全な土地取引の円滑化、課税の適正化など多方面に幅広く活用され、公共の福祉に貢献している。</p> <p>牛深区域については、昭和59年度に着手し、平成19年度末で全体計画89.01k㎡のうち71.14k㎡（進捗率79.9%）であるが、未調査17.87k㎡（20.1%）を平成19年度から事業費及び職員4名を倍増して当区域の早期完了に向けて事業の推進を図った。</p>
報酬	12,615,600円													
委託料	87,150,000円													
事務費	6,387,071円													
合計	106,152,671円													
		過年度数値情報化業務事業（有明区域）	13,200	県支出金 9,900 一般財源 3,300	<p>【補助事業】 補助率 7.5/10</p> <p>業務内容：過年度数値情報化業務委託 業務場所：天草市有明町地籍調査完了区域 地内</p> <ul style="list-style-type: none"> 過年度数値情報化業務委託(有明区域) 委託内容：面積40.73k㎡ 筆数28,809筆 委託料：8,755,852円 過年度数値情報化業務委託(有明区域)その2 委託内容：面積17.30k㎡ 筆数13,178筆 委託料：4,110,428円 <p>【事業費内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>委託料</td> <td>12,866,280円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>333,720円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13,200,000円</td> </tr> </table>	委託料	12,866,280円	事務費	333,720円	合計	13,200,000円	<p>有明区域の地籍調査事業については、昭和60年度に着手し、平成18年度で全区域が完了した。</p> <p>地籍調査の成果を数値情報化させ地籍管理システムへ移行させたことにより、法務局からの異動登記（分筆・所有権移転）等の処理を直営で行えるようになり迅速かつ経費削減が図られた。</p> <p>平成20年度からは、各種公共事業の計画や用地買収などの事業実施への利活用及び一般市民への最新の地籍成果品の交付・閲覧が図られる。</p>		
委託料	12,866,280円													
事務費	333,720円													
合計	13,200,000円													

(2) 総務費

(4) 戸籍住民基本台帳費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
8.2 ） 8.3	1 戸籍住民基本台 帳費	戸籍住民基本台帳事務	382,379	国庫支出金 1,789 県支出金 91 その他 67,536 一般財源 312,963	戸籍・住民基本台帳業務処理件数 戸籍届出 8,783件 出生 1,485件 死亡 1,883件 婚姻 1,817件 離婚 361件 その他 3,237件 住民異動処理 11,009件 転入 2,312件 転居 3,079件 転出 3,541件 世帯変更 2,061件 その他 16件 戸籍電算化件数 戸籍の改正 43,302件（現在戸籍） 戸籍の再正 80,039件（改正原戸籍・除籍）	戸籍、住民基本台帳等の窓口業務については、平成19年11月17日から旧本渡市・有明町以外も戸籍が電算化され、個人情報・プライバシーの保護に配慮し、迅速・丁寧な対応を心がけ住民サービスの向上が図られた。 戸籍・住民諸証明実績 戸籍関係 44,440件 24,787,900円 住民票関係 52,916件 15,874,800円 印鑑証明関係 46,499件 13,949,700円 税証明関係 33,800件 10,990,800円 その他 4,067件 1,779,230円 住基カード 308件 154,000円 合計 182,030件 67,536,430円

(2) 総務費

(5) 選挙費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
8.4) 8.5	5 県知事選挙費	熊本県知事選挙	61,304	県支出金 61,302 一般財源 2	【平成20年4月15日任期満了に伴う選挙】 告示日 平成20年 3月 6日 投票日 平成20年 3月23日 (事業費内訳) 報酬 7,873,400円 職員手当等 26,766,361円 共済費 4,617円 賃金 375,210円 報償費 1,177,548円 旅費 27,000円 需用費 7,075,531円 役務費 5,075,824円 委託料 2,940,000円 使用料及び賃借料 891,540円 備品購入費 7,895,580円 負担金補助及び交付金 1,201,000円 61,303,611円	有権者数 男 35,944人 女 42,831人 計 78,775人 投票率 男 58.98% 女 58.73% 計 58.85% 3月6日の立候補届出期限内に新人5人の立候補届出があり、3月23日投票、即日開票を行った。 3月26日開催の選挙会において、最高得票者の当選が決定された。
8.5) 8.6	6 県議会議員選挙費	熊本県議会議員一般選挙	41,851	県支出金 41,850 一般財源 1	【平成19年4月29日任期満了に伴う一般選挙】 告示日 平成19年 3月30日 投票日 平成19年 4月 8日 (事業費内訳) 報酬 5,933,600円 職員手当等 25,034,259円 賃金 254,376円 報償費 201,500円 旅費 9,000円 需用費 2,299,184円 役務費 344,152円 委託料 598,500円 使用料及び賃借料 891,280円 備品購入費 6,285,090円 41,850,941円	有権者数 男 36,136人 女 43,100人 計 79,236人 投票率 男 76.10% 女 77.43% 計 76.82% 今回の選挙より天草市・天草郡選挙区として定数が3人となった。3月30日の届出期限内に現職、新人あわせて6人の立候補届出があり、4月8日投票、即日開票を行った。 4月10日開催の天草市・天草郡選挙区選挙会において、得票数の上位から3人を当選人と決定した。

(2) 総務費

(5) 選挙費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																										
8.6) 8.7	8 参議院議員選挙 費	参議院議員通常選挙	65,402	県支出金 65,401 一般税源 1	<p>【平成19年7月28日任期満了に伴う通常選挙】</p> <p>公示日 平成19年 7月12日 投票日 平成19年 7月29日</p> <p>(事業費内訳)</p> <table> <tr><td>報酬</td><td>8,086,600円</td></tr> <tr><td>職員手当等</td><td>32,166,002円</td></tr> <tr><td>賃金</td><td>412,945円</td></tr> <tr><td>報償費</td><td>1,242,287円</td></tr> <tr><td>旅費</td><td>31,200円</td></tr> <tr><td>需用費</td><td>3,375,016円</td></tr> <tr><td>役務費</td><td>4,403,620円</td></tr> <tr><td>委託料</td><td>3,820,950円</td></tr> <tr><td>使用料及び賃借料</td><td>898,550円</td></tr> <tr><td>備品購入費</td><td>9,763,005円</td></tr> <tr><td>負担金補助及び交付金</td><td>1,201,000円</td></tr> <tr><td></td><td><hr/></td></tr> <tr><td></td><td>65,401,175円</td></tr> </table>	報酬	8,086,600円	職員手当等	32,166,002円	賃金	412,945円	報償費	1,242,287円	旅費	31,200円	需用費	3,375,016円	役務費	4,403,620円	委託料	3,820,950円	使用料及び賃借料	898,550円	備品購入費	9,763,005円	負担金補助及び交付金	1,201,000円		<hr/>		65,401,175円	<p>有権者数 男 36,495人 女 43,429人 計 79,924人</p> <p>投票率 男 68.57% 女 69.55% 計 69.10%</p> <p>7月12日の立候補届出期限内に、熊本県選出の定数1人に対し3人の立候補届出、比例代表選出については、11政党から159人の名簿届出があり、7月29日投票、即日開票を行った。</p>
報酬	8,086,600円																															
職員手当等	32,166,002円																															
賃金	412,945円																															
報償費	1,242,287円																															
旅費	31,200円																															
需用費	3,375,016円																															
役務費	4,403,620円																															
委託料	3,820,950円																															
使用料及び賃借料	898,550円																															
備品購入費	9,763,005円																															
負担金補助及び交付金	1,201,000円																															
	<hr/>																															
	65,401,175円																															

(2) 総務費

(6) 統計調査費

(単位:千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
87	1 統計調査総務費	統計調査員確保対策事業	55	県支出金 55	【統計調査員確保対策事業】 ・国が実施する統計調査に際して統計調査員の選任が困難となっている現状を改善するため、あらかじめ統計調査員希望者を登録し、統計調査員の確保に資するとともにその資質の向上を図る。 (事業費内訳) 需用費 50,000円 郵便料 5,000円 <hr/> 55,000円	平成18年度から広報紙やホームページでの募集及び各種統計調査の調査員説明会の折に登録を依頼。 平成19年度末登録者数は103人(男14人、女89人)。新規登録者に小冊子を配布するとともに、登録調査員を研修会に派遣するなど、資質の向上を図った。
87) 88	2 指定統計調査費	指定統計調査費	6,067	県支出金 6,058 一般財源 9	【指定統計調査の実施】 ・学校基本調査 調査日：平成19年5月1日(毎年実施) ・商業統計調査 調査日：平成19年6月1日(5年周期) 調査員 80人 ・工業統計調査 調査日：平成19年12月31日(毎年実施) 指導員 1人 調査員 27人 ・就業構造基本調査 調査日：平成19年10月1日(5年周期) 指導員 3人 調査員 31人 ・全国物価統計調査 調査日：平成19年11月21日(5年周期) 指導員 1人 調査員 4人 ・住宅・土地統計調査(単位区設定) 調査日：平成20年2月1日(5年周期) 調査対象区域 251調査区 指導員 23人 (事業費内訳) 調査員等報酬 5,283,270円 その他事務費 783,774円 <hr/> 6,067,044円	各種指定統計調査を実施し、我が国における社会情勢を明らかにするとともに、各種行政施策のための基礎数値を得た。

(3) 民生費

(1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
8.9 ） 9.1	1 社会福祉総務費	社会福祉協議会補助金	158,470	一般財源 158,470	天草市社会福祉協議会 補助金額 158,470,000円 (内訳) 人件費32名分 156,345,000円 地区社会福祉協議会運営費 1,425,000円 ボランティア活動事業 700,000円	在宅福祉サービスや母子・父子活動、児童福祉活動、ボランティア活動など地域福祉の充実を図る活動を支援することができた。
		ふれあい総合相談事業	3,560	一般財源 3,560	心配ごと相談所、福祉事務所、民生委員等への相談 ケースのうち、専門的援助が必要なケースを対象とする。 H19相談件数(本所) 173件 " (牛深支所) 332件 委託先 天草市社会福祉協議会 委託金額 3,560,000円	本所・牛深支所で、総合相談窓口として各関係機関の協力を得ながら、地域の住民が抱える生活上の諸問題を解決するための援助活動を行うことにより生活の安定と維持向上を図り、地域福祉の一層の推進が図られた。
		民生委員・児童委員協議会補助金	6,859	県支出金 2,070 一般財源 4,789	民生委員・児童委員定数 274名 主任児童委員定数 28名 民児協数 14民児協 補助金額 6,859,000円	地域福祉の担い手である民生委員・児童委員の活動費等を補助することにより、地域福祉向上のための活動が推進された。
		招魂祭・慰霊祭事業	2,393	一般財源 2,393	各支所で挙行される戦没者追悼式の運営費 ・需用費(供物・献花代) 761,639円 ・役務費(郵便料) 22,000円 ・祭壇設置委託料 961,800円 ・賃借料(バス借上料) 647,690円	各支所(9ヶ所)で無宗教方式、献花方式で挙行。戦没者の霊をまつり、遺族の心を癒すとともに恒久の平和を祈願した。
		遺族会補助金	784	一般財源 784	本渡地区遺族会ほか 運営費補助・県戦没者合同追悼式参列	戦没者追悼式への参加を通じて恒久平和を願い、会員相互の親睦が図られ、さらに市援護関係の事務協力が得られた。
		福祉基金助成金交付事業	659	その他 659	地域福祉の増進を図る事業への補助 事業費の1/2補助、100万円を限度 定額補助として、50万円を限度とする ・障害児者の余暇を考える会 232,000円 ・布の絵本「さざなみ文庫」 105,000円 ・ステップバイステップ 193,000円 ・新婦人親子リズムつくしんぼ 54,000円 ・新和町精神障害者家族会 10,000円 ・本渡精神障害者家族会 65,000円	日頃、外出の機会や交流の場が少ない障がいのある方や家族の方々の、日帰り旅行やボーリング大会、親子リズム体操などの活動を支援することにより、障がいのある方や家族の地域での自立と社会参加を促進することができた。
					合計	659,000円

(3) 民生費

(1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
8.9 社会福祉総務費 9.1	1	台風18号罹災住宅資金 利子補給事業	90	一般財源 90	被害を受けた住宅の復興のため罹災住宅復興特別融資を受けた町民にその利子補給を行う事業。 利子補給（上半期：18名） 50,812円 利子補給（下半期：16名） 39,604円	平成11年9月24日の台風18号によって被害を受けた、御所浦町民に御所浦町指定金融機関である天草信用金庫御所浦支店から融資を受けた町民に、その利子補給（21年までの利子補給）を行い、町民の福祉及び生活の安定が図られた。
		地域福祉計画策定事業	4,826	国庫支出金 3,990 一般財源 836	「天草市地域福祉計画」及び「天草市地域福祉活動計画」策定のための委託料や計画書の印刷代、策定審議会開催のための経費等 ・審議会委員報酬（5回分） 270,000円 ・講師謝礼 15,000円 ・審議会委員費用弁償他 169,930円 ・需用費（計画書印刷代他） 381,224円 ・計画策定委託料 3,990,000円	昨年度に引き続き、51地区振興会単位に22箇所で開催したり、各種団体等とのワークショップ等での意見・要望をもとに、地域に視点を置いた福祉活動を推進するため、平成18・19年度の2カ年をかけて、行政が取り組むべき事柄を記載した「天草市地域福祉計画」と、この計画をもとに天草市社会福祉協議会に実践していただく事柄を記載した「天草市地域福祉活動計画」を一体的に策定した。
		熊本県英霊顕彰会負担金	79	一般財源 79	熊本県英霊顕彰会負担金 算式 5,779柱×13.7円 79,200円 （熊本県下 57,600柱）	毎年8月15日に熊本市で開催される顕彰会に本市からも参加している追悼式の負担金として、熊本県英霊顕彰会会長あてに負担金を納めた。
		天草戦没者追悼式 実行委員会負担金	488	一般財源 488	「天草戦没者追悼式」挙行のため2市1町の負担金 事業費（柱数で按分） 700,000円 ・天草市 488,000円 ・上天草市 170,000円 ・苓北町 42,000円	4月の第一土曜日に天草市民センターにおいて挙行。2市1町で実行委員会を立ち上げ、天草郡市の英霊に対し、慰霊と感謝のまことを捧げ、その偉勲を顕彰するとともに、恒久平和を祈念する「天草戦没者追悼式」になった。
		災害時要援護者避難支援 計画策定事業	7,273	国庫支出金 2,886 県支出金 2,000 一般財源 2,387	災害時要援護者避難対策会議を天草市及び各支所単位で開催し、災害時要援護者支援マニュアル及び災害時要援護者向けマニュアルを策定した。 ・対策会議委員報酬 876,000円 ・臨時職員賃金等 1,254,609円 ・対策会議委員費用弁償等 437,210円 ・マニュアル印刷代等 725,097円 ・郵便料 1,950,000円 ・システム委託料 2,029,650円	平成18年度に策定した「天草市災害時要援護者避難支援計画」を基に、災害発生前、災害発生時のそれぞれの場面において、災害時要援護者と地域支援者が適切な行動をとるための「災害時要援護者支援マニュアル」及び災害時要援護者自身がどのように行動したらよいか、日頃の備えと災害発生時の行動を具体的に示した「災害時要援護者向けマニュアル」を策定するとともに、管理システムを導入し、要援護者の情報を地域支援者等と共有することにより、防災意識の向上が図られた。

(3) 民生費

(1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
9.1) 9.5	3 障害福祉費	更生医療費	65,238	国庫支出金 32,535 県支出金 16,267 一般財源 16,436	【心臓】 公費負担額 レセプト80件 4,212,040円 【腎臓】 入院 公費負担額 レセプト844件 13,553,643円 入院外 公費負担額 レセプト7,476件 40,741,293円 【肢体不自由】 公費負担額 レセプト64件 6,246,797円 【免疫機能障害】 公費負担額 レセプト 8件 484,098円 補助率：国 1/2 県1/4	原因疾病の治癒後に残された機能障害について、高度の医療を施すことで障害の除去や軽減ができ、日常生活の便宜が図られた。
		心身障害者小規模作業所 介護事業補助金	4,400	一般財源 4,400	ゆうすい工房ぴゅあ 定員12名 2,200,000円 (利用延べ人員 2,846名) 河浦きぼうの家 定員 10名 2,200,000円 (利用延べ人員 2,074名)	利用者間や他の作業所利用者、外来者との交流や親睦ができ、対人関係が深められている。また、通所を続けることで、日常生活や病状が安定し、自分で弁当を作ってくる人が増えてきた。地域の中に入っていき努力を続けていることで、ボランティアや近隣住民による見守りや励ましも年々大きくなってきている。
		重度心身障害者住宅改造費 補助金	1,418	県支出金 709 一般財源 709	申請件数 3件 内容：段差解消、スロープ設置、浴槽の取替え 合計 1,418,000円 補助率：県1/2	住宅改造により、日常生活が容易となり、在宅での自立促進、寝たきり防止及び介護者の負担軽減が図られた。
		障害者プラン策定事業	3,555	県支出金 2,900 一般財源 655	福祉サービスの量と提供体制を確保するための計画 策定審議会委員報酬 204,000円 ワークショップ委託料 2,992,500円 印刷製本費 77,289円 その他 281,000円 3,554,789円	障害福祉サービスの具体的目標数値を定める「天草市障害福祉計画」を策定し、障がいを持つ方が地域の中で安心して暮らせるよう、ニーズに応じた障害福祉サービスの充実を図る。
		療育相談員設置事業	3,194	県支出金 1,377 その他 597 一般財源 1,220	天草市が、天草圏域の代表市となり実施。天草市社会福祉協議会が運営している「天草地域療育センターすくすく園」に委託。 個別相談：延571件 保育所、学校等の機関からの相談：延127件 補助率：県1/2	障がい児療育に経験を積んだ専任の相談員の的確な対応により、早期療育の開始や専門機関の受診、障害受容、関係者による療育支援体制の整備等ができてきている。 また、定期的に親の会が開催され、情報の交換や学習会等が活発に行われている。

(3) 民生費

(1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
91 ） 95	3 障害福祉費	重度心身障害者医療費助成 事業	334,037	県支出金 163,665 一般財源 170,372	重度障がい者に対する医療費助成 資格要件 身体障害者手帳 1～2級 療育手帳 A1～A2 精神障害者手帳 1級 受給者証交付実人員 3,752人 助成延件数 35,140件 助成金額 334,036,905円 補助率：県1/2(1月～12月)	重度心身障がい者への医療費の助成で、必要な医療の確保と継続ができています。 また、委任払いの方式により、経済的負担の軽減も図られている。
		補装具給付費	16,844	国庫支出金 8,796 (8,422) 県支出金 4,398 (4,211) 一般財源 3,650 (4,211)	身体障がい者：交付134件 修理55件 13,528,590円 身体障がい児：交付17件 修理8件 3,315,720円 合 計 16,844,310円 【給付の内容】 身体障がい者 義手、義足、下肢装具 車いす、補聴器、盲人安全つえ等 身体障がい児 車いす、靴型装具、下肢装具、 座位保持装置、補聴器等 補助率：国1/2 県1/4(自立支援給付費のみ)	障がい者の失われた部位・欠陥のある部分を補い 必要な身体機能を獲得するために用いられる用具の 交付・修理を行うことで、生活上の不便さが解消又 は軽減でき、社会参加の促進を図ることができた。
		知的障害者施設訓練等支援 費	651,896	国庫支出金 327,672 (325,948) 県支出金 163,836 (162,974) 一般財源 160,388 (162,974)	施設の種類・利用者数 支払額 更生施設(入所)168人 473,394,618円 更生施設(通所)26人 授産施設(入所)34人 144,854,776円 授産施設(通所)39人 補足給付 33,646,708円 合 計 267人 651,896,102円 補助率：国1/2 県1/4	知的障がい者が更生施設や授産施設に入所又は通 所して、将来自立した生活が営めるような指導・訓 練を受けることで、洗面や清潔・排泄等基本的な生 活動作の獲得や社会性の向上が図られている。また、 授産施設においては、就労にむけた作業訓練で、利 用者の得意が引き出されている。

(3) 民生費

(1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果	
91 ） 95	3 障害福祉費	身体障害者施設訓練等支援費	423,946	国庫支出金 212,869 (211,973) 県支出金 106,434 (105,987) 一般財源 104,643 (105,986)	施設の種類・利用者数 更生施設(入所) 11人 療護施設(入所) 84人 療護施設(通所) 4人 授産施設(入所) 44人 授産施設(通所) 3人 補足給付 合計 146人 補助率：国1/2 県1/4	支払額 21,457,869円 328,075,926円 55,547,532円 18,864,791円 423,946,118円	身体障がい者が施設において、日常生活の介護や各種訓練を受けることで、社会参加への推進、自立に向けた意欲の向上が図られた。
		居宅介護サービス費	24,954	国庫支出金 12,808 (12,477) 県支出金 6,404 (6,239) 一般財源 5,742 (6,238)	年間利用者数 940人 障害者自立支援法施行に伴い3障がいサービス一元化 在宅の障がい者に対し、入浴、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事並びに生活等に関する相談及び助言その他の生活全般にわたる援助を行う。 補助率：国1/2 県1/4	支払額 24,953,955円	日常生活に支障がある障がい者の家庭にホームヘルパーを派遣し、利用者が苦手とする調理や掃除・洗濯等の家事を支援することにより、在宅での生活が継続できている。 また、余暇活動を楽しみ、社会活動に参加するための支援も併せて図られている。
		短期入所サービス費	6,619	国庫支出金 3,489 (3,310) 県支出金 1,744 (1,655) 一般財源 1,386 (1,654)	年間利用者数 年間利用者数 111人 障害者自立支援法施行に伴い3障がいサービス一元化 居宅においてその介護を行う者の疾病その他の理由により、障害者支援施設等への短期間の入所を必要とする障害者等につき、短期間の入所をさせ、入浴、排せつ又は食事の介護等必要な援助を行う。 補助率：国1/2, 県1/4	支払額 6,619,117円	障がい者を介護している家族が、病気等の理由により不在となった場合、一時的に施設で介護を実施することにより、障がい者の生活の場及び介護の確保ができるため、障がい者・家族共に安心して在宅での生活ができている。

(3) 民生費

(1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
9.1) 9.5	3 障害福祉費	児童デイサービス費	15,828	国庫支出金 8,269 (7,914) 県支出金 4,135 (3,957) 一般財源 3,424 (3,957)	年間利用者数 993人 支払額 15,828,033円 障がい児に、障がい児施設等に通わせ、日常生活における基本的な動作の指導及び集団生活への適応訓練を実施する。 補助率：国1/2 県1/4	療育の観点から個別療育、集団療育を行う必要が認められる児童がデイサービス事業所に通い、日常生活における基本的な動作の指導及び集団生活への適応訓練が受けられる。
		共同生活援助サービス費	29,485	国庫支出金 12,046 (14,743) 県支出金 6,023 (7,372) 一般財源 11,416 (7,370)	利用事業所数 17箇所 年間利用者数 522人 支払額 29,485,023円 地域において共同生活を営むのに支障のない障がい者に対して、主として夜間において、共同生活を営むべき住居（グループホーム）において相談その他の日常生活上の援助を行う。 補助率：国1/2 県1/4	世話人による食事や家屋の管理について支援を受けることで、地域生活同様の生活ができる。
		特別障害者手当等支給事業	37,223	国庫支出金 27,878 (27,917) 一般財源 9,345 (9,306)	特別障害者手当 延1137件 30,062,280円 経過的福祉手当 延399件 5,737,620円 障害児福祉手当 延99件 1,423,620円 合計 37,223,520円 補助率：国3/4	在宅において常時介護を必要とする重度の障がい児・者に手当を支給することで、障がい者の経済的支援が図られ在宅での生活を容易にする一助となっている。
		日常生活用具給付等事業	14,130	国庫支出金 7,258 (7,065) 県支出金 3,518 (3,533) 一般財源 3,354 (3,532)	重度身体障がい者：403件 13,369,720円 重度障がい児・者：17件 760,870円 合計 14,130,590円 【給付の内容】 盲人用時計・音声式体温計・体重計・ストマ用器具 視覚障がい者用ポータブルコーダー・拡大読書器 電気式たん吸引器、歩行支援用具 居宅生活動作補助用具、特殊便器他 補助率：国1/2 県1/4	重度障がい者（主として視覚や聴覚障害・肢体不自由）への日常生活に必要な用具の給付により、日常生活の利便性の向上及び介護者の負担軽減が図られた。

(3) 民生費

(1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
9.1 ） 9.5	3 障害福祉費	訪問入浴サービス事業	2,310	国庫支出金 708 (1,155) 県支出金 583 (578) 一般財源 1,019 (577)	年間利用実人員 3名 年間延利用回数 231回 居宅での入浴が困難な重度心身障害者宅に、訪問入浴車と入浴介助スタッフを派遣し、簡易浴槽での入浴の支援を行なう。 補助率：国1/2 県1/4	在宅において常時介護を必要とする重度の障がい児・者に対して、訪問入浴車を派遣し、定期的に入浴サービスを行うことにより、家族の負担を軽減が図られた。
		身体障害者福祉協議会等補助金	6,135	一般財源 6,135	天草市身体障害者福祉協議会 5,848,047円 天草市視力障害者福祉協会 167,000円 天草市聴覚障害者福祉協会 120,000円 合 計 6,135,047円	福祉の向上を図るため、障害福祉団体に対し、補助金を交付し、障がい者の社会参加の促進と活動の育成を行った。
		就労継続支援費	45,326	国庫支出金 11,573 (22,663) 県支出金 5,786 (11,332) 一般財源 27,967 (11,331)	年間利用者数 就労継続支援A型 201人 18,078,299円 就労継続支援B型 319人 27,247,320円 合 計 520人 45,325,619円 補助率：国1/2 県1/4	通常の事業所に雇用されることが困難な障がい者に対し、生産活動の提供など、必要な訓練その他の支援を行うことで就労に必要な知識及び能力の向上が図られた。 A型：雇用契約に基づくもの B型：雇用契約は結ばない
		就労移行支援費	2,857	国庫支出金 1,520 (1,429) 県支出金 760 (714) 一般財源 577 (714)	年間利用者 19人 2,857,150円 補助率：国1/2 県1/4	一般就労を希望する障がい者に対し、職場体験、知識、能力の向上のための訓練、求職活動に関する支援、就職後の相談等の支援を行い、就労及び職場への定着が図られる。 標準利用期間2年間

(3) 民生費

(1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
9.1) 9.5	3 障害福祉費	コミュニケーション支援事業費	350	国庫支出金 372 (175) 県支出金 167 (88) 一般財源 189 (87)	手話通訳者派遣 1日×13件 350,000円 半日×67件 補助率：国1/2 県1/4	日常生活に手話又は要約筆記を必要とする、聴覚障がい者のコミュニケーション支援、又は情報提供等の協力を行う手話奉仕員、又は要約筆記者を派遣することにより、聴覚障がい者の社会参加と自立を促すとともに生活に潤いができる。
		地域活動支援センター機能強化事業費	16,500	国庫支出金 7,658 (8,250) 県支出金 3,698 (4,125) 一般財源 5,144 (4,125)	型 グリーン(定員20名) 6,000,000円 星光園(定員20名) 6,000,000円 型 NPO法人天草きぼうの家 (定員10) 1,500,000円 NPO法人ひだまりの家 (定員10) 1,500,000円 NPO法人ワークショップ ひなたぼっこ(定員10) 1,500,000円 合計 16,500,000円 年間相談件数 9,230件 補助率：国1/2 県1/4	障がい者等が日中活動の場として通い、創作的活動、生産活動、社会との交流をすることで、本人の楽しみや生きがいづくりとなり、地域での生活が安定している。 また、地域との交流により近隣住民の理解も深まっている。
		相談支援事業費	22,330	その他 6,401 一般財源 15,929	委託事業数 4事業所 (身体・知的・精神・児童) 22,329,360円 年間相談件数 2,784件 補助率：国1/2 県1/4	障がい者や障がい児が自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るように、障がい者、障がい児の保護者等からの相談に応じ、必要な情報提供等支援を行っている。

(3) 民生費

(1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
9.5) 9.6	4 国民年金費	国民年金事業	22,742	国庫支出金 22,015 一般財源 727	【適用関係受付】 ・異動届 4,836 件 ・新規 598 ・再取得 1,576 ・種別変更 369 ・住所変更 1,541 ・その他 752 ・資格喪失 1,094 件 ・公的年金加入 138 ・転出 891・死亡 65 【給付関係受付】 ・裁定等請求 959 件 ・老齢 98 ・障害 88 ・寡婦 0 ・遺族 1 ・額改定 6 ・死亡一時金 32 ・未支給(死亡届) 733 ・特別障害給付金 1 ・福祉年金 1,692 件 定時届受付 ・老齢 42・障害 1,634 ・未支給等 16 【保険料関係受付】 ・免除受付 5,705 件 ・一般免除 4,560 (一部・納付猶予含む) ・学生特例 1,004 ・法定免除 141 ・付加加入 69 件	急速にすすむ少子・高齢社会の中で、老後の生活安定化のために重要性が増大している国民年金において、市民一人ひとりの年金権確保と制度の基盤強化を図るため社会保険事務所と協力連携して業務を推進した。 また、社会保険庁が抱える年金記録問題についても市民からの最寄り窓口として解決協力を行った。

(3) 民生費

(2) 高齢者福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
9.6 ） 9.8	1 高 齢 者 福 祉 費 総 務 費	敬老祝金	19,100	一般財源 19,100	【敬老祝金の支給】 満88歳 550人×30,000円 16,500,000円 満100歳 26人×100,000円 2,600,000円 合計 19,100,000円	敬老の意を表する目的のため祝金を支給し、市民に対する敬老意識の啓発及び高齢者福祉の増進が図られた。
		緊急通報体制整備事業	19,486	県支出金 15,200 一般財源 4,286	電話機設置台数 1,364台 (事業費内訳) 需用費 1,587,684円 役務費 754,261円 工事請負費 1,906,800円 備品購入費 13,386,450円 負担金 1,851,000円 合計 19,486,195円	消防署への緊急通報電話機などの装置の無償貸与により、概ね65歳以上の一人暮らしの高齢者の急病・火災等の緊急事態に迅速に対応し、在宅一人暮らし高齢者等の不安軽減が図られた。 平成19年度は、209台購入したうちの35台を新規設置、159台を新機種更新に充て、正確な情報管理が図られた。
		金婚夫婦表彰事業	749	一般財源 749	表彰組数 275組 (事業費内訳) 需用費 消耗品費 735,556円 印刷製本費 13,807円 合計 749,363円	結婚50年を迎えられたご夫婦を熊日主催において新聞掲載や表彰式を行い、熊日と市より記念品を贈呈し、長寿・夫婦円満を祝福した。 <表彰式> 日時：9月7日 場所：天草中央保健福祉センター <記念品> 熊日：賞状・アルバム 市：額縁・夫婦湯のみ
		緊急通報システム相談センター事業	4,050	一般財源 4,050	【相談・安否確認業務】 安否確認対象台数 559台 安否確認回数 12,098回 相談件数 42件 (事業費内訳) 役務費 75,600円 委託料 3,974,000円 合計 4,049,600円	天草市社会福祉協議会に相談センター相談員を配置し、相談事や安否確認を定期的に行うことにより、緊急通報システム設置宅の一人暮らし高齢者等の不安軽減が図られた。
		天草市老人クラブ連合会補助金	21,400	県支出金 9,581 (9,525) 一般財源 11,819 (11,875)	【老人クラブ活動補助】 市連合会 400,000円 各支部(10支部) 7,130,000円 単位クラブ(254クラブ) 12,700,000円 温泉を利用した健康づくり事業(下田温泉) 1,170,000円 合計 21,400,000円	老人クラブの社会奉仕活動・教養講座・健康増進事業等を補助することにより、高齢者の生きがい作り、健康作り等幅広い活動支援を行った。 平成19年度 254クラブ、会員数 15,670人

(3) 民生費

(2) 高齢者福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
96 ） 98	1 高齢者福祉 総務費	シルバー人材センター補助 金	23,546	県支出金 500 一般財源 23,046	運営費補助 18,936,000円 高齢者生活援助サービス事業 2,500,000円 安全適正就業推進特別費 120,000円 就業機会創出員配置費 900,000円 わいとか-就業機会開発費 390,000円 再チャレンジ支援総合プラン事業 200,000円 策定経費 旧地域高齢者社会参加促進 事業 500,000円 合計 23,546,000円	高齢者の豊富な経験と知識を活用し働くことによ り、生きがい充実・社会参加の推進が図られた。 平成19年度末会員数 769人
		ふれあいいきいきサロン事 業補助金	1,800	一般財源 1,800	【ふれあいいきいきサロン活動状況】 サロン数 135サロン 実施回数 2,333回 延参加人数 30,250人 ふれあいいきいきサロン交流大会の実施 東ブロック大会(6/19) 栖本町民体育館 中央ブロック大会(9/22) 市民センター体育館 西ブロック大会(10/13) 牛深高校体育館	天草市社会福祉協議会が行うふれあいいきいきサ ロン事業を補助することにより、高齢者の閉じこも り防止、健康づくり(介護予防)等の活動支援を 行った。
		高齢者相談員設置事業補助 金	695	一般財源 695	【高齢者相談員設置状況】 牛深・倉岳・栖本地区に設置 相談員数 66人 牛深(45人) 倉岳(17人) 栖本(4人)	天草市社会福祉協議会において設置されている高 齢者相談員事業を補助することにより、高齢者やそ の家族等が抱えている悩みや問題等に対処する相談 員の知識・活動能力の向上を図り、高齢者の福祉増 進を行った。
98 ） 99	2 高齢者福祉 施設費	本渡老人福祉センター	5,454	その他 1,867 一般財源 3,587	利用者数 19,266人 入浴者数 2,438人 開館日数 307日 運営費 4,686,920円 修繕料 766,658円 合計 5,453,578円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、勉強 会・娯楽活動・レクリエーション・発表会等の利用及 び入浴施設の利用に供することにより、高齢者の生 きがいづくりと健康づくりが図られた。
		牛深老人福祉センター	4,461	一般財源 4,461	利用者数 8,621人 入浴者数 1,049人 開館日数 293日 指定管理委託料 4,461,000円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、勉強 会・娯楽活動・レクリエーション・発表会等の利用及 び入浴施設の利用に供することにより、高齢者の生 きがいづくりと健康づくりが図られた。

(3) 民生費

(2) 高齢者福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
9.8 ） 9.9	2 高 施 設 費	在宅介護支援サテライト施	4,818	その他 68	(サテライト施設おにき) 利用者数 3,695人 開館日数 269日 管理業務委託料 3,007,000円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、勉強会・娯楽活動・レクリエーション・発表会等の利用に供することにより、高齢者の生きがいづくりと健康づくりが図られた。
				一般財源 4,750	(サテライト施設ふたうら) 利用者数 1,367人 開館日数 250日 管理業務委託料 1,811,000円	
		有明老人福祉センター	5,155	一般財源 5,155	利用者数 10,448人 入浴者数 4,394人 開館日数 306日 修繕料 380,121円 指定管理委託料 4,775,000円 合計 5,155,121円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、勉強会・娯楽活動・レクリエーション・発表会等の利用及び入浴施設の利用に供することにより、高齢者の生きがいづくりと健康づくりが図られた。
		倉岳老人福祉センター	587	県支出金 310 その他 12 一般財源 265	利用者数 2,562人 開館日数 253日 運営費 586,852円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、勉強会・娯楽活動・レクリエーション・発表会等の利用に供することにより、高齢者の生きがいづくりと健康づくりが図られた。
		倉岳老人憩いの家	63	一般財源 63	利用者数 2,593人 開館日数 255日 運営費 63,065円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、娯楽活動・発表会等の利用に供することにより、高齢者の生きがいづくりと健康づくりが図られた。
		倉岳地域福祉センター	29	その他 6 一般財源 23	利用者数 3,100人 開館日数 249日 運営費 29,463円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、勉強会・娯楽活動・レクリエーション・発表会等の利用に供することにより、高齢者の生きがいづくりと健康づくりが図られた。
		新和高齢者生活福祉センター	6,807	一般財源 6,807	利用者数 6,098人 開館日数 310日 入浴者数 4,635人 入居者数 6人 指定管理委託料 6,807,000円	在宅生活に不安のある高齢者に対し、住居・地域住民との交流を図るための場を提供することにより、各種相談・助言・緊急時の対応を行い、利用者の不安軽減・生活環境の向上が図られた。

(3) 民生費

(2) 高齢者福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
98 ） 99	2 高 齢 者 福 祉 費 施 設	河浦老人福祉センター	4,057	一般財源 4,057	利用者数 7,086人 開館日数 294日 入浴者数 5,062円 修繕料 424,200円 指定管理委託料 3,633,000円 合計 4,057,200円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、勉強会・娯楽活動・レクリエーション・発表会等の利用及び入浴施設の利用に供することにより、高齢者の生きがいがづくりと健康づくりが図られた。
		河浦生活支援ハウス	4,908	その他 42 一般財源 4,866	入居者数 8人 管理業務委託料 4,884,000円 保守点検委託料 24,150円 合計 4,908,150円	在宅生活に不安のある高齢者に対し、住居・地域住民との交流を図るための場を提供することにより、各種相談・助言・緊急時の対応を行い、利用者の不安軽減・生活環境の向上が図られた。
		倉岳老人憩いの家改修工事	3,024	一般財源 3,024	1. 玄関・廊下・浴室を倉庫へ改修 2. 既存ボイラー撤去 3. 台所排水を下水道へ接続 工事請負費 3,024,000円	倉岳老人憩いの家は建設後29年が経過し、老朽化が進行し危険な状態であった。高齢者の交流所、台風時の避難所として利用されることから、本工事を行うことにより、地域住民に必要な施設として安全確保のための措置が図られた。
		高齢者生活福祉センター改修工事	4,845	県支出金 4,800 一般財源 45	1. 機械設備工事（ボイラー取替） 2. 電気設備工事 3. 解体工事 工事請負費 4,844,574円	新和高齢者生活福祉センターの施設整備の老朽化により、ボイラー機器設備・配管設備・給水設備の取替工事を行った。
		老人福祉センター施設整備事業	1,144	県支出金 1,090 一般財源 54	(牛深老人福祉センター) 事務室空調機器取替 1,018,500円 (本渡老人福祉センター) 空調機器取付 126,000円	施設の空調機器の老朽化により、牛深老人福祉センター事務室空調機器取替え・本渡老人福祉センター空調機器購入を行った。
99 ） 100	3 高 齢 者 支 援 費	外出支援サービス事業	17,580	その他 700 一般財源 16,880	【福祉タクシー】24事業所 助成額 基本料金（初乗料金） 登録者数 453人 利用件数 14,708件 扶助費 8,493,570円 【リフト付車両】1事業所 登録者数 30人 利用件数 387件 委託料 1,548,000円 【利用券】 印刷製本費 150,150円	タクシーを利用した際の基本料金の助成、公共交通機関運行路線のない地区の交通手段の確保、寝たきり等のため一般の交通手段を利用することが困難な方に対しリフト付車両を利用した外出支援サービス事業を実施することにより、高齢者・心身障害者等の在宅生活の支援、介護者の負担軽減が図られた。

(3) 民生費

(2) 高齢者福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
9.9 ） 100	3 高齢者支援費	外出支援サービス事業 (つづき)			【福祉バス】4事業所(天草・河浦地区のみ) 登録者数 59人 利用件数 1,760件 利用料 700,100円 委託料 7,388,000円 天草(運行日数:196日) 8,000円/日 河浦(運行日数:194日) 30,000円/日	
		低所得利用者負担額軽減対策事業	518	県支出金 501 (388) 一般財源 17 (130)	対象者 15人 軽減額 500,969円 事務費 17,290円 合計 518,259円	事業により、低所得者の訪問介護利用負担額の軽減が図られた。
		高齢者住宅改造助成金	1,432	県支出金 933 (716) 一般財源 499 (716)	(平成19年度実績)補助率1/2 3件 1,432,000円	在宅の要介護等高齢者・心身障害者がいる世帯に対し、住宅改造に必要な経費を助成することにより、在宅での自立促進・寝たきり防止及び介護者の負担軽減が図られた。
		生きがい活動支援通所事業	10,100	一般財源 10,100	(平成19年度実績) 15事業所 登録者数 232人 延利用者数 4,823人 委託料 10,099,000円 2,000円/回(送迎利用の場合は100円/回を加算)	要介護状態になるおそれのある高齢者に対し、通所サービスを提供することにより、閉じこもり・介護予防が図られた。
		在宅寝たきり老人等介護者手当	16,000	一般財源 16,000	(平成19年度実績) 該当者 160人 支給額(年額) 100,000円	65歳以上の高齢者を在宅で1年以上介護している方に対し、介護者手当を支給することにより、介護者の経済的・精神的負担軽減が図られた。
		老人ホーム措置事業	400,651	その他 61,323 一般財源 339,328	【平成19年度措置状況】 合計 199人 天草島内 松風園 62人 明照園 50人 梅寿荘 42人 和光園 9人 寿康園 28人 天草島外 施設 8人	環境上又は経済上の理由により在宅での生活が困難な方に対し、施設入所措置をすることにより、高齢者の生活を守り、心身の健康の保持、自立が図られた。

(3) 民生費

(2) 高齢者福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
9.9 ） 100	3 高齢者支援費	老人ホーム措置事業 (つづき)			(事業費内訳) 報酬 108,000円 費用弁償 10,920円 旅費 2,200円 委託料 400,529,905円 合計 400,651,025円	
		在宅介護支援センター運営 事業	34,500	一般財源 34,500	【実態把握調査】 実態把握調査数 602件 委託料(2,000円/件) 1,204,000円 【運営委託料】 16事業所×2,081,000円 33,296,000円	地域の高齢者及び要介護者高齢者等の積極的な把握のため実態調査を実施し、高齢者福祉サービスの紹介・啓発を行うとともに在宅介護に関する各種相談に24時間体制で応じることにより、地域の高齢者福祉の向上が図られた。
		高齢者支援センター運営事 業	1,060	一般財源 1,060	【実態把握調査】 実態把握調査数 30件 委託料(2,000円/件) 60,000円 【運営委託料】 1事業所×1,000,000円 1,000,000円	在宅介護支援センターにおける業務委託が平成19年度で終了となることに伴い、次年度以降も実施していたサービスの一部を継続して行うために設置された。高齢者及び要介護者高齢者等からの相談に応じ、実態調査し、高齢者福祉サービスの紹介・啓発を行い、地域の高齢者福祉の向上が図られた。
		ヘルパー派遣事業	7,464	一般財源 7,464	(平成19年度実績) 14事業所 登録者数 164人 派遣時間数 4,131時間 委託料(1,800円/h) 7,463,600円 生活保護受給者は2,000円/h	在宅の虚弱な高齢者等に対し、ヘルパーの訪問により、日常生活の指導・支援を行い、要介護状態への予防と、自立支援・生活の質の改善を図った。
		食の自立支援事業	13,334	一般財源 13,334	(平成19年度実績) 17事業所 登録人数 299人 配食数 28,010食 委託料 13,334,400円 利用料 課税世帯500円/食 非課税世帯300円/食	在宅の一人暮らし高齢者等に配食サービスを提供することにより、食生活の改善と健康増進が図られた。

(3) 民生費

(3) 児童福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
101 ） 102	2 母子福祉費	親子ふれあい事業補助金	983	一般財源 983	主 催：天草市社会福祉協議会 行 先：「三井グリーンランド」荒尾市 「干拓の里」諫早市 「ミルク牧場」阿蘇市 参加者：269人(保護者・児童 231人、その他 38人)	母子家庭、父子家庭の親子の交流を図ることで、 協調性や連帯感を深め、明るい家庭づくりと児童の 健全育成が図られた。
		ひとり親家庭等医療費助成	15,956	県支出金 7,586 一般財源 8,370	医療費個人負担の2/3を助成。 助成 923世帯 9,239件 15,956,125円 補助率 県：暦年支出の1/2	ひとり親家庭等における、父又は母と子の健康を 保持し、家庭の経済的負担を軽減することで、自立 助長と生活の安定が図られた。
		児童扶養手当	360,523	国庫支出金 119,461 (119,573) 一般財源 241,062 (240,950)	世帯数 731世帯 全部支給者 5,443人 一部停止者 3,500人 補助率 国 1/3	父母の離婚等の理由で、父と生計を同じくしてい ない児童が養育される家庭の生活の安定と自立を助 け、児童福祉の増進を図ることができた。
		母子家庭自立支援教育訓練 給付金事業	0	国庫支出金 11 (0) 一般財源 11 (0)	母子家庭の母の主体的な能力開発の取り組みを支 援し、母子家庭の自立の促進を図る。 給付額：本人の支払額の20%(10万円上限) 0件 0円 補助率 国 3/4	教育訓練給付の指定講座であるホームヘルパー2 級の受講が1件。また、現在受講中であるパソコン の受講が1件。計2件の受講があったが平成20年度の 支払となったため、19年度の実績としては0件であ る。
		母子家庭高等職業訓練促進 給付金事業	1,648	国庫支出金 1,236 一般財源 412	母子家庭の母の経済的に効果的な資格を取得する 修学時の生活の安定を支援し、母子家庭の自立の促 進を図る。 給付額：月103,000円×8月×2人 2件 1,648,000円 補助率 国 3/4	天草准看護高等専修学校に在学中の母子家庭2名 を対象に、修学時の生活の安定と准看護師の資格を 取得することができ、母子家庭の自立助長と生活の 安定を図ることができた。
		ひとり親家庭等日常生活支 援事業	0	県支出金 40 (0) 一般財源 40 (0)	母子家庭、父子家庭及び寡婦が、修学等の自立を 促進するために必要な事由や、疾病などのため一時 的に生活支援または子育て支援が必要な場合に、登 録されている家庭生活支援員を派遣し、ひとり親家 庭等の生活の安定を図る。 補助率 県 3/4	家庭生活支援員登録者数 8人 家庭生活支援員派遣対象家庭数 12世帯 実施件数は無かった。

(3) 民生費

(3) 児童福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
102 } 105	3 保育所費	保育所運営費	1,165,717	その他 137,064 一般財源 1,028,653	入所延人員 10,451人(月平均：871人) 定員 1,060名(充足率82.17%)	公立保育所22園の運営費で、入所児童の福祉向上に寄与した。
105 } 107	4 児童育成費	特別保育事業(延長保育促進事業)補助金	171,028	国庫支出金 85,654 (85,514) 一般財源 85,374 (85,514)	対象 33ヶ所 171,027,600円 補助率 国 1/2 ソフト交付金 874.50ポイント	延長保育に対する需要に対応し、児童福祉の増進が図られた。
		特別保育事業(一時保育促進事業)補助金	5,508	県支出金 4,320 (3,672) 一般財源 1,188 (1,836)	対象 16ヶ所 (うち公立 2ヶ所) 5,507,600円 (540,000円) 補助率 県 2/3	育児疲れ解消や急病など一時的な保育需要に対応することにより、児童福祉の向上に寄与した。
		特別保育事業(障害児保育事業)補助金	10,710	一般財源 10,710	対象 10ヶ所 13人 10,709,700円	集団保育可能で日々通所できる障害児の入所保育所へ補助することで、障害児の処遇向上が図られた。
		特別保育事業(軽度障害児保育事業)補助金	11,041	県支出金 5,666 (5,521) 一般財源 5,375 (5,520)	対象 17ヶ所 27人 (うち公立5ヶ所 8人) 11,040,818円 (3,290,310円) 補助率 県 1/2	集団保育可能で日々通所できる軽度の障害児の入所保育所へ補助することで、障害児の処遇向上が図られた。
		特別保育事業(保育所地域活動事業)補助金	7,430	国庫支出金 3,715 一般財源 3,715	対象 24ヶ所 育児講座22、低学年児童受入10 地域特性保育需要4 7,430,000円 ソフト交付金 13.87ポイント	育児講座、低学年児童受入等の実施を通して、保育所の地域社会資源としての機能を果たした。
		特別保育事業(障害児保育環境改善事業)補助金	1,058	県支出金 705 一般財源 353	整備実施 2ヶ所 1,057,750円 補助率 県2/3	障害児保育に必要な設備整備を行うことで、障害児の保育処遇向上が図られた。

(3) 民生費

(3) 児童福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																											
105 ） 107	4 児童育成費	特別保育事業(休日保育事業)補助金	1,932	県支出金 1,288 一般財源 644	対象 4ヶ所 補助率 県2/3 1,932,000円	休日保育を行う事業に対し、補助を行うことで、休日に保育に欠ける児童の福祉向上が図られた。																											
		放課後児童健全育成事業委託料	31,256	県支出金 20,720 一般財源 10,537	実施数 12ヶ所、登録児童459人 補助率 県2/3 31,256,100円	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校低学年児童に対し、指導・育成、遊びによる発達の助長などのサービスを行うことで、健全育成を図った。																											
		民間保育所事務協力費	2,185	一般財源 2,219	対象 天草市内法人立保育園36園 単価 1,000円×10月1日現在園児数 2,185,000円	保育料納付について、保護者の利便を図るとともに、効果的な徴収を実施した。 (保育料徴収率 99.73)																											
		地域子育て支援センター委託料	30,282	県支出金 20,188 一般財源 10,094	実施数 8ヶ所 (うち公立 2ヶ所) 補助率 県2/3 30,282,000円 (5,152,000円)	育児不安等の相談指導やサークル等の育成を通して、子育て家庭への支援に貢献した。																											
		つどいの広場事業	2,572	県支出金 1,710 一般財源 862	実施数 1ヶ所 登録組数 296組 補助率 県 2/3 2,571,501円	子育て親子の交流、集いの場の提供等に多数の親子が参加し、子育ての負担感を緩和することにより、子育て支援に貢献した。																											
		児童手当	687,135	国庫支出金 286,823 (286,926) 県支出金 200,023 (200,084) 一般財源 200,289 (200,125)	児童手当 (延児童数) 被用者 13,092人 122,410,000円 非被用者 7,432人 69,645,000円 特例給付 122人 1,155,000円 小学校修学前特例給付 被用者 50,611人 305,330,000円 非被用者 30,287人 188,595,000円 計 101,544人 687,135,000円	小学校終了前までの児童養育家庭における、生活の安定と、次代を担う児童の健全育成と資質の向上に資することができた。																											
						(負担率)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">児童手当</th> <th rowspan="2">特例給付</th> <th colspan="2">小学校終了前特例給付</th> </tr> <tr> <th>被用者</th> <th>非被用者</th> <th>被用者</th> <th>非被用者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>8/10</td> <td>1/3</td> <td>10/10</td> <td>1/3</td> <td>1/3</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>1/10</td> <td>1/3</td> <td>0</td> <td>1/3</td> <td>1/3</td> </tr> <tr> <td>市</td> <td>1/10</td> <td>1/3</td> <td>0</td> <td>1/3</td> <td>1/3</td> </tr> </tbody> </table>		児童手当		特例給付	小学校終了前特例給付		被用者	非被用者	被用者	非被用者	国	8/10	1/3	10/10	1/3	1/3	県	1/10	1/3	0	1/3	1/3	市	1/10	1/3	0
	児童手当		特例給付	小学校終了前特例給付																													
	被用者	非被用者		被用者	非被用者																												
国	8/10	1/3	10/10	1/3	1/3																												
県	1/10	1/3	0	1/3	1/3																												
市	1/10	1/3	0	1/3	1/3																												

(3) 民生費

(3) 児童福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
105 } 107	4 児童育成費	私立保育所運営費負担金	2,448,013	国庫支出金 886,176 (895,792) 県支出金 447,122 (447,896) その他 423,546 一般財源 691,169 (680,779)	法人立保育所 36園 2,448,013,480円 入所延人員 28,563人(月平均2,380人) 負担割 支弁額-国基準徴収金 = 基本額 国庫負担：基本額×1/2 県費負担：基本額×1/4	児童福祉の中心的な担い手である、法人立保育所の健全運営が図られたことで、入所児童の福祉向上に寄与した。
107 } 108	5 児童館費	地域組織活動育成費補助金	840	県支出金 560 一般財源 280	(助成実績) 180千円×4団体 = 720千円 120千円×1団体 山口母親地域活動クラブ 44人 楠浦母親地域活動クラブ 41人 二江児童館ファミリークラブ 地域活動 63人 NPO法人つわの花 33人 あげぼの母親クラブ 30人 計 211人 補助率 県2/3	各児童館単位で結成されている地域組織活動クラブ(母親クラブ)への助成を行うことにより、児童館との連携を図りながらの活動の活性化が図られ、児童の健全育成に寄与した。
		民間児童館活動事業補助金	3,000	県支出金 2,000 一般財源 1,000	実施数 1ヶ所 3,000,000円 補助率 県2/3	自然体験活動や子どもボランティア育成支援、児童健全育成支援など、民間児童館の創意工夫・柔軟な対応等の特色を生かし、地域の実情・需要に応じた活動を行うことで、地域児童の健全育成に寄与した。
		児童福祉施設併設型民間児童館事業補助金	10,261	県支出金 6,840 一般財源 3,421	実施数 1ヶ所 10,261,000円 補助率 県2/3	保育園に併設した児童館において、児童福祉施設の専門的な養育機能を活用して、各種児童健全育成事業、子育て相談援助活動、各種子育て支援サービスの利用促進等を実施することで、児童館事業の活性化を図ることに寄与した。

(3) 民生費

(4) 生活保護費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
110	2 扶 助 費	生活保護費	783,795	国庫支出金 (現年度) 594,803 (過年度) 6,691 県支出金 11,075 一般財源 171,226	<u>生活扶助</u> 衣食その他日常生活の需要を満たすために必要な扶助 延 3,835世帯(月 319.6世帯) 延 5,101名(月 425.1名) 202,635,986円 <u>住宅扶助</u> 家賃・地代・家屋の補修等住宅維持のために必要な扶助 延 2,301世帯(月 191.8世帯) 延 3,042名(月 253.5名) 39,908,453円 <u>教育扶助</u> 教材・学用品・給食その他義務教育に伴って必要な扶助 延 191世帯(月 15.9世帯) 延 305名(月 25.4名) 2,635,380円 <u>医療扶助</u> 病気の治療等に必要な扶助(現物給付) 延 3,102世帯(月 258.5世帯) 入院 延 708名(月 59.0名) 入院外 延 3,841名(月 320.1名) 442,548,838円 <u>介護扶助</u> 介護サービスを受けるために必要な扶助(現物給付) 延 659世帯(月 54.9世帯) 延 665名(月 55.4名) 8,768,291円 <u>出産扶助</u> 出産に伴う分娩に必要な扶助 0件 0円 <u>生業扶助</u> 生業・技能習得・就職支度・高校就学のために必要な扶助 生業費 1名 75,000円 高校就学費 13名 2,679,761円 2,754,761円 <u>葬祭扶助</u> 死亡に伴う葬祭に必要な扶助 9件 1,594,201円	資産、能力、扶養及び他法、他施策を活用してもなお最低生活維持が困難な者に対し、生活困窮の程度や生活保護基準に基づき、生活、住宅、教育、医療、介護、出産、生業、葬祭及び施設事務費などの必要な扶助を行い最低限度の生活を保障することにより、処遇の充実及び自立助長の推進が図られた。 国庫負担金 補助率 7.5/10 返還金・徴収金調定額：13,599,732円 $(783,795,430 - 13,599,732) \times 7.5/10 = 577,646,773$ 円 19年度交付決定額 594,803,000円 $594,803,000 - 577,646,773 = 17,156,227$ 円 (精算により20年度返還) <u>保護施設事務費</u> 保護施設に対する入所委託事務費 天草園 延 397名(月 33.1名) 千草寮 延 24名(月 2.0名) 銀杏寮 延 36名(月 3.0名) 野坂の浦荘 延 36名(月 3.0名) 真和館 延 3名(月 0.3名) 82,949,520円 合計 783,795,430円

(3) 民生費

(5) 災害救助費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
110	1 災害救助費	災害見舞金	530	その他 530	(内訳) (火災) 住宅全焼・全損(持家) 5件×100,000円 住宅一部損壊(持家) 3件×10,000円 <hr/> 合計 530,000円	罹災者、またはその遺族に対する災害見舞金、弔慰金又は障害見舞金を支給することにより、罹災者の心を癒し、福祉の増進に寄与することができた。

(4) 衛生費

(1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果												
110 } 112	1 保健衛生総務費	健康づくり推進事業	4,535	県支出金 3,570 一般財源 965	<p>【健康増進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康増進計画の策定 市民一人ひとりが日々の生活習慣を見直し、自分の生活のあり方を考え、健康を増進し、疾病の発病を予防する「一次予防」に重点をおいた健康づくりを推進する。 食育推進計画の策定 子どもから大人まで市民一人ひとりが食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけるとともに地域の産物や食文化について理解を深め、健全で豊かな食生活を実践する人を育む。 天草市健康づくり審議会（4回開催） 平成19年5月30日設置 委員：25名 計画書作成 天草市健康増進計画書 300部（概要版：4万枚） 天草市食育推進計画書 350部（概要版：4万枚） <p>(事業費内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>報酬・費用弁償</td> <td>513,180円</td> </tr> <tr> <td>計画作成委託料</td> <td>1,991,427円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>1,721,895円</td> </tr> <tr> <td>郵便料</td> <td>189,395円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>119,426円</td> </tr> <tr> <td></td> <td><hr/>4,535,323円</td> </tr> </table>	報酬・費用弁償	513,180円	計画作成委託料	1,991,427円	印刷製本費	1,721,895円	郵便料	189,395円	消耗品費	119,426円		<hr/> 4,535,323円	<p>市民の健康づくりを総合的に推進するために、天草市健康づくり審議会を設置し、健康づくり及び疾病予防、健康増進計画や食育推進計画の策定・進捗管理や献血の推進に関するもののほか、必要な事項の審議を行った。</p> <p>市民へのインタビュー、アンケートや熊本大学の専門的支援を受けながら策定した「健康増進計画・食育推進計画」により、「自分の健康は自分でつくり守る」という市民の意識付けを行うことが出来た。</p> <p>今後は、この計画を基に、住民自治組織や関係団体などと連携を図りながら健康づくりを推進していく。</p>
報酬・費用弁償	513,180円																	
計画作成委託料	1,991,427円																	
印刷製本費	1,721,895円																	
郵便料	189,395円																	
消耗品費	119,426円																	
	<hr/> 4,535,323円																	
		健康フェスタ事業	467	一般財源 467	<p>開催日：平成19年6月9日（土） 参加者：700人</p> <p>「生活習慣病の予防」をテーマとした健康フェスタを開催</p> <p>対象：乳幼児から成人・高齢者まで</p> <p>内容：歯科検診・歯垢染め出し・ブラッシング フッ素塗布・骨硬度測定・食生活チェック 体力測定・運動紹介・健康相談など各種の体験コーナー</p>	<p>生活習慣病予防のためには、若年・壮年層など早い時期から健康に関する意識付けが重要になる。「歯」・「骨」等をテーマに歯科検診やブラッシングの体験、骨硬度測定や体力に合わせた筋力アップのための運動紹介等を行った。自分の歯や骨の状態を知り、う蝕・歯周疾患・骨粗鬆症を予防するための生活を知るきっかけとなり、若い時期からの健康について考える機会となった。</p>												

(4) 衛生費

(1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
110 } 112	1 保健衛生総務費	健康フェスタ事業 (つづき)			(事業費内訳) 講師等謝礼 156,500円 消耗品費 245,414円 印刷製本費 65,205円 467,119円	
		健康運動事業	4,529	一般財源 4,529	健康運動事業 教室：15 登録者：230人 延参加者：10,853人 (事業費内訳) 消耗品費 537,371円 指導委託料 1,443,750円 備品購入費 2,518,030円 会場借上料他 30,000円 4,529,151円	生活習慣病及び介護予防を行うため、個人の体力に合わせた筋力アップ運動、エアロバイク・ウォーキングによる有酸素運動等の指導を行い、運動の必要性と自分にあった運動の方法がわかり、自分の健康のために、継続して運動するという意識付けを図ることができた。
		在宅当番医制運営事業	2,794	一般財源 2,794	在宅当番医制運営委託料 2,794,000円	休日・夜間における急病患者的第1次救急体制の充実が図られた。
		食生活改善事業	2,846	一般財源 2,846	食生活改善推進員協議会への委託料及び補助金 会員：351人 地区活動 238回 (事業費内訳) 食生活改善推進事業委託料 1,723,143円 食生活改善推進員協議会 1,084,000円 運営費補助金 消耗品費 38,754円 2,845,897円	市民の健康づくりのための、天草市食生活改善推進員協議会に事業を委託し、推進員自らの資質向上を目的とした学習会の開催と、その学びを地域へ広めるための活動を展開し、食生活を中心とした生活習慣改善普及が図られた。
		病院群輪番制病院運営事業 費補助金	23,799	その他 8,244 一般財源 15,555	医療機関運営費補助金 23,799,020円 上天草総合病院、河浦病院、牛深市民病院、福本病院、天草地域医療センター、天草中央総合病院、苓北医師会病院、苓北病院、済生会みすみ病院	休日・夜間における入院治療を必要とする重症救急患者対策としての第2次救急医療体制の充実が図られた。

(4) 衛生費

(1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果										
110 } 112	1 保健衛生総務費	離島等医療・福祉推進モデル事業	3,525	国庫支出金 3,525	<p>【離島等医療・福祉推進モデル事業】</p> <p>水俣病の被がい者及び家族、地域住民が安心して暮らしていけるように、当該地域の医療、福祉レベルを向上させるための方策の検討に資することを目的として、神経症状の緩和や運動障害等の改善維持につながるリハビリテーション等をモデル事業として実施。</p> <p>実施場所：天草市御所浦町横浦島 参加者：90名</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">94,200円</td> </tr> <tr> <td>指導委託料</td> <td style="text-align: right;">2,779,350円</td> </tr> <tr> <td>機械借上料</td> <td style="text-align: right;">283,127円</td> </tr> <tr> <td>土地建物借上料</td> <td style="text-align: right;">368,340円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">3,525,017円</td> </tr> </table>	旅費	94,200円	指導委託料	2,779,350円	機械借上料	283,127円	土地建物借上料	368,340円		3,525,017円	健康機器を利用し、専門的な知識を有する者（理学療法士又は健康運動指導士）が定期的に身体機能評価を行い、併せて集団及び個別プログラムに基づき必要なりハビリテーションを提供することで、対象者の症状の緩和、介護予防及び日常生活の向上が図られた。
旅費	94,200円															
指導委託料	2,779,350円															
機械借上料	283,127円															
土地建物借上料	368,340円															
	3,525,017円															
112 } 113	2 予 防 費	予防接種事故対策事業	7,019	県支出金 5,294 一般財源 1,725	<p>【事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 種痘接種後遺症 1 件（昭和46年支給開始） 障害年金、医療手当等 ・ 日本脳炎後遺症1件（平成12年支給開始） 養育年金、医療手当等 <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>扶助費</td> <td style="text-align: right;">6,997,240円</td> </tr> <tr> <td>償還金利子及び割引料</td> <td style="text-align: right;">21,833円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">7,019,073円</td> </tr> </table>	扶助費	6,997,240円	償還金利子及び割引料	21,833円		7,019,073円	対象者・児の生活の維持・健康の保持が図られた。				
扶助費	6,997,240円															
償還金利子及び割引料	21,833円															
	7,019,073円															
		予防接種事業	95,067	一般財源 95,067	<p>【事業の概要】</p> <p>予防接種法に基づく予防接種の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者（個別接種） インフルエンザ 14,342人 ・ 児童・生徒（個別接種） 二種混合（小6）799人 日本脳炎（小4） 接種勸奨差し控え中 ・ 乳幼児（個別接種） 三種混合 延2,871人 	<p>ポリオの予防接種を除き、個別接種体制で実施。そのことにより、対象児・者が体調の良い時にかかりつけ医のもとで安全に接種を受けることが出来た。</p> <p>また、65歳以上の高齢者等を対象に、インフルエンザ予防接種を実施し感染症予防を図られた。</p> <p>日本脳炎については、平成17年度からの積極的接種勸奨の差し控え中のため、接種者数がほとんどない状況である。</p>										

(4) 衛生費

(1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
112 ） 113	2 予 防 費	予防接種事業 (つづき)			MR1期(単ワクチン含)690人 MR2期(単ワクチン含)752人 日本脳炎 13人 接種勧奨差し控え中 ・乳幼児(集団接種) ポリオ 1,188人 (事業費内訳) 報酬 3,839,640円 需用費 2,330,605円 役務費 221,051円 委託料 88,676,064円 95,067,360円	児童の予防接種については、学校との連携による接種勧奨を行い、乳幼児については他の母子保健事業の機会を通じ、適した時期に接種する事の重要性の説明や、接種勧奨に努めた。また、医療機関との連携の強化により、高い接種率となった。
		結核予防事業	3,701	一般財源 3,701	【事業の概要】 ・BCG接種 685人 (対象児は生後6か月未満まで) ・レントゲン間接撮影 5755人 (対象者は65歳以上) (事業費内訳) 委託料 3,701,240円	接種体制の整備や周知の強化を行うとともに、3・4ヶ月児健診と同時に実施することで、適した時期での高い接種率となった。 対象者への周知の徹底により、接種率向上が図られた。
113	3 保健センター費	天草中央保健福祉センター	8,835	一般財源 8,835	【施設の維持管理】 ・天草中央保健福祉センターの維持管理に係る経費 (事業費内訳) 施設維持管理手数料 311,180円 施設保守点検等委託料 1,013,808円 光熱水費 4,183,046円 複写機等使用料 557,928円 消耗品費・燃料費他 2,375,695円 修繕料 393,246円 8,834,903円	天草中央保健福祉センター敷地内の外柵フェンス及び水道計メーター収納蓋の老朽化による破損、腐食のため国道歩道側の一部を改修し、歩行者の安全と事故防止及び施設の整備が図られた。

(4) 衛生費

(1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
113	3 保健センター費	天草東保健福祉センター	3,384	一般財源 3,384	【施設の維持管理】 ・天草東保健福祉センターの維持管理に係る経費 (事業費内訳) 施設維持管理手数料 139,540円 施設保守管理等委託料 1,629,278円 清掃用具等使用料 232,864円 庁用器具類購入費 98,740円 消耗品費、燃料費 437,822円 修繕料 846,195円 3,384,439円	老朽化のため更新を必要とする設備が多い中、本年度は、高圧受変電設備の更新及び、各種の修繕を行い、センター運営に支障が生じないよう、施設整備を図ることができた。
		有明保健センター		1,116	一般財源 1,116	【施設の維持管理】 ・有明保健センターの維持管理に係る経費 (事業費内訳) 施設維持管理手数料 67,300円 施設管理委託料 182,152円 光熱水費 498,535円 修繕費 326,298円 消耗品費・燃料費他 41,705円 1,115,990円
113 114	4 母子保健費	母子保健事業	20,823	一般財源 20,823	【事業の概要】 児の順調な発育・発達と親が安心して子育てできるため、妊娠から出産・育児にいたるすべての時期に必要な知識の習得や相談の場等を提供。 ・母子健康手帳の交付 682人 中央 452人、東 105人、西 125人 ・母親学級 中央 3課 4クール 53人(延101人) 東 1課 4クール 4人(延 4人) 西 2課 4クール 30人(延 45人)	各母子保健事業における支援により、子どもの健全な発育・発達の促進や保護者の不安の軽減及び健康の保持増進が図られた。 母子健康手帳の交付を各保健福祉センター及び各支所で随時行うことにより、交付を受けやすい体制が確保できた。また、医療機関との連携により妊娠11週以下の交付が80.9%と高く、早期から母子の健康管理が図られた。 妊婦を対象に、妊娠中を健康に過ごし、出産へ向けての準備や仲間作りを目的として実施し、出産に向けての必要な知識を得ることができ、不安の軽減や仲間づくりを図ることができた。

(4) 衛生費

(1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
113 }	4 母子保健費	母子保健事業 (つづき)			・ 母親の心のケア推進事業 要フォロー者 72人	産婦人科と連携し、産後うつへのスクリーニングを実施し、支援が必要な産婦には、家庭訪問等を行い産後うつへの予防や悪化防止を図ることができた。
114					・ 妊婦健康診査 前期 668人 後期 617人 超音波 108人 精密健診 341人	妊婦健康診査受診票の交付時に、妊婦に対し安全な分娩ができるように妊婦健康診査の受診を促し、健診に係る費用の一部を助成することにより、妊婦の健診に係る経済的負担の軽減が図られた。
					・ 健康相談 定期 中央72回、東72回、西 60回 不定期 中央50回、東91回、西247回 定期・不定期(延数) 中央760人、東296人、西147人 電話相談 中央2,534人、東259人、西538人	定期の健康相談は、旧市町単位で実施。また、各保健福祉センターでは、来所や電話による対応を随時おこない、対象の相談に個別で対応することで、不安の軽減等が図られた。
					・ 乳幼児健康診査 3・4ヶ月児健診(48回) 対象児 699人 受診者 701人 7・8ヶ月児健診(36回) 対象児 706人 受診者 689人 1歳6ヶ月児健診(30回) 対象児 738人 受診者 694人 3歳児健診(30回) 対象児 776人 受診者 728人	身体発育、栄養状態、精神・運動発達などの確認をし、異常の早期発見や早期対応等につなげることができた。また、保健・栄養・歯科指導等を行うことにより、育児支援が図られた。また、乳幼児健康診査時にあわせて、親が子どもとふれあう方法を知る機会として「ブックスタート事業(本の読み聞かせ)」を行った。健診以後、家庭での読み聞かせの状況も高くなっており、事業の効果が図られた。
					・ 訪問指導 中央 470人(延661人) 東 196人(延267人) 西 438人(延526人)	他の事業や関係機関と連携が図れたことにより、早期から個別支援ができた。
					・ 育児学級 定期(東西のみ)10回 参加者(延数)106人 不定期 44回 参加者(延数)1,615人	子どもやその保護者に対して食事や歯、疾病予防等の健康教育を実施し、正しい知識の提供や生活改善が図られた。

(4) 衛生費

(1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
113 } 114	4 母子保健費	母子保健事業 (つづき)			・思春期対策事業 中央 283人、東 443人、西 103人	学校との連携により、将来親となる思春期の生徒たちへ健康づくりに向けた支援ができた。
					・乳幼児精神発達健康診査 開催回数 18回 実人員 46人 延人員 67人 (事業費内訳) 報酬 9,335,640円 旅費 169,606円 需用費 2,115,906円 役務費 181,370円 委託料 9,007,460円 負担金補助及び交付金 13,000円 20,822,982円	乳幼児健康診査等でフォローが必要となった児に対して、検査などを行い、専門機関への受診や療育につなげることができ、児の順調な発育・発達が図られた。
114 } 115	5 老人保健費	人間ドック事業	24,556	一般財源 24,556	5年ごとの節目に人間ドックを受けることで、地域健診及び施設健診よりも充実した、精度の高い検査を受けられ、疾病の早期発見・治療・予防を行った。 ・対象者：35・40・45・50・55・60・65・70歳 (平成20年4月1日を基準とした満年齢) ・受診者数：884人	人間ドック実施の初年度であったが、884人という多くの方に受診頂き、疾病の早期発見・治療・予防につなげることができた。
		成人健診事業	253,380	国庫支出金 15,906 県支出金 17,937 その他 59,500 一般財源 160,037	合併後、旧市町各々の方法で実施してきた健診体制を統一化するため、以下の見直しを行った。 ・受診機会の拡大を図るため、施設健診の広域化を実施した。 ・健診業務の効率化を図るため、地域健診の委託機関を見直した。	基本健康診査及び各種がん検診の実施により、疾病の早期発見・治療・予防が図られた。 また、健康相談・健康教育・訪問指導・健康手帳の交付等の保健事業を総合的に実施したことで、住民の疾病予防、健康保持への意識向上を図ることができた。

(4) 衛生費

(1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
114 }	5 老人保健費	成人健診事業 (つづき)			【各種健(検)診受診者数】 (人)	【各種健(検)診事業】
115					基本健診 10,205	健康のしおり・希望調査・健診チラシの配布や広 報誌による周知を行い、前年度よりも多くの方に受 診頂いた。
					骨粗しょう症検診 2,341	【健康指導事業】 健康手帳については、各保健センター、支所・健 診窓口等で交付し、健康意識の高揚が図られた。 健康相談については、随時電話相談や健診結果説 明会での実施により、多くの相談件数へ対応するこ とができた。 また、健康教育については、65歳未満の世代に対 して、生活習慣病(メタボリックシンドローム・糖 尿病・高脂血症)を中心に、集団及び個別健康教育 を実施することで、自らの健康に対する意識付けを 喚起できた。 さらに、訪問指導については、住民からの相談 や、健診後の事後指導、精密検査未受診者等の要指 導者への訪問を実施し的確な指導を行うことができ た。 【熊本県健康管理事業】 健康診査については、地域健診の中で実施した基 本健康診査を、当該事業の健康診査として行った。 事後指導及び健康相談では、健康診査の結果、要 指導以上の者のうち、希望する者を対象に、運動プ ログラムの提供と併せて、自宅でできる運動方法の 実践紹介を8回開催し、参加者(12名)への健康に 対する意識付けの向上と、身近でできる健康運動の 浸透を図ることができた。
					肝炎ウイルス検診 536	
					歯周疾患検診 552	
					人間ドックで実施	
					胃がん検診 6,829	
					大腸がん検診便潜血検査 9,271	
					大腸がん検診内視鏡検査 498	
					子宮がん検診 4,629	
					乳がん検診 6,002	
					腹部超音波検診 10,418	
					肺がん検診 9,529	
					60,810	
					【健康指導事業実績】 (人)	
					健康手帳交付 2,414	
					健康相談 8,142	
					健康教育 9,615	
					訪問指導 613	
					精神保健相談 169	
					20,953	
					【熊本県健康管理事業】 (人)	
					健康診査(40歳以上) 204	
					健康診査(39歳以下) 8	
					個別事後指導 4日間	
					事後指導及び健康相談 8日間	
					(事業費内訳)	
					旅費 131,815円	
					需用費 1,653,521円	
					役務費 4,982,044円	
					委託料 246,288,313円	
					使用料及び賃借料 323,790円	
					253,379,483円	

(4) 衛生費

(1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果												
115	6 乳幼児医療費	乳幼児医療費	186,480	県支出金 32,007 一般財源 154,473	<p>【助成対象】 就学前までの全医療費の一部負担金を助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4歳未満 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>入院</td> <td style="text-align: right;">857件</td> </tr> <tr> <td>入院外</td> <td style="text-align: right;">58,528件</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">59,385件</td> </tr> </table> ・ 4歳以上 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>入院</td> <td style="text-align: right;">174件</td> </tr> <tr> <td>入院外</td> <td style="text-align: right;">33,310件</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">33,484件</td> </tr> </table> <p>(事業費内訳) 扶助費(助成額) 186,399,870円 事務費 80,068円 186,479,938円</p>	入院	857件	入院外	58,528件		59,385件	入院	174件	入院外	33,310件		33,484件	<p>熊本県の乳幼児医療費助成事業補助金制度では、3歳までの入院・外来及び4歳から就学前までの多子世帯の入院を対象とし、一定以上所得がある者については、補助対象外となっている。</p> <p>本市の場合は、子育て支援、少子化対策の視点から県の基準を取り除いた制度として、子育て世代の負担軽減を図った。</p>
入院	857件																	
入院外	58,528件																	
	59,385件																	
入院	174件																	
入院外	33,310件																	
	33,484件																	

(4) 衛生費

(2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
115 ） 116	1 環境総務費	給水施設未整備地域調査事業	2,940	県支出金 2,900 一般財源 40	【給水施設未整備地域の調査】 旧本渡市（平成17・18年度）において調査を実施した残りの市内全域の飲用水の状況調査。 調査対象数：小規模水道組合32箇所(435世帯) 自家用水道利用者(427世帯) 水質検査：40検体(小規模32・自家用8) (事業費内訳) 委託料 2,940,000円	水質汚染等が危惧される上水道・簡易水道区域以外の飲用水等の状況を、アンケート調査と現地調査により水質の分析及び台帳の整備を実施し、報告書を作成した。今後の上水道の拡張計画との整合を図りながら、安全な飲用水の確保を図るための資料として活用していく。
		狂犬病予防事業	981	その他 981	【狂犬病予防事業】 狂犬病の発生、まん延を未然に防ぐため5月に狂犬病予防注射（集合注射）を行う。 犬の登録台帳により犬の管理を行う。 未注射犬所有者に対して督促のハガキを送付。 (事業費内訳) 賃金 228,000円 需用費 431,126円 役務費 320,900円 980,026円	狂犬病予防注射（集合注射）を実施し、未注射犬所有者には督促のハガキを送付し注射接種率向上を図った。 犬の登録・管理を継続的に行っている。 新規登録頭数 505頭 全登録頭数 4,889頭 注射済頭数 3,824頭 注射接種率 78% 鑑札再交付頭数 4頭 注射済票再交付頭数 1頭
116 ） 117	2 環境対策費	生活排水対策事業	277	一般財源 277	【生活排水対策事業】 生活排水対策普及啓発指導員を設置し、指導員が各々取り組む年間計画の策定、市が行う指導員研修会及び報告会の開催、指導員の地域での生活排水対策に関する実践活動を通じて、啓発に努める。これらの排水対策を講じることにより、川や海の水環境の保全を図る。 指導員の配置：19名(本渡地区13名・牛深地区6名) (事業費内訳) 報償費 190,000円 需用費 86,510円 276,510円	19名(本渡地区13名・牛深地区6名)の生活排水対策普及啓発指導員を委嘱し、次の様な活動を実施した。 1. 指導員研修会(2回/年) 2. 河川(本渡牛深地域)の水質調査の実施(1回/月) 3. 各地域で児童館・小学校・婦人会等のグループを通じた啓発活動の実施。 4. 19年度実績報告会 3月の年度実績報告会では、各指導員から地域で実施した様々な取り組みが報告され、住民の生活排水に対する浄化意識の啓発を図ることができた。

(4) 衛生費

(2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
116 ） 117	2 環境対策費	住宅用太陽光発電システム 設置補助金	9,643	一般財源 9,643	【住宅用太陽光発電システム補助金】 太陽電池1kW当たり 50,000円 上限 200,000円 補助件数 57件 最大発電出力総計 205.22kW (事業費内訳) 補助金 9,643,000円	住宅用太陽光発電システムを設置したのに対し、システムの能力に応じた補助金を交付することで、新エネルギーを積極的に導入し、地球温暖化をはじめとした環境悪化の軽減を図れた。 (H17～H19の実績 169件)
		五和風力発電施設維持補修 事業	20,062	一般財源 20,062	【五和風力発電施設事業】 風力発電余剰電力売電収入 609,336円 (事業費内訳) 需用費 5,166,000円 役務費 92,538円 委託料 357,204円 賃借料 165,840円 工事請負費 14,280,000円 20,061,582円	平成18年度からの繰越事業として、風力発電施設の回転翼や遠隔パネルの修繕工事を行った。工事完了後順調な運転を行っていたが、落雷により風車が停止。修繕工事を実施したものの、再度の落雷で再び停止した。 新エネルギーの活用と施設を利用した環境教育を図るためにも、早期の復旧が必要であるが、維持管理費用等が莫大となる恐れがあり、今後の風車活用のあり方について慎重な検討が必要である。
		ISO14001認証取得事業	1,310	一般財源 1,310	【ISO14001認証取得事業】 ISO14001認証維持 1,309,150円 (事業費内訳) ISO講座料 550,000円 ISO審査受講料 759,150円 1,309,150円	平成14年12月 旧本渡市がISO14001の認証取得。合併後、全支所へ取組みの範囲を拡大し継続して認証を受けている。 環境保全活動の効果的推進及び環境負荷の軽減、職員の意識高揚が図れた。
		菜の花プロジェクト事業	1,727	一般財源 1,727	【菜の花プロジェクト事業】 (事業費内訳) 旅費 17,600円 需用費 424,566円 役務費 808,500円 委託料 291,000円 補助金 184,800円 1,726,466円	一般家庭から廃食用油を回収し、ゴミ収集車と給食配送車及び移動図書館車に使用し、ゴミの減量と資源化及び水質汚濁の防止、排気ガスによる大気汚染防止が図られた。また、菜の花から菜種を採取し、搾油して学校給食で使い、使用後の廃油を回収して、公用車の燃料に使用することで、子供達に環境教育と併せて食育を行うことができた。 更に、宮地岳地区において「第1回天草菜の花まつり」を開催し、本プロジェクトを広く市民にPRすると共に環境問題に対する意識の高揚が図れた。

(4) 衛生費

(2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
116 ） 117	2 環境対策費	環境実態調査事業	2,258	県支出金 2,200 一般財源 58	<p>【天草市大気環境測定調査業務委託】</p> <ul style="list-style-type: none"> 測定地点数 4地点 調査項目 窒素酸化物 浮遊粒子状物質 <p>(事業費内訳) 委託料 787,500円</p> <p>【天草市交通騒音測定調査業務委託】</p> <ul style="list-style-type: none"> 測定地点数 4地点 調査項目 交通騒音レベル 交通量 <p>(事業費内訳) 委託料 451,500円</p> <p>【天草市河川水質調査業務委託】</p> <ul style="list-style-type: none"> 測定箇所数 65箇所 調査項目 生活環境項目(58箇所) 健康項目(7箇所) <p>(事業費内訳) 委託料 808,500円</p> <p>【天草市環境実態報告書印刷】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数量 300冊(18年度調査分) <p>(事業費内訳) 需用費(印刷製本費) 210,000円</p>	<p>平成19年度の結果は4地点共に環境基準値以下であった。今後経年変化について把握するため、継続して調査を実施し実態調査報告として整理する。</p> <p>交通騒音は主に自動車走行音であり、全ての地点で環境基準を超えていた。また、交通量調査においては8～9時、17～19時の交通量の増加がみられた。今後経年変化について把握するため、継続して調査を実施し実態調査報告として整理する。</p> <p>市内全域の主要河川について調査を実施した。生活環境項目のBODは58地点中43地点で環境基準(A類型2mg/L)を下回っていたが、大腸菌群数は41地点で基準(A類型1,000MPN/100ml以下)を上回っていた。原因について究明する必要がある、今後継続して調査を実施する。</p> <p>BOD：生物化学的酸素要求量。水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素の量。数値が上がれば汚濁していることになる。 大腸菌群数：一般に人畜の腸管内に存在するもので、水中に存在することはその水が人畜のし尿の汚染を受けた可能性があることを示している。</p> <p>上記3つの調査を含め、本市環境の現状・分析を行い報告書を作成し、関係機関、市内小中学校などへ配布した。また、収集したデータは今後の本市環境施策の資料として活用する。</p>

(4) 衛生費

(2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
116 ↳ 117	2 環境対策費	バイオマスタウン事業	4,095	国庫支出金 2,000	【バイオマスタウン事業】 バイオマスタウン構想の策定、環境審議会の開催等 (事業費内訳) 報酬 264,000円 旅費 361,619円 需用費 637,962円 役務費 94,773円 委託料 2,628,609円 賃借料 107,850円 4,094,813円	有機性の資源であるバイオマスをも有効に活用して「環境にやさしいまちづくり」を推進するために「天草市バイオマスタウン構想」を策定した。本構想は農林水産省のホームページを介して公表され、また、市のホームページにも掲載して広く市民に啓発する。今後は本構想を基に基本計画等を作成し、構想実現に向けた取組を展開していく。
		一般財源 2,095				
		環境教育推進事業		150		
		浄化槽設置整備事業	94,937	国庫支出金 25,765 県支出金 24,770 一般財源 44,402	【浄化槽設置整備事業補助金】 補助金額 5人槽 418,000円 7人槽 521,000円 10人槽 687,000円 平成19年度(設置基数) 5人槽 115基 48,070,000円 7人槽 86基 44,806,000円 10人槽 3基 2,061,000円 計 204基 94,937,000円	浄化槽を設置することで生活排水による公共用水域の水質汚濁防止を図り、生活環境の保全に務めた。 (H19年度設置内訳及び普及人口)

区域	設置基数	普及率
本渡	58基	174人
牛深	61基	192人
有明	19基	63人
御所浦	11基	37人
栖本	4基	13人
五和	38基	119人
河浦	13基	39人
計	204基	637人

(4) 衛生費

(2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
117 3 120	3 塵芥処理費	塵芥収集業務委託	228,094	その他 152,833 一般財源 75,261	<ul style="list-style-type: none"> 収集委託業者 15社 19年度収集量 <ul style="list-style-type: none"> 燃やせるゴミ 20,692 t 燃やせないゴミ 2,141 t 資源物 4,599 t <hr/> 27,432 t <ul style="list-style-type: none"> 委託料 228,093,651円 	可燃ゴミ、不燃ゴミ、資源物収集運搬業務を委託し、収集の効率化が図られた。
		ゴミ処理施設整備事業		46,192	地方債 40,300 一般財源 5,892	【牛深クリーンセンター施設整備工事】 22,785,000円 (1) ゴミクレーン計重計等取替補修工事 (5,323,500円) (2) 1号、2号誘引送風機等補修工事 (2,310,000円) (3) NO.2焼却灰搬出装置更新工事 (13,860,000円) (4) 1号、2号焼却段差他耐火物補修工事 (1,291,500円)
					【御所浦クリーンセンター施設整備工事】 9,500,199円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 燃焼室及びガス冷却室耐火物補修 ・ ガス冷却室下部マンホール設置 ・ 不燃物処理資源化設備用供給コンベアベルト取替 ・ 炉室建屋開閉扉及びメンテ用換気窓設置 ・ 開閉扉・換気窓設置に伴うメンテデッキ設置 ・ ろ過式集塵機用ろ布及び保温材料取替 ・ ゴミビット床面コンクリート補修 ・ ゴミ投入バケット更新3基 ・ ガス冷却用噴射ノズル整備等 	各施設の整備工事等を行うことで、施設の機能維持及び保全等が図られた。

(4) 衛生費

(2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																									
117 ┆ 120	3 塵芥処理費	ゴミ処理施設整備事業 (つづき)			【西天草クリーンセンター営繕工事】 13,906,763円 (1) 1号炉誘引通風機補修工事 (1,995,000円) (2) 1号、2号炉給塵プッシャー補修工事 (1,207,500円) (3) 巻式テント設置工事 (99,225円) (4) 焼却炉本体耐火物及び 1号、2号炉ガス冷却室耐火物補修工事 (6,405,000円) (5) 1号、2号炉後焼却口ストル補修工事 (2,268,038円) (6) ガス固化装置補修工事 (1,932,000円)	各施設の整備工事等を行うことで、施設の機能維持及び保全等が図られた。																									
		ゴミ処理施設運営管理	155,649	一般財源 155,649	牛深クリーンセンター(平成4年4月稼働) ・焼却処理施設(処理能力:36t/日) ・粗大ゴミ処理施設(処理能力:10t/5h) ・事業費内訳 人件費(嘱託3人) 4,448,480円 需用費 42,754,302円 (燃料費、修繕料等) 役務費 851,790円 委託料 9,486,111円 焼却灰等運搬車購入等 7,877,298円 65,417,981円	施設の適正な管理運営及び設備機器等の機能維持により、牛深地区の可燃、不燃ゴミ、資源物の適正な処理等が図った。 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>処理量:t</th> <th>H16</th> <th>H17</th> <th>H18</th> <th>H19</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃</td> <td>6,373</td> <td>6,800</td> <td>5,764</td> <td>5,815</td> </tr> <tr> <td>不燃</td> <td>427</td> <td>627</td> <td>284</td> <td>301</td> </tr> <tr> <td>資源</td> <td>651</td> <td>592</td> <td>719</td> <td>658</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,451</td> <td>8,019</td> <td>6,767</td> <td>6,774</td> </tr> </tbody> </table>	処理量:t	H16	H17	H18	H19	可燃	6,373	6,800	5,764	5,815	不燃	427	627	284	301	資源	651	592	719	658	計	7,451	8,019	6,767	6,774
処理量:t	H16	H17	H18	H19																											
可燃	6,373	6,800	5,764	5,815																											
不燃	427	627	284	301																											
資源	651	592	719	658																											
計	7,451	8,019	6,767	6,774																											
					御所浦クリーンセンター(平成4年3月稼働) ・焼却処理施設(処理能力:10t/日) ・不燃物処理資源化設備(処理能力:3t/5h) ・事業費内訳 需用費 11,394,663円 (燃料費、修繕料等) 役務費 193,842円 委託料 29,049,053円 40,637,558円	施設の適正な管理運営及び設備機器等の機能維持により、御所浦町の可燃、不燃ゴミ、資源物の適正な処理等を図った。 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>処理量:t</th> <th>H16</th> <th>H17</th> <th>H18</th> <th>H19</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃</td> <td>848</td> <td>850</td> <td>590</td> <td>601</td> </tr> <tr> <td>不燃</td> <td>36</td> <td>91</td> <td>74</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>資源</td> <td>177</td> <td>158</td> <td>231</td> <td>229</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,061</td> <td>1,099</td> <td>895</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table>	処理量:t	H16	H17	H18	H19	可燃	848	850	590	601	不燃	36	91	74	70	資源	177	158	231	229	計	1,061	1,099	895	900
処理量:t	H16	H17	H18	H19																											
可燃	848	850	590	601																											
不燃	36	91	74	70																											
資源	177	158	231	229																											
計	1,061	1,099	895	900																											

(4) 衛生費

(2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																									
117 } 120	3 塵芥処理費	ゴミ処理施設運営管理 (つづき)			西天草クリーンセンター(平成7年4月稼働) ・焼却処理施設(処理能力: 17t/日) ・不燃物処理資源化設備(処理能力: 3t/日(5h)) ・事業費内訳 人件費(臨時3人) 2,460,115円 需用費 27,525,460円 (燃料費、修繕料等) 役務費 466,004円 委託料 17,531,060円 その他 1,610,760円 49,593,399円	施設の適正な管理運営及び設備機器等の機能維持により、天草町及び河浦町で発生する可燃、不燃ゴミ、資源物の適正な処理等が図られた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>処理量: t</th> <th>H16</th> <th>H17</th> <th>H18</th> <th>H19</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃</td> <td>2,811</td> <td>2,788</td> <td>2,071</td> <td>2,158</td> </tr> <tr> <td>不燃</td> <td>223</td> <td>464</td> <td>119</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>資源</td> <td>100</td> <td>181</td> <td>344</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,134</td> <td>3,433</td> <td>2,534</td> <td>2,598</td> </tr> </tbody> </table>	処理量: t	H16	H17	H18	H19	可燃	2,811	2,788	2,071	2,158	不燃	223	464	119	90	資源	100	181	344	350	計	3,134	3,433	2,534	2,598
処理量: t	H16	H17	H18	H19																											
可燃	2,811	2,788	2,071	2,158																											
不燃	223	464	119	90																											
資源	100	181	344	350																											
計	3,134	3,433	2,534	2,598																											
120 } 121	4 廃棄物対策費	ゴミ資源化減量化対策事業	29,408	その他 29,408	資源物回収活動補助金 ・各種団体による集団回収補助金 登録団体数 127団体 1,864,930円 ・各地区自治組織による回収活動補助金 地区自治組織数 444区 10,478,600円 生ゴミ処理容器等設置事業補助金 ・コンポスト式 22基 66,000円 ・電気式 79基 1,502,300円 環境美化推進員活動謝礼 12,133,442円 ・ステーションでの分別指導に協力 607箇所 ゴミカレンダー作成 1,051,312円 ・家庭用 43,000枚、屋外掲示用 800枚	・子供会・自治会などの資源物回収活動により、環境意識の高揚と不燃ゴミの減量が図られた。 回収実績 空き缶類 7.2t 空きビン類 369,464本 古紙類 575.6t ・生ゴミ処理容器設置事業では、電気式処理機購入者79人に実施したアンケートのうち24名の回答で、80%程度の減量ができたとの回答もあり、生ゴミの減量に寄与した。 収集用コンテナ購入 2,311,497円 ・折畳ネットコンテナ 426個 ・紙布用フタ 125枚 ・表示パネル 188枚																									
		自動車リサイクル推進補助金事業	2	その他 2	自動車のリサイクル推進のために、船の輸送料の80%を助成する。 ・負担金補助及び交付金 1,880円	1件の申請と利用が少なかった。																									

(4) 衛生費

(2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果						
121 } 122	5 し尿処理費	し尿収集運搬委託	33,519	一般財源 33,519	<ul style="list-style-type: none"> 収集運搬許可業者 9社 19年度搬入実績 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>し尿</td> <td style="text-align: right;">20,230kl</td> </tr> <tr> <td>浄化槽汚泥</td> <td style="text-align: right;">29,511kl</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">49,741kl</td> </tr> </table> 委託料 33,518,811円 	し尿	20,230kl	浄化槽汚泥	29,511kl		49,741kl	し尿の衛生的な処理と公共用水域の汚濁防止に努めた。12月より委託に変更。
し尿	20,230kl											
浄化槽汚泥	29,511kl											
	49,741kl											
		し尿処理施設整備事業	41,356	地方債 41,200 一般財源 156	<ul style="list-style-type: none"> 【牛深し尿処理場整備事業】 (事業費内訳) <工事請負費> <ul style="list-style-type: none"> 予備貯留槽設置工事 14,695,140円 <委託費> <ul style="list-style-type: none"> 工事設計施工監理業務委託 488,250円 <li style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">15,183,390円 	予備貯留槽の整備により、し尿等の搬入量の増減に対応でき、一定量ずつの処理により、処理の効率化が図られた。						
					<ul style="list-style-type: none"> 【本渡衛生センター施設整備事業】 (事業費内訳) <工事請負費> <ul style="list-style-type: none"> 予備貯留槽設置工事 15,172,500円 付属設備改修工事(薬品タンク上屋根設置) 2,005,500円 <委託費> <ul style="list-style-type: none"> 工事設計施工監理業務委託 703,500円 <li style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">17,881,500円 	予備貯留槽の整備により、し尿等の搬入量の増減に対応でき、一定量ずつの処理により、処理の効率化が図られた。 薬品タンクの劣化防止及び防護。						

(4) 衛生費

(2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																									
121 } 122	5 し尿処理費	し尿処理施設整備事業 (つづき)			【本渡衛生センター管渠布設整備事業】 (事業費内訳) <工事請負費> ・瀬戸地区管渠布設工事 8,290,959円	浄化槽汚泥処理の一部について、本渡衛生センターで前処理後、公共下水道施設に投入している。この投入に係る国道324号線の配管が、仮設管(雨水渠内配管)となっていたため本工事において本布設(歩道部埋設)を行った。																									
		し尿処理施設運営管理	258,963	一般財源 258,963	牛深し尿処理場 生し尿処理施設(昭和53年4月稼働) ・処理能力: 30KL/日 ・処理方式: 焼却処理方式 浄化槽汚泥処理施設 ・処理能力: 45KL/日(平成19年2月稼働) ・処理方式: 凝集沈殿法+接触酸化法の組合せ方式 ・事業費内訳 人件費 3,707,986円 需用費 130,968,411円 (燃料費、修繕料等) 役務費 1,895,116円 委託料 7,754,016円 その他 4,276,455円 148,601,984円	施設の適正な管理運営及び設備機器等の機能維持により、牛深地区、天草町、新和町及び河浦町でのし尿・浄化槽汚泥等の適正な処理等が図られた。 (処理量) (KL) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H16</th> <th>H17</th> <th>H18</th> <th>H19</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生し尿</td> <td>4,930</td> <td>4,917</td> <td>5,381</td> <td>7,726</td> </tr> <tr> <td>浄化槽汚泥</td> <td>6,294</td> <td>6,468</td> <td>7,510</td> <td>12,649</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11,224</td> <td>11,385</td> <td>12,891</td> <td>20,375</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H16	H17	H18	H19	生し尿	4,930	4,917	5,381	7,726	浄化槽汚泥	6,294	6,468	7,510	12,649	計	11,224	11,385	12,891	20,375					
区分	H16	H17	H18	H19																											
生し尿	4,930	4,917	5,381	7,726																											
浄化槽汚泥	6,294	6,468	7,510	12,649																											
計	11,224	11,385	12,891	20,375																											
					本渡衛生センター(昭和57年4月稼働) ・施設処理能力: 46KL/日 ・処理方式: 標準脱窒素方式 ・浄化槽汚泥10KL/日施設受入 (前処理、希釈 下水道施設投入) ・事業費内訳 需用費 60,672,450円 (燃料費、修繕料等) 役務費 2,433,375円 委託料 43,927,657円 その他 3,327,600円 110,361,082円	施設の適正な管理運営及び設備機器等の機能維持により、本渡地区及び五和町でのし尿・浄化槽汚泥等の適正な処理等が図られた。 (処理量) (KL) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H16</th> <th>H17</th> <th>H18</th> <th>H19</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生し尿</td> <td>6,455</td> <td>6,216</td> <td>6,528</td> <td>8,952</td> </tr> <tr> <td>浄化槽汚泥</td> <td>6,310</td> <td>6,322</td> <td>6,377</td> <td>6,918</td> </tr> <tr> <td>下水道投入</td> <td></td> <td></td> <td>515</td> <td>2,877</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12,765</td> <td>12,538</td> <td>13,420</td> <td>18,747</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H16	H17	H18	H19	生し尿	6,455	6,216	6,528	8,952	浄化槽汚泥	6,310	6,322	6,377	6,918	下水道投入			515	2,877	計	12,765	12,538	13,420	18,747
区分	H16	H17	H18	H19																											
生し尿	6,455	6,216	6,528	8,952																											
浄化槽汚泥	6,310	6,322	6,377	6,918																											
下水道投入			515	2,877																											
計	12,765	12,538	13,420	18,747																											

(4) 衛生費

(4) 水道費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																														
123	1 水道費	小規模水道施設整備事業	6,635	一般財源 6,635	<p>【小規模水道施設整備事業】</p> <p>市内に点在する上水道・簡易水道給水区域以外の中山間地や点在集落において、渇水時期等においても安定的に飲用水を確保することを目的とする。</p> <p>【事業概要】</p> <p>水道区域及び簡易水道区域以外の区域で、2世帯以上が共同して設置する小規模水道施設に要する経費の30%以内とし、1世帯当たり10万円を限度とする。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table border="0"> <tr><td>佐伊津町明瀬地区</td><td>33,000円</td></tr> <tr><td>天草町向辺田地区</td><td>173,613円</td></tr> <tr><td>楠浦町東大平地区</td><td>69,300円</td></tr> <tr><td>河浦町上平地区</td><td>76,971円</td></tr> <tr><td>河浦町今村A地区</td><td>200,000円</td></tr> <tr><td>榑宇土町迫地区</td><td>200,000円</td></tr> <tr><td>河浦町水ノ浦地区</td><td>335,715円</td></tr> <tr><td>河浦町今村B地区</td><td>513,450円</td></tr> <tr><td>佐伊津町洲之崎地区</td><td>1,175,163円</td></tr> <tr><td>佐伊津町元地区</td><td>50,445円</td></tr> <tr><td>佐伊津町堀之内地区</td><td>697,293円</td></tr> <tr><td>佐伊津町宮口地区</td><td>446,257円</td></tr> <tr><td>佐伊津町寺の尾地区</td><td>2,663,596円</td></tr> <tr><td></td><td><hr/></td></tr> <tr><td></td><td>6,634,803円</td></tr> </table>	佐伊津町明瀬地区	33,000円	天草町向辺田地区	173,613円	楠浦町東大平地区	69,300円	河浦町上平地区	76,971円	河浦町今村A地区	200,000円	榑宇土町迫地区	200,000円	河浦町水ノ浦地区	335,715円	河浦町今村B地区	513,450円	佐伊津町洲之崎地区	1,175,163円	佐伊津町元地区	50,445円	佐伊津町堀之内地区	697,293円	佐伊津町宮口地区	446,257円	佐伊津町寺の尾地区	2,663,596円		<hr/>		6,634,803円	<p>19年度に補助金を交付した施設は、殆どが老朽化に伴う補修であった。飲用水の確保という点では、目的を果たしているが、給水施設未整備地域調査の結果からもわかるように、中山間地や点在集落を中心にイノシシ等の生物が原因と考えられる汚染が報告されており、水質の確保と、生活に欠くことのできない安全で衛生的な水の確保を図る必要がある。</p>
佐伊津町明瀬地区	33,000円																																			
天草町向辺田地区	173,613円																																			
楠浦町東大平地区	69,300円																																			
河浦町上平地区	76,971円																																			
河浦町今村A地区	200,000円																																			
榑宇土町迫地区	200,000円																																			
河浦町水ノ浦地区	335,715円																																			
河浦町今村B地区	513,450円																																			
佐伊津町洲之崎地区	1,175,163円																																			
佐伊津町元地区	50,445円																																			
佐伊津町堀之内地区	697,293円																																			
佐伊津町宮口地区	446,257円																																			
佐伊津町寺の尾地区	2,663,596円																																			
	<hr/>																																			
	6,634,803円																																			

(4) 衛生費

(5) 病院費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
124	1 病 院 費	病院会計負担金及び補助金	701,148	一般財源 701,148	病院会計負担金及び補助金 (病院別内訳) 牛深市民病院 248,706,000円 栖本病院 163,193,000円 新和病院 109,167,000円 河浦病院 180,082,000円 計 701,148,000円	救急医療や不採算医療の確保など、地域において求められる各種医療の提供や、高齢化の進む地域での身近な医療機関としての役割を果たすため、各病院の安定的な経営に努めた。
		歯科診療所特別会計繰出金	8,645	一般財源 8,645	歯科診療所特別会計繰出金 御所浦歯科診療所 8,645,000円	御所浦地域における、唯一の歯科診療機関としての役割を果たすため、その安定的な経営の確保に努めた。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
124 } 126	1 農 業 委 員 会 費	農地流動化奨励金交付事業	7,876	一般財源 7,876	〔交付基準〕 ・賃貸借により設定された利用権に関して、貸し手及び借り手を対象に交付。 ・交付単価(10a当り) 3年以上 6年未満 3,000円 6年以上 6,000円 〔交付実績〕 交付人員 466人 交付額 7,875,700円 利用権設定面積 84.7ha	認定農家等の担い手への農地の集積を促進し、農業経営の規模拡大と合理化を図るとともに、遊休地発生を抑制し優良農地の有効利用を確保することができた。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
126 ） 130	3 農業振興費	農業振興地域整備促進事業	294	一般財源 294	適正な土地利用を行うため、農業振興地域整備促進協議会により審議を行っている。 (事業費内訳) 報酬 114,000円 費用弁償 15,100円 旅費 59,400円 印刷製本費 105,420円 293,920円	農業振興地域整備計画の見直し及び農用地個別変更案件等の事務処理を行い、計画の適正な進行・管理による優良農用地の確保に努め、5年に一度の全体見直しを行った。 19年度変更協議 除外面積 25筆 151.84a 編入面積 283筆 1552.67a 用途変更面積 15筆 184.34a
		浦河町物産交流事業	108	一般財源 108	浦河町と北海道浦河町の関係は、明治4年から始まり、現在では両町での産業祭での物産交流や小中学校の交流が続いている。 浦河町産業祭に出品する柑橘類の送料及び腐敗果実の補償経費の一部を負担する。 (事業費内訳) 需用費 33,000円 通信運搬費 75,375円 108,375円	天草の柑橘類のPRを含めた販売を浦河町の産業祭で行ってもらい、その後宅配での注文を受けるなどして、販路拡大を図ることができた。 現地への柑橘類発送 315箱
		えびす特産品交流事業	40	一般財源 40	倉岳町と球磨郡多良木町は、えびす像がきっかけで交流を行っており、農林水産物や特産品の紹介、互いの祭を通じて物産の販売を行っている。 (事業費内訳) 旅費 40,425円	10月20・21日、多良木町の産業祭において、(株)倉岳とともに特産品のシモン製品の販売を行い、販路の拡大に努めた。また、平成19年度の開催日は土・日にあたったために来場者が多く完売となり、販売には倉岳支所より3名が参加した。
		市民農園事業	249	その他 249	農業者以外の市民に対し、農業に対する理解を深めてもらう場として、市内に4ヶ所の市民農園を開設し、維持管理及び栽培講習会を行っている。 市民農園開設状況 今釜市民農園 28区画 亀場市民農園 11区画 楠浦市民農園 42区画 牛深市民農園 63区画 (事業費内訳) 需用費 14,715円 市民農園借上料 234,000円 248,715円	市民に農業とふれあう機会を提供でき、農業に対する理解が深まった。 また、遊休農地の解消をすることができた。 市民農園利用状況 今釜市民農園 28区画 亀場市民農園 9区画 楠浦市民農園 11区画 牛深市民農園 51区画

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																				
126 ） 130	3 農業振興費	経営体育成促進事業 [楠浦][御領北][御領南]	2,135	県支出金 1,066 一般財源 1,069	<p>【経営体育成促進事業】 圃場整備事業の実施を契機として、担い手への農地集積を促進するとともに、将来の農業生産を担う効率的かつ安定的な経営体を育成する。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table> <tr><td>謝礼</td><td>85,000円</td></tr> <tr><td>研修費</td><td>24,800円</td></tr> <tr><td>消耗品費</td><td>587,420円</td></tr> <tr><td>燃料費</td><td>96,000円</td></tr> <tr><td>通信運搬費</td><td>30,000円</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>78,780円</td></tr> <tr><td></td><td><u>902,000円</u></td></tr> </table> <p>【単県担い手農地集積促進事業・楠浦】 楠浦地区単県担い手育成型基盤整備事業の農家借入金利子の1/6の額を県・市で1/2ずつ補助する</p> <p>(事業費内訳)</p> <table> <tr><td>県補助分</td><td>616,000円</td></tr> <tr><td>市補助分</td><td>617,000円</td></tr> <tr><td></td><td><u>1,233,000円</u></td></tr> </table>	謝礼	85,000円	研修費	24,800円	消耗品費	587,420円	燃料費	96,000円	通信運搬費	30,000円	使用料	78,780円		<u>902,000円</u>	県補助分	616,000円	市補助分	617,000円		<u>1,233,000円</u>	<p>楠浦地区の4人の担い手に対して、農地の利用集積に関する指導及び推進を図った。</p> <p>平成20年度内の法人化を目指し、営農検討委員会、先進地視察研修を実施し、農業生産組織の育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営農検討委員会 延べ2回 ・視察研修1回(長崎県諫早市) <p>楠浦地区にて取り組んでいるほ場基盤整備に関する農家の借入金利子が本補助金によって軽減された。</p>
謝礼	85,000円																									
研修費	24,800円																									
消耗品費	587,420円																									
燃料費	96,000円																									
通信運搬費	30,000円																									
使用料	78,780円																									
	<u>902,000円</u>																									
県補助分	616,000円																									
市補助分	617,000円																									
	<u>1,233,000円</u>																									
		天草空港周辺遊休農地解消事業	751	一般財源 751	<p>天草空港から市街地に向けての沿線に、ひまわり・菜の花等を作付けし、遊休農地の解消と景観の向上を図る。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table> <tr><td>委託料</td><td>665,000円</td></tr> <tr><td>使用料及び賃借料</td><td>86,470円</td></tr> <tr><td></td><td><u>751,470円</u></td></tr> </table>	委託料	665,000円	使用料及び賃借料	86,470円		<u>751,470円</u>	<p>ひまわり、菜の花を作付けし、来島者へのイメージアップ及び景観向上を図り、遊休農地の解消に努めた。</p> <p>植栽面積：1 ha</p>														
委託料	665,000円																									
使用料及び賃借料	86,470円																									
	<u>751,470円</u>																									

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
126 ） 130	3 農業振興費	ひまわり栽培委託事業	565	一般財源 565	五和町御領地区及び栖本町河童口マン館付近の農地にひまわりを作付けし、景観向上を図る。 (事業費内訳) 委託料 520,000円 使用料及び賃借料 45,000円 565,000円	ひまわりを作付けし、地域における景観意識の向上と美化の推進を行った。 植栽面積：1.9ha
		農地・水・環境保全向上活動推進交付金市町村推進事業	459	県支出金 459	農地・農業用水等の資源や農村環境を守り、地域共同活動の取り組みと環境保全に向けた先進的な共同活動を推進するため、資源を守る共同活動に対する支援、化学肥料、化学合成農薬の大幅低減などの環境にやさしい先進的な営農活動を行う集落に対する支援を行った。 (事業費内訳) 共済費 27,678円 賃金 210,900円 消耗品費 170,422円 通信運搬費 50,000円 459,000円	化学肥料、化学合成農薬の大幅低減などの環境にやさしい先進的な営農活動を行う集落において、認定基準のエコファーマー認定の推進、安心安全な作物づくりに対する意識強化を図ることができた。 ・エコファーマー認定農家数のべ484戸 ・化学肥料、化学合成農薬の大幅低減集落 15集落 ・上記の取り組みに参加する農家249戸
		地域特産物産地づくり支援対策事業	15,919	地方債 15,900 一般財源 19	【特産物処理加工施設排水処理工事】 シモン芋加工場の廃水処理施設の新設を行った。 《H18年度繰越事業》 (事業費内訳) 工事請負費 15,918,632円	シモン芋の加工をする際、濃色の排水が河川に流されていたため、日量20tを処理する排水処理施設(凝集剤処理)工事を行った事により排水を改良し環境保全を目指した。
		天草農業活性化協議会負担金	705	一般財源 705	天草地域の農業の振興及び活性化を図ることを目的とし、地域農業振興のための各種施策並びに各種機関との連絡調整を行う協議会への負担金 (事業費内訳) 負担金 705,000円	あまくさ晩柑フェアを開催(熊本・東京)し、天草の農産物のPRを行った。 全国茶品評会釜炒り制玉緑茶の部において、天草市が2年連続2回目の産地賞を、清水制茶清水国義さんが農林水産省生産局長賞を清水宏文さんが全国茶商工業協同組合連合会理事長賞を受賞。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
126 ） 130	3 農業振興費	あまくさ元気まるかじり推進事業負担金	1,490	一般財源 1,490	天草地域の第1次産業及び観光に携わる組織や団体が連携し、農林水産物と観光資源等を結びつけて経済活性化と天草の元気づくりを推進する。 また、天草地域で生産される農産物を都市圏の消費者に対しブランド化を図るきっかけとする (事業費内訳) 負担金 1,490,000円	関係機関の連携により、下記の事業を実施した 九州の宝島～天草フェアの開催(福岡市の3ヶ所で2回実施) 天草の旬の食材等産地見学会(福岡の飲食店・流通業者) 地域おこしフォーラム(アレグリアにて212人参加) 旬の創作料理開発(ホテル・飲食店81名) 体験テーマ型ツアーの開催(80名の参加)
		担い手育成支援事業	4,500	県支出金 2,250 一般財源 2,250	天草市担い手育成支援協議会が行う事業への負担金 協議会の事業内容 アクションプログラムの作成 担い手経営診断指導助言活動 専任マネージャーの設置 農業経営改善計画の認定及び指導助言 (事業費内訳) 負担金 4,500,000円	認定農業者の農業経営改善計画の認定及び助言指導を行うと共に、認定志向農家の発掘及び認定を行った。 また、専任マネージャー2人を設置し、巡回による経営相談や情報提供等を行った。 各種研修会への参加により、認定農業者の意識の向上が図られた。 平成19年度末認定農業者数 485人 平成19年度認定数 新規 16人 再認定 32人
		農業用廃プラスチック類処理対策事業負担金	510	一般財源 510	処理費用の1/3以内を限度として農業用廃プラスチック類処理対策協議会へ負担する。 農家・2JA+たばこ耕作組合・市：各1/3 (事業費内訳) 負担金 510,283円	農業用廃プラスチックの適正処理の推進及び啓発並びに農家の処理費用の負担軽減が図られた。 ・処理量実績 JA本渡五和 40,640kg JAあまくさ 75,650kg ・処理費用実績 JA本渡五和 561,646円 JAあまくさ 969,205円
		農業教育・体験活動推進事業	750	県支出金 500 一般財源 250	米作り体験及び収穫米を利用した調理実習を実施する小中学校及び各団体に対し、1団体当たり5万円以内で補助金を交付する。 (事業費内訳) 補助金 750,000円	米づくり体験に要する経費(苗、肥料、農機具使用、)等に対し補助を行った。 小中学生に対して、農業についての理解と関心を深めることができた。 14校×50,000円 1校×30,000円 1団体×20,000円(茂木根子ども会)

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
126 ） 130	3 農業振興費	認定農業者協議会補助金	950	一般財源 950	市内の認定農業者組織の育成・指導を行い、農業経営改善計画の達成に向けた支援と、会員の資質向上の支援を行う団体への補助。 (事業費内訳) 補助金 950,000円	規模拡大を含む意欲のある農家に対して認定を行い、新規認定者を16人、再認定者を32人とすることができ、20年3月末で476人とすることができた。 意見交換会や研修会も活発に行われ、会員の自己研鑽を積むことができた。また、パソコンによる農業簿記の記入を指導した。
		農業制度資金利子補給補助金	1,730	県支出金 284 一般財源 1,446	各農業制度資金借入れに対する利子補給を行う (事業費内訳) ・農業経営高度化資金利子補給金 10,003円 ・平成16年台風被害対策資金利子補給金 218,393円 ・農業近代化資金利子補給金 1,255,352円 ・自立経営体育成資金利子補給金 246,597円 1,730,345円	下記件数の利子補給を行い農家経営の安定に努めた。 農業経営高度化資金利子補給 1件 平成16年台風被害対策資金利子補給 6件 農業近代化資金利子補給 8件 自立経営体育成資金利子補給 3件
		農業後継者育成補助金	570	一般財源 570	市内の青年農業者組織(4Hクラブ)の育成・指導を行い、農業後継者の社会参画の推進と活動の支援を行う団体への補助。現会員数 24名 (事業費内訳) 補助金 570,000円	JCIとの交流会・異業種間交流・梅寿荘バザー・市民農園草刈作業・県農業者会議、視察研修(福岡市)及び天草フェア等に参加し、自己研鑽及び天草農産物のPRを積極的に行った。特に異業種間交流には、農業に関係ない人たちに、農業や食に対する関心を持ってもらうことができた。
		農業施設機械整備補助金	2,613	一般財源 2,613	農業生産者の高齢化、兼業化が進む中で、基幹農作業等を受託する「農作業受託組合等」は、現在の地域営農に必要不可欠な担い手であり、今後育成をしていく必要があることから、これら組合等が整備する農業施設機械の購入経費に対して補助金を交付する。 (事業費内訳) 補助金 2,613,000円	新たな機械を導入したことにより、組織の基盤強化及び農作業の担い手組織への集積促進を図ることができた。 大浦受託組合 田植機 1台 楠浦営農組合 トラクター 1台 山口営農組合 コンバイン 1台

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
126 ） 130	3 農業振興費	農業生産組織育成補助金	5,744	一般財源 5,744	天草市管内2JAの各生産部会の育成を目的とし、各生産部会の運営費・活動経費に対して補助金を交付する。 (事業費内訳) 補助金 5,744,000円	土壌分析診断や残留農薬検査を実施し、安心・安全な農産物への取り組みを行った。新品種導入や新技術導入に係る講習会や研修会を開催した。 JA本渡五和各生産部会 JAあまくさ各生産部会 ・土壌分析診断・残留農薬検査の実施 ・講習会・研修会の開催
		農業女性大学補助金	427	一般財源 427	農業女性の知識の向上、男女共同参画の推進を図る目的で、JA本渡五和、JAあまくさが実施する農業女性大学の開催費用の一部を助成する (事業費内訳) JA本渡五和補助金 142,000円 JAあまくさ補助金 285,000円 427,000円	今年度よりJAあまくさ管内の実施も行い、市内全農家が対象となることができた。 JAあまくさは、46名の入校があり、福岡のシーホークホテルの山並総料理長によるテーブルマナー・天草大王を使った料理教室等を数回行い、自己研鑽を積むことができた。 JA本渡五和は、47名の入校があり、パン作りや家庭菜園のポイントなどを体験した。また、講演会では「紫外線対策」「悪質商法の対応」「上手な歳のととり方」などの講義を受けた。
		地域活性化グループ育成補助金	800	一般財源 800	市内の農漁村の女性活動グループの育成・指導を行い、男女共同参画の推進や加工・直売等を通じた地域づくりを支援する。 (事業費内訳) 補助金 800,000円	新商品開発などを行うための先進地研修を行い、地区の活性化グループの育成を積極的に行った。 会員数 34グループ 180名 加工活動グループ 26グループ 直売所開設運営グループ 4グループ
		有機農業生産組織育成補助金	76	一般財源 76	有機農法、環境保全型農業を目的として、特にステビア農法に取り組む栖本有機農法研究会への活動を支援する。 (事業費内訳) 補助金 76,000円	毎月定例会を行い、販売方法を検討しながら、個人の農業所得が向上できた。 低農薬・減化学肥料の実践によって、環境に負荷を与えない農業を実践した。 会員8農家
		物産地域イベント開催補助金	2,113	一般財源 2,113	各地域で開催される農業振興を目的としたイベントに対して経費の一部を助成する。	地域の活性化と住民の親睦が図れ、農業に対する理解とふれあいを実践することができた。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
126 ） 130	3 農業振興費	物産地域イベント開催補助金 (つづき)			(事業費内訳) ・天草町ジャガジャガ祭補助金 950,000円 ・有明町うまかもん収穫祭補助金 950,000円 ・JA本渡五和アグリフェスタ補助金 213,000円 2,113,000円	天草町ジャガジャガ祭来場者数 3,500人 ジャガイモ堀体験参加者 500人 有明町うまかもん収穫祭来場者数 600人 農事講演会参加者 300人 JAあぐりフェスタ2日間の入場者数 5,000人
		産業後継者等定住促進対策事業補助金	3,015	基金繰入金 3,014 一般財源 1	倉岳町内で、産業の後継者として補助金の交付を申請した者で、5年以上継続して従事している者に対し100万円を助成する。(旧倉岳町において申請されたものの経過措置) (事業費内訳) 報償費 15,000円 旅費 360円 補助金 3,000,000円 3,015,360円	倉岳町において平成16年度より実施しており、今年で4年目となる。今年は、農業1名、電気工事業1名、旅館業1名の計3名に交付した。これまでの累計16名となる。 16年度8名、17年度3名、18年度2名が交付済みで、20年度が最終年度で、4名が候補となる。
		営農指導推進協議会補助金	474	一般財源 474	天草市管内2JAが管内農業の振興・活性化を関係機関と一体となって図ることを目的とし、市農業振興課、JA、天草地域振興局普及指導課が構成員となり設立された営農指導推進協議会の運営費・活動経費に対して補助金を交付する。 (事業費内訳) 補助金 474,000円	各専門部会において、新技術の試験利用や新品種の試験栽培、また、新たな農産加工品の試作を行った。また先進事例地への研修会を開催した。 JA本渡五和営農指導推進協議会 JAあまくさ営農推進協議会 ・各種試験利用・栽培の実施 ・農産加工品の試作
		水田営農組織化整備緊急支援事業補助金	10,151	県支出金 8,435 一般財源 1,716	水田農業を集団で行う経営力のあるモデル組織を支援するために必要な農業機械・施設購入に要する経費に対する支援を行う。 (事業費内訳) 補助金 10,515,000円	土地利用型農業に取り組む集団営農組織が導入する機械に対して補助することで経営力のあるモデル組織を育成した。 宮地岳営農組合(本渡) = 汎用コンバイン 1台 アグリサポートあまくさ = トラクター2台 コンバイン1台、田植機1台

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
126 } 130	3 農業振興費	都市と農山漁村共生・対流 事業	16,993	国庫支出金 3,450 その他 2,000 一般財源 11,543	天草市とNPO法人グリーンライフあまくさの協働にて、団塊の世代や団塊ジュニア世代等、田舎暮らしを志向する都市住民を受け入れる施策を展開し、定住・二地域居住による人口減少への歯止めを図る。また、増大する遊休農地を活用して、自給自足的な田舎暮らしを都市住民に提供することによる農地の保全と農村の活性化を図る。 1 天草市への定住・二地域居住を促進する事業を実施した。 2 地元農産物の活用、新たな雇用機会の創出を図るため、地域活性化に資する事業を実施した。 3 増大する遊休農地解消のため、農地保全と地域活性化を図るための遊休農地を整備した。 (事業費内訳) 旅費 555,565円 需用費 1,000円 委託料 2,840,250円 使用料及び賃借料 1,262,909円 工事請負費 892,500円 ふるさと回帰支援センター負担金 50,000円 天草グリーンライフ・コミュニティ事業補助金 11,391,000円 16,993,224円	平成18年度からの取り組みにより、行政・経済界・学界・地域住民の連携・協働関係の構築、地域経営体としてのNPO法人の発足、都市と農山漁村の共生・対流による地域づくりの気運の醸成、天草グリーンライフコミュニティ事業の基礎固め、継続的な情報発信活動展開に向けての取り組みなどを行った。 ・田舎暮らし体験ツアーを4回開催し、熊本都市圏はもとより、関東、関西や福岡都市圏から延べ73名の参加を得ることができた。 ・東京(10/5,6)、大阪(10/26,27)で開催された「ふるさと回帰フェア」に参加するとともに、定住相談会を開催し、天草市のPRや都市住民の定住等の相談を受けた。 ・「天草セミナー」(2/23)を東京にて開催し、「天草暮らし」のPRを行った。 ・福岡都市圏住民を対象に「天草で暮らそうシンポジウム」(2/17)を開催し、福岡都市圏住民80名の参加を得た。 ・定住、二地域居住に関する情報等を都市住民に提供するためのホームページを開設した。 ・農協倉庫跡を改修し、農家レストラン・特産物加工所を整備した。(19~20年度) ・トラスト農場に隣接する遊休農地を復旧し、第3トラスト農場(5,280㎡)を開設した。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
126 ） 130	3 農業振興費	耕畜連携水田活用対策事業 補助金	1,088	一般財源 1,088	水田における飼料作物の生産向上や生産コストの低減を図るため、水田飼料作物の生産振興に向けてモデル的に取り組む組織へ支援する。 (事業費内訳) 補助金 1,088,000円	飼料作物の生産振興を図るため、水田における飼料作物生産に係る基盤整備、収穫機械の導入費の補助をした。 有明西地区飼料生産組合(有明) ホールクローブ収穫機 1台 自走ラップマシーン1台
		新需給システム推進事業補 助金	5,489	県支出金 5,489	需要に即応した米作りの推進を通じて、水田農業経営の安定と発展を図るため、農業者別生産目標数量の設定方針の策定等を実施した。 (事業費内訳) 事務費 2,088,755円 補助金 3,400,000円 5,488,755円	需要に応じた米の計画的生産を行うために、農業団体が行う農業者別生産目標数量の配分や確認事務等、米の生産調整に係る事業に対して助成した。 J A本渡五和 = 1,096,000円 J Aあまくさ = 2,304,000円
		強い農業づくり交付金事業	3,115	県支出金 2,548 一般財源 567	強い農業づくり交付金事業(省エネ機器等整備) 原油価格の高騰が農家経営に大きな打撃を与えている中で、省エネルギー型農業機械を導入することにより、農家経営の安定を図る。 (補助率) 国：1/2・1/3以内 市：10%以内 田植機、遠赤外線籾乾燥機の導入。 (事業費内訳) 補助金 3,115,000円	省エネルギー型農業機械の導入により農家経営の安定化を図ることができた。また、新たに機械の共同利用組織の設立につながった ・新たに組織された機械の共同利用組織 城河原地区機械利用組合(五和) 稚児崎地区機械利用組合(栖本)
130	4 中山間地活性化 費	中山間地域等直接支払推進 事業	172,285	県支出金 127,160 一般財源 45,125	(事業費内訳) 共済費 139,559円 賃金 1,020,292円 旅費 28,600円 需用費 1,429,549円 燃料費 300,000円 役務費 190,000円 測量設計委託料 1,369,200円 使用料及び賃借料 476,000円 負担金補助及び交付金 166,773,156円 償還金利子及び割引料 558,666円 172,285,022円	耕作放棄の防止、農道、水路の維持管理が図られ、H17年度(初年度)からH19年度までの3年間で協定数は12協定、面積は約112ha増えた。 H19年度協定数 240協定 交付金額 166,773千円

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
130	4 中山間地活性化 費	グリーンツーリズム推進事 業	1,911	一般財源 1,911	<p>天草市全域を対象としたグリーンツーリズム事業を推進するために設立された天草T&Pが、将来への自立運営に備えるための体制作りや体験プログラムの商品化などを実現するための準備期間と位置づけ、体験ツアー（モニターツアー）の実施やパンフレット記載事項の調査等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験ツアーの実施 参加者：天草市内の中学生10名 時期：平成19年8月25日（土）～26日（日） 場所：天草市内一円 体験プログラムの調査及び検証（参加者：8名） 時期：平成20年2月25日（月）～26日（火） 調査場所：五和町・天草町・宮地岳町・牛深町新和町 バスツアー商品化シートの作成 体験プログラムを基にバスツアー商品化シートを作成した。 <p>（事業費内訳） 委託料 1,911,000円</p>	<p>ツーリズムに対する理解・関心は高まってきたが、まだ、地元における協力が得られない状況である。外への発信とあわせて地元への情報発信も継続して行わなければならない。また、活動母体である天草T&Pが自立した活動が出来るよう支援していかなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 農林漁業体験型修学旅行を天草型ツーリズムの一つとして取り組むために、地元の中学生を対象に農林漁業体験と地域の「自然」「歴史」「食等の生活文化」を体験してもらうためのモニターツアーを実施し、受け入れ側の体制作りと商品化における検討課題を把握した。 体験プログラムの商品化を進めるため、新規体験プログラムの調査・検証を行った。調査・検証の結果、11本の体験プログラムが新たに商品化が可能と思われる。 過去に作成した体験プログラムを基にして、使用可能なプログラムを組み合わせ、バスツアーとして商品化するためのシートを15本作成した。今後は、このシートを旅行会社等への説明資料として活用するために地元の協力及び金額等の設定を行う予定である。
130 ） 131	5 畜産振興費	特別導入型家畜導入事業補 助金	300	一般財源 300	<p>【上乗せ補助】 補助金は農協を経由して農家へ支出 補助率 1頭30千円</p> <p>（事業費内訳） 補助金 10頭導入 300,000円</p>	<p>優秀な血統の繁殖雌牛を導入した10戸の農家に上乗せ補助をして更なる導入意識の向上を図った。</p>
		家畜導入事業補助金	6,500	一般財源 6,500	<p>【上乗せ補助】 補助金は農協を経由して農家へ支出 補助率 1頭50千円</p> <p>（事業費内訳） 補助金 6,500,000円</p>	<p>優秀な血統の繁殖雌牛を導入した農家に上乗せ補助をして更なる導入意識の向上を図った。 JA本渡五和 = 37頭 JAあまくさ = 93頭</p>

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
130 ） 131	5 畜産振興費	畜産共進会補助金	640	一般財源 640	畜産共進会へ出場する運搬費への助成 (事業費内訳) 補助金 640,000円	優秀な出品牛が多数参加できるように、運搬費の助成を行うことにより畜産農家の意識高揚を図った。天草黒牛パンフレット作成の補助を行い天草黒牛ブランド確立を図った。 郡内 1頭 3千円×41頭 郡外 1頭 15千円×25頭 パンフレット作成 142千円
		家畜導入事業資金供給事業	3,404	県支出金 3,404	補助率 1頭92千円 補助金は市を経由して農協へ支出 (事業費内訳) 補助金 3,404,000円	産肉能力に優れた系統の優良雌牛の導入により、子牛価格の高値安定と規模拡大を図った。 JA本渡五和 = 37頭
		畜産環境整備リース事業補助金	623	一般財源 623	補助率 20% 支払いリース料の20%を助成 (事業費内訳) 補助金 623,000円	養豚農家の悪臭、排水問題を解消するため、浄化槽の設置を行った3養豚農家へ機械設備リース料の補助を行い、健全な畜産経営を図った。
		産地競争力強化対策事業補助金	51,529	県支出金 44,551 地方債 6,900 一般財源 78	事業主体 JAあまくさ農協 繁殖牛センター(1,969㎡) 総事業費 93,558,327円(補助率60%) 牛舎、機械格納庫、管理棟、機械器具等 (事業費内訳) 補助金 51,529,000円	繁殖牛センターを建設することにより、育成から分娩までの期間を農協が担い、子牛購買・育成・種付けまでを実施、初妊牛として農家へ各導入事業を利用し導入させることにより、農家負担が減り、高齢化対策にも繋がった。
		特別導入型家畜導入事業(基金事業)	(4,468)	(基金) 4,468	【基金】 限度額 1頭450千円 基金を取り崩して無利子で5年間貸付 (事業費内訳) 取崩額10頭 4,468,000円	60歳以上の高齢農家10戸に市が導入する優良雌牛を貸し付けることで経営安定と畜産振興を図った。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
131 ） 132	6 園芸振興費	果樹共済掛金補助金	10,111	一般財源 10,111	【果樹共済掛金補助金】 補助率30%以内 果樹農家が、自然災害(病虫害、獣害、気象災害)に あった時の経営安定を図ることを目的に行う果樹共 済加入促進事業 柑橘、栗生産農家が加入する果樹共済の掛け金の 30%を助成する事業。 (事業費内訳) 補助金 10,111,400円	柑橘、栗生産農家が加入する果樹共済の掛け金の 30%を助成したことで、果樹農家経営の安定を図る ことが出来た。 対象面積 = 38,274a 戸数 = 434戸
		元気な地域づくり交付金事 業補助金(リースハウス)	91,142	県支出金 75,952 一般財源 15,190	元気な地域づくり交付金事業(リースハウス) 補助率60%以内(国50%市10%) 山村等中山間地域の振興を図るため、農業経営改善 安定機械施設(リースハウス)を整備する事業。 (事業費内訳) 補助金 91,142,000円	リースハウスを導入することにより、基幹作物に おける品質の向上、高付加価値化を実現することが でき、所得の向上が図れた。 JAあまくさ 15戸 24棟 17,480㎡ JA本渡五和 4戸 5棟 3,558㎡ 加温・無加温デコボン、スナップエンドウ ミニトマト、マンゴーの導入
		強い農業づくり交付金事業 (改植)	6,970	県支出金 6,080 一般財源 890	強い農業づくり交付金事業(改植) 補助率70%以内(国50%県10%市10%) 果樹農家の経営安定と所得向上を図るため優良品種 苗木への更新を行う事業。 (事業費内訳) 補助金 6,970,000円	優良品種への更新を行うことで産地化の促進及び 果樹生産意欲の向上を図ることができた。 更新面積：2.45ha 取組農家戸数：24戸 優良品種 肥の豊、肥のあすか、M-16への改植。
		野菜価格安定事業	0	一般財源 0	補助率 (500円・月販売平均価格) × 50%以内 ・振興作物である「オクラ」の販売価格に対す る補給金事業 (事業費内訳) 19年度は、該当なし。	本年度は、「オクラ」の価格が補給金事業の対象に ならず高価格で推移した。 今後も、栽培面積拡大の推進と生産者の所得向上 に役立てるために継続して事業を実施する。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
131 132	6 園芸振興費	園芸作物振興対策事業補助金	728	一般財源 728	<p>【園芸作物振興対策事業】 補助率30%以内</p> <p>・野菜花き振興を目的に行う新規作物導入事業と環境保全型農業推進事業</p> <p>J A、生産組織、個人が行う野菜の種苗代(パセリ、春夕草)や資材代(防虫ネット、フェン剤)経費の30%助成</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>補助金 728,000円</p>	<p>・天草地域の気候を活かしたパセリやタマネギ栽培事業を推進することで、農地集約と特産化が期待できる。</p> <p>・環境に配慮した農法の資材代に助成することで、病害虫被害を減少させ、安心・安全な野菜の安定生産ができた。</p>
		果樹優良品種系統更新事業	685	一般財源 685	<p>【果樹優良品種系統更新事業】</p> <p>補助率10a当り54千円</p> <p>・果樹の不良系統の品種・高樹齢を優良系統品種及び天草奨励品種に更新することで、果樹農家の経営安定と所得向上を図る改植事業(国、基金、県事業で対象外分)</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>補助金 685,000円</p>	<p>・消費者のニーズが多様化する中、天草特産果樹に改植することで、個性的な果樹産地ができ有利販売が可能となり、農家の経営安定ができる。</p> <p>ホソカ、宮本等から河内晩柑、M16等へ(15戸1.3ha)</p>
		果樹園芸単県事業補助金	18,133	県支出金 12,301 一般財源 5,832	<p>【園芸新たな挑戦強化対策事業】</p> <p>補助率45%以内(県30%、市15%)</p> <p>・魅力ある園芸産地作りのため、農業団体等が取り組む機械・施設整備に対する助成事業</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>・補助金<果樹関係> 13,485,000円</p> <p>・補助金<園芸関係> 2,797,000円</p> <p>16,282,000円</p>	<p>・果樹関係の桃トンネルハウス及びレモン雨よけハウスでは、各病原菌の発生を防ぎ、高品質での安定生産が可能となった。樹木粉碎機を導入では、生産コストの削減と労働時間減少が可能となり、剪定枝を粉碎チップし堆肥化することにより、肥料としての活用ができる。ハウスのスプリンクラー及び巻上機設置では、労力の節減を図ると共に、品質向上とコスト低減が図られた。</p> <p>・園芸関係のメタ梱包機では、包装能力のアップで労働時間の削減ができ、生産規模拡大と計画的出荷が可能となり、また、循環扇では、ハウス内の暖房コストの低減と病原の発生を抑え農薬散布回数の削減で省力化ができた。</p>
					<p>【地域特産品育成対策事業補助金】</p> <p>補助率50%以内(県50%)</p> <p>地域の特産品の販売促進及び振興に対する助成事業</p> <p>緑竹の発送梱包容器、パンフレット作成及び販売促進活動費</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>補助金 600,000円</p>	<p>「天草緑竹」のブランド化を進めるために、栽培面積の増加を図り生産量の増加も見込まれ、今後の緑竹販路拡大のPR活動を行うと共に生産組合統一の出荷用発送梱包容器・パンフレット等を作成し生産者の負担軽減と出荷体制の確立を図った。</p>

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
131 ） 132	6 園芸振興費	果樹園芸単県事業補助金 (つづき)			<p>【特用林産物施設化推進事業補助金】 補助率45%以内(県30%、市15%) 特用林産物の加工・流通・衛生施設の整備及び安定 生産施設の整備に対する助成事業</p> <p>(事業費内訳) 補助金 1,251,000円 緑竹加工の高圧殺菌窯一式</p>	「天草緑竹」のブランド化を進めるために、栽培面積の増加を図り生産量の増加も見込まれ、出荷規格外の商品についての販売対策として、常温で長期間保存可能である高圧殺菌窯を導入したことにより、製品の付加価値向上による販売体制の確立と経営の安定を図った。
		果樹施設整備事業費補助金	6,428	一般財源 6,428	<p>【果樹施設整備事業】 補助率30～50%以内 ・果樹生産基盤に係る施設整備事業(かんがい対策事業、園内作業道整備事業、気象災害等防止施設整備事業、栽培高度化施設整備事業)</p> <p>(事業費内訳) 補助金(貯水槽用資材費)50%以内 9戸 1,389,000円 補助金(作業道舗装原材料費)50%以内 16戸 2,368,000円 補助金(作業道新設事業費)30%以内 1戸 116,000円 補助金(ハウス設置費)30%以内 2戸 2,555,000円 6,428,000円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・かんがい対策による貯水槽設置は、依然傾斜地や水の確保が困難な場所が存在することや生産が拡大したデコボンでは灌水施設が不可欠であり、貯水槽設置に助成することで生産者の水源確保と高品質果実生産ができた。 ・園内作業道舗装は、傾斜地が多く園内作業道の舗装等も未整備があり運搬作業等で支障があるが、助成により農作業の環境整備が整い、作業効率が改善できた。 ・園内作業道新設は、傾斜地が多く園内作業道もなく運搬作業等で支障があったので、助成により農作業の環境整備が整い、作業効率が改善できた。 ・ハウス設置は、露地果樹に屋根かけハウスを設置することにより、効率的且つ安全な品質、収量を確保し農業経営の安定を図った。
		葉たばこ生産組織育成補助金	475	一般財源 475	<p>【葉たばこ生産組織育成事業】 葉たばこ耕作関係組織の育成及び生産組織の強化を図るための補助</p> <p>(事業費内訳) 補助金 475,000円</p>	天草市葉たばこ振興会の生産振興に向けた、より高度な技術・情報伝達を行い魅力ある葉たばこの産地基盤の強化と活性化が図られた。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
131 ） 132	6 園芸振興費	くまもと農業の元気づくり 活動支援事業	1,000	県支出金 1,000	元気人気くまもと農業運動チャレンジ支援事業 補助率50%以内（県50%） 食品産業等の参画も含め、熊本農業の持つ魅力や 個性を生かした特色ある商品づくりを進めるために 必要な活動に対する支援事業 (事業費内訳) ・J A本渡五和果樹部会 500,000円 (ポンカン、あまくさ晩柑消費拡大活動) ・J Aあまくさ 500,000円 (トルコギョウの消費地調査、ブランド確立活動) 1,000,000円	ポンカン、あまくさ晩柑の販促活動を実施する事 により消費地における顧客の確保と天草産農産物の アピールにつなげた。また、産地から消費地に参加 する事で消費者ニーズを敏感に感じ、今後の生産向 上に結びつくとともに果樹特産品の産地化づくりが 行えた。 トルコギョウの生産者と実需者との交流を深め ることにより、消費地における顧客の確保と「あま くさのトルコギョウ」のアピールと知名度のアップ につながった。さらに、日持ち試験や消費ニーズ を把握することにより、今後の生産・品質の向上に 結びつけ、ブランド確立が可能となった。
		果樹・園芸生産組織育成補 助金	300	一般財源 300	【熱帯果樹産地化支援事業】 新規に取り組む亜熱帯果樹研究会の育成を行い、 マンゴーやドラゴンフルーツの産地化を目指す活動 に対する支援事業 (事業費内訳) 補助金 300,000円	新たに取り組む特産品である、亜熱帯果樹のマン ゴーやドラゴンフルーツの生産者の育成や、栽培方 法の検討会等を行い天草ブランド化に向けた取り組 みができた。
132 ） 135	7 農地整備費	団体営基盤整備促進事業 (大宮地区)	6,062	県支出金 4,231 一般財源 1,831	(大宮地区) 事業実施のための測量設計業務委託を実施した。 事業費内訳 設計委託料 5,794,555円 事務費 267,445円 計 6,062,000円	農道の拡幅及び、排水路の整備を行うことによ り、排水不良改善、農作業の効率化を図ることがで きた。 事業期間 平成19～21年度 総事業費 150,000千円 受益面積 36ha 受益戸数 91戸 農道整備 1,510m 排水路整備 2,360m
		団体営基盤整備促進事業 (中岳地区)	12,600	県支出金 9,872 一般財源 2,728	(中岳地区) 事業主体：土地改良区 完了整備工事 1式 換地業務 1式 事業費内訳 補助金 12,600,000円	農業用生産基盤の整備を行い、農作業の効率化、 生産性の向上を図る事業であり、平成18年度におい て面整備が完了し、事業効果が得られた。 事業期間 平成17～20年度 総事業費 100,000千円 受益面積 5ha 受益戸数 18戸

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
132 ） 135	7 農地整備費	単独かんがい排水事業 (倉岳地区)	6,643	一般財源 6,643	(倉岳地区) 老朽化したかんがい用送水管の改修を実施した。 水管橋 3箇所(40m) 事業費内訳 委託料 840,000円 工事請負費 5,802,670円 計 6,642,670円	老朽化した、かんがい用水管の改修を行うことにより、農地への用水の安定供給が確保された。
		農業用施設維持管理事業 農業施設整備原材料支給 事業	25,931	一般財源 25,931	農業用施設の維持管理に必要な材料の支給制度 支給要件 受益面積 概ね 20a以上 受益戸数 2戸以上 支給額 50万円以下 19年度実績 100件 支給原材料費 25,767,715円 施設管理原材料費 163,023円	農業用施設の維持管理に必要な生コンクリート、用排水トラフ等の材料を支給することで、受益者の施設管理経費の削減ならびに施設の適正管理保全が図れた。 市管理農道等の維持管理を目的とした原材料であり、施設の適正な管理が図れた。
		土地改良事業補助金	18,182	一般財源 18,182	農業用施設等の維持管理ならびに、整備事業に対する補助金 補助要件 受益面積 概ね 20a以上 受益戸数 2戸以上 支給額 事業費の1/2かつ1,000千円以内 19年度実績 43件	補助事業で実施出来ない小規模の土地改良事業に対して、事業費の一部を補助することにより、農業用施設の適正な維持管理保全並びに、受益者の負担軽減が図れた。
		農地・水環境保全向上対策 支援事業	13,398	県支出金 879 一般財源 12,519	地域活動組織による農地・農業用施設・農村環境を保全する活動を支援する補助金 ・保全活動を実施した団体に対し10a当り4,400円を補助する。 ・環境に配慮した営農取組みに対し、10a当り3,000～40,000円を補助する。 補助金のうち1/4が市が負担する。 37地区、1,062haで取組みがなされた	農地・農業用施設・農村環境の保全が図られた。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
132 ） 135	7 農地整備費	農村環境計画策定事業	3,031	県支出金 1,500 一般財源 1,531	事業費内訳 委託料 2,919,000円 事務費 88,220円 報償費 24,000円 計 3,031,220円	農業農村整備事業を実施する場合の環境方針の策定ができた。
		県営農業農村整備事業負担金	208,820	地方債 122,550 その他 6,223 一般財源 80,047	<p>県事業負担金 上島中央地区広域農道整備事業 S.57～H.21 L=18.5km 49,536,000円</p> <p>地域水田農業支援緊急整備事業 H.16～21 有明地区 1,360,000円</p> <p>県営かんがい排水事業 H.16～19 倉岳地区 H.18～23 楠浦地区 41,553,750円</p> <p>県営水と緑ふるさと保全対策事業 H.17～19 楠浦地区 7,565,000円</p> <p>県営中山間地域総合整備事業 H.17～23羊角湾周辺2期地区 H.14～20 苓北2期地区 18,006,099円</p> <p>県営経営体育成基盤整備事業 H.11～21 楠浦地区 35,827,200円</p> <p>県営海岸保全施設整備事業 H.15～24 河浦地区 2,150,000円</p> <p>県営畑地帯総合整備事業 H.16～21 五和北地区 H.18～23 五和南地区 27,352,700円</p>	<p>対策 県営事業により、農業生産基盤ならびに農業施設の整備を図り、農業の合理化・安定を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域農道の整備により、農業生産の近代化と農産物の流通の合理化が見込める。 ・農業生産基盤の整備により、支障となっている農地条件等を改善し、効率的な営農ならびに、農作業の合理化を図ることにより、農業経営の安定化が期待できる。 ・老朽化した農業用施設（かんがい排水施設）の更新により、かんがい用水の安定供給を図る。 ・未整備の農業用施設（遊水地）の整備により、農地の冠水被害の防止効果が増大した。 ・農地海岸護岸の整備により、背後地の農地が塩害・高潮等の被災防止効果が見込める。 ・新和町小宮地地区の用水確保のための調査事業

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
132 ） 135	7 農地整備費	県営農業農村整備事業負担 金 (つづき)			国営羊角湾地区土地改良事業 22,969,646円 県営水資源開発調査事業 新和地区 2,500,000円 208,820,395円	
		県営事業換地業務	14,391	県支出金 14,391	県営水田農業支援緊急整備 事業(有明地区) 換地設計業務委託料 5,460,000円 換地委員報償費 88,784円 県営畑地総合整備事業(御 領北、御領南地区) 換地設計業務委託料 1,995,000円 換地委員報償費 24,800円 県営経営体育成基盤整備事 業(楠浦地区) 換地設計業務委託料 1,239,000円 換地委員報償費 194,126円 中山間地域総合整備事業 (羊角湾周辺2期地区) 換地設計業務委託料 4,630,500円 換地委員報償費 759,190円 換地設計委託料 計 13,324,500円 換地委員報償費 計 1,066,900円	県営ほ場整備等に係る換地設計業務委託である が、換地業務に関しては、県より委託を受け市が事 業主体となり、実施している。 なお、換地業務に携わる換地委員の報償費につい ても、県委託金より支出している。

(5) 農林水産業費 (2) 林業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
137 138	2 林業振興費	市有林流域育成林整備事業	15,110	県支出金 9,570 一般財源 5,540	(事業内容) 間伐(切捨) 21.32ha 下刈 6.32ha 間伐(搬出集積) 47.47ha (事業費内訳) 委託料 15,109,500円	本渡、牛深、倉岳、栖本、天草地区の市有林において間伐、下刈等の造林事業を適切に実施することで、水源涵養等の森林の有する公益的機能の発揮が図られた。
		森林整備地域活動支援交付金事業	42,774	県支出金 32,080 一般財源 10,694	(事業内容) ・森林情報の収集活動 ・施業実施区域の明確化作業 ・歩道の整備等 交付対象面積 8256.85ha 森林組合分 6935.00ha 林業公社分 1321.85ha (事業費内訳) 負担金補助及び交付金 42,774,250円 (補助率) 国1/2・県1/4	森林所有者等が行う森林施業実施に不可欠な森林の現況調査・歩道の整備等々の森林整備活動を支援した結果、計画的かつ一体的な森林施業が実施でき、森林の荒廃防止を図ることができた。
		ふるさとの四季を彩る森づくり運動事業	348	県支出金 348	(事業内容) 地区住民による五和ダム、五和東部ダム周辺の植栽活動 実施主体 城河原地域づくり振興会(五和町) サクラ 60本 モミジ 40本 ペカン 10本 (事業費内訳) 負担金補助及び交付金 348,200円 (補助率) 県10/10	五和ダム、五和東部ダムの周辺に四季を彩る樹木を植栽する事で、ダム周辺を地域住民が集う公園に整備し、それにより、地域住民の森づくりに対する気運を高め、住民相互の親睦とふるさとの森を守り育てる心を育むことができた。
		熊本のもり間伐材利用推進事業	13,432	県支出金 6,716 一般財源 6,716	(事業内容) 間伐実施面積 408ha 材積 2,929m ³ (事業費内訳) 負担金補助及び交付金 13,432,000円	木材価格の長期低迷等から、森林管理上不可欠な間伐の手遅れ林分が増加しており、本事業により間伐を必要とする森林の間伐を推進し、間伐材生産流通経費の一部を助成することで森林の適正管理及び素材の安定供給が図られた。

(5) 農林水産業費 (2) 林業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
137 ＼ 138	2 林業振興費	高齢級間伐促進事業	292	県支出金 145 一般財源 147	(事業内容) 国庫補助の対象とならない10～11齢級の人工 林の間伐 3.0ha (事業費内訳) 負担金補助及び交付金 291,600円	伐採年齢を長期化することで齢級の平準化が図られ、森林の有する公益的機能を促進することができた。
		単県森林病虫害防除事業	2,500	県支出金 1,250 一般財源 1,250	(事業内容) 地上散布0.82ha (五和町) 64,050円 樹幹注入2.20ha (天草町) 2,436,000円 (事業費内訳) 委託料 2,500,050円	森林病虫害等による森林被害を未然に防止するため、被害の原因となる病虫害等を早期に、かつ的確に駆除予防した。
		流域育成林整備事業補助金	44,024	一般財源 44,024	(事業内容) 下刈 14.67ha 間伐(切捨) 229.9ha 間伐(搬出) 545.02ha 枝打 11.59ha 抜伐 4.30ha 作業道 1,400m 集材路 53,278ha (事業費内訳) 負担金補助及び交付金 44,024,000円	民有林において下刈・除伐・間伐等の造林事業を行うことにより、森林資源造成保全、水源のかん養等が適切に管理することができ、森林が本来有する多面的機能を高度に発揮することが図られた。
		森林病虫害防除事業	1,082	一般財源 1,082	(事業内容) 地上散布2.20ha (天草町) 346,500円 枯松伐倒駆除 735,000円 (事業費内訳) 委託料 1,081,500円	森林病虫害等による森林被害を未然に防止するため、被害の原因となる病虫害等を早期に、かつ的確に駆除予防した。
		飛砂防備保安林松植栽事業	1,869	一般財源 1,869	(事業内容) スーパー松の植栽 300本 防風ネット 58.0m (事業費内訳) 工事請負費 1,869,000円	飛砂防備林内の保安林において、松食い虫による松枯れが発生し、森林機能が低下していたため、スーパー松の補植工事を実施し、従来の森林機能を回復させた。

(5) 農林水産業費 (2) 林業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
137 ＼ 138	2 林業振興費	有害鳥獣捕獲対策事業 鳥獣捕獲対策協議会補助金	20,760	県支出金 384 その他 1,391 一般財源 18,985	イノシシ捕獲頭数 1,562頭 カラス捕獲数 1,327羽 需用費 ぐくり罫部品等購入 電気柵設置申請件数 428件 (事業費内訳) 報償費 5,772,000円 需用費 450,000円 役務費 48,000円 協議会補助金 2,434,000円 電気柵設置等補助金 12,056,000円 20,760,000円	多発するイノシシ等の被害対策として、天草市有害鳥獣捕獲対策協議会を中心とした捕獲事業及び防除対策事業（電気柵等設置）への助成を行うことにより、イノシシ1,562頭及びカラス1,327羽もの捕獲成果があり、住民生活の安全が守られるとともに、農作物被害から農家を保護し、農林業生産意欲の向上が図られた。
		緑の少年団育成事業補助金	480	一般財源 480	10団体（金焼・志柿・下浦・本町・内の原 御所浦・新和中・五和・大河内・福連木） 1団体あたり48,000円補助 (事業費内訳) 負担金補助及び交付金 480,000円	緑の街頭募金、地域の福祉事業や森の交流集会等に参加することにより、自然の大切さを学びながら身近で親しみのもてる森林をとりまく自然環境等への関心が高まり、森林に関する認識や理解を深めることでみどりの少年団の育成ができた。
		林業施設維持管理事業	6,436	県支出金 2,290 その他 205 一般財源 3,941	(事業内容) 福連木子守唄公園・指定管理者施設・森林公園 ・簡易給水施設（計14施設）の維持管理事業 (事業費内訳) 需用費 710,504円 役務費 87,181円 委託料 4,917,035円 使用料及び賃借料 239,585円 工事請負費 480,900円 6,435,205円	福連木子守唄公園や簡易給水施設等の適正な維持管理を行うことにより、従来からの住民サービスを維持するとともに、水源枯渇が懸念される一部給水施設については、水道との接続工事により緊急時の水路確保を行うことができるようになった。
138 ＼ 139	3 治山費	治山維持管理事業	288	一般財源 288	治山施設（山留工等）の維持管理（崩土除去等） (事業費内訳) 賃金 80,600円 原材料費 206,955円 287,555円	山留工の崩土除去等を実施することで、山腹崩壊の危険度が高い地域の山地災害が未然に防止できた。

(5) 農林水産業費 (2) 林業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
138 139	3 治山費	単県治山事業	27,460	県支出金 14,535 その他 6,462 一般財源 6,463	塩屋平地区（下浦町） 補助率 1/2 土留工 V=60.0m ³ 4,718,045円 落石防護柵工 L=24.0m 水路工 L=25.0m 大中地区（楠浦町） 補助率 1/2 土留工 V=30.1m ³ 3,183,971円 落石防護柵工 L=15.0m 法面保護工 A=92.0m ² 水路工 L=16.7m 西本浦地区（新和町） 補助率 1/2 土留工 V=51.1m ³ 5,574,542円 法面保護工 A=115.6m ² 水路工 L=43.2m 本丸地区（栖本町） 補助率 1/2 土留工 V=37.6m ³ 5,492,597円 法面保護工 A=243.4m ² 落石防護柵工 L=17.5m 木柵工 L=33.0m 脇田地区（久玉町） 補助率 1/2 土留工 V=4.8m ³ 1,705,667円 簡易法柵工 A=75.1m ² 水路工 L=7.0m 梅ノ木丸地区（河浦町） 補助率 1/2 法面保護工 A=112.2m ² 1,357,730円 仮設防護柵工 L=12.0m	山腹崩壊危険区域に指定されている箇所予防治山工事を施工することにより、地域住民の災害に対する不安の解消と自然災害を未然に防止することができた。

(5) 農林水産業費 (2) 林業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
138 ＼ 139	3 治山費	単県治山事業 (つづき)			エンジャク地区(天草町) 補助率 2/3 土留工 V=33.6m ³ 4,701,148円 落石防護柵工 L=21.0m 落石固定工 A=40.0m ² (事業費内訳) 需用費 498,300円 使用料及び賃借料 228,000円 工事請負費 26,733,700円 27,460,000円	
139 ＼ 140	4 林道費	今田地区普通林道開設事業	40,000	国庫支出金 20,000 県支出金 6,000 地方債 10,500 一般財源 3,500	今田地区普通林道開設事業 補助率65% H19年度分 開設延長 L=360m 法面保護工 2,937.1m ² コンクリート路面工 413.8m ² 工事費 25,944,155円 H18繰越分 開設延長 L=140m 補強土壁工 175.8m ² 法面保護工 3,188.0m ² 工事費 9,774,950円 (事業費内訳) 人件費 200,000円 旅費 17,600円 需用費 304,295円 委託料 2,856,000円 使用料及び賃借料 903,000円 工事請負費 35,719,105円 40,000,000円	林道を開設することで、森林整備を促進し、間伐等の森林施業の効率化が図られた。

(5) 農林水産業費 (2) 林業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
139 ↳ 140	4 林道費	フォレストコミュニティ総合整備事業	16,500	国庫支出金 9,075 県支出金 1,650 地方債 5,700 一般財源 75	市道松林線改良工事 補助率65% H18繰越分 改良延長 L=603m 擁壁工 186.6m ³ 法面保護工 1,086.6m ² 防護柵工 129.0m 排水工 600.1m (事業費内訳) 旅費 11,000円 需用費 542,613円 工事請負費 15,946,387円 16,500,000円	市道を改良することで山村地域の生活環境基盤、林道等の生産基盤の整備を行うことができ、林業従事者の定住の促進及び山村地域の活性化が図られた。
		道整備交付金事業	39,300	国庫支出金 13,100 県支出金 3,930 地方債 22,100 一般財源 170	林道赤城山線舗装工事 補助率43.3% 施工延長 L=520m 表層工 2,152.4m ² 上層路盤工 2,152.4m ² 下層路盤工 364.7m ² 工事費 8,460,982円 林道西河内線舗装工事 補助率43.3% 施工延長 L=1,600m 表層工 7,578.1m ² 上層路盤工 7,544.3m ² 工事費 25,055,195円 (事業費内訳) 人件費 868,823円 旅費 18,600円 需用費 78,400円 委託料 4,305,000円 使用料及び賃借料 513,000円 工事請負費 33,516,177円 39,300,000円	林道を整備することで、森林へのアクセスを容易にし、森林施業の効率化と森林環境の整備が促進できた。また、これらの林道を他の市道等と一体的に整備することで、地域住民の生活道路として利用することが可能となった。

(5) 農林水産業費 (2) 林業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
139 ↳ 140	4 林道費	森林基幹道下天草東部線 開設事業	3,493	一般財源 3,493	(事業内容) 林道下天草東部線開設事業に伴い、用地取得を 実施。 (事業費内訳) 委託料 1,270,500円 公有財産購入費 2,222,296円 3,492,796円	林道開設に伴い、関係用地について測量設計及び 用地取得を行うことにより事業の円滑な推進が図ら れた。 取得面積 11,111.48㎡
		林道整備原材料支給事業	4,469	一般財源 4,469	本渡地域5箇所・新和町2箇所・天草町4箇所・ 河浦町3箇所・五和町1箇所(計15箇所) (事業費内訳) 原材料費 4,468,665円	林道・作業道で整備改良工事を行う方に対して原 材料等支給を行い、荒廃した路面を改修すること により、森林管理道路としての効用の向上を図り、森 林所有者の管理意欲及び生産力増強を図り、森林管 理に対する意欲減退の防止に努められた。

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果	
140 ↳ 142	2 水産業振興費	牛深漁場並型魚礁設置事業	28,260	国庫支出金 14,130	【沿岸漁場整備開発事業(並型魚礁)】 (間接補助) 補助率 国：3/6、県：2/6 (事業費内訳) 工事請負費 26,565,000円 並型魚礁製作・沈設 FP3.25型 60基 事務費 1,695,000円 <u>28,260,000円</u>	並型魚礁の設置により、好漁場が形成されタイ類、アジ類、イサキ、メバル等の魚族が見られ、牛深地区の一本釣り漁業の経営安定、漁獲量の増産、更には、水産業振興に寄与している。	
		県支出金 9,420					
		地方債 4,700					
		一般財源 10					
宮田漁場並型魚礁設置事業	27,492	県支出金 22,910	【沿岸漁場整備開発事業(並型魚礁)】 (間接補助) 補助率 国：3/6、県：2/6 (事業費内訳) 工事請負費 26,496,645円 並型魚礁製作・沈設 FP3.25型カハベース付 52基 事務費 995,355円 <u>27,492,000円</u>	並型魚礁の設置により、好漁場が形成されタイ類、アジ類、イサキ、メバル等の魚族が見られ、倉岳地区の一本釣り漁業の経営安定、漁獲量の増産、更には、水産業振興に寄与している。			
地方債 4,500							
一般財源 82							
強い水産業づくり交付金事業		6,946			県支出金 4,861	【交付金事業】 (間接補助) 補助率 国：50%、県：20% (事業費内訳) 工事請負費 6,646,500円 つきいそ設置 自然石投入1,750㎡ 開発面積 1ha 事務費 299,200円 <u>6,945,700円</u>	五和町二江地先に海藻の定着基質となる自然石を投入し、特産物である「トサカ」の漁場を拡大し、生産量の増大を図り、水産業振興に寄与している。 漁獲増産目標値 1,176kg ・漁獲量の推移 平成15年 153ト、平成16年 199ト、平成17年 104ト、平成18年 214ト、平成19年 300ト
一般財源 2,085							
新和地域藻場造成事業	350		一般財源 350	【単独事業】 1.0m型 37基 作業賃金 27,900円 消耗品 43,000円 車両借上料 105,000円 施設材料費(木材購入費他) 174,000円 <u>349,900円</u>	新和町地先に木材魚礁を投入し、魚類の増集及び、海藻等の繁茂を図り、漁獲の増大及び稚魚育成に寄与する為、木材魚礁を投入し、その効果を確認するため、前年度投入魚礁の調査を実施した。		

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
140 ↳ 142	2 水産業振興費	漁業経営合理化資金利子補給補助金	113	県支出金 71 一般財源 42	【単独利子補給事業】 利子補給先：熊本県養殖漁業協同組合 1件 補助率：融資平均残高の2.4% 上期 91,045円 下期 22,132円 113,177円	漁業協同組合等が事業拡大を図る漁業者に貸し付ける資金に対し、利子補給を行うことにより、漁業の効率化及び近代化を図った。 利子補給対象件数 1件
		台風対策漁業近代化資金利子補給補助金	5	県支出金 4 一般財源 1	利子補給先：天草漁業協同組合 1件 補助率：融資平均残高の0.56% 上期：2,982円、下期：2,506円、計5,488円	平成16年度台風による被害漁業者に対する運営資金の融通の円滑化を図るため利子補給を行い、漁家経営の再建及び安定化を図った。 利子補給対象件数 1件
		天災融資資金利子補給補助金	8	県支出金 6 一般財源 2	利子補給先：熊本県真珠養殖組合 1件 補助率：融資平均残高の2.4% 上期：7,710円（利子補給完了）	平成11年台風18号による被害漁業者に対する運営資金の融通の円滑化を図るため利子補給を行い、漁家経営の再建及び安定化を図った。 利子補給対象件数 1件
		漁場環境保全対策補助金	365	一般財源 365	補助率：1/2 事業主体：天草漁業協同組合 有害生物駆除事業 115,000円 水質浄化事業 250,000円 365,000円	漁協が実施する、有害生物駆除事業を五和町二江地先海域にて行い、素潜漁にて有用ウニと競合するラッパウニを駆除した。成果としては、2tトラック2台分の量を駆除した。 また、御所浦地区では、マコンブ養殖による水質浄化を図り、養殖漁場の環境保全を図った。
		漁業近代化資金利子補給補助金	452	一般財源 452	補助率：平均融資残高の1%以内 利用資金の種類 漁船建造、機関据換、養殖用種苗購入資金等 天草漁協本渡支所 3件 28,161円 天草漁協五和支所 2件 215,625円 天草漁協天草町支所 4件 129,777円 有明町漁業協同組合 2件 78,804円 452,367円	漁業経営の早期再建に資するため、漁業近代化資金を借り入れた漁業者に対し利子補給を行うことにより、漁業者の負担軽減を行った。
		水産業廃棄物処理補助金	598	一般財源 598	補助率：1/3 天草漁協天草町支所 521,000円 天草漁協崎津支所 77,000円 598,000円	漁業活動等により不用になった漁網、ロープ、廃油缶等を集積し、年1回の頻度で処理を行っている。当事業により不用物の不法放置を抑制し漁港の環境美化が図られている。処分量：231m3

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
140 5 142	2 水産業振興費	漁場調査委託料	1,157	一般財源 1,157	(事業費内訳) 御所浦地区漁場調査委託 (鹿児島大学) 800,000円 木材魚礁効果調査業務委 託 357,000円 1,157,000円	御所浦地区においては、鹿児島大学に養殖場の環境調査を依頼し、養殖場の全硫化物、酸化還元電位差、溶存酸素量、透明度について調査し漁業者に報告することで、漁場の適正利用に資することができた。また、本渡・新和地区に過去に投入した魚礁の追跡調査を実施し、魚類の増集状況、魚礁の埋没状況等を確認した。施設の利用については、一本釣り漁業の利用があり、新和地区の施設には、海藻の繁茂が見られた。
		資源管理推進事業補助金	19,871	一般財源 19,871	補助率：2/3 ヒラメ放流(30mm) 52,000尾 事業主体：天草漁業協同組合 放流箇所：佐伊津、五和、楠甫地先 事業費 2,368,800円 うち市補助金 1,579,000円 ヒラメ放流(50mm) 50,000尾 事業主体：有明町漁業協同組合 放流箇所：赤崎、上津浦、須子、大浦地先 事業費 2,520,000円 うち補助金 1,680,000円 カサゴ放流 48,000尾 事業主体：天草漁協、島子漁協、有明町漁協 放流箇所：佐伊津、宮野河内、島子、赤崎、大浦 事業費 2,520,000円 うち市補助金 1,680,000円 マコガレイ放流 12,500尾 事業主体：天草漁業協同組合(本渡支所) 放流箇所：本渡港地先 事業費 787,500円 うち市補助金 420,000円 イサキ放流 74,000尾 事業主体：天草漁業共同組合(牛深総合支所) 放流箇所：牛深地先 事業費 1,653,750円 うち市補助金 1,102,000円	各漁協が単独で実施する種苗放流事業に対して助成を行った。 各地先海域の主要魚種を直接放流だけでなく、中間育成を行い、食害防止と自然環境に順応した種苗を育成し、資源管理型漁業に対する漁業者の意識改革を図りながら、漁獲増による漁業安定を図った。

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
140 ↳ 142	2 水産業振興費	資源管理推進事業補助金 (つづき)			<p>クルマエビ放流 500,000尾 事業主体：天草漁協(体長14mm) 300,000尾 栖本漁協(体長90mm) 20,000尾 嵐口漁協(体長50mm) 180,000尾 放流箇所：本渡港、栖本港、御所浦島周辺地先 事業費 1,977,650円 うち市補助金 1,281,000円</p> <p>アワビ放流 60,500個 事業主体：天草漁業協同組合(牛深総合支所他) 放流箇所：牛深、河浦町、天草町、五和町地先 事業費 3,276,000円 うち市補助金 2,184,000円</p> <p>ウニ放流 301,500個 事業主体：天草漁業協同組合(牛深総合支所他) 放流箇所：牛深町、河浦町、新和町、五和町地先 事業費 6,964,650円 うち市補助金 4,643,000円</p> <p>ガザミ放流 100,000尾 事業主体：天草漁業協同組合(新和支所) 放流箇所：新和町地先 事業費 262,500円 うち市補助金 175,000円</p> <p>アサリ貝放流 3ト 事業主体：天草漁協、有明町漁業協同組合 放流箇所：崎津、宮野河内、大浦地先 事業費 1,250,000円 うち市補助金 799,000円</p> <p>タコ産卵施設投入 20,180個 事業主体：天草漁協、有明町漁協、島子漁協 投入箇所：牛深、佐伊津、有明町地先 事業費 5,932,920円 うち市補助金 3,954,000円</p>	

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
140 ↳ 142	2 水産業振興費	資源管理推進事業補助金 (つづき)			イカ産卵施設投入 2,800個 事業主体：天草漁協、有明町漁協、島子漁協 投入箇所：佐伊津、有明町地先 事業費 562,545円 うち市補助金 374,000円 補助金合計 19,871,000円	
		栽培漁業地域展開事業補助金	19,329	一般財源 19,329	(マダイ部会) 対象漁協：天草市管内全漁協 放流尾数(受領尾数) 2,235,000尾 中間育成結果 歩留まり率91.1% 補助金 13,288,000円 (ヒラメ部会) 対象漁協：天草漁協、栖本漁協、倉岳町漁協、 御所浦町漁協、嵐口漁協 放流尾数(受領尾数) 258,000尾 中間育成結果 歩留まり率86.6% 補助金 4,199,000円 (ガザミ部会) 対象漁協：栖本漁協、倉岳町漁協、 御所浦3漁協合同 放流尾数(受領尾数) 204,200尾 補助金 345,000円 17,832,000円	マダイ、ヒラメの稚魚を中間育成し、より自然環境に慣らした状態で天草市地先海域に放流し、漁獲量の減少に歯止めをかけて、資源の増大、漁業収入の増加を図った。放流の必要性について、漁業者の意見を聴取したところ、放流魚の漁獲が目立っており、資源を維持する上で放流の必要性を強く望まれている傾向が伺える。
		中間育成施設設置委託料	300	一般財源 300	設置業務委託費(3基分) 委託先：天草漁業協同組合 300,000円 委託期間：2ヶ月半 育成期間：21日間 委託内容：施設の設置、撤去及び育成管理	志柿地先の干潟に直径10m程の円形網3基を設置し、クルマエビ(体長14mm)を20日間で22mmまで、マコガレイ(体長30mm)を14日間で45mmまで中間育成し、食害防止による歩留まり向上、種苗の環境適応が図られ、水産資源の増大に寄与できた。

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
140 ↳ 142	2 水産業振興費	くまもと四季さかな流通支援事業補助金	962	一般財源 962	事業主体：天草漁業協同組合 全体事業費：8,000,000円 (事業費内訳) 県補助金：5,200,000円 天草市補助金：962,000円 上天草市補助金：350,000円 苓北町補助金：88,000円 漁協負担額：1,501,027円	販路拡大、取扱量の増大を図るため、大手市場との商談会を通じて試験出荷を行い、年々、出荷量は増加しており成果が見られる。また、ホームページによるネット販売、カタログ販売をとおして、販路拡大に努めている。
		漁業関係団体育成補助金	760	一般財源 760	団体数：8団体 補助金：一律95,000円 負担金補助及び交付金 760,000円	種苗放流や中間育成、更には、地域の各種イベントに参加するなど、水産業の推進を図りながら意識高揚が図られている。
		熊本県無線漁業協同組合運営補助金	1,260	一般財源 1,260	加入隻数：523隻 負担金補助及び交付金 1,260,000円	県下全域を網羅する総合的な漁業無線通信システムの運営に対し補助することで、漁業者の安全操業、航行の安全、更には、情報の共有化が図られている。
		御所浦地域水産振興事業	4,306 (5,400)	助成金 2,153 (2,700) 一般財源 2,153 (2,700)	【水保・芦北地域振興事業】 補助率：1/2 総事業費 5,400,000円 (事業費内訳) 海藻及びカキ種苗生産施設整備費 1,023,750円 海藻種苗生産試験費 1,263,778円 海藻育苗試験費 62,249円 カキ種苗生産試験費 912,528円 (2,006,628円) カキ養殖試験費 343,595円 カキ養成試験費 700,000円 4,305,900円 (5,400,000円)	魚類養殖における自家汚染対策として、以前から取り組まれてきた海藻による循環型エコ養殖に対し、平成19年度から更なる海域浄化を目的として、新たにカキ養殖を加え、カキ、海藻種苗生産及び養殖の試験を水保芦北地域振興財団からの助成を受けて実施した。その結果、種苗生産技術を確立し、御所浦地区の養殖場の環境については、全硫化物で平成18年度測定値4mgに対して本年度2.9mgと水質浄化に寄与出来た。今後は、生産したカキを新たなブランドとして出荷し、地域水産業の振興を図る計画である。 ※事業費5,400千円であるが、機器購入費として、水産研究センター費から1,094,100円を支出している。
		久玉地区沿岸漁場整備開発(並型魚礁設置)事業(繰越)	17,934	県支出金 14,945 地方債 2,900 一般財源 89	補助率：国費3/6、県費2/6 (事業費内訳) 工事請負費 16,890,000円 魚礁制作・沈設 F P 3.25型 67基 事務費 1,044,000円 17,934,000円	魚礁の設置により、魚類の増集効果を高め一本釣り漁業の経営安定、漁獲量の増大、さらには、水産業の振興に努めた。

(5) 農林水産業費 (3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
142 ┆ 143	3 漁港管理費	漁港維持補修事業 市管理漁港	1,651	一般財源 1,651	(事業費内訳) ・茂串漁港海岸根固工事 1,350,300円 ・二江漁港トイレ解体工事 300,300円 合 計 1,650,600円	市管理漁港の補修及び小規模な施設改良を下記のとおり実施し、施設の安全性、利便性の向上が図られた。 ○海岸根固工 L=6.0m ○トイレ解体 1式
		単独漁港管理事業 (新たに生じた土地登記委託)	2,337	一般財源 2,337	(事業費内訳) ・須口1号岸壁登記委託料 564,994円 ・久玉地区登記委託料 880,614円 ・鬼塚岸壁登記委託料 487,662円 ・鬼塚岸壁登記委託料 403,683円 合 計 2,336,953円	新たに生じた土地(公有水面埋立)の表示登記を実施した。 漁具保管修理施設用地、ヘリポート用地 加工場用地 (1工区)漁業環境整備施設用地 (2工区)漁業環境整備施設用地
143 ┆ 144	4 漁港建設費	大多尾漁港関連道整備事業	21,400	国庫支出金 10,700 県支出金 2,140 地方債 8,560	関連道整備事業 補助率 国1/2 県10/100 (事業費内訳) ・工事請負費 20,019,975円 整備工事 L=90m 舗装工事 L=210m ・事務費(人件費含) 1,380,025円 合 計 21,400,000円 平成19年度事業実施概要(事業進捗率 99.4%) 道路改良L=90m 舗装L=210m	本漁港より県道大多尾新合線に連絡する市道は、幅員4m程度で線形も悪く、普通車の離合も困難である。このため、規格改良を行い、漁獲物及び漁業資材輸送の効率化を図る。19年度は完了予定年度であったが、終点付近の用地買収が相続関係で完了できなかったため、事業費3,600千円を残して20年度へ繰り越した。この用地については、20年8月には完了する見込みであるため20年12月中にはこの事業全体が完了する見込みである。 事業期間 平成14年度～平成19年度 総事業費 625,000千円 全体計画 L=600m 路面幅員9.25m 車道幅員5.5m
		御領漁港漁村再生交付金事業	30,000	県支出金 15,000 地方債 15,000	漁村再生交付金事業 補助率 国1/2(県を通じての間接補助) (事業費内訳) ・工事請負費 24,667,239円 ・調査委託 3,675,000円 ・事務費(人件費含) 1,657,761円 合 計 30,000,000円 平成19年度事業実施概要(事業進捗率 25.9%) -2m物揚場L=30.4m 取付護岸L=47.1m 用地護岸L=60.8m 泊地浚渫A=12,700㎡	漁船の充足率確保のため係留施設の新設や既存の施設を安全で利用しやすい施設として整備する。19年度は物揚場、泊地浚渫等を行い就労環境の改善を図った。 事業期間 平成18年度～平成22年度 総事業費 170,000千円 全体計画 -2m物揚場L=30m 取付護岸L=47m 用地護岸L=61m 浮体式棧橋L=52m 用地A=3828㎡ 臨港道路L=187m -2m泊地A=20,000㎡

(5) 農林水産業費 (3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
143 144	4 漁港建設費	烏帽子漁港漁村再生交付金事業	26,000	県支出金 15,600 地方債 10,400	漁村再生交付金事業 補助率 国6/10(県を通じての間接補助・離島) (事業費内訳) ・工事請負費 24,288,366円 ・設計委託 367,500円 ・事務費(人件費含) 1,344,134円 合計 26,000,000円	外郭施設をはじめとする漁港施設の整備を行うとともに集落道を改良し、漁港の就労環境と地区住民の生活環境の改善を図る。19年度は集落道の改良を施工し、利便性の向上が図られた。 事業期間 平成19年度～平成24年度 総事業費 345,000千円 全体計画 防波堤L=60m 消波ブロックL=60m 護岸改良L=70m 集落道(改良)L=1,000m 泊地浚渫等 平成19年度事業実施概要 集落道改良L=379.2m 事業進捗率 7.5%
		白戸漁港漁村再生交付金事業	100,000	県支出金 50,000 地方債 50,000	漁村再生交付金事業 補助率 国1/2(県を通じての間接補助) (事業費内訳) ・工事請負費 96,047,034円 ・事務費(人件費含) 3,952,966円 合計 100,000,000円 平成19年度事業実施概要 3号防波堤締固砂杭打込264本 床堀V=2,452m ³ 基礎捨石V=943m ³ 臨港道路舗装L=36.6m 事業進捗率 64.1%	養殖業の生産基地として既存漁港施設を拡大整備し、安全で快適な漁業活動を確保する。平成19年度は、防波堤基礎工や臨港道路を実施し、事業の進捗を図った。 事業期間 平成11年度～平成24年度 総事業費 1,208,700千円 全体計画 3号防波堤L=185m -2m物揚場60m -3m岸壁L=50m 臨港道路L=230m 用地A=5720m ² 等
		深海漁港広域漁港整備事業	120,000	県支出金 78,000 地方債 42,000	広域漁港整備事業 補助率 国1/2(県を通じての間接補助) 県15/100 (事業費内訳) ・工事請負費 112,945,000円 ・測量設計委託 2,205,000円 ・事務費(人件費含) 4,850,000円 合計 120,000,000円	港内静穏度を確保するため、外郭施設を整備し漁港の安全性を図る。係留施設、臨港道路等を整備し作業の効率化を図る。19年度は、防波堤の基礎工、堤体工、上部工及び護岸の測量設計を実施し、事業の進捗を図った。 事業期間 平成13年度～平成22年度 総事業費 1,050,000千円 全体計画 6号防波堤L=160m、-2m物揚場140m、-3m岸壁L=85m、1号道路L=675m、護岸道路L=98m等 平成19年度事業実施概要 6号防波堤基礎工L=58.0m、堤体工L=108.4m、上部工L=59.9m、1号護岸測量設計1式 事業進捗率 73.0%

(5) 農林水産業費 (3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
143 └ 144	4 漁港建設費	崎津漁港広域漁港整備事業	140,000	県支出金 91,000 地方債 49,000	広域漁港整備事業 補助率 国1/2(県を通じての間接補助) 県15/100 (事業費内訳) ・工事請負費 135,182,523円 ・事務費 4,817,477円 合計 140,000,000円	港内静穏度確保のため防波堤の整備と、係留施設確保のため物揚場の整備等を行い、漁業生産活動の円滑化を図る。19年度は、防波堤の堤体工、地盤改良及び基礎捨石工を実施し、事業の進捗を図った。 事業期間 平成14年度～平成22年度 総事業費 1,840,000千円 全体計画 1号防波堤L=80m、3号防波堤L=80m、4号物揚場L=90m、船揚場L=40m、用地A=980㎡ 平成19年度事業実施概要 1号防波堤地盤改良L=15.0m、基礎捨石L=23.88m、堤体工L=31.02m 事業進捗率 41.3%
		砂月漁港地域水産物供給基盤整備事業	80,000	県支出金 52,000 地方債 28,000	地域水産物供給基盤整備事業 補助率 国1/2(県を通じての間接補助) 県15/100 (事業費内訳) ・工事請負費 76,350,000円 ・事務費(人件費含) 3,650,000円 合計 80,000,000円	港内静穏度確保のため防波堤の整備と、係留施設確保のため物揚場の整備等を行い、漁業生産活動の効率化、円滑化を図る。19年度は、1号突堤工を実施し、事業の進捗を図った。 事業期間 平成13年度～平成22年度 総事業費 834,000千円 全体計画 1号突堤L=60m、1号用地護岸L=15.5m、防波堤改良L=86.7m、-2m物揚場L=70m、1号用地等 平成19年度事業実施概要 1号突堤施工延長L=60.7m、基礎工L=54m、堤体工L=51.2m 事業進捗率 65.2%
		大浦元浦漁港地域水産物供給基盤整備事業	150,000	県支出金 105,000 地方債 45,000	地域水産物供給基盤整備事業 補助率 国6/10(県を通じての間接補助・離島) 県10/100 (事業費内訳) ・工事請負費 143,372,050円 - 2m物揚場工事(浮体式係船岸)L=66.6m - 2m物揚場工事(本体)L=128m ・建物調査委託 1,027,950円 ・事務費(人件費含) 5,600,000円 合計 150,000,000円	港内静穏度確保のため防波堤の整備と、漁業の効率性・利便性向上のため物揚場の整備等を行い、地区漁業振興を図る。19年度は、4号物揚場の工事を行い、事業の進捗を図った。 事業期間 平成13年度～平成22年度 総事業費 927,000千円 全体計画 4号防波堤L=50m、2・3号物揚場L=50m、4号物揚場L=138m、5号物揚場L=60m等 平成19年度事業実施概要 -2m物揚場(簡易浮棧橋)L=66.6m、地盤改良N=195本、基礎工L=53.67m、上部工L=52m 事業進捗率 73.1%

(5) 農林水産業費 (3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
143 ┆ 144	4 漁港建設費	猪子田漁港地域水産物供給 基盤整備事業	83,326	県支出金 54,161 地方債 29,100 一般財源 65	地域水産物供給基盤整備事業 補助率 国1/2(県を通じての間接補助) 県10/100 (事業費内訳) ・工事請負費 76,230,000円 ・設計及び調査委託費 3,035,550円 ・用地買収費 438,300円 ・事務費(人件費含) 3,622,150円 合計 83,326,000円	港内静穏度確保のため防波堤の整備と、漁業の効率性・利便性向上のため岸壁及び物揚場の整備等を行い、地区漁業の振興を図る。19年度は、浮体式係船岸及び用地内道路の整備を行い事業を完了させた。 事業期間 平成13年度～平成19年度 総事業費 563,326千円 全体計画 2号防波堤L=90m、一文字防波堤L=60m、 -3m岸壁L=30m、-2m物揚場L=80m、泊地 ・航路浚渫等 平成19年度事業実施概要 道路(舗装)L=146.08m、浮体式係船岸N=6函 事業進捗率 100%
		単県小規模改良事業(魚貫 崎漁港)	3,900	県支出金 1,300 一般財源 2,600	単県漁港改良事業 補助率 県1/3 (事業費内訳) ・工事請負費 3,900,000円 合計 3,900,000円	漁港海岸の消波工未施工部分に消波ブロックを設置し、台風等の波浪時に越波等から地域住民の安全を守る。19年度は消波ブロック設置61個、パラペット打設L=5.0mを施工した。 事業期間 平成19年度 事業費 3,900千円 平成19年度事業実施概要 消波ブロック61個設置 パラペット打設L=5.0m 事業進捗率 100%
		単独漁港整備事業	4,998	一般財源 4,998	長浦漁港舟隠漁業集落道整備 工事 (事業費内訳) ・工事請負費 4,998,000円	国県補助対象外となった事業で、漁港機能を最大限に発揮させるための事業として、1件の事業を実施した。 平成19年度事業実施概要 長浦漁港舟隠漁業集落道整備 舗装工L=47.7m 排水工L=40.7m

(5) 農林水産業費 (3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
143 144	4 漁港建設費	県営漁港整備事業負担金	62,150	地方債 57,700 一般財源 4,450	市負担率 単県事業1/3、広域5%、地域水産物5%、漁村再生10%、海岸5% ・御所浦漁港広域漁港整備事業負担金 1,250,000円 ・御所浦漁港単県改良事業負担金 900,000円 ・佐伊津漁港漁村再生交付金事業負担金 6,900,000円 ・二江漁港広域漁港整備事業負担金 3,750,000円 ・宮田漁港単県改良事業負担金 200,000円 ・大江漁港地域水産物供給基盤整備事業負担金 10,000,000円 ・大江漁港単県浚渫事業負担金 1,500,000円 ・牛深漁港海岸保全施設整備事業(高潮)負担金 11,450,000円 ・牛深漁港広域漁港整備事業負担金 24,500,000円 ・牛深漁港単県改良事業負担金 1,700,000円 合計 62,150,000円	県管理漁港7漁港の内6漁港で漁港及び海岸事業が実施され、その負担金を支出した。 事業費及び事業内容 ・1号防波堤嵩上L=310m、突堤L=40m、南防波堤補修L=12.5m ・浮体式係船岸、臨港道路、標識灯補修 ・突堤L=30m 浮体式係船岸3函 ・突堤L=50m、暴風フェンスL=98m、測量設計1式 ・浮体式係船岸補修7函 ・2号防波堤L=20m、上部工L=20m、消波工1式、藻場造成工1式 ・-2m泊地浚渫A=420㎡ ・明石護岸改良L=214m、太田護岸改良L=180m ・久玉道路L=485m、春這道路L=524m、須口浚渫V=1,102㎡、明石浮体式係船岸L=170m、明石防波堤改良L=85m、照明灯14基 ・元下須後浜物揚場改良L=60m、後浜荷捌所改良L=167m
145 146	6 水産研究センター費	水産研究センター施設管理経費	4,326	一般財源 4,326	【単独事業】 漁病診断 ・診断件数 86件 ・漁病パトロール実施件数 7件 赤潮調査 ・調査回数 37回 ・赤潮発生件数 6回(有害種のみ) ・赤潮情報発信件数 46回	業者から持ち込まれる病魚診断及び薬剤感受性試験を行い、被害の軽減、魚病の蔓延防止を図った。 また、養殖場のパトロールを行い、情報収集、病魚のサンプリングによる診断をとおして、魚病の蔓延及び被害防止に努めた。 海域の海況、プランクトンの発生状況を定期的に観測し、赤潮の早期発見により情報を迅速かつ的確に業者に周知することで被害の防止に努めた。

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
145 ↳ 146	6 水産研究 センター費	水産研究センター施設管理 経費 (つづき)			試験研究 1. シカメガキ種苗生産試験 2. 多年生藻類苗生産試験及び配偶体保存試験 3. カキ養成試験	1 シカメガキ種苗生産試験 シカメガキ種苗生産試験では、採卵を3度試みた が、1回目は受精率が10%以下であったため、廃棄 した。2回目の試験では40万個のD型幼生を得るこ とができたが、日令7日目には生存個体が殆ど見ら れなかった。(原因不明)3回目の採卵では、20万 個の種苗を得ることができたが、最終的に20個のシ カメガキ種苗を得るにとどまった。 2 多年生藻類苗生産試験及び配偶体保存試験 ワカメ、カジメからは大量の遊走子の採取に成功 した。培養については、水温22度、12時間明期の環 境下で培養を継続した。これで得られた種糸を養殖 場で養殖試験を実施したが、幼葉の出現はあまりよ くなかった。受精期の雌雄配偶体の割合については 今後十分に検討していく必要がある。 3 カキ養成試験 大分県産のマガキ種苗を用い、牧本養殖場におい て5月22日から12月13日まで幼生試験を実施した生 存率は、40%から92%であった。成長は種苗導入時 殻高8.2mmで取り上げ時は殻高平均56mmまで成育し ていた。
146 ↳ 147	7 漁業集落整備費	佐伊津漁港集落環境整備事 業	23,800	県支出金 14,280 地方債 9,500 一般財源 20	【繰越】 補助事業 補助率6/10 (事業費の内訳) 工事請負費 859,000円 ・中水管路施設工事(1件) L=10.8m 委託料 2,848,158円 事務費 92,842円 3,800,000円 【現年】 補助事業 補助率6/10 (事業費の内訳) 工事請負費 19,696,652円 ・中水管路施設工事(6件) L=1,110.7m 事務費 303,348円 20,000,000円	処理水を再利用し、消防水利の充足率が著しく低 い当該住宅密集地域に、汚水管路整備に併せて消防 用水管路網の整備と消火栓の設置に着手し、事業の 促進を図った。 事業期間 平成16年度～平成24年度 事業費 142,400千円 護岸嵩上改良 L=332m 中水管路整備 L=4,295m 消火栓設置 N=22基

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
147) 150	2 商工振興費	商店街イベント事業補助金	0		(補助要件) ・総事業費が50万円以上のもの ・補助額は補助対象経費の3分の1以内 ・同一のイベントについて3年を限度 平成19年度は、新たな補助申請はなかったが、 『銀天夜市』や『繭姫通り夜市』は、主催者の負担で、引き続き開催されている。	本渡中央商店街振興組合主催の『銀天夜市』は、夏の夜のお祭りとして市民に親しまれているとともに、子どもたちの貴重な思い出づくりの場となっている。 また、繭姫通り夜市実行委員会主催の『繭姫通り夜市』は、日本の繭相場を左右すると言われた「天草繭市場」をテーマに、地域史を活かしたイベントとして開催され、歴史の再確認・文化の掘り起こしを図り、環境に配慮した女性の夜市として賑わっている。
		商店街空き店舗対策事業補助金	875	一般財源 875	(補助要件) ・補助対象経費は借家料 ・補助額は経費の2分の1以内、月額5万円を限度 ・補助の期間は1年以内 ・本渡中央北地区まちづくり交付金事業エリア外にある商店を対象 補助金額 2店舗 875,000円	国の補助事業である本渡中央北地区まちづくり交付金事業エリア外の空き店舗が補助対象となっている。 商店街でこれまで空き店舗となっていた場所に新規開業の店舗が入ることで賑わいが戻り、商店街の活性化を図ることができた。 平成18年度実績・・・1店舗 平成19年度実績・・・2店舗
		中小企業等短期資金貸付金	100,000	その他 100,000	市内中小企業者へ運転資金等の融資が容易に行われるよう、市内の希望する金融機関へ市が予算の範囲内で預託金を預け入れ、金融機関を通じ短期の融資を行う。 預託金額 100,000,000円 ・融資目標額 200,000,000円 ・融資額 76,000,000円 ・融資件数 19件 ・融資実績率 38.0%	平成18年度から、中元・年末の季節融資から10ヶ月以内の短期の融資に切り替えて実施し、市内の殆どの金融機関に資金を預託した。平成18年度は、融資件数が20件あり、融資総額が62,000千円で平成19年度も殆ど横ばい状態である。

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
147 150	2 商工振興費	天草ほんどハイヤ祭り補助金	8,550	一般財源 8,550	<p>本渡商工会議所が、事務局となって実施している、天草ほんどハイヤ祭りに対して、事業費の補助を行った。</p> <p>総事業費 20,923,866円 うち補助金額 8,550,000円</p>	<p>今年度から、夏に子ハイヤ道中総踊り、秋にハイヤ総踊り「市民の祭りから日本の祭りへ」をスローガンに開催し、年々盛大になってきており、子ハイヤの参加者も増えている。また花火大会については、台風の接近で秋の開催を延期して、12月23日に開催した。</p> <p>・天草子ハイヤ 参加 16団体 855人 観客 15,000人 ・ハイヤ道中総踊り 参加 27団体2,500人 観客 50,000人 ・花火大会 観客 73,000人 ・計 参加3,355人 観客 138,000人</p>
		商工業設備投資資金利子補給補助金	3,159	一般財源 3,159	<p>天草市内商工業の小規模事業者が経営の近代化及び経営基盤の強化を図り、地域経済の活性化を促進するために積極的に事業展開を推進する者に対し、設備投資のために事業資金借入金に対し、利子補給を行った。</p> <p>補助限度額 200,000円 旧市町からの継続分 (7件) 409,584円 平成18年度申請分(継続12件) 1,674,743円 平成19年度申請分(新規12件) 1,075,128円 合計 3,159,455円</p>	<p>設備投資等の借入金に対する補助を行い、経済的負担を軽減して、商工業の振興を図った。</p>
		むらおこし事業費補助金	950	一般財源 950	<p>タコブランドを媒介にしたPRと地域一体の意識づくりに努め、グッズ開発と食品の開発を行った。</p> <p>総事業費 9,400,000円 【補助内訳】 国 8,000,000円 市 950,000円 その他 450,000円</p>	<p>有明町の名産であるタコをテーマとした取り組みで平成16年度から取り組んでいる。19年度はタコによる漁業、水産加工業、飲食業、小売業、観光業など創造できる事業やイベントを試験的に実施しタコ関連産業の確立を図った。</p>

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
147) 150	2 商工振興費	商店街活性化対策事業費補助金	4,969	一般財源 4,969	〔事業内容〕 商工会議所が行う商店街活性化対策事業に補助し、商店街の活性化を支援した。 本渡商工会議所 3,943,000円 1. 桜まつり活性化事業 2. 通行量調査事業(市内15ヶ所) 3. 商店街活性化事業(講演会の開催) 経営活性化セミナー及び経営革新セミナーの開催 5回開催 延べ393名参加 4. 永年勤続「優良従業員表彰」 新学卒地元就職者「合同入店入所式」 5. 本渡の市事業 郡市小中学校文化展、秋季スポーツ大会 6. えびす祭事業 福引大会、えびす市の開催 他 牛深商工会議所 1,026,000円 1. 納涼夏祭り 花火大会 アトラクション、ゲーム大会 他 2. ワンわんウォーキング大会	市内の商店街の状況は、中心商店街の空洞化や周辺の商業環境の変化が人の流れを変えており、郊外型の大型店を中心とした新たな商業地が形成されている。このような状況の中、市内の2つの商工会議所が実施する、商業を核とした魅力ある街づくりの推進、中小企業者の近代化、経営基盤の体質強化、更に人材の養成など商店街活性化に向けての事業に対し、支援した。
		商工振興対策事業費補助金	6,956	一般財源 6,956	中小企業の経営安定や創業支援、中心市街地活性化事業の推進、観光事業の振興など、商工会議所が展開する各種施策に対して助成を行った。 本渡商工会議所 5,128,000円 牛深商工会議所 1,828,000円 上記の事業を商工会を対象に補助した。	経済活動のグローバル化やIT革命による高度情報化、少子高齢化、環境問題への取り組みなど、企業を取り巻く環境が大きく変化する中、商工業者の拠点である商工会議所、商工会の事業活動は、商工観光振興、労働福祉対策事業など、適時的確に行われており、その機能が果たされている。
		地域総合振興事業費補助金	14,020	一般財源 14,020	有明町商工会 2,227,000円 倉岳町商工会 502,000円 御所浦町商工会 909,000円 新和町商工会 1,982,000円 五和町商工会 2,888,000円 河浦町商工会 2,128,000円 栖本町商工会 1,412,000円 天草町商工会 1,972,000円	

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
147 150	2 商工振興費	小規模事業指導員設置事業 費補助金	4,897	一般財源 4,897	経営全般・金融税務・労働福祉対策などに対する個別相談や講習会などを開催し、経営改善に関する指導を行う「小規模事業指導育成事業」並びに「経営改善普及事業」に対して助成を行った。 本渡商工会議所 2,327,000円 牛深商工会議所 2,570,000円 上記の事業を商工会を対象に補助した。	社会経済情勢の変化に伴い、小規模事業者に対する経営者養成や従業員教育は重要になってきており、個別相談や集団指導は経営の安定に寄与している。また、創業・開業を目指す学生や主婦、ビジネスマンを対象として、事業計画や資金調達方法を指導し、新規開業を促進している。
		経営改善普及事業費補助金	14,105	一般財源 14,105	有明町商工会 1,467,000円 倉岳町商工会 1,496,000円 御所浦町商工会 1,077,000円 新和町商工会 1,759,000円 五和町商工会 3,053,000円 河浦町商工会 1,764,000円 栖本町商工会 1,194,000円 天草町商工会 2,295,000円	
		商店街共同施設補助金	4,686	県支出金 2,343 一般財源 2,343	本市において、商業の振興発展及び消費者の利便を図るため、共同施設（街路灯、アーケード、カー舗装等）を設置する商店街に対し補助金を交付する。事業費1,000千円以上の事業が対象で、補助金額、対象経費の3分の1以内とし、対象施設が県補助対象となる場合は3分の2以内の額とし予算の範囲内で交付する。 今回は、イルカスタンプ組合が設置するカード発行機の購入費用の一部を補助した。 イルカスタンプのカード化及び子供応援券の導入事業 ・実施主体 五和町広域スタンプ組合 ・事業概要 スタンプシールのカード化及び子供応援券の付加 ・整備内容 スタンプカード発行機 親機1台 スタンプカード発行機 子機50台 ポイント登録カード 1,000枚 オリジナルカード 40,000枚 ・事業費 7,029,799円 (県 1/3 市 1/3)	商店街（商工業者等を構成員として設立された法人又は団体）における共同施設が整備され、商業の振興発展及び消費者の利便が図られている。 天草市商店街共同施設補助金交付要綱（平成18年10月5日制定） スタンプのカード化によって、消費者の利便性が向上し、スタンプの利用者が増え、地元の購買意欲を高めることが出来た。

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
147) 150	2 商工振興費	商工会合併円滑化事業費補助金	1,000	一般財源 1,000	8商工会の合併を、スムーズに行うために、合併に伴う経費の一部を補助した。会議、研修会、事務作業等 総事業費 2,799,442円 【内訳】 県 1,500,000円 その他 299,442円 市 1,000,000円	天草市内8商工会において、平成19年6月に商工会合併基本協定書に調印を済ませ、平成21年4月の新しい合併商工会(天草市商工会)のスタートを目指し、事務作業を進めた。平成20年度には、商工会合併調印式を済ませ、開設の準備を進める。
		天草桜まつり補助金	1,900	一般財源 1,900	天草桜まつり実行委員会に補助金を交付して、事業実施を補助した。 1. 天草桜まつり事業 1,900千円 天草のど自慢大会、奉賛スポーツ大会、春蘭・盆栽・生け花展 他	各種の事業を開催することにより、島内からの集客を図り、消費の拡大に努めた。また、事業を実施していくことで商店街並びに地域との連携の強化と活性化に繋げることができた。
		消費生活相談事業	1,362	一般財源 1,362	消費生活相談員を嘱託雇用して、市民からの消費生活相談に応じた。相談員の勤務日は、月、水、金の週3日。 【相談状況】 H19相談件数 130件 ・架空請求 28件 ・消費者金融、多重債務 21件 ・店頭購入 4件 ・訪問販売 23件 ・その他 54件	来庁相談54件、電話相談が76件あり、近年の規制緩和の進展や高齢化、IT化の進展等社会情勢の変化を背景に益々、増加傾向にある。特に多重債務など消費者問題は深刻化しており、今後の対策は急務である。平成19年度において、既に契約を済ませ、支払い済み額や未払い額について解決した額は、2,416千円。

(6) 商工費

(1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																
147 150	2 商工振興費	天草大陶磁器展開催事業	7,238	国庫支出金 5,133 (5,133) 一般財源 2,105 (1,711)	<p>【日時】平成19年11月1日(木)～5日(月)</p> <p>【場所】天草市民センター・体育館・本渡地区窯元</p> <p>【内容】 今年度の大陶磁器展は市内窯元をはじめ、県内外の窯元71窯が一同に集い、県下最大級の陶磁器展として開催。 また、本渡地区7窯元が、それぞれ趣向を凝らしたおもてなしと合同窯出しを行った。 主会場の市民センターでは ・71窯による陶磁器展示、即売 ・陶磁器の島 AMAKUSA 陶芸展 ・ろくろを回そう体験 ・パネルディスカッション(宮沢りえ、日比野克彦ほか) ・行列のできる屋台村・物産展(18店舗) ・小学生の作陶体験展示 などを開催。 その他、「ラ・ダンサ」「天草文化協会島の息づかい」など他団体による同時期のイベントとともに連携・協力し、更には、観光ボランティアガイドが同乗して、本渡地区内の観光地や窯元を巡るバスツアーを毎日実施した。</p> <p>【事業費内訳】</p> <p>1. 事業費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>(1) 宣伝費</td> <td style="text-align: right;">3,864,893円</td> </tr> <tr> <td>(2) イベント費</td> <td style="text-align: right;">1,924,879円</td> </tr> <tr> <td>(3) イベント用設備費</td> <td style="text-align: right;">146,559円</td> </tr> <tr> <td>(4) アルバイト費</td> <td style="text-align: right;">621,300円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">6,557,631円</td> </tr> </table> <p>2. 一般事務費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>(1) 通信運搬費</td> <td style="text-align: right;">255,630円</td> </tr> <tr> <td>(2) 雑費</td> <td style="text-align: right;">31,490円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">287,120円</td> </tr> </table> <p>合計(補助対象費) 6,844,751円 補助金額 6,844,751円 × 3/4 5,133,000円</p> <p>3. 市単独費 393,570円 総事業費 7,238,321円</p>	(1) 宣伝費	3,864,893円	(2) イベント費	1,924,879円	(3) イベント用設備費	146,559円	(4) アルバイト費	621,300円	小計	6,557,631円	(1) 通信運搬費	255,630円	(2) 雑費	31,490円	小計	287,120円	<p>天草市(旧本渡市)においては、天草西海岸で産出する優良な天草陶石を活用し、平成13年度から3年間にわたって「陶芸のまちづくり事業」を、平成16年度からは「天草(ほんど)大陶磁器展」として開催し、今年度は出展者71、来場者数26,501人(うち4割が島外客)となり、熊本県でも有数の陶磁器展に成長し、イベントのテーマである「陶石の島から陶磁器の島へ」の目的を達成しつつある。今後もイベントを継続して実施し、更なる天草陶磁器ブランドを確立させる必要がある。</p> <p>また、天草市内の特産品や飲食物を集めた物産展や本渡地区窯元と観光名所を巡るツアーを昨年度より充実させた内容で実施。来場者に陶磁器とともに天草の物産品や観光資源を紹介し、天草の魅力をアピールできた。</p> <p>パネルディスカッション、講演会、さらには今年度再開したアーティスト・イン・レジデンス事業をイベントに関連させて実施したことで、知的満足度の高い内容となり、天草のイメージアップに貢献できた。</p> <p>来場者数 26,501人(本会場24,643人) うち島外来場者44%(アンケート結果による) 陶磁器売上 15,510千円(71窯) 物産売上 3,347千円(18店舗) ろくろ体験者 183人 窯元巡りツアー参加者 262人 陶芸コンテスト出品数 67点(49人)</p>
(1) 宣伝費	3,864,893円																					
(2) イベント費	1,924,879円																					
(3) イベント用設備費	146,559円																					
(4) アルバイト費	621,300円																					
小計	6,557,631円																					
(1) 通信運搬費	255,630円																					
(2) 雑費	31,490円																					
小計	287,120円																					

(6) 商工費

(1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
147) 150	2 商工振興費	アーティスト・イン・レジ デンス事業	2,854	国庫支出金 1,377 (1,377) 一般財源 1,477 (460)	<p>【目的】 本事業は、著名陶芸家や新進気鋭のアーティストを天草に招聘し、滞在中での創作活動等を通して、次世代を担う若手陶芸家の技術力の向上と天草陶磁器の新たな一面を模索することを目的に実施。</p> <p>【内容】 黒田泰蔵氏（陶芸家）、松岡志保氏（造形作家）及び稲森栄敬氏（アーティスト）の3人を招聘 招聘作家の作品製作にあたっては、素材に天草陶石を使用していただき、滞在中に公開制作、アーティスト・トーク等を中心に実施。若手陶芸家の技術力と創作意欲の向上を図るとともに天草陶磁器の新たな可能性を見出した。</p> <p>【事業費内訳】 1．事業費 (1)概念設計費 1,081,520円 (2)製作費 564,000円 (3)原材料費 70,845円 小計 1,716,365円 2．一般事務費 (1)通信運搬費 18,510円 (2)雑費 102,130円 小計 120,640円 合計（補助対象費） 1,837,005円 補助金額 1,837,005円 × 3/4 1,377,000円 3．市単独費 1,016,000円 総事業費 2,853,005円</p>	<p>著名陶芸家など3人を天草に招聘。滞在中、公開制作やアーティスト・トーク、招聘作家と若手窯元との共同制作を通して、若手窯元の感性や技術力の向上を図った。</p> <p>具体的には、まず、陶芸家の黒田泰蔵氏の公開制作においては、天草島内外から参加した若手陶芸家が黒田氏のろくろの製作技術を目の当たりにでき、さらに様々な質問を投げかけながら、時には絶賛や感嘆の声が挙がるなど、これからのろくろの技術力向上に多大な影響を与えた。</p> <p>また、造形作家の松岡志保氏の天草陶石によるクレイワーク（粘土細工）でのオブジェや小物製作は、天草陶石の新たな可能性を見出し地元若手窯元の創作意欲向上につながった。</p> <p>さらに、アーティストの稲森栄敬氏による天草陶石での石膏型の作品（白磁のシロクマ）製作は、ろくろ製造を主とする地元窯元にとっては、今後の量産体制の参考になった。</p> <p>今後も、今年度の成果を踏まえ、国内外の著名アーティスト等の交流を通して、多様なニーズに対応した商品開発やデザイン技術の導入、さらに海外の異なる技法等を習得することによって将来を担う人材育成を図っていきたい。</p>

(6) 商工費

(1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
147 150	2 商工振興費	天草市物産振興協会補助事業(物産振興事業)	950	一般財源 950	補助金 950,000円 本市の物産振興において、中心的な役割を担う天草市物産振興協会の運営に対し、補助金を交付した。 (協会概要) ・H19年度会員数 54業者 年会費10,000円 ・事業内容は、百貨店における物産展や各種イベント・商談会への出店・PR、協会パンフレット作成・配布、デザインバッグの作成など。 ・事業費は、2,184千円(H19)	旧本渡市物産振興協会を母体に発足した天草市物産振興協会は、今年度も4社の新規加入があり、会員数54社の協会となった。今年度は、理事数を増加させるなど協会体制の見直しを行い、役員も市域全体を網羅した体制とした。 会員数の増加に伴い、百貨店、量販店における物産展、市内外の各種イベントへの出店など積極的な参加が得られ、19イベントに延べ71社が出店し、天草の物産をPR・販売を行った。 また、会員の産品を紹介するパンフレットを3万部を作成し、各観光物産展や県人会、ふるさと会などへ配布しPRを行った。
		天草謹製認定事業補助事業(物産振興事業)	760	一般財源 760	補助金 760,000円 本事業は、天草に関する商品等を天草オリジナルブランド「天草謹製」として認定し、商標を通じて情報発信することにより、天草の知名度向上、産業振興及び地域活性化を図ることを目的に天草ルネッサンス天草謹製認定委員会(会長：益崎洋一朗 事務局：本渡商工会議所)が実施。本事業に対し、補助金の交付を行った。	今年度は6月と11月に認定審査会が開催され、4品目が認定。昨年度とあわせて認定品は10品となった。 全国的な地域ブランドブームの中、天草オリジナルブランドとして注目を浴び、新聞、テレビ等のマスコミをはじめ、国の機関が発行する各種情報誌にも取り上げられ、全国に向けて「天草謹製」が発信された。 認定者からは、「直接収入増につながっている。」と喜びの声や認定者同士の交流が図られ、コラボによる商品開発の話まで出てくるなど、今後の更なる天草謹製プロジェクトの発展が期待される。
		スマイルパーク維持管理事業	279	一般財源 279	需用費 (内訳) 278,471円 消耗品費 37,560円 光熱水費 216,781円 修繕料 24,130円	平成10年5月、市(旧本渡市)で旧熊本銀行跡地を購入し、ポケットパークとして整備。平成12年3月には多目的トイレなどを併設したステージを建設。中央商店街に市民の憩いの場を提供し、商業の活性化及び市民の福祉向上を図っている。 【H19年度利用者数】・・・9,800人 イベントでの利用者数

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																
150 152	3 観光費	(社)天草宝島観光協会補助金	99,199	一般財源 99,199	<p>平成19年7月1日に社団法人化した天草宝島観光協会に対して下記内訳のとおり、補助金を交付した。</p> <p>【一般事業費】</p> <table> <tr> <td>観光宣伝・観光客誘致促進事業</td> <td>31,883,108円</td> </tr> <tr> <td>観光資源開発・保護育成事業</td> <td>2,260,934円</td> </tr> <tr> <td>観光受入態勢充実事業</td> <td>9,892,362円</td> </tr> <tr> <td>調査研究事業費</td> <td>1,379,654円</td> </tr> <tr> <td>観光関連諸機関</td> <td>630,287円</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>46,046,345円</td> </tr> <tr> <td>【管理費】</td> <td>53,152,655円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>99,199,000円</td> </tr> </table>	観光宣伝・観光客誘致促進事業	31,883,108円	観光資源開発・保護育成事業	2,260,934円	観光受入態勢充実事業	9,892,362円	調査研究事業費	1,379,654円	観光関連諸機関	630,287円	小計	46,046,345円	【管理費】	53,152,655円	合計	99,199,000円	<p>イベント等の観光情報はもとより、食などの物産や旅行商品の情報を広く一般に提供するとともに、ターゲットに応じて各種メディアを活用したPRを積極的に行なってきた。</p> <p>東京・大阪でのセールス活動(5回) 広島・鹿児島での観光PR(2回) 福岡での観光PR(セールス活動も含む)(6回) 熊本県内での観光PR(5回)</p> <p>特別事業として、五足の靴来島100周年記念キャンペーンを実施し、観光客の誘致を図った。</p>
観光宣伝・観光客誘致促進事業	31,883,108円																					
観光資源開発・保護育成事業	2,260,934円																					
観光受入態勢充実事業	9,892,362円																					
調査研究事業費	1,379,654円																					
観光関連諸機関	630,287円																					
小計	46,046,345円																					
【管理費】	53,152,655円																					
合計	99,199,000円																					
		天草市観光協会補助金	19,139	一般財源 19,139	<p>平成19年4月～6月の間、下記内訳のとおり補助金を交付した。</p> <p>【一般事業費】</p> <table> <tr> <td>観光宣伝・観光客誘致促進事業</td> <td>13,039,000円</td> </tr> <tr> <td>観光受入態勢充実事業</td> <td>1,408,000円</td> </tr> <tr> <td>調査研究事業費</td> <td>18,000円</td> </tr> <tr> <td>五足の靴キャンペーン特別事業</td> <td>3,050,000円</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>17,515,000円</td> </tr> <tr> <td>【管理費】</td> <td>1,624,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19,139,000円</td> </tr> </table>	観光宣伝・観光客誘致促進事業	13,039,000円	観光受入態勢充実事業	1,408,000円	調査研究事業費	18,000円	五足の靴キャンペーン特別事業	3,050,000円	小計	17,515,000円	【管理費】	1,624,000円	合計	19,139,000円	<p>天草にある観光素材を情報発信したり、島内で行われるイベントへの誘客を図ったりするために、大都市圏でのPR活動を行なってきた。又、市内にある観光素材を旅行商品につなげるために地域及び、天草観光協会、県や観光連盟、九州観光推進機構等との連携を図ってきた。</p>		
観光宣伝・観光客誘致促進事業	13,039,000円																					
観光受入態勢充実事業	1,408,000円																					
調査研究事業費	18,000円																					
五足の靴キャンペーン特別事業	3,050,000円																					
小計	17,515,000円																					
【管理費】	1,624,000円																					
合計	19,139,000円																					
		観光宣伝事業	18,302	一般財源 18,302	<p>観光立市を目指し、観光素材の開発と天草の魅力を広く情報発信する施策を行った。</p> <table> <tr> <td>・TV宣伝(ビーチフットボール大会)</td> <td>950,000円</td> </tr> <tr> <td>・雑誌、新聞宣伝</td> <td>996,375円</td> </tr> <tr> <td>・ラジオ宣伝</td> <td>253,050円</td> </tr> <tr> <td>・インターネット掲載</td> <td>472,500円</td> </tr> <tr> <td>・地域PR・商品開発委託料</td> <td>15,000,000円</td> </tr> <tr> <td>・イベントPR委託料</td> <td>630,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>18,301,925円</td> </tr> </table>	・TV宣伝(ビーチフットボール大会)	950,000円	・雑誌、新聞宣伝	996,375円	・ラジオ宣伝	253,050円	・インターネット掲載	472,500円	・地域PR・商品開発委託料	15,000,000円	・イベントPR委託料	630,000円	合計	18,301,925円	<p>観光情報の発信と観光資源開発宣伝事業を行うと共に、ドキュメンタリードラマ番組の制作・放送及び、天草の食材を生かした新たな郷土料理「天草ちゃんこ鍋」の開発に取り組み「牛深ハイヤちゃんこ」を商品化した。</p>		
・TV宣伝(ビーチフットボール大会)	950,000円																					
・雑誌、新聞宣伝	996,375円																					
・ラジオ宣伝	253,050円																					
・インターネット掲載	472,500円																					
・地域PR・商品開発委託料	15,000,000円																					
・イベントPR委託料	630,000円																					
合計	18,301,925円																					

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																														
150) 152	3 観 光 費	大会誘致補助金	650	一般財源 650	<p>天草市内の各種大会及び合宿を誘致することを奨励し観光振興と経済発展に寄与することを目的に補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付の対象は50人以上 <p>補助金の額は、熊本県大会 50,000円 九州大会 70,000円、全国大会 100,000円、合宿 50,000円とする。</p> <p>(年度別 誘致事業数 宿泊者数の推移)</p> <table border="1"> <tr><td>平成10年度</td><td>8事業</td><td>2,030人</td></tr> <tr><td>平成11年度</td><td>4事業</td><td>927人</td></tr> <tr><td>平成12年度</td><td>10事業</td><td>2,240人</td></tr> <tr><td>平成13年度</td><td>9事業</td><td>2,144人</td></tr> <tr><td>平成14年度</td><td>10事業</td><td>1,964人</td></tr> <tr><td>平成15年度</td><td>14事業</td><td>2,738人</td></tr> <tr><td>平成16年度</td><td>12事業</td><td>2,823人</td></tr> <tr><td>平成17年度</td><td>15事業</td><td>3,404人</td></tr> <tr><td>平成18年度</td><td>14事業</td><td>2,830人</td></tr> <tr><td>平成19年度</td><td>13事業</td><td>2,134人</td></tr> </table>	平成10年度	8事業	2,030人	平成11年度	4事業	927人	平成12年度	10事業	2,240人	平成13年度	9事業	2,144人	平成14年度	10事業	1,964人	平成15年度	14事業	2,738人	平成16年度	12事業	2,823人	平成17年度	15事業	3,404人	平成18年度	14事業	2,830人	平成19年度	13事業	2,134人	<p>平成19年度 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・錦が丘中学校男子テニス部 合宿 75人 ・北部中学校男子テニス部 強化合宿 68人 ・第3回谷脇杯争奪高等学校ハンドボール大会及び夏季合宿 291人 ・天草高等学校男子ソフトボール部 合宿 72人 ・済々黌高等学校陸上部夏季強化合宿 113人 ・第52回熊本県信用金庫野球大会 66人 ・第5回佐伊津カップ中学生ソフトテニス大会 274人 ・第6回天草カップ高校新人バレーボール協会 238人 ・三菱重工長崎マリン部九州実業団駅伝調整合宿 60人 ・平成19年度中学女子バレーボール牛深合宿 520人 ・三菱重工マラソン部調整合宿 78人 ・天草陸上競技協会 117人 ・三菱重工マラソン部強化合宿 162人 <p>計13件 2,134人 50,000円×13件=650,000円</p>
平成10年度	8事業	2,030人																																		
平成11年度	4事業	927人																																		
平成12年度	10事業	2,240人																																		
平成13年度	9事業	2,144人																																		
平成14年度	10事業	1,964人																																		
平成15年度	14事業	2,738人																																		
平成16年度	12事業	2,823人																																		
平成17年度	15事業	3,404人																																		
平成18年度	14事業	2,830人																																		
平成19年度	13事業	2,134人																																		
		観光イベント補助金	38,526	一般財源 38,526	<p>各観光イベント実行委員会に対し、事業費の一部として下記のとおり補助金を交付した。</p> <p>(牛深)</p> <table border="1"> <tr><td>牛深ハイヤ祭り</td><td>11,713,000円</td></tr> <tr><td>牛深あかね市</td><td>7,267,000円</td></tr> </table> <p>(天草)</p> <table border="1"> <tr><td>あったか天草椿まつり</td><td>893,746円</td></tr> <tr><td>下田温泉祭</td><td>3,420,000円</td></tr> <tr><td>福連木子守唄&童謡まつり</td><td>1,520,000円</td></tr> </table> <p>(有明)</p> <table border="1"> <tr><td>有明夏祭りさざ波フェスタ</td><td>4,531,000円</td></tr> </table> <p>(御所浦)</p> <table border="1"> <tr><td>御所浦よかごと祭</td><td>570,000円</td></tr> </table>	牛深ハイヤ祭り	11,713,000円	牛深あかね市	7,267,000円	あったか天草椿まつり	893,746円	下田温泉祭	3,420,000円	福連木子守唄&童謡まつり	1,520,000円	有明夏祭りさざ波フェスタ	4,531,000円	御所浦よかごと祭	570,000円	<p>各観光イベント実行委員会が実施するイベントの参加者については、県内外から延べ135,400人となっている。 今後は、対象となる年齢層を絞って関係情報誌などへの宣伝活動を推進していくことが重要である。</p>																
牛深ハイヤ祭り	11,713,000円																																			
牛深あかね市	7,267,000円																																			
あったか天草椿まつり	893,746円																																			
下田温泉祭	3,420,000円																																			
福連木子守唄&童謡まつり	1,520,000円																																			
有明夏祭りさざ波フェスタ	4,531,000円																																			
御所浦よかごと祭	570,000円																																			

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
150) 152	3 観光費	観光イベント補助金 (つづき)	38,526	一般財源 38,526	(倉岳) 倉岳えびす祭り 1,140,000円 (五和) 森のちから海のちからキャンプ 46,706円 (新和) しんわ楊貴妃祭り 3,420,000円 (河浦) 教会の見える崎津みなとのフェスティバル 1,282,000円 (栖本) 栖本かっぱ祭り 2,247,270円 (本渡) 天草映画祭 475,000円 計13件 26,812,722円	(参加者数) 牛深ハイヤ祭り 65,000人 牛深あかね市 30,000人 あったか天草椿まつり 2,000人 下田温泉祭 8,000人 福連木子守唄&童謡まつり 3,000人 有明夏祭りさざ波フェスタ 10,000人 御所浦よかご祭 600人 倉岳えびす祭り 3,500人 森のちから海のちからキャンプ(中止) 0人 しんわ楊貴妃祭り 4,000人 教会の見える崎津みなとのフェスティバル 3,000人 栖本かっぱ祭り 6,000人 天草映画祭 300人 計135,400人
152) 154	4 観光施設管理費	観光施設整備事業	120,192	県支出金 703 その他 17,007 一般財源 102,482	観光施設123施設の維持管理を行った。 ・観光施設管理事務経費 33,557,152円 ・本渡地区観光施設 2,838,953円 ・牛深地区観光施設 7,145,829円 ・有明地区観光施設 4,130,643円 ・御所浦地区観光施設 670,153円 ・倉岳地区観光施設 3,253,520円 ・栖本地区観光施設 6,087,190円 ・新和地区観光施設 7,122,112円 ・五和地区観光施設 23,414,108円 ・天草地区観光施設 13,038,252円 ・河浦地区観光施設 18,933,403円 (事業費内訳) 需用費 32,429,321円 委託料 75,049,964円 その他の事業費 12,712,030円 120,191,315円	本市に訪れた観光客が、旅行の目的地として、また、ニーズに応じて利用できるよう各種観光施設の日常的な維持・管理業務のほか、環境美化作業、補修・修繕を行った。多種多様な観光施設の効果的な利用と連携を促進し、天草の魅力をアピールするとともに観光振興に寄与することができた。 また、温泉施設など12施設は、指定管理者に管理させており、民間の柔軟性・機動性と経営ノウハウを導入し、経費の節減を図った。

(6) 商工費

(1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
152) 154	4 観光施設管理費	観光施設維持補修事業	21,552	県支出金 8,300 地方債 5,300 一般財源 7,952	観光施設の大規模な維持補修等を行った。 【事業内容】 ・四郎ヶ浜ビーチ環境整備工事 2,331,000円 ・白鶴浜海水浴場配水管布設工事 1,798,588円 ・崎津観光駐車場舗装工事 714,000円 ・天草市観光サイン設置工事 7,582,877円 ・新和緑の村バンガロー改築工事 5,340,226円 ・天草市観光看板設置工事 1,029,000円 (事業費内訳) 委託料 2,555,385円 工事請負費 18,795,691円 負担金補助及び交付金 201,000円 21,552,076円	四郎ヶ浜ビーチ環境整備工事及び白鶴浜海水浴場配水管布設工事の実施により、海水浴場の海浜及び付帯施設が整備された。その結果、海水浴場の環境が整備され、利便性も高まり、多数の海水浴客が訪れた。 四郎ヶ浜ビーチ入場者数 99,348人 白鶴浜海水浴場入場者数 40,000人 崎津観光駐車場舗装工事の実施により、大型バスの駐車がしやすくなり、崎津教会観光の推進につながった。 高規格道路の開通に伴い、天草市観光サインを上津浦インターに設置した。さらに同インター進入口及び米の山インター進入口に観光看板を設置した。ドライバーに天草の観光情報を提供するとともに、観光の魅力を発信することができた。 新和緑の村バンガロー改築工事で、5棟にバス・トイレを設置した。利用者ニーズに即した改築を行ったので、今後、利用者の増加が見込まれる。
		観光施設解体撤去事業	6,643	一般財源 6,643	老朽化した観光施設の解体撤去を行った。 【事業内容】 ・五色島キャンプ場施設解体工事 5,256,921円 ・轟公園水車解体工事 1,386,000円 (事業費内訳) 工事請負費 6,642,921円	五色島キャンプ場及び轟公園水車は、老朽化により危険な状態となったため、いずれも解体撤去した。工事施行により、事故発生の恐れが解消された。

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
154 155	6 美来プラザ費	美来プラザ維持管理事業	6,309	一般財源 6,309	<p>美来プラザ維持管理事業 6,309,351円 (内訳)</p> <p>【美来プラザ費事務経費】</p> <p>報酬(運営審議会報酬) 90,000円 共済費(社会保険料等) 190,081円 賃金(臨時職員) 1,400,508円 需用費(消耗品費等) 294,890円 役務費(電話料、郵便料) 99,790円 委託料(施設管理委託料) 1,185,800円 使用料及び賃借料 185,640円 計 3,446,709円</p> <p>【美来プラザ施設管理】</p> <p>需用費(光熱水費、修繕料) 1,606,072円 役務費(消防点検手数料) 63,000円 委託料(清掃委託料等) 708,570円 計 2,377,642円</p> <p>【美来プラザ教養講座】</p> <p>健康体操講座、パッチワーク講座、絵手紙講座、 フラワーアレンジメント講座、英会話講座 の実施。</p> <p>報償費 485,000円 計 485,000円</p>	<p>平成元年1月1日、「本渡勤労者総合福祉センター」として、当時の雇用促進事業団によって建設され、以来、勤労者の福利厚生施設として運営されてきた。平成15年度には市(旧本渡市)の施設として名称も正式に「美来プラザ」と改称し、平成17年度からは市が直接運営するようになる。さらに平成18年3月27日、2市8町の合併後は、天草市民全体の施設として幅広く利用されている。</p> <p>主催事業として各種教養講座を開催し、市民の健康増進や教養を高めている。</p> <p>【H19年度利用者数】・・・35,118人 (内訳) 研修・会議室等 17,130人 多目的ホール17,988人</p> <p>各種教養講座 95回開催(延べ2,229人)</p>

(7) 土木費 (2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
157 158	2 道路維持費	市道清掃ボランティア支援事業	8,580	一般財源 8,580	団体登録数 429団体 市道清掃延長 476km 報償費 429団体×20,000円 8,580,000円	道路利用者がボランティアで清掃作業をすることにより快適な道路環境を確保するとともに、除草作業委託経費の軽減が図られた。
		市内一円道路維持補修事業	21,974	一般財源 21,974	道路維持補修 維持補修手数料 134件 8,511,568円 道路維持補修等に伴う原材料の支給 アスファルト合材外195件 10,269,206円 生活関連道路整備に伴う原材料の支給 生コンクリート外 本渡 5件 922,299円 牛深 2件 76,387円 有明 2件 111,228円 倉岳 1件 227,640円 新和 1件 290,272円 五和 4件 648,622円 天草 3件 404,853円 河浦 3件 511,887円 計 21件 3,193,188円 合計 21,973,962円	年間を通じて、市道の道路補修、除草作業を実施するとともにカーブミラー、側溝蓋等を設置、補修することにより、歩行者と車の安全な通行を確保し、快適な道路環境を図った。 また、生コンクリート等の原材料を支給し生活関連道路の整備を図った。
		道路維持補修業務委託事業	89,442	一般財源 89,442	道路維持補修業務委託 本渡 5件 19,561,327円 牛深 1件 9,555,000円 有明 2件 6,783,000円 倉岳 1件 2,362,500円 栖本 2件 2,908,500円 御所浦 1件 4,336,500円 新和 2件 4,074,000円 五和 2件 11,695,676円 天草 3件 10,729,895円 河浦 2件 7,822,500円 計(21件) 79,828,898円 道路台帳の整備作成業務 データ統合・台帳作成 9,072,000円	道路での危険箇所を調査し、迅速に対応、処理するとともに、街路樹管理および道路除草、附帯施設の整備をすることにより市街地の環境美化と道路交通の安全を図った。 道路台帳の管理において、市全体の道路網図の作成を行った。

(7) 土木費 (2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
157)	2 道路維持費	道路維持補修業務委託事業 (つづき)			分筆登記業務2路線3筆 540,989円 合計 89,441,887円	市道における分筆所有権移転の登記を実施し未登記路線の解消を図った。
158		道路強化舗装および路肩側溝等修繕事業	172,795	地方債 119,800 一般財源 52,995	【道路舗装等】23件 (35路線) 本渡 11件(21路線) L=3,856m 52,768,993円 有明 4件(5路線) L=672m 6,462,092円 新和 1件(1路線) L=80m 1,981,279円 五和 3件(3路線) L=350m 4,305,000円 天草 3件(4路線) L=396m 7,478,794円 河浦 1件(1路線) L=257m 2,677,500円 計 L=5,611m 75,673,658円 【道路補修等】53件 (67路線) 本渡 17件(24路線) L=1,613m 41,864,966円 牛深 7件(9路線) L=550m 9,429,000円 有明 4件(5路線) L=125m 5,510,618円 倉岳 5件(6路線) L=109m 3,219,544円 栖本 2件(2路線) L=150m 2,320,500円 御所浦 3件(3路線) L=148m 10,437,000円 新和 5件(6路線) L=307m 7,577,844円 五和 2件(2路線) L=171m 3,294,579円	市道の舗装工事および補修工事を実施し、道路面を常に良好な状態に維持保全することにより、通行の安全確保が図られた。

(7) 土木費 (2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
157) 158	2 道路維持費	道路強化舗装および路肩側溝等修繕事業 (つづき)			天草 6件(8路線) L = 423m 8,901,389円 河浦 2件(2路線) L = 71m 4,565,587円 計 L = 3,667m 97,121,027円 合計 L = 9,278m 172,794,685円	
158) 160	3 道路新設改良費	本渡柙宇土線道路改良事業	84,857	国庫支出金 34,155 地方債 50,000 一般財源 702	【交付金事業】 補助率 5.5/10 (事業費内訳) 平成18年度繰越 工事請負費 29,237,601円 改良工事(3件) L=522.6m 事務費 62,399円 計 29,300,000円 平成19年度 工事請負費 12,298,707円 改良工事(1件) L=32.3m 用地費 7,633,948円 補償費 9,514,900円 事務費 3,352,445円 計 32,800,000円 平成20年度へ繰越 28,500,000円 【単独事業】 (事業費内訳) 平成18年度繰越 工事請負費 5,282,426円 改良工事(1件) L = 272m 計 5,282,426円 平成19年度 工事請負費 13,182,609円 舗装工事 L = 297m	道路交通網の整備により、車両の安全通行、歩行者の安全確保が図られた。 幹線道路として、市街地への交通混雑の緩和、主要施設への連携道路として効果が発揮できる。 事業期間 平成12年度～平成19年度 事業費 1,495,000千円 事業量 1,000m 平成20年度完了予定 道路交通網の整備により、車両の安全通行、歩行者の安全確保が図られた。 幹線道路として、市街地への交通混雑の緩和、主要施設への連携道路として効果が発揮できる。 事業期間 平成9年度～平成19年度 事業費 559,000千円 事業量 933m 平成20年度完了予定

(7) 土木費

(2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
158 ） 160	3 道路新設改良費	本渡杵宇土線道路改良事業 (つづき)			委託料 194,250円 用地費 2,099,552円 補償費 1,707,800円 事務費 289,908円 計 17,474,119円 平成20年度へ繰越 16,000,000円	
		浄南小松原線道路改良事業	140,984	国庫支出金 73,700 地方債 65,600 一般財源 1,684	【交付金事業】 補助率 5.5/10 (事業費内訳) 平成18年度繰越 工事請負費 7,245,000円 改良工事(1件) 仮橋設置 委託料 719,250円 用地費 2,210,395円 補償費 119,116,592円 事務費 708,763円 計 130,000,000円 平成19年度 委託料 99,750円 事務費 3,900,250円 計 4,000,000円 平成20年度へ繰越 76,000,000円 【単独事業】 (事業費内訳) 平成19年度 用地費 190,968円 補償費 5,879,300円 事務費 913,983円 計 6,984,251円	老朽化した昭和橋の架替え工事を実施し、車両の 安全通行、歩行者の安全通行を確保する。 事業期間 平成17年度～平成21年度 事業費 370,000千円 事業量 90m(橋梁L=34m、取付工L=56m)

(7) 土木費

(2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
158 ） 160	3 道路新設改良費	一町田中央線道路改良事業	107,060	国庫支出金 53,790 (57,035)	【交付金事業】 (事業費内訳表) 補助率 5.5/10 平成18年度繰越 工事請負費 97,106,797円 改良工事(2件) 護岸・橋台、橋脚 事務費 93,203円 計 97,200,000円	老朽化に伴い、平成15年度より全面通行止を行 なっている一町田橋の架替工事を実施し、主要施設 への連携を図る。 事業期間 平成16年度～平成20年度 事業費 395,000千円 事業量 60m(橋梁L=60m)
		地方債 49,800		平成19年度 工事請負費 5,796,000円 改良工事(1件) 右岸・護岸工 事務費 704,000円 計 6,500,000円 ・国庫支出金については繰越で対応 平成20年度へ繰越 9,500,000円		
		白木河内西高根線道路改良 事業	36,600	国庫支出金 20,130 地方債 15,900 一般財源 570	【交付金事業】 (事業費内訳表) 補助率 5.5/10 平成18年度繰越 工事請負費 16,172,117円 改良工事(2件) L=131.7m 事務費 427,883円 計 16,600,000円 平成19年度 工事請負費 15,626,944円 改良工事(1件) L=130m 用地費 1,753,925円 補償費 1,514,249円 事務費 1,104,882円 計 20,000,000円	国道266号線と主要地方道本渡牛深線を結ぶ路線 であり、養殖、砕石業の運搬車両や通勤、スクール バスの安全通行を確保するため改良工事を実施す る。 事業期間 平成17年度～平成22年度 事業費 330,000千円 事業量 660m

(7) 土木費

(2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
158 ） 160	3 道路新設改良費	浪床線道路改良事業	67,300	国庫支出金 37,015	【交付金事業】 (事業費内訳表) 平成18年度繰越 工事請負費 改良工事(1件) 事務費 計 22,600,000円	補助率 5.5/10 幅員が狭く老朽化した浪床橋の架替工事を実施し、地域の生活道路として、歩行者及び車両等の通行の安全が確保された。 事業期間 平成17年度～平成19年度 事業費 96,700千円 事業量 155m(橋梁L=34m、取付工L=121m)
		地方債 29,400		平成19年度 工事請負費 改良工事(2件) 舗装工費(1件) 補償費 事務費 計 44,700,000円		
		一般財源 885		立大多尾樫浦線道路改良事業		
地方債 25,000	大規模単独事業	268,498	地方債 264,500	総事業費 平成18年度繰越 有明地区 工事請負費 舗装工事(2件) 計 31,421,438円	地域住民の日常生活に不可欠な施設である道路を整備し、生活環境及び地域振興の向上を図る。 1路線の工事費が概ね10,000千円以上となる工事を実施。	
一般財源 3,998	五和地区 工事請負費 改良工事(2件) 用地費 補償費 計 43,076,728円					

(7) 土木費

(2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
158 } 160	3 道路新設改良費	大規模単独事業 (つづき)			<p>平成19年度 194,000,106円</p> <p>工事契約件数 14件</p> <p>工事施工延長 L = 4,160.7m</p> <p>本渡地区</p> <p>補償費 756,000円</p> <p>計 756,000円</p> <p>牛深地区</p> <p>委託料 1,512,000円</p> <p>計 1,512,000円</p> <p>有明地区</p> <p>工事請負費 44,515,470円</p> <p>改良工事(2件) L = 1,654.5m</p> <p>舗装工事(1件) L = 243.1m</p> <p>委託料 1,554,000円</p> <p>計 46,069,470円</p> <p>倉岳地区</p> <p>工事請負費 18,772,600円</p> <p>舗装工事(2件) L = 840m</p> <p>委託料 472,500円</p> <p>計 19,245,100円</p> <p>栖本地区</p> <p>工事請負費 20,536,509円</p> <p>改良工事(1件) L = 289m</p> <p>舗装工事(1件) L = 320m</p> <p>委託料 1,470,000円</p> <p>計 22,006,509円</p> <p>新和地区</p> <p>工事請負費 16,275,253円</p> <p>改良工事(1件) L = 73m</p> <p>委託料 3,339,000円</p> <p>補償費 1,041,900円</p> <p>計 20,656,153円</p>	

(7) 土木費

(2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
158 } 160	3 道路新設改良費	大規模単独事業 (つづき)			五和地区 工事請負費 69,662,707円 改良工事(4件) L = 351.1m 舗装工事(1件) L = 281m 委託料 493,500円 用地費 565,343円 補償費 1,344,259円 計 72,065,809円 河浦地区 工事請負費 10,876,776円 改良工事(1件) L = 109m 委託料 441,000円 用地費 149,889円 補償費 221,400円 計 11,689,065円	
		小規模単独事業	223,552	地方債 205,000 一般財源 18,552	総事業費 223,552,458円 平成18年度繰越 34,430,067円 御所浦地区 委託料 7,702,067円 計 7,702,067円 天草地区 工事請負費 13,698,000円 改良工事(2件) L = 200m 計 13,698,000円 本渡地区 工事請負費 13,030,000円 改良工事(2件) L = 172m 舗装工事(1件) L=136m 計 13,030,000円	地域住民の日常生活に不可欠な施設である道路を整備し、生活環境及び地域振興の向上を図る。 1路線の工事費が概ね10,000千円以下となる工事を実施。

(7) 土木費

(2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
158) 160	3 道路新設改良費	小規模単独事業 (つづき)			<p>平成19年度 189,122,391円</p> <p>工事契約件数 47件</p> <p>工事施工延長 L = 5,402m</p> <p>本渡地区</p> <p>工事請負費 17,304,500円</p> <p>改良工事(3件) L = 154.4m</p> <p>舗装工事(1件) L = 136m</p> <p>委託料 3,370,500円</p> <p>用地費 94,605円</p> <p>補償費 246,821円</p> <p>事務費 186,757円</p> <p>計 21,203,183円</p> <p>牛深地区</p> <p>工事請負費 40,622,321円</p> <p>改良工事費(14件) L = 754.4m</p> <p>舗装工事費(2件) L = 303m</p> <p>計 40,622,321円</p> <p>有明地区</p> <p>工事請負費 12,260,530円</p> <p>改良工事(1件) L = 296.6m</p> <p>委託料 283,500円</p> <p>用地費 99,000円</p> <p>計 12,643,030円</p> <p>御所浦地区</p> <p>工事請負費 6,183,528円</p> <p>改良工事(1件) L = 20m</p> <p>委託料 346,500円</p> <p>計 6,530,028円</p> <p>倉岳地区</p> <p>工事請負費 21,701,567円</p> <p>改良工事(3件) L = 1,046.4m</p> <p>計 21,701,567円</p>	

(7) 土木費

(2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
158 } 160	3 道路新設改良費	小規模単独事業 (つづき)			栖本地区 工事請負費 16,289,172円 改良工事(1件) L = 24.5m 舗装工事(2件) L = 576m 委託料 871,500円 計 17,160,672円 新和地区 工事請負費 6,572,624円 改良工事(3件) L = 226.5m 委託料 420,000円 計 6,992,624円 五和地区 工事請負費 7,999,201円 改良工事(3件) L = 620m 計 7,999,201円 天草地区 工事請負費 49,712,765円 改良工事(9件) L = 876.6m 舗装工事(2件) L = 183.6m 委託料 1,249,500円 計 50,962,265円 河浦地区 工事請負費 3,307,500円 舗装工事(2件) L = 184m 計 3,307,500円	
		市道災害防除事業	19,681	一般財源 19,681	総事業費 19,681,494円 工事契約件数 5件 工事施工延長 L = 182m 牛深地区 工事請負費 14,270,965円 災害防除工事(3件) L = 129m 計 14,270,965円	

(7) 土木費

(2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
158 ） 160	3 道路新設改良費	市道災害防除事業 (つづき)			五和地区 工事請負費 4,650,220円 災害防除工事(1件) <u> L = 48m</u> 計 4,650,220円 天草地区 工事請負費 760,309円 災害防除工事(1件) <u> L = 5m</u> 計 760,309円	
		国・県道整備事業負担金	49,432	地方債 46,950 一般財源 2,482	【合併特例債】 総事業費 49,432,000円 道路改良事業費 31,962,000円 舗装補修事業 9,970,000円 側溝整備事業 7,500,000円 地区別内訳 本渡地区 9,042,000円 牛深地区 7,545,000円 有明地区 4,535,000円 倉岳地区 1,500,000円 栖本地区 5,000,000円 新和地区 11,495,000円 五和地区 1,200,000円 天草地区 3,060,000円 河浦地区 6,055,000円	国道3路線(266号、324号、389号)主要地方道本渡牛深線ほか5路線、一般県道宮地岳本渡線ほか10路線の単県事業(道路改良、舗装補修及び側溝整備事業)の負担金。 道路改良事業(負担率15%) 舗装補修事業(負担率10%) 側溝整備事業(負担率15%)

(7) 土木費 (2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果	
160	4 橋梁維持費	橋梁保守点検事業	20,480	一般財源 20,480	委託料 中瀬戸航路標識灯保守点検業務委託 955,500円 瀬戸歩道橋自家用電気工作物保安管理業務委託 264,348円 瀬戸歩道橋操作・保守点検業務委託 19,260,150円 計 20,479,998円	瀬戸歩道橋・中瀬戸橋の維持管理及び安全管理に努め、地域住民の生活橋として利用者と船舶の安全が確保された。	
		橋梁現況診断調査事業		20,053	一般財源 20,053	橋梁点検調査の結果、損傷があり、詳細調査が必要と判断されたため、今回診断を行った。 橋梁点検調査及び健全度診断業務委託（2件） 大矢橋（本渡） 4,382,947円 中瀬戸橋（御所浦） 11,994,746円 計 16,377,693円 橋梁維持管理計画策定業務委託 天草市橋梁（1144橋） 3,675,000円 合計 20,052,693円	架設後20年を経過した2橋を点検及び健全度診断を行った。2橋とも深刻な損傷は無かったものの、経年劣化が進んでおり橋面防水や表面皮覆などにより、補修を行う必要がある。また今後、天草市が管理する60%が更新期となるため維持管理計画を策定し、橋梁の長寿命化とライフサイクルコストの縮小を実現したい。
		橋梁維持補修事業			37,022	一般財源 37,022	橋梁維持改修・補修工事 中瀬戸橋航路標識灯取替工事 6,877,500円 大矢橋橋梁改修工事 16,380,000円 瀬戸歩道橋改修工事（2件） 10,664,850円 日渡橋橋梁改修工事 3,100,000円 合計 37,022,350円 平成20年度へ繰越 8,900,000円

(7) 土木費

(3) 河川費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
161	2 河川管理費	河川維持事業	17,554	一般財源 17,554	河川施設管理業務委託 樋門等9件 河川掘削等40件 5,141,169円 上津浦ダム公衆トイレ清掃 業務委託 119,700円 河川・水路測量設計業務委 託 829,500円 小計 6,090,369円 芋洗川補修工事(倉岳) 捨石工 V=17.0m ³ 508,200円 橘川浚渫工事(本渡) 浚渫 V=64.0m ³ 283,500円 立浦川浚渫工事(本渡) 浚渫 V=97.0m ³ 378,000円 山浦川外1件河川維持工事(有明) 擁壁工 L=17.0m 861,000円 白木川維持工事(天草) 水路蓋 L=24.3m 323,531円 塩浜川護岸修繕工事(栖本) 238,350円 黒崎川護岸改良工事(新和) ブロック積 A=23.0m ² 1,198,942円 小浦川河川維持工事(五和) 三面張 L=14.0m 1,140,300円 棚底川河川維持工事(倉岳) 伐木・除草 L=270.0m 640,500円 馬場川河川維持工事(五和) 自然石積 A=4.9m ² 283,500円 北山浦川河川維持工事(五和) 堆積土砂除去 L=45.0m 488,250円 小浦川河川維持工事(五和) 堆積土砂除去 L=160.0m 372,750円	樋門等管理により、低地帯の浸水被害防止がはか られた。また、河川の堆積土除去や護岸補修により 機能回復が図られた。 河川の適切な掘削を実施することによって土砂等 障害物による滞留及び氾濫の防止が図られた。ま た、河川の護岸等の維持工事を実施したことによっ て護岸の補強が進み災害に強くなった。

(7) 土木費

(3) 河川費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
161	2 河川管理費	河川維持事業 (つづき)			河浦地区河川維持工事(河浦) L=82.5m 1,144,500円 梨山川護岸復旧工事(栖本) 根固コンクリート V=8.7m ³ 525,000円 長田川河川維持工事(天草) コルゲート再設置 L=80.0m 840,000円 吉の浦川河川維持工事(河浦) 掘削 V=160m ³ 262,500円 萩の平川河川堆積土除去工事(有明) 堆積土砂除去 V=157.6m ³ 289,800円 仮股川維持工事(本渡) 伐採 A=10.0m ² 111,300円 梨山川河川復旧工事(栖本) 根固コンクリート V=3.0m ³ 231,000円 五十五川河川復旧工事(栖本) 側壁コンクリート L=14.0m 168,000円 中岳川外1件河川維持工事(本渡) 掘削 V=218.0m ³ 550,604円 大工の浦川浚渫工事(栖本) 浚渫 V=90.0m ³ 262,500円 田導寺川堆積土除去工事(新和) 堆積土砂除去 V=101.0m ³ 361,236円 小計 11,463,263円 合計 17,553,632円	
		単独河川・排水路整備事業	22,623	一般財源 22,623	下十滴地区排水路工事(本渡) U型側溝 L=66.7m 1,333,500円 岡東地区排水路整備工事(牛深) 床版工 L=10.0m 側溝 L=5.4m 871,500円 五和町排水路整備工事(宮の後工区) 側溝 L=137.3m 9,450,000円 池田地区排水路整備工事(牛深) 排水路 L=29.5m 1,155,000円 五和町排水路整備工事(原工区) 側溝 L=86.1m 2,063,637円	集落内の小規模で老朽化が進んだ排水路の整備及び未整備地区の解消を図ることによって、浸水の被害を防止すると共に生活環境の改善が図られた。

(7) 土木費

(3) 河川費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
161	2 河川管理費	単独河川・排水路整備事業 (つづき)			五和町排水路整備工事（立石工区） 側溝 L=91.0m 2,184,000円 魚貫地区排水路整備工事（牛深） ブロック積A=46㎡ 擁壁V=2.5㎡ 2,410,434円 五和町排水路整備工事（在郷工区） 側溝 L=28.8m 1,291,500円 浦越地区排水路整備工事（牛深） 嵩上コンクリート L=73.5m 1,359,750円 中岳地区排水路整備工事（本渡） 側溝 L=13.5m 504,000円 合 計 22,623,321円	
161 ） 162	3 河川改良費	単独河川整備事業	11,099	一般財源 11,099	一の谷川河川改修工事（五和） L=21.6m ブロック積 A=45.0㎡ 2,799,349円 上河内川河川改良工事（天草） 石積工 A=33.0㎡ 木杭打工 L=84.0m 4,561,380円 上河内川河川改良工事（その2）（天草） L=29.0m ブロック積 L=88.0㎡ 3,738,000円 合 計 11,098,729円	補助事業の対象とならない小規模な護岸改良で、河川の断面不足による流水の滞留及び氾濫を防止し隣接する道路や住宅等の保全を図ることが出来た。
		宮崎地区災害防除（土留擁壁）事業	2,835	一般財源 2,835	宮崎地区災害防除工事 L=12.5m コンクリート擁壁 V=31.0㎡ 2,835,000円	山腹崩壊から住宅及び生命の安全を確保することが出来た。
		砂防関係県事業負担金	27,420	地方債 21,700 一般財源 5,720	急傾斜地崩壊対策事業負担金 擁壁工 負担率1/20 大原（栖本）鬼塚1（本渡）山の浦（牛深） 南風泊（御所浦） 総事業費124,400千円×1/20 負担金 6,220,000円	急傾斜地崩壊防止区域及び地すべり防止区域、砂防区域内で土砂災害から、市民の生命、財産の保護及び生活の安全が図られた。

(7) 土木費

(3) 河川費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
161 3 162	河川改良費	砂防関係県事業負担金 (つづき)			擁壁工 負担率1/10 平床2(本渡)平床3(本渡)山仁田(本渡) 内目(本渡) 総事業費163,300千円×1/10 負担金 16,330,000円 単県急傾斜地崩壊対策事業負担金 擁壁工 負担率1/3 柵の原(本渡)広瀬(本渡) 総事業費6,000千円×1/3 負担金 2,000,000円 単県地すべり対策事業負担金 法枠工・排水工 負担率1/10 金焼(本渡)楠甫(有明)城山(本渡) 総事業費8,700千円×1/10 負担金 870,000円 単県砂防事業負担金 護岸工 負担率1/10 高浜川支川(天草)仁田川(河浦) 総事業費20,000千円×1/10 負担金 2,000,000円 合 計 27,420,000円	
		県営建設海岸事業負担金	1,425	一般財源 1,425	単県海岸保全事業負担金 護岸工・浸食対策 負担率1/20 中形浦(倉岳)下津江(有明)檜浦(新和) 船場(本渡)江崎(本渡) 総事業費28,500千円×1/20 負担金 1,425,000円	近年の異常潮位及び台風などの高潮から道路・住宅・農地への被害及び生命の安全を図ることが出来た。

(7) 土木費 (4) 港湾費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
162 } 163	1 港湾管理費	港湾管理事業	5,702	県支出金 162 一般財源 5,540	茂木根港海水浴場清掃委託 882,100円 茂木根港浮遊物対策業務委託 1,364,318円 樋門・水門管理委託6箇所 768,000円 (錦島東・錦島西・障子の瀬・金焼・大門・東入江) 中田港可動橋操作委託 1,800,000円 中田港可動橋点検委託 147,000円 与ヶ浦港浄化槽維持管理業務委託 78,435円 牛深港トイレ清掃委託 215,000円 牛深港トイレ浄化槽維持管理業務委託 155,800円 上平港浄化槽維持管理業務委託 57,372円 棚底港待合所管理業務委託 203,700円 与ヶ浦港待合所開閉管理委託 29,925円 計 5,701,650円	茂木根港海浜公園内の清掃が実施され環境整備が図られた。また、浮遊物対策網を設置したことにより海水浴客に対し、安全で安心できる海浜を提供できた。 樋門管理により、低地帯の浸水被害防止が図られた。 トイレ、港湾施設及び植樹帯の清掃管理を行うことにより、観光客、海水浴客及び港湾利用者に快適な環境を提供できた。 中田港可動橋の操作、点検を行うことによりフェリーへの安全な乗降が図られた。
163 } 164	2 港湾建設費	港湾整備事業	128,517	国庫支出金 45,625 地方債 57,400 一般財源 25,492	上平港浮き棧橋改修工事 4,441,500円 一町田港主留海岸底質調査業務委託 283,500円 一町田港主留海岸(高潮)護岸工事 18,560,000円 富津港小島海岸附帯工事 3,931,282円 富津港小島海岸(高潮)護岸工事 46,892,275円 中田港海岸整備工事 1,123,500円 中田港海岸局部改良工事(その2) 17,027,072円 中田港海岸局部改良工事(その3) 16,346,652円 公有水面埋立確定測量業務委託 3,276,000円 (一町田港、上平港、富津港、中田港) その他の事務費 16,635,661円 計 128,517,442円	上平港の浮き棧橋改修により、船舶への乗降、貨物の積み卸しの安全性が向上した。台風や高潮時の越波による背後の民家及び農地への冠水被害防止が図られた。

(7) 土木費

(4) 港湾費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
163 ＼ 164	2 港湾建設費	港湾整備県事業負担金	19,360	地方債 19,300 一般財源 60	<p>本渡港港湾環境整備事業（緑地） 駐車場舗装 2,890㎡ 負担率 1/10 2,000,000円</p> <p>本渡港港湾施設改良費統合補助事業 側溝 700m 道路舗装 6,500㎡ 負担率 1/6 8,000,000円</p> <p>鬼池港港湾改修（地方）事業 浚渫 6,500㎡ 負担率 2/10 6,360,000円</p> <p>牛深港海岸局部改良事業 上部工 20.5m 水叩工 207m 負担率 1/20 3,000,000円</p> <hr/> <p>19,360,000円</p>	<p>○本渡港港湾環境整備事業により、大矢崎埋立地の駐車場が整備された。</p> <p>○本渡港港湾施設統合補助事業により、側溝及び道路の整備がされた。</p> <p>○港湾改修事業により鬼池港の浚渫及び海岸局部改良事業により牛深港の護岸が整備された。</p>

(7) 土木費

(5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
164 } 165	1 都市計画総務費	住居表示整備事業	473	一般財源 473	<p>【住居表示整備事業】 本渡北市街地の4町及び2町の一部の区域について、住居表示法の規定による住居表示を実施。</p> <p>(事業内訳) 消耗品費(表示板等) 431,182円</p> <p>【天草市住居表示審議会】 住居表示の整備の円滑な実施を図るため設置。 ・委員数 15人 ・開催回数 1回</p> <p>(事業内訳) 報酬費 42,000円</p>	合理的な住居の表示により、市民生活の利便性を向上させ、公共福祉の増進が図られた。 実施区域：丸尾町、中村町、八幡町、北原町、浜崎町の一部、今釜町の一部
		景観形成基礎調査事業	6,004	一般財源 6,004	<p>【景観形成基礎調査事業】 天草の良好な景観を保全、育成、創出するために必要な基礎調査及び景観計画(案)の策定。</p> <p>(事業内訳) 委託料(2件) 5,213,500円 基礎調査委託一式、景観計画策定委託一式 事務費(旅費) 34,000円 5,247,500円 20年度への繰越 2,973,000円</p> <p>【天草市景観計画策定審議会】 天草の良好な景観の保全、育成、創出を図るための景観計画策定に向け、有識者及び各種団体代表者により構成し、計画の骨子を策定する。 ・委員数 20人 ・開催回数7回(審議会4回、専門部会3回)</p> <p>(事業内訳) 報酬費 492,000円 旅費(費用弁償) 211,440円 703,440円</p>	良好な景観を保全、育成、創出するために必要な地域の景観要素、景観特性等の基本的な調査を行った。 この調査結果を踏まえ、豊かな自然を守り、誇りある文化的な景観を育み、風格ある都市景観の創出を市民とともに構築する、天草市景観計画(骨子案)の策定を行った。

(7) 土木費

(5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
164 ） 165	1 都市計画総務費	景観形成基礎調査事業 (つづき)			【天草町景観審議会】 天草町の景観を守り育てる条例の規定により天草町の景観形成に関する事項を調査審議するため設置。 ・委員数 11人 ・開催回数 1回 (事業内訳) 報酬費 48,000円 旅費(費用弁償) 4,560円 52,560円	有識者や天草町の地区振興会等の代表者を委員とし、天草町における景観形成に関する事項を調査・審議することで、景観形成の推進が期待できる。
165	3 街路事業費	太田町・水の平線街路整備事業	17,000	地方債 16,100 一般財源 900	【県営街路整備事業負担金】 都市計画道路太田町水の平線の整備に要する負担金 ・緊急地方道路整備事業 負担率1/10 第1工区(城下) 8,100,000円 第2工区(本戸馬場) 8,900,000円 17,000,000円	本渡の中心市街地を南北に縦断する幹線道路であり、地域の観光、商業の振興に寄与するとともに、都市の交通や防災、環境など多目的な機能を有し健全な市街地の形成と快適で魅力ある都市空間の形成が図られる。 第1工区(城下)(H15年度～H21年度) 総事業費359百万円、進捗率91% 第2工区(本戸馬場)(H9年度～H20年度) 総事業費1,568百万円、進捗率90%
165 ） 167	4 公園緑地費	公園維持管理事業	58,749	一般財源 58,749	【公園維持管理】 都市公園 箇所数 49箇所 面積 78.55ha その他の公園 箇所数 9箇所 面積 3.2ha (事業費内訳) 賃金 251,900円 報償費 1,246,350円 需用費 15,087,576円 役務費 1,112,656円 委託料 39,281,228円 使用料及び賃借料 491,480円 原材料費 499,015円 備品購入費 778,350円 計 58,748,555円	年間を通して、公園緑地の施設点検・清掃・除草・植物等の維持管理を実施。 施設の保全と都市環境の改善、利用者の利便性向上が図られた。

(7) 土木費

(5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
165 ┆ 167	4 公園緑地費	花しょうぶ祭り事業	1,715	一般財源 1,715	【花しょうぶ祭り】 場所 西の久保公園 (事業費内訳) 報償費 200,000円 需用費 454,366円 役務費 525,225円 委託料 232,050円 使用料及び賃借料 303,450円 計 1,715,091円	花菖蒲園(面積 0.5ha)で花しょうぶ祭りを開催。 4万6千人の来園者があり、観光や地域活性化が図られた。 期間：平成19年6月2日～6月10日
167	5 公園建設費	都市公園整備費	19,361	地方債 13,800 一般財源 5,561	【単独事業】 (事業費内訳) 委託料(1件) 647,850円 工事請負費(6件) 18,713,400円 計 19,361,250円	牛深公園の便所改修(水洗化)・舟浜公園フェンス改修等の工事を実施。 施設の充実により利用者の利便性の向上が図られた。

(7) 土木費

(5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
167 } 171	6 まちづくり 交付金費	まちづくり交付金事業	623,500	国庫支出金 260,000 地方債 363,300 一般財源 200	本渡中央北地区 《平成18年度からの繰越》 委託料 27,770,340円 工事請負費 167,711,088円 事務費（庁費等） 1,818,572円 計 197,300,000円 《平成19年度》 委託料 6,418,850円 工事請負費 390,509,870円 公有財産購入費 8,100,000円 事務費 21,171,280円 （内まちづくり活動推進 事業） (400,000円) （内空店舗補助金） (2,390,000円) （内庁費等） (5,599,280円) （内人件費） (12,782,000円) 計 426,200,000円 《平成20年度へ繰越》 工事請負費 67,063,630円 事務費 1,736,370円 計 68,800,000円 （事業内容及び事業費内訳） 道路事業 ・道路舗装事業 委託料（1件） 1,029,000円 測量設計委託（L=0.57km） 工事請負費（3件） 15,207,156円 舗装工事（3路線） L=570.2m 計 16,236,156円	本渡中央北地区 本渡中央北地区都市再生整備計画は、祇園橋や祇園社、城山公園、天草切支丹館などの歴史や観光資源を活かし、商店街、天草交流プラザ・仮称（旧ニチビル）～祇園橋～天草でんしょう館・仮称（旧教育会館）～城山公園、天草切支丹館の観光ルートを確認し、各施設の整備を行うとともに、地域に至る歩道等の高質化や案内板・情報板を設置し、回遊性のある市街地を形成、来街者の利便性の向上と地域の魅力を高め、また、観光ボランティアの育成により交流を促進し、地域の活性化を図るものである。 事業期間：平成17年度～21年度（5ヶ年間） 全体事業費：2,314,000,000円 H19年度末進捗率：50.8% 事業内容： 〔基幹事業〕道路、地域生活基盤施設（広場、情報板）、高質空間形成施設（歩道等高質化、城山公園）、高次都市施設（天草切支丹館）、既存建造物活用事業（天草でんしょう館（仮称）、天草交流プラザ（仮称）） 〔提案事業〕まちづくり活動推進事業（観光ボランティア育成等）、地域創造支援事業（空き店舗対策事業、商店街イベント事業、文化財調査、収益施設整備事業） 道路事業 ・道路舗装事業 地区内の道路（舗装）を整備することにより、地区住民や来街者の安全で快適な通行が確保される。

(7) 土木費

(5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
167 } 171	6 まちづくり 交付金費	まちづくり交付金事業 (つづき)			<p>地域生活基盤施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広場 《19年度》 工事請負費(2件) 3,360,000円 広場整備(A=1344㎡、多目的便所新築) 《20年度へ契約繰越2件》 18,165,000円 ・情報板 《18年からの繰越》 委託料(1件) 1,995,000円 設計業務委託(一式) 高質空間形成施設 ・街路、細街路高質化事業 《18年からの繰越》 委託料(1件) 2,499,000円 用地鑑定委託(一式) 工事請負費(2件) 26,722,500円 歩道高質化工事(L=163m、街路灯4基) 計 29,221,500円 ・城山公園整備事業 《18年からの繰越》 工事請負費(3件) 18,330,498円 敷地造成・施設整備、植栽等工事 《19年度》 委託料(1件) 164,850円 公有財産購入費 8,100,000円 宅地(A=405㎡) 計 8,264,850円 	<p>地域生活基盤施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広場 天草文化交流館に隣接した広場を各種イベント等多目的に利用できる施設として整備し交流の場として活用を図る。 ・情報板 市街地や各施設に至る案内板や情報板を設置し、来街者の利便性の向上を図る。 高質空間形成施設 ・街路、細街路高質化事業 主要な観光拠点に至る幹線道路の歩道の美装化や街路灯の設置により、来街者や市民がやすらぎを感じ、回遊性のある市街地の形成が図られる。 ・城山公園整備 来街者や市民が多目的に利用できる施設整備や園路の美装化、修景施設を整備し、天草切支丹館と一体となった緑地空間、滞在空間の形成が図られる。

(7) 土木費

(5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
167 } 171	6 まちづくり 交付金費	まちづくり交付金事業 (つづき)			高次都市施設 ・天草切支丹館整備事業 《18年からの繰越》 委託費(1件) 20,208,390円 設計委託(実施設計一式) 工事請負費(2件) 37,559,090円 解体工事(一式) 工作物等移転工事(一式) 計 57,767,480円 既存建造物活用事業 ・天草でんしょう館(仮称)整備事業 《18年からの繰越》 委託費(1件) 1,395,000円 監理業務委託(一式) 工事請負費(5件) 40,938,000円 改修建築工事(建築一式) 電気設備工事(電気設備一式) 機械設備工事(機械設備一式) 機械設備工事(空調設備一式) 附帯設備工事(外構等一式) 計 42,333,000円 《19年度》 委託費(1件) 337,500円 監理業務委託(一式) 工事請負費(3件) 28,908,407円 改修建築工事(建築一式) 電気設備工事(電気設備一式) 機械設備工事(機械設備一式) 計 29,245,907円	高次都市施設 ・天草切支丹館整備事業 既存の資料展示機能に企画学習、情報発信、憩いの機能を加え、観光客はもとより市民も利用できる魅力ある施設として整備し、天草本渡の観光拠点施設とする。 既存建造物活用事業 ・天草でんしょう館(仮称)整備事業 旧教育会館は、昭和10年に建築された趣のある洋風建築物であり、文化的な価値や施設の意匠を活かした新たな観光施設(天草でんしょう館・仮称)として整備し、天草伝統工芸体験や市民の憩い交流施設として活用する。

(7) 土木費

(5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
167 } 171	6 まちづくり 交付金費	まちづくり交付金事業 (つづき)			<p>・天草交流プラザ(仮称)整備事業 《18年からの繰越》</p> <p>委託費(2件) 1,672,950円 監理業務委託(一式) 看板設置委託(一式) 工事請負費(4件) 44,161,000円 改修建築工事(建築一式) 電気設備工事(電気設備一式、発電設備一式) 機械設備工事(機械設備一式)</p> <p>計 45,833,950円</p> <p>《19年度》</p> <p>委託費(1件) 4,887,500円 監理業務委託(一式) 工事請負費(5件) 343,034,307円 改修建築工事(建築一式) 電気設備工事(電気設備一式、発電設備一式) 機械設備工事(機械設備一式) 外構工事一式</p> <p>計 347,921,807円 (内交流プラザ整備事業) (329,421,807円) (内収益施設整備事業) (18,500,000円)</p> <p>まちづくり活動推進事業 ・観光ボランティア育成事業</p> <p>講師謝礼 25,000円 費用弁償 1,900円 消耗品費 178,536円 役務費(郵便料、保険料) 80,855円 会場借上料 33,600円 車両借上料 113,150円</p> <p>計 433,041円 (内基幹事業事務費 33,041円) 育成講座開催 8回</p>	<p>・天草交流プラザ(仮称)整備事業 中心市街地の一角に位置する旧ニチイビルを市民 や来街者が集まり天草の観光・物産情報等様々な情 報に触れる情報発信、まちづくりの拠点の場(天草 交流プラザ・仮称)として来街者と市民が交流し賑 わいを創出する施設として活用する。</p> <p>まちづくり活動推進事業 ・観光ボランティア育成事業 観光ガイドの人材を育成し、観る観光から知る観 光へ、地域の魅力の向上を図り来街者との交流を促 進する。 講座受講者24人により『天草宝島案内人の会』 を発足させ、案内ガイドとして活動を行い島内観光 の魅力向上が図られている。</p>

(7) 土木費

(5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
167 } 171	6 まちづくり 交付金費	まちづくり交付金事業 (つづき)			地域創造支援事業 ・空き店舗対策事業 借家料補助金 2,390,000円 補助件数 11件 借家料の1/2以内、限度額5万円 ・収益施設整備事業 工事請負費 (18,500,000円) (天草交流プラザ・仮称整備事業に含む)	地域創造支援事業 ・空き店舗対策事業 空き店舗を利用する新規開業者に対して、その経費の一部を補助することにより魅力ある商店街づくりを推進し商店街の活性化を図る。 ・収益施設整備事業 天草交流プラザ(仮称)に喫茶室等の住民サービスコーナーを設置し来館者の利便性の向上を図る。
			220,200	国庫支出金 98,000 地方債 121,900 一般財源 300	下田地区 《平成18年度からの繰越》 委託料 5,670,000円 工事請負費 54,903,312円 事務費(庁費等) 426,688円 計 61,000,000円 《平成19年度》 委託料 6,562,500円 工事請負費 142,487,988円 事務費 10,149,512円 (内庁費等) (3,209,512円) (内人件費) (6,940,000円) 計 159,200,000円 《平成20年度へ繰越》 工事請負費 32,575,512円 事務費 224,488円 計 32,800,000円 (事業内容及び事業費内訳) 公園事業 ・さくら公園整備事業 《19年度》 工事請負費(5件) 27,533,988円	下田地区 下田地区の都市再生整備計画は、自然豊かな天草のなかでも多彩で美しい自然景観を有し、島内唯一の天然温泉かけ流しなど多様な観光資源を活かし、中心部に足湯を配置した広場や観光サービスの展開の場となる観光交流センター、散策路などを整備し、来街者と住民が交流する賑わいと活気あふれるまちづくりによる温泉街を再生するものである。 事業期間：平成18年度～21年度(4ヶ年間) 全体事業費：400,000,000円 H19年度未進捗率：57.3% 事業内容： [基幹事業]公園(さくら公園)、地域生活基盤施設(広場、情報板)、高質空間形成施設(市道高質化)、高次都市施設(観光交流センター) [提案事業]地域創造支援事業(足湯)、施設等看板設置)、事業活用調査(事業効果分析)、まちづくり活動支援事業(ワークショップ等) 公園事業 ・さくら公園整備事業 来街者や住民が憩い集う場として公園を整備することで、交流の促進が図られる。

(7) 土木費

(5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
167 } 171	6 まちづくり 交付金費	まちづくり交付金事業 (つづき)			<p>敷地造成工事（敷地造成等一式A=1200㎡） 電気等設備工事（給排水、電気設備一式） 植栽工事（植栽一式） 便所新築工事（便所新築一式A=6.3㎡） 便所設備工事（給排水、電気設備一式）</p> <p>地域生活基盤施設 ・温泉広場整備事業 《18年からの繰越》 工事請負費（4件） 30,540,353円 広場整備工事（敷地造成等一式A=1000㎡） 電気設備工事（照明施設等整備一式） 植栽工事（植栽一式） 建物解体工事（木造建物解体一式）</p> <p>高質空間形成施設 ・市道高質化事業 《19年度》 委託料（1件） 4,830,000円 測量設計委託（測量、設計L=1090m）</p> <p>高次都市施設 ・下田観光交流センター整備事業 《18年からの繰越》 委託料 5,670,000円 設計委託料（基本・実施設計一式） 《19年度》 委託料 1,732,500円 監理業務委託（新築一式） 工事請負費（3件） 114,954,000円 建築工事（木造2階建てA=336㎡一式） 電気設備工事（照明施設等整備一式） 機械設備工事（給排水等設備一式） 計 116,686,500円</p>	<p>地域生活基盤施設 ・温泉広場整備事業 温泉街の中心部に足湯を配置した温泉広場を整備することで、温泉街のイメージアップを醸成し観光客や住民の憩いの場、イベントの場として活用が図られる。</p> <p>高質空間形成施設 ・市道高質化事業 地区内の市道を散策路として整備を行い、回遊性と魅力ある温泉街の形成を図る。</p> <p>高次都市施設 ・下田観光交流センター整備事業 地域の観光拠点施設として整備し、観光情報等の発信、地域住民による観光サービスの展開の場として活用を図る。</p>

(7) 土木費

(5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
167 } 171	6 まちづくり 交付金費	まちづくり交付金事業 (つづき)			地域創造支援事業 ・足湯整備事業 《18年からの緑越》 工事請負費(2件) 24,362,959円 敷地造成工事(敷地造成等一式A=200㎡) 機械設備工事(給水、給湯等設備一式)	地域創造支援事業 ・足湯整備事業 観光客や地域住民の憩いの場として整備を行い温泉街の魅力の向上を図る。
		天草宝島国際交流会館ポルト 備品整備事業	21,188	国庫支出金 21,000 一般財源 188	【天草国際交流会館ポルト備品等整備事業】 天草国際交流会館ポルトの備品、消耗品等の整備 (事業内訳) 消耗品費 1,334,000円 座布団、ゴザ、スリッパ等 備品購入費 19,853,731円 テーブル、椅子、展示用パネル、液晶テレビ等 計 21,187,731円	天草国際交流会館ポルトの来館者、利用者の利便性の向上と活用促進が図られる。
		天草文化交流館備品整備事業	7,703	県支出金 6,000 一般財源 1,703	【文化交流館備品等整備事業】 天草文化交流館の備品、消耗品等の整備。 (事業内訳) 消耗品費 1,136,508円 ブラインド、ユニットタタミ等 備品購入費 6,566,250円 電動ろくろ機器、テーブル、椅子等 計 7,702,758円	天草文化交流館の来館者、利用者の利便性の向上と活用促進が図られる。
		下田温泉ふれあい館ぷらっと 備品整備事業	2,849	県支出金 2,800 一般財源 49	【下田温泉ふれあい館ぷらっと備品等整備事業】 下田温泉ふれあい館ぷらっとの備品、消耗品等の整備 (事業内訳) 消耗品費 482,923円 ブラインド、マット等 備品購入費 2,366,500円 テーブル、椅子、プロジェクター等 計 2,849,423円	下田温泉ふれあい館ぷらっとの来館者、利用者の利便性の向上と活用促進が図られる。

(7) 土木費

(7) 住宅費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
172) 174	1 住宅管理費	市営住宅営繕事業	4,746	国庫支出金 2,210 一般財源 2,536	地域住宅交付金事業 補助率 5/10 (事業内訳) 工事請負費 4,425,818円 長手団地電気設備改修 幹線改修工事 [1号棟中耐12戸 2号棟中耐16戸] 委託料 320,250円 計 4,746,068円 [交付基本額 4,420 交付金額 2,210]	電気幹線改修工事の実施により、居住環境の向上(各戸容量UP対応)が図られた。
174) 175	2 住宅建設費	公営住宅整備事業	90,161	国庫支出金 29,912 一般財源 60,249	地域住宅交付金事業 【市営住宅ストック総合改善事業】補助率 5/10 (事業内訳) 工事請負費 79,745,540円 大友尻団地水洗化改修 2件 簡2 30戸 宮野河内団地外壁外改修 1件 中耐3階建て 1棟 12戸 長手団地外壁外改修 3件 中耐3・4階建て 2棟 28戸 集会室 中耐火災警報器設置 2件 浜田尻・今釜・小松原 160戸 中耐階段手摺設置 3件 浜田尻・今釜・小松原・志登平・知ヶ崎 262戸 団地水洗化改修 2件 馬場・富津団地 4戸 委託料 1,795,500円 旅費 184,445円 需用費 1,526,750円 役務費 266,000円 負担金補助及び交付金 22,000円 計 83,540,235円	本工事の実施により、住環境、居住性向上及び高齢者対応はもとより安全性の確保を図ることが出来た。

(7) 土木費

(7) 住宅費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																																																																		
174 } 175	2 住宅建設費	公営住宅整備事業 (つづき)			<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">[交付基本額</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">54,137</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">[交付金額</td> <td style="text-align: right;">27,068</td> </tr> </table> <p>【既設公営住宅等機能向上事業】補助率 4.5/10</p> <p>(事業内訳) 工事請負費 6,411,300円 一般住宅水洗化改修 3件 池端・馬場・河内・船津</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">需用費</td> <td style="text-align: right;">10戸 210,000円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">[交付基本額</td> <td style="text-align: right;">6,621,300円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">[交付金額</td> <td style="text-align: right;">6,320</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">[交付金額</td> <td style="text-align: right;">2,844</td> </tr> </table>	[交付基本額	54,137	[交付金額	27,068	需用費	10戸 210,000円	[交付基本額	6,621,300円	[交付金額	6,320	[交付金額	2,844	本工事の実施により、住環境向上、高齢者対応はもとより安全性の確保を図ることが出来た。																																																																						
[交付基本額	54,137																																																																																							
[交付金額	27,068																																																																																							
需用費	10戸 210,000円																																																																																							
[交付基本額	6,621,300円																																																																																							
[交付金額	6,320																																																																																							
[交付金額	2,844																																																																																							
		がけ地近接等危険住宅移転事業	4,944	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">国庫支出金</td> <td style="width: 50%; border: none;">2,472</td> <td style="width: 50%; border: none;">【がけ地近接等危険住宅移転事業】</td> <td style="width: 50%; border: none;">補助限度額</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">4,840千円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">県支出金</td> <td style="border: none;">1,236</td> <td style="border: none;">[危険住宅除却費</td> <td style="border: none;">780千円</td> <td style="border: none;">[建物助成費 (建物)</td> <td style="border: none;">3,100千円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">一般財源</td> <td style="border: none;">1,236</td> <td style="border: none;">" (土地購入)</td> <td style="border: none;">960千円</td> <td style="border: none;">補助率</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">国庫補助金</td> <td style="border: none;">1/2</td> <td style="border: none;">県補助金</td> <td style="border: none;">1/4</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">市補助金</td> <td style="border: none;">1/4</td> <td style="border: none;">(事業内訳)</td> <td style="border: none;">1件</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">旅費</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">11,000円</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">需用費</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">80,000円</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">役務費</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">3,000円</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">使用料</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">10,000円</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">負担金補助及び交付金</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">4,840,000円</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">4,944,000円</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">[交付基本額</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">4,944</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">[交付金額国庫</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">2,472</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">" 県費</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">1,236</td> <td style="border: none;"></td> </tr> </table>	国庫支出金	2,472	【がけ地近接等危険住宅移転事業】	補助限度額	4,840千円	県支出金	1,236	[危険住宅除却費	780千円	[建物助成費 (建物)	3,100千円	一般財源	1,236	" (土地購入)	960千円	補助率				国庫補助金	1/2	県補助金	1/4			市補助金	1/4	(事業内訳)	1件			旅費		11,000円				需用費		80,000円				役務費		3,000円				使用料		10,000円				負担金補助及び交付金		4,840,000円						4,944,000円				[交付基本額		4,944				[交付金額国庫		2,472				" 県費		1,236		移転事業の実施により、がけの崩壊による危険から住民の生命を守ることが出来た。
国庫支出金	2,472	【がけ地近接等危険住宅移転事業】	補助限度額	4,840千円																																																																																				
県支出金	1,236	[危険住宅除却費	780千円	[建物助成費 (建物)	3,100千円																																																																																			
一般財源	1,236	" (土地購入)	960千円	補助率																																																																																				
		国庫補助金	1/2	県補助金	1/4																																																																																			
		市補助金	1/4	(事業内訳)	1件																																																																																			
		旅費		11,000円																																																																																				
		需用費		80,000円																																																																																				
		役務費		3,000円																																																																																				
		使用料		10,000円																																																																																				
		負担金補助及び交付金		4,840,000円																																																																																				
				4,944,000円																																																																																				
		[交付基本額		4,944																																																																																				
		[交付金額国庫		2,472																																																																																				
		" 県費		1,236																																																																																				

(8) 消防費

(1) 消防費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
175	1 常備消防費	天草広域連合負担金	1,354,980	一般財源 1,354,980	天草広域連合負担金(常備消防費分) (参考)2市1町の負担金合計 1,964,148,000円	市民の生命、財産を火災等の災害から守るとともに、公共の福祉の増進が図られた。
175 176	2 非常備消防費	消防団の訓練等事業	17,437	一般財源 17,437	消防団の訓練事業 17,436,505円 【費用弁償】 15,846,000円 ・新入団、新部長訓練 ・夏季訓練 ・非常呼集訓練 ・冬季訓練 ・出初式訓練 ・防災訓練 など 費用弁償 2,000円/日・人 【需用費】 101,605円 【借上料】 1,488,900円 出初式バス借上、クレーン借上料など	消防団員の消防知識及び技能の習得及び向上のため、各種訓練を実施し消防技術の向上が図られた。
		熊本県消防協会天草市支部補助金	800	一般財源 800	当該補助金により、熊本県消防協会天草市支部が実施する防火、防災の訓練及び啓発、団員研修事業を推進する。 支部決算額 1,761,343円 うち市補助金 800,000円	消防出初式、各種訓練等の実施に対する補助の実施により、消防団活動、運営の強化が図られた。
176 177	3 消防施設費	消防機械等購入事業	7,685	地方債 7,600 一般財源 85	消防ポンプ等購入事業 7,685,104円 ポンプ付積載車 1台 新和方面隊 消防小型ポンプ 3台 本渡方面隊 1台 御所浦方面隊 1台 五和方面隊 1台	火災発生時の消防団の装備、消防機器の整備充実が図られた。
		防災水槽整備事業	11,628	地方債 11,600 一般財源 28	防火水槽築造 11,627,886円 新設 3基 本渡地区 1基 栖本地区 1基 新和地区 1基	火災発生の際の水利確保が図られた。

(8) 消防費

(1) 消防費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
176 ） 177	3 消防施設費	消火栓設置負担金	13,559	地方債 12,900 一般財源 659	拡張 21件 6,941,281円 (本渡、牛深、有明、御所浦、新和) 改良 20件 6,017,835円 (本渡、牛深、有明、御所浦、五和) 修繕 5件 599,712円 (本渡、倉岳、五和)	水道(上水道、簡易水道等)普及地区においての管布設替えに伴う消火栓の新設及び修繕を行うことにより、火災時の地域住民の安全確保のため、消防水利の充実が図られた。
177 ） 179	5 災害対策費	防災行政無線整備事業	7,398	国庫支出金 6,300 その他 1,077 一般財源 21	防災行政無線実施設計 6,300,000円 天草地区防災行政無線移設 1,077,300円 天草地区防災行政無線移設に伴う立木補償 20,771円	天草市全域の防災行政無線の統合、デジタル化等の整備計画の調査、実施設計等により、迅速で的確な情報伝達整備計画の確立が図られた。 防災行政無線の改修、難聴地区への子局新設により防災体制の拡充が図られた。
		防災訓練事業	1,590	一般財源 1,590	防災訓練事業 1,590,089円 開催地 有明地区 対象地域 有明、倉岳、栖本 3地域 参加機関 陸上自衛隊 他 550名	天草地域における防災体制の確立と防災関係機関の連携強化並びに天草市民の防災意識の高揚が図られた。

(9) 教育費

(1) 教育総務費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																				
179	1 教育委員会費	天草教育研究所等補助金	4,247	一般財源 4,247	<p>【天草教育研究所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修部では、22の部門で管内の教科等の指導力向上を目指した研修・研究を行った。 ・児童文化部では、児童生徒文化展、小中学校音楽会、中学校英語発表会を行った。 ・体育部では、小体連(5大会)、中体連(5大会)を開催した。 <p>【学校保健会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13回の会議と3回の研修会及び21回の支部別研修会を行った。 <p>【学校給食会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7回の会議と14回の調理講習会を行った。 <p>【天草郡市小中学校長会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議及び研究会を24回開催、その他研修会に7回参加した。 <p>【天草郡市小中学校教頭会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教頭委員会及び研修大会を8回開催し、その他研修・研究大会に6回参加した。 <p>各市町補助金</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>天草市</td> <td style="text-align: right;">4,247,000円</td> </tr> <tr> <td>上天草市</td> <td style="text-align: right;">1,656,000円</td> </tr> <tr> <td>苓北町</td> <td style="text-align: right;">406,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">6,309,000円</td> </tr> </table> <p>団体別一覧</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>天草教育研究所</td> <td style="text-align: right;">4,542,000円</td> </tr> <tr> <td>天草学校保健会</td> <td style="text-align: right;">499,000円</td> </tr> <tr> <td>天草郡市学校給食会</td> <td style="text-align: right;">72,000円</td> </tr> <tr> <td>天草郡市小中学校校長会</td> <td style="text-align: right;">724,000円</td> </tr> <tr> <td>天草郡市小中学校教頭会</td> <td style="text-align: right;">472,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">6,309,000円</td> </tr> </table>	天草市	4,247,000円	上天草市	1,656,000円	苓北町	406,000円		6,309,000円	天草教育研究所	4,542,000円	天草学校保健会	499,000円	天草郡市学校給食会	72,000円	天草郡市小中学校校長会	724,000円	天草郡市小中学校教頭会	472,000円		6,309,000円	<p>天草教育研究所、天草学校保健会、天草郡市学校給食会、天草郡市小中学校校長会、天草郡市小中学校教頭会の連携を保つことが出来た。</p> <p>また、教職員の資質向上を目指した研修と、児童生徒の文化・スポーツ両面における才能を開花させることが出来た。</p>
天草市	4,247,000円																									
上天草市	1,656,000円																									
苓北町	406,000円																									
	6,309,000円																									
天草教育研究所	4,542,000円																									
天草学校保健会	499,000円																									
天草郡市学校給食会	72,000円																									
天草郡市小中学校校長会	724,000円																									
天草郡市小中学校教頭会	472,000円																									
	6,309,000円																									

(9) 教育費

(1) 教育総務費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
179	1 教育委員会費	天草郡市教育委員会連絡協 議会負担金	774	一般財源 774	<p>【教育委員・教育長会議関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議及び研修大会等を12回開催した。 <p>【教育総務部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の開催及び県教育委員大会へ参加した。 <p>【学校教育部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科指導補助資料作成委員会5回と若手教師実践発表会及び、その他会議を2回開催した。 <p>【社会教育部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本県人権教育研究大会の開催及び実行委員会をはじめとして、7回の会議及び研修会等を開催した。 <p>各市町負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天草市 773,700円 ・上天草市 347,700円 ・苓北町 190,600円 <hr/> <p>1,312,000円</p>	教育委員会が行う事務について天草市、上天草市、苓北町との連絡調整が図られ、天草郡市の教育振興に寄与することが出来た。
181 } 182	3 教育振興費	スクールバス運行事業	86,071	国庫支出金 19,168 一般財源 66,903	<p>小中学校の統廃合により、遠距離通学となった児童・生徒の通学の安全確保のため、スクールバスを運行した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛深地区 5台 23,780,045円 ・有明地区 2台 12,032,089円 ・御所浦地区 3台 14,688,932円 ・栖本地区 1台 4,494,945円 ・新和地区 2台 11,128,444円 ・天草地区 3台 12,809,160円 ・河浦地区 2台 7,137,988円 <hr/> <p>86,071,603円</p>	遠距離通学となった児童・生徒の交通手段が確保され、義務教育の円滑な実施に資することが出来た。

(9) 教育費

(1) 教育総務費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
181 ） 182	3 教育振興費	読書活動支援事業	21,446	一般財源 21,446	【学校司書の配置】 (小中学校の巡回配置) ・本渡地区 5名 ・その他の地区 7名 (事業費内訳) 報酬 17,878,000円 その他の事業費 3,567,700円 21,445,700円	専門的知識を有する司書の配置により、蔵書分類、図書室のレイアウト等環境整備が充実し、又新刊図書の紹介、本の借り方指導等が徹底され図書室利用の活性化、読書活動意欲が促進された。調べ学習等においては、辞典、教材等の準備が円滑になり授業の充実が図られた。
		外国青年教師招致事業	51,890	その他 996 一般財源 50,894	【英語指導助手の配置】 (中学校全校への巡回配置) ・本渡地区 2名 ・牛深地区ほか(各1名) 9名 (事業費内訳) 報酬 40,020,880円 招致渡航旅費 1,500,180円 その他の事業費 10,368,573円 51,889,633円	外国青年を英語指導助手(ALT)として市内中学校に配置し、生きた英語の学習、異文化交流を通して語学力の向上と英語授業の改善が図られた。 また、小学校等にも巡回訪問し、外国語に触れ外国語に親しむ体験的活動を取り入れた国際理解教育が推進された。
		学習指導補助教員設置事業	39,706	一般財源 39,706	【学習指導補助教員の配置】 ・小学校1・2年生に31人以上の学級がある学校 小学校 5校 12名 ・特別に支援が必要な学校 小・中学校 11校 11名 (事業費内訳) 報酬 38,169,167円 その他の事業費 1,536,607円 39,705,774円	学校教育のスタート時期である小学校1年生・2年生の31人以上多人数学級において、担任教諭とのチームティーチングで児童一人一人に目が行き届いた細やかな学習指導により、この時期必要な学習態度や集団生活等の基礎基本的事項の定着・向上が助長された。 また、特に支援を要する小中学校においては、担任教諭と連携した児童・生徒への個々に応じた学習指導により、学習能力の向上、落ち着いた雰囲気での授業展開などにより、学級運営の円滑化が図られた。

(9) 教育費

(1) 教育総務費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																
181 ┆ 182	3 教育振興費	教育相談事業	3,284	一般財源 3,284	<p>【教育指導アドバイザー及び教育相談カウンセラーの配置】</p> <p>校長退職者である「教育指導アドバイザー」、臨床心理士である「教育相談カウンセラー」により、悩み、不安、ストレス等の問題について、相談者の訴えや思いを聞き、問題点を整理して、助言指導及び情報を提供する。また、教育相談関係機関の紹介や相互の連携を行い、就学前幼児の保護者、児童・生徒やその保護者、教職員に対してカウンセリングや相談を行った。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">報酬</td> <td style="text-align: right;">2,772,440円</td> </tr> <tr> <td>共済費</td> <td style="text-align: right;">20,286円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">491,139円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">3,283,865円</td> </tr> </table>	報酬	2,772,440円	共済費	20,286円	旅費	491,139円		3,283,865円	<p>教育指導アドバイザーは、週に3日勤務し、要請のあった小中学校へ出向き教師や保護者の相談を受けたり、いじめ・不登校対策会議や特別支援教育総合推進事業への助言を行ったりしたことにより、成果が現れてきている。</p> <p>また、教育相談カウンセラーは、延べ96件の個別面接を受け、保護者からは「安心した」という感想が多く聞かれ、支援体制を築くことができた。</p> <p>さらに、32件の講演会や学習会の講師を勤め、指導者への支援を図ることが出来た。</p>																								
報酬	2,772,440円																																					
共済費	20,286円																																					
旅費	491,139円																																					
	3,283,865円																																					
182	4 住宅管理費	教職員住宅管理経費	2,752	一般財源 2,752	<p>〔教職員住宅の維持管理〕</p> <p>教職員住宅総数 156戸</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">千深</td> <td style="width: 10%;">29戸</td> <td style="width: 30%;">新和町</td> <td style="width: 10%;">5戸</td> </tr> <tr> <td>与明</td> <td>6戸</td> <td>五和町</td> <td>1戸</td> </tr> <tr> <td>所浦</td> <td>41戸</td> <td>天草町</td> <td>24戸</td> </tr> <tr> <td>倉岳</td> <td>12戸</td> <td>河浦町</td> <td>32戸</td> </tr> <tr> <td>西本</td> <td>6戸</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>教職員住宅維持管理経費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">光熱水費</td> <td style="text-align: right;">55,011円</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td style="text-align: right;">2,355,148円</td> </tr> <tr> <td>検査手数料</td> <td style="text-align: right;">75,100円</td> </tr> <tr> <td>施設管理委託料</td> <td style="text-align: right;">121,632円</td> </tr> <tr> <td>土地建物借上料</td> <td style="text-align: right;">145,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">2,751,891円</td> </tr> </table>	千深	29戸	新和町	5戸	与明	6戸	五和町	1戸	所浦	41戸	天草町	24戸	倉岳	12戸	河浦町	32戸	西本	6戸			光熱水費	55,011円	修繕料	2,355,148円	検査手数料	75,100円	施設管理委託料	121,632円	土地建物借上料	145,000円		2,751,891円	<p>教職員住宅の住環境整備に努め、円滑な維持、管理を行うことで、建物の延命化が図られた。</p>
千深	29戸	新和町	5戸																																			
与明	6戸	五和町	1戸																																			
所浦	41戸	天草町	24戸																																			
倉岳	12戸	河浦町	32戸																																			
西本	6戸																																					
光熱水費	55,011円																																					
修繕料	2,355,148円																																					
検査手数料	75,100円																																					
施設管理委託料	121,632円																																					
土地建物借上料	145,000円																																					
	2,751,891円																																					

(9)教育費

(1)教育総務費

(単位:千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
182	4 住宅管理費	教職員住宅整備事業	22,332	国庫支出金 11,965 一般財源 10,367	【交付金事業】 補助率5.5/10 事業費内訳 旅費 4,400円 需用費(消耗品費) 175,173円 委託料 564,900円 御所浦中学校教職員住宅解体工事 W造(2棟) 60㎡、63㎡ 1,953,000円 御所浦中学校教職員住宅新築工事その1 W造平屋建て 60㎡ 9,597,000円 御所浦中学校教職員住宅新築工事その2 W造平屋建て 60㎡ 9,607,500円 21,901,973円 【単独事業】 御所浦中学校教職員住宅新築外構工事 430,500円	老朽化の著しい本施設を解体し整備したことにより、居住環境の向上が図られた。

(9) 教育費

(2) 小学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
185 ┆ 187	2 小学校教育振興 費	教材備品購入費	2,988	国庫支出金 708 一般財源 2,280	理科教育に関する備品の学校の希望に応じた整備を行った。 (事業費内訳) 備品購入費 2,987,863円	各学校の希望に応じた備品の整備ができ、理科教育の充実を図ることが出来た。
		航空機搭乗体験事業	4,681	一般財源 4,681	市内の小学校6年生を対象に、天草～熊本・福岡間の航空機(天草エアライン)の搭乗体験を通して、自分たちの住む天草を「空」から観察するとともに、交通機関の役割や、空港施設の概要等について学習した。 (事業実績) ・実施小学校 44校 ・参加者数 890人 小学校6年生 引率者 69人 959人	天草エアラインに搭乗した経験の無い児童が多かったため、自分の地域に根付く空港施設の役割を学び、また、実際搭乗を体験することで、児童一人ひとりが社会性を身につけ、視野を広げることができるいい機会となった。
		倉岳3小学校統合推進事業	11,219	国庫支出金 10,934 一般財源 285	平成18年2月旧倉岳町で得た答申を天草市が引き継ぎ、倉岳地区の3小学校の統廃合を行った。 統廃合については、平成18・19年度でPTAや住民向けの説明会を実施し、了解を得て、平成19年9月議会へ提出し議決された。 その後、答申の内容に沿い、棚底小学校を統合後の小学校として使用するための整備し、通学バスの整備、校章等の決定を行った。 平成20年3月に各小学校で閉校記念式典を開催し、3月31日に閉校した。 (事業費内訳) 謝礼等 365,052円 委託料 2,125,725円 工事請負費 6,657,000円 備品購入費 571,633円 閉校記念補助金 1,500,000円 11,219,410円	保護者と地域住民の理解を得て、児童の教育へ支障をきたすことなく統合作業を行うことが出来た。

(9) 教育費

(2) 小学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
185 ） 187	2 小学校教育振興 費	総合的な学習活動支援事業	4,682	一般財源 4,682	「総合的な学習の時間」の実施に伴う、体験的な学習を行うための消耗品費、バス・飛行機等使用料。 ・補助単価 1校当たり20,000円 3年生以上の学級1学級当たり20,000円 (事業費内訳) 補助金 4,681,905円	各学校の総合学習の活動範囲が広がり、より充実したものとなった。見学・調査等の直接体験ができ、児童の興味・関心を高めることが出来た。
		外国語講師派遣事業	1,370	一般財源 1,370	英語の授業へ、英語講師を派遣し、国際社会に対応する広い視野をもった児童の育成を図った。 ・派遣校数 17校 (事業費内訳) 委託料 1,369,940円	英語の授業における、チームティーチング形式での生きた英語学習を通じてた外国人とのコミュニケーションにより、児童の国際化へ向けての第一歩が促進された。
		各種大会出場補助金	2,354	一般財源 2,354	小学校の児童が、学校教育活動の一環として行われる体育活動及び文化活動を通じて健全な育成が図られるよう、体育連盟、吹奏楽連盟、音楽教育研究会又は中学校英語研究会が主催又は共催する各種大会への出場に要する経費を助成する。 (事業費内訳) 補助金 2,353,530円 (主な出場大会) ・九州吹奏楽コンクール (本渡北小学校46人) 556,274円 ・RKK熊本県小学校器楽合奏コンクール (牛深小学校25人) 154,160円 ・県吹奏楽コンクール (御領小学校19人) 117,520円	大会へ出場するための各種経費に対する保護者の負担軽減と、大会を通して得ることのできる技能の習得や、大会へ出場できる喜びなど児童の情操教育の向上を図ることが出来た。

(9) 教育費

(2) 小学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																														
185 ） 187	2 小学校教育振興 費	通学費補助金	3,227	一般財源 3,227	<p>「天草市立小・中学校児童及び生徒の通学費補助に関する規則」に基づき、通学距離が小学校にあっては、4 km以上の者に対し、定期バスを利用する場合は、「定期券購入費補助」として、学生割引定期券購入額（実費）を、また定期バス等を利用できない（しない）場合は、「その他補助」として、補助金を交付する。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">・定期券購入費補助（89名</td> <td style="text-align: right;">2,529,520円</td> </tr> <tr> <td>・その他補助（59名）</td> <td style="text-align: right;">697,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">（148名）</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">3,226,520円</td> </tr> </table>	・定期券購入費補助（89名	2,529,520円	・その他補助（59名）	697,000円	（148名）	3,226,520円	保護者の通学に係る経済的負担の軽減に繋がるとともに、児童及び生徒の安全な交通手段を確保することが出来た。																								
・定期券購入費補助（89名	2,529,520円																																			
・その他補助（59名）	697,000円																																			
（148名）	3,226,520円																																			
187	3 小学校建設費	小学校施設営繕事業	61,223	一般財源 61,223	<p>小学校（45校）の危険箇所、老朽箇所の改善を行った。</p> <p>（事業費内訳）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">修繕料</td> <td style="text-align: right;">16,100,460円</td> </tr> <tr> <td>営繕工事設計委託料</td> <td style="text-align: right;">1,084,650円</td> </tr> <tr> <td>設備改修工事設計委託料</td> <td style="text-align: right;">430,500円</td> </tr> <tr> <td>プール改修工事設計委託料</td> <td style="text-align: right;">456,750円</td> </tr> <tr> <td>プールろ過機全自動改造工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>城河原小</td> <td style="text-align: right;">4,116,000円</td> </tr> <tr> <td>図書室空調設備工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鬼池小</td> <td style="text-align: right;">1,622,250円</td> </tr> <tr> <td>下田北小</td> <td style="text-align: right;">1,764,000円</td> </tr> <tr> <td>保健室空調設備工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新合小</td> <td style="text-align: right;">756,000円</td> </tr> <tr> <td>高圧受電設備改修工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>久玉小</td> <td style="text-align: right;">3,549,324円</td> </tr> <tr> <td>施設整備工事（バリアフリー化）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新和小</td> <td style="text-align: right;">1,942,500円</td> </tr> </table>	修繕料	16,100,460円	営繕工事設計委託料	1,084,650円	設備改修工事設計委託料	430,500円	プール改修工事設計委託料	456,750円	プールろ過機全自動改造工事		城河原小	4,116,000円	図書室空調設備工事		鬼池小	1,622,250円	下田北小	1,764,000円	保健室空調設備工事		新合小	756,000円	高圧受電設備改修工事		久玉小	3,549,324円	施設整備工事（バリアフリー化）		新和小	1,942,500円	中・長期的視点に立った改修計画に基づき、経年による劣化が激しい各小学校施設の損傷等を改修することで、施設の延命化が図られた。
修繕料	16,100,460円																																			
営繕工事設計委託料	1,084,650円																																			
設備改修工事設計委託料	430,500円																																			
プール改修工事設計委託料	456,750円																																			
プールろ過機全自動改造工事																																				
城河原小	4,116,000円																																			
図書室空調設備工事																																				
鬼池小	1,622,250円																																			
下田北小	1,764,000円																																			
保健室空調設備工事																																				
新合小	756,000円																																			
高圧受電設備改修工事																																				
久玉小	3,549,324円																																			
施設整備工事（バリアフリー化）																																				
新和小	1,942,500円																																			

(9) 教育費

(2) 小学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
187	3 小学校建設費	小学校施設営繕事業 (つづき)			営繕工事費 29,400,670円 工事件数：22件（本渡・6件、牛深・4件、有明・1件、御所浦・2件、栖本・1件、新和・1件、新和・1件、五和・2件、天草・3件、河浦・2件） <hr/> 61,223,104円	
		小学校施設耐震補強事業	3,003	県支出金 1,900 一般財源 1,103	棚底小屋内運動場耐震診断業務委託 2,058,000円 棚底小屋内運動場耐震補強設計業務委託 945,000円 <hr/> 3,003,000円	耐震診断の結果、耐震性能が不足していたため、補強設計を行なった。平成20年度に耐震補強工事を行ない建物の耐震性能の向上を図る。

(9) 教育費

(3) 中学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
190 ） 191	2 中学校教育振興 費	教材備品購入費	4,079	国庫支出金 1,030 一般財源 3,049	理科教育に関する備品の学校の希望に応じた整備を行った。 (事業費内訳) 備品購入費 4,079,048円	各学校の希望に応じた備品の整備ができ、理科教育の充実を図ることが出来た。
		姉妹都市教育交流事業	173	一般財源 173	本市の姉妹都市であるアメリカ合衆国エンシニタス市から、生徒3名・引率教員1名を受入れ、国際交流を深め、郷土を担う青少年の育成を図るものである。 (事業費内訳) 青少年国際交流研修生派遣事業補助金 173,400円	受入れた生徒たちに、滞在中に天草の歴史、文化、生活様式などの体験や交流を通して、天草市とエンシニタス市はもとより、日本とアメリカの友好を深めるものとなった。
		総合的な学習活動支援事業	2,143	一般財源 2,143	「総合的な学習の時間」の実施に伴う、体験的な学習を行うための消耗品費、バス等使用料。 ・補助単価 1校当たり15,000円 1学級当たり20,000円 (事業費内訳) 補助金 2,142,953円	各学校の総合学習の活動範囲が広がり、より充実したものとなった。 また、見学・調査等の直接体験ができ、生徒の興味・関心を高めることが出来た。
		心の教室相談事業	3,402	一般財源 3,402	生徒、保護者等の相談を聞き、問題行動等の解決をはかるため、相談員を設置し、生徒及び保護者に対する相談活動を行った。 ・相談員設置校 6校 (事業費内訳) 報酬 3,219,000円 旅費 7,200円 役務費 175,660円 3,401,860円	教師への相談と違って、気軽に相談ができ、生徒及び保護者に安心感やゆとりが生まれ、問題解決への糸口が見出された。

(9) 教育費

(3) 中学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
190 ） 191	2 中学校教育振興費	適応指導教室設置事業	4,831	一般財源 4,831	登校できない状態にある生徒の学校復帰のための指導及び援助を目的に、本渡中学校分教室として本渡勤労青少年ホーム内に「カワセミ学級」を設置。 (事業費内訳) 報酬 3,976,700円 共済費 558,067円 旅費 112,700円 需用費 149,296円 役務費 33,904円 4,830,667円	家庭へのひきこもり状態を改善するとともに、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善を図ることが出来た。
		各種大会出場補助金	7,611	一般財源 7,611	中学校の生徒が、学校教育活動の一環として行われる体育活動及び文化活動を通じて健全な育成が図られるよう、体育連盟、吹奏楽連盟、音楽教育研究会又は中学校英語研究会が主催又は共催する各種大会への出場に要する経費を助成した。 (事業費内訳) 補助金 7,611,112円 (主な出場大会) ・熊本県吹奏楽コンクール (本渡中学校50人) 240,000円 ・県中体連バスケットボール大会 (倉岳中学校16人) 156,000円 ・県中体連バレーボール大会 (新和中学校13人) 123,500円	大会へ出場するための各種経費に対する保護者の負担軽減と、大会を通して得ることのできる技能の習得や、大会へ出場できる喜びなど生徒の情操教育の向上を図ることが出来た。
		通学費補助金	5,166	一般財源 5,166	「天草市立小・中学校児童及び生徒の通学費補助に関する規則」に基づき、通学距離が中学校にあっては、6km以上の者に対し、定期バスを利用する場合は、「定期券購入費補助」として、学生割引定期券購入額(実費)を、また定期バス等を利用できない(しない)場合は、「その他補助」として、補助金を交付する。	保護者の通学に係る経済的負担の軽減に繋がるとともに、児童及び生徒の安全な交通手段を確保することが出来た。

(9) 教育費 (3) 中学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
190 ） 191	2 中学校教育振興 費	通学費補助金 (つづき)			<ul style="list-style-type: none"> ・定期券購入費補助(22名) 3,574,440円 ・その他補助(134名) <u>1,592,000円</u> (156名) 5,166,440円 	
191	3 中学校建設費	中学校施設営繕事業	17,593	一般財源 17,593	<p>中学校(17校)の危険箇所、老朽箇所の改善を行なった。</p> <p>(事業費内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 修繕料 7,629,968円 営繕工事設計委託料 235,200円 施設整備工事(バリアフリー化) 五和東中 1,691,550円 図書室空調設備工事 五和東中 1,344,000円 プールろ過機全自動改造工事 五和西中 4,357,500円 校舎内壁塗装及び体育館補修工事 御所浦中 <u>2,335,200円</u> 17,593,418円 	中・長期的視点に立った改修計画に基づき、経年により、劣化が激しい各中学校施設の損傷等を改修したことで、施設の延命化が図られた。
		(仮称)新統合中学校建設事業	49,809	地方債 47,300 一般財源 2,509	<p>平成18年度からの繰越事業</p> <p>(事業費内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託料 基本設計業務委託料 9,408,000円 地質調査業務委託料 4,157,481円 実施設計業務委託料 28,862,400円 敷地測量設計業務委託料 4,914,000円 家屋調査業務委託料 <u>2,467,500円</u> 49,809,381円 	<p>本渡中学校、佐伊津中学校、本町中学校を統合して、(仮称)新統合中学校を建設する。</p> <p>今後、平成22年4月の開校に向けて、校舎、体育館、プール等の施設整備を行う。</p>

(9) 教育費

(4) 幼稚園費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果								
191 ） 193	1 幼稚園費	幼稚園施設営繕事業	3,956	一般財源 3,956	<p>幼稚園（5園）の危険箇所、老朽箇所の改善を行った。</p> <p>（事業費内訳）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>修繕料</td> <td style="text-align: right;">664,480円</td> </tr> <tr> <td>本渡南幼稚園フェンス設置工事</td> <td style="text-align: right;">561,750円</td> </tr> <tr> <td>本渡北幼稚園耐震診断及び補強設計業務委託</td> <td style="text-align: right;">2,730,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">3,956,230円</td> </tr> </table>	修繕料	664,480円	本渡南幼稚園フェンス設置工事	561,750円	本渡北幼稚園耐震診断及び補強設計業務委託	2,730,000円		3,956,230円	<p>中・長期的視点に立った改修計画に基づき、経年により劣化が激しい各幼稚園施設の損傷等を改修したことで、施設の延命化が図られた。</p> <p>また、旧耐震基準で建築された、本渡北幼稚園園舎2棟について、耐震性能を向上させるために、耐震診断及び、補強設計を行った。（平成21年度に耐震補強工事を行う。）</p>
修繕料	664,480円													
本渡南幼稚園フェンス設置工事	561,750円													
本渡北幼稚園耐震診断及び補強設計業務委託	2,730,000円													
	3,956,230円													

(9) 教育費

(5) 看護専門学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
194 ） 196	1 看護専門学校管 理費	学校運営費	111,279	一般財源 74,217 その他 37,062	教育理念に基づいて、看護に関する基礎的な知識及び技術を習得し、人間性を高め、主体的学習態度を養い、地域の保健医療に貢献できる看護師の育成を目的に、学校運営を行った。 【在籍者数】 (男) (女) (計) 1年生 2人 37人 39人 2年生 5人 32人 37人 3年生 3人 27人 30人 <hr/> 10人 96人 106人	本年度の看護師国家試験は、30人が受験し、全員が合格でき、合格率は全国平均90.3%を大きく上回ることができた。また、卒業後の就職率は100%であった。 国家試験の状況 3年生 30人受験 30人合格(合格率100%) 就職状況 就職 島内(本渡) 5人 島内(本渡以外) 3人 県内 13人 九州内 6人 近畿 2人 関東 1人
		九州地区自治体立看護学校教育協議会負担金	25	一般財源 25	九州地区の自治体が運営する公立看護学校8校で構成されている。	学校運営事務の調査、教育研究および情報交換等を行い、共通の使命達成及び、看護師教育の向上が図られた。
		熊本県看護教育機関協議会負担金	10	一般財源 10	熊本県内の看護教育機関15校で構成されている。	看護教育問題の研究協議等を行い、県内の看護教育の向上及び発展が図られた。
		看護専門学校教材整備事業	1,680	一般財源 1,680	実際の医療現場に即した実習ができるように教材図書を整備し、授業を実施した。 図書管理システム 1,140,825円 (図書管理ソフト・バーコードリーダー・ノートPC・レーザープリンター) 筋肉注射トレーナー 58,800円 図書・ビデオテープ 479,916円 <hr/> 1,679,541円	図書管理システムでは、管理効率(時間・手間・正確な検索)が向上することで、利用度が高まった。 また、図書及びビデオ購入により、新しい情報が習得され、教材活用の幅が広がった。 筋肉注射トレーナーについては、平成21年度のカリキュラム変更による医療安全に関する、知識・技術の演習・強化が図られることとなった。

(9) 教育費

(6) 学校教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
196 ） 199	1 学校給食費	牛深地域学校給食共同調理 場建設事業	476,313	国庫支出金 108,060 地方債 343,400 一般財源 24,853	老朽化した牛深学校給食センター及び魚貫学校給食センターを統合し、久玉町に新学校給食センターを建設した。 【交付金事業】 S造平屋建 1,032㎡ (事業費内訳) 旅費 174,510円 需用費 (食缶及び食器購入等) 12,874,435円 役務費(検査手数料) 109,000円 委託料 3,276,000円 備品購入費 (一般備品購入費) 127,050円 (給食配送車3台購入) 9,762,499円 建築工事 156,975,000円 電気工事 39,992,700円 機械設備工事 66,775,846円 排水処理設備工事 41,489,972円 厨房設備工事 131,998,016円 463,555,028円 【単独事業】 牛深学校給食センター改築(屋外附带)工事 12,757,500円	牛深学校給食センター(昭和45年建築)及び、魚貫学校給食センター(昭和55年建築)の統合により、学校規模適性化に沿った、合理的かつ効率的な給食センターの設置をすることができた。 また、細菌の繁殖を防ぐ「ドライシステム」の導入により、安全な学校給食の実施と労働安全の確保及び効率的業務遂行を図ることが出来た。

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																		
199) 201	1 社会教育総務費	教育力活性化推進大会事業	388	一般財源 388	<p>天草市の教育の現状について理解を深め、これからの教育のあり方や方向性を見定める機会とし、すべての分野の教育力の活性化を推進することを目的に開催を計画したが、台風の接近により中止となった。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>報償費</td> <td style="text-align: right;">56,882円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">330,750円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">387,632円</td> </tr> </table>	報償費	56,882円	委託料	330,750円		387,632円	<p>計画をしていた内容</p> <p>開催日：平成19年7月14日(土)天草市民センター 事例発表：豊かな体験活動事業「下田北小学校」 地域教育力推進事業「新和町ひだまりクラブ」 記念講演：講師「木藤潮香さん」 演題：ひとつしかない命～1リットルの涙～</p>																												
		報償費	56,882円																																					
		委託料	330,750円																																					
	387,632円																																							
自治公民館等整備費補助事業	3,923	一般財源 3,923	<p>自治活動の拠点である自治公民館等の建設改修等の事業に対して補助をした。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>改築 2件</td> <td style="text-align: right;">1,584,000円</td> </tr> <tr> <td>修繕 7件</td> <td style="text-align: right;">2,339,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">3,923,000円</td> </tr> </table>	改築 2件	1,584,000円	修繕 7件	2,339,000円		3,923,000円	<p>自治公民館等が整備されることにより、地区住民の連帯意識の高揚につながり、自治活動が活性化することによって、明るく住みよい地域づくりに寄与した。</p>																														
改築 2件	1,584,000円																																							
修繕 7件	2,339,000円																																							
	3,923,000円																																							
生涯学習推進事業	808	一般財源 808	<p>各種講座等の生涯学習機会を市民へ提供した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>報償費</td> <td style="text-align: right;">210,000円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">95,060円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">109,214円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">107,940円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">175,800円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td style="text-align: right;">110,250円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">808,264円</td> </tr> </table>	報償費	210,000円	旅費	95,060円	需用費	109,214円	役務費	107,940円	委託料	175,800円	使用料及び賃借料	110,250円		808,264円	<p>市民自ら主体的に学習する意欲を高め、豊かで充実した生活を送るための生涯学習を推進する機会を提供することができた。</p> <p>学習講座等参加者</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>牛深分室(高齢者学級)</td> <td style="text-align: right;">延べ1,162人</td> </tr> <tr> <td>五和分室(寿大学)</td> <td style="text-align: right;">延べ 576人</td> </tr> <tr> <td>五和分室(陶芸教室)</td> <td style="text-align: right;">延べ 424人</td> </tr> <tr> <td>五和分室(かけ教室)</td> <td style="text-align: right;">延べ 436人</td> </tr> <tr> <td>どこでも生涯学習フォーラム</td> <td style="text-align: right;">128人</td> </tr> <tr> <td>合計 5講座</td> <td style="text-align: right;">延べ2,726人</td> </tr> </table> <p>フェスティバル等参加者</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>栖本分室(社会教育学級開講式)</td> <td style="text-align: right;">140人</td> </tr> <tr> <td>栖本分室(文化祭)</td> <td style="text-align: right;">260人</td> </tr> <tr> <td>天草分室(生涯学習フェスティバル)</td> <td style="text-align: right;">205人</td> </tr> <tr> <td>有明分室(文化祭)</td> <td style="text-align: right;">1,135人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">1,740人</td> </tr> </table>	牛深分室(高齢者学級)	延べ1,162人	五和分室(寿大学)	延べ 576人	五和分室(陶芸教室)	延べ 424人	五和分室(かけ教室)	延べ 436人	どこでも生涯学習フォーラム	128人	合計 5講座	延べ2,726人	栖本分室(社会教育学級開講式)	140人	栖本分室(文化祭)	260人	天草分室(生涯学習フェスティバル)	205人	有明分室(文化祭)	1,135人	合計	1,740人
報償費	210,000円																																							
旅費	95,060円																																							
需用費	109,214円																																							
役務費	107,940円																																							
委託料	175,800円																																							
使用料及び賃借料	110,250円																																							
	808,264円																																							
牛深分室(高齢者学級)	延べ1,162人																																							
五和分室(寿大学)	延べ 576人																																							
五和分室(陶芸教室)	延べ 424人																																							
五和分室(かけ教室)	延べ 436人																																							
どこでも生涯学習フォーラム	128人																																							
合計 5講座	延べ2,726人																																							
栖本分室(社会教育学級開講式)	140人																																							
栖本分室(文化祭)	260人																																							
天草分室(生涯学習フェスティバル)	205人																																							
有明分室(文化祭)	1,135人																																							
合計	1,740人																																							

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
199) 201	1 社会教育総務費	子ども週末活動等支援事業	600	一般財源 600	<p>地域で子どもを育てる環境の充実を図る活動に対する支援事業を実施した。</p> <p>申請団体と補助額</p> <p>「杵宇土子どもランド」 100,000円</p> <p>「宮地岳わんぱーく」 100,000円</p> <p>「久玉町ふれあい教室」 100,000円</p> <p>「浅海子ども教室」 100,000円</p> <p>「深海ふれあい読み聞かせボランティア」 100,000円</p> <p>「新和町子育て実行委員会」 100,000円</p> <p style="text-align: right;">600,000円</p>	<p>地域全体で子育てに取り組む環境整備の意義を広く呼びかけたが、6団体の申請にとどまった。</p> <p>将来的な放課後子ども教室への移行を条件にしたことも要因の一つだと考えられるが、平成20年度以降もこの条件を変更することなく、実施する予定。</p> <p>結果として、新和町子育て実行委員会が放課後子ども教室へ移行することができた。</p> <p>1団体に対する年間補助の限度額は10万円。</p>
		家庭教育学習支援事業	241	一般財源 241	<p>小中学校保護者等に対する家庭教育の重要性を認識してもらうための講座を各小中学校等で実施し、その経費を支援した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>報償費 116,000円</p> <p>旅費 98,941円</p> <p>需用費 25,872円</p> <p style="text-align: right;">240,813円</p>	<p>子育てにおける家庭教育の重要性を再認識する機会として開催した。テーマも基本的な生活習慣、食育、金銭教育、国際教育、少年犯罪など多岐にわたり、家庭の教育力向上に寄与した。</p> <p>実施回数 24回</p> <p>延べ参加者数 1,654人</p>
		市民講座事業	59	一般財源 59	<p>地域住民として対応しなければならない課題について、テーマを掲げて講座を実施した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>需用費 58,544円</p>	<p>今日の社会情勢の変化に対応し、地域住民として対応しなければならない課題について、テーマを掲げて実施した。市民一人ひとりが自己の学習意欲を満たすとともに、講座で得たものを、地域づくり、まちづくり等に活用できる人材育成に寄与した。</p> <p>講座内容：家庭教育集中講座、親子での性教育、食育、男女共同参画、天草の文化</p> <p>開催時期：7月～12月 計8回開催</p> <p>参加者：延べ730人</p>

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果												
199) 201	1 社会教育総務費	IT講習会事業	806	その他 149 一般財源 657	パソコンの技術の習得を目指した講習会を実施した。 (事業費内訳) 報償費 720,000円 需用費 80,898円 役務費 5,000円 805,898円	時代、市民のニーズに応え、生涯学習の促進、自己の資質向上の促進を図ることができた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施回数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>牛深分室</td> <td>24回</td> <td>延べ380人</td> </tr> <tr> <td>五和分室</td> <td>102回</td> <td>延べ480人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>126回</td> <td>延べ860人</td> </tr> </tbody> </table>		実施回数	参加者	牛深分室	24回	延べ380人	五和分室	102回	延べ480人	合計	126回	延べ860人
			実施回数	参加者														
		牛深分室	24回	延べ380人														
五和分室	102回	延べ480人																
合計	126回	延べ860人																
放課後子どもプラン事業	1,315	県支出金 1,173 (578) 一般財源 142 (737)	放課後に子どもたちの居場所を確保し、子どもたちに放課後の学習機会を提供することや遊びを通して学ぶ場所を確保することなどを目的として「放課後子ども教室」を実施した。 (事業費内訳) 報償費 179,000円 旅費 8,340円 需用費 166,056円 役務費 7,000円 備品購入費 954,443円 1,314,839円	文部科学省は全小学校での実施をめざしているが、一斉に実施することは難しく、平成19年度は小規模校2校で開始した。 一町田小第一分校 延べ63回開催 鬼池小学校 延べ8回開催														
婦人会補助金	2,300	一般財源 2,300	天草市地域婦人会連絡協議会に対し、補助金を交付した。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>協議会決算額</td> <td>2,959,416円</td> </tr> <tr> <td>うち補助金</td> <td>2,300,000円</td> </tr> </tbody> </table> 【活動内容】 総会、役員会、理事会、リーダー研修、交通安全母親活動推進大会、交通安全指導者研修、日赤奉仕研修会、各種県・市主催事業への参加 等	協議会決算額	2,959,416円	うち補助金	2,300,000円	社会教育活動推進の有力な団体として、各婦人会の活動連絡調整を図り、女性の教養を高め生活を豊かにして、住みよい地域づくりに寄与した。市の各種行事等にも積極的に参画している。										
協議会決算額	2,959,416円																	
うち補助金	2,300,000円																	

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
199) 201	1 社会教育総務費	P T A 補助金	713	一般財源 713	天草市PTA連絡協議会に対し、補助金を交付した。 協議会決算額 1,960,287円 うち補助金 713,000円 【活動内容】 総会、役員会、会長会、会員研修会 各種県・市主催事業への参加 等	児童生徒の健やかな成長を願い、人づくり等に活動している。また、会員の資質向上はもとより、学校、家庭、地域社会の好ましい環境づくり活動により結果を得ることができた。市の各種行事等にも積極的に参画している。
		人権教育推進協議会補助金	2,925	一般財源 2,925	天草市人権教育推進協議会に対し補助金を交付した。 協議会決算額 3,507,235円 うち補助金 2,924,788円 【活動内容】 総会、人権教育研究大会、部落解放研究集会、 各種県・市主催事業への参加 等	人権尊重の理念に対する理解を深め、一人ひとりの人権が守られ、すべての市民が安全で心豊かに暮らせる社会の実現を目的に活動している。各種研修会への派遣などにより人権教育の推進に寄与した。 平成19年度は熊本県人権教育研究大会天草大会(上天草市で開催)に多数の市民を派遣した。(2日間で延べ1、533人の参加)
		社会を明るくする運動	189	一般財源 189	【社会を明るくする運動実施委員会】 開催日 平成19年6月28日(木) ・推進大会開催のための実施要綱等を定める ・保護司会を始め、各種団体長84名で構成 【社会を明るくする運動推進大会】 平成19年7月14日(土)に計画したが、台風接近により中止となった。 その他 夜市等、人が集まる場所での広報・啓発活動に取り組んだ。 (事業費内訳) 旅費 51,050円 需用費 137,807円 188,857円	すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築くことを目的にしている。 実施委員会を組織して内容を協議し、作文や標語の募集を行い、保護司会と連携して啓発活動に取り組んだ。

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																		
199) 201	1 社会教育総務費	成人式	1,577	一般財源 1,577	<p>成人を祝う式典を市内10か所で開催した。</p> <p>開催期日 ・牛深地区 平成19年8月16日(木) ・本渡・有明・倉岳・栖本・天草・河浦地区 平成20年1月3日(木) ・御所浦・新和・五和地区 平成20年1月4日(金)</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>講師等謝礼</td> <td style="text-align: right;">165,000円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">252,418円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td style="text-align: right;">35,284円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">889,300円</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td style="text-align: right;">227,135円</td> </tr> <tr> <td>船舶借上料</td> <td style="text-align: right;">7,500円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,576,637円</td> </tr> </table>	講師等謝礼	165,000円	消耗品費	252,418円	食糧費	35,284円	印刷製本費	889,300円	通信運搬費	227,135円	船舶借上料	7,500円		1,576,637円	<p>20歳を迎えた青年が成人としての責任と義務を自覚し、社会人としてたくましく生きていくための指針を定めることを目的に開催。</p> <p>天草市全体の出席者数 1,128名 出席率 86.0%</p> <p>各地区の出席者数は次のとおり</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>本渡</td> <td style="text-align: right;">497名</td> <td>牛深</td> <td style="text-align: right;">161名</td> </tr> <tr> <td>有明</td> <td style="text-align: right;">84名</td> <td>倉岳</td> <td style="text-align: right;">40名</td> </tr> <tr> <td>栖本</td> <td style="text-align: right;">40名</td> <td>河浦</td> <td style="text-align: right;">71名</td> </tr> <tr> <td>天草</td> <td style="text-align: right;">40名</td> <td>御所浦</td> <td style="text-align: right;">48名</td> </tr> <tr> <td>新和</td> <td style="text-align: right;">43名</td> <td>五和</td> <td style="text-align: right;">104名</td> </tr> </table>	本渡	497名	牛深	161名	有明	84名	倉岳	40名	栖本	40名	河浦	71名	天草	40名	御所浦	48名	新和	43名	五和	104名
講師等謝礼	165,000円																																							
消耗品費	252,418円																																							
食糧費	35,284円																																							
印刷製本費	889,300円																																							
通信運搬費	227,135円																																							
船舶借上料	7,500円																																							
	1,576,637円																																							
本渡	497名	牛深	161名																																					
有明	84名	倉岳	40名																																					
栖本	40名	河浦	71名																																					
天草	40名	御所浦	48名																																					
新和	43名	五和	104名																																					
		市民・青少年一日一汗運動	201	一般財源 201	<p>青少年(小学生・中学生・高校生)が地域の方と一緒に地区の清掃活動を行う。</p> <p>開催期日 本渡地区 平成19年6月10日(日) 栖本地区 平成19年6月10日(日) 倉岳地区 平成19年7月12日(木) (12月も計画したが雨天により中止)</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">9,700円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">7,128円</td> </tr> <tr> <td>収集運搬業務委託料</td> <td style="text-align: right;">183,750円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">200,578円</td> </tr> </table>	旅費	9,700円	消耗品費	7,128円	収集運搬業務委託料	183,750円		200,578円	<p>青少年を地域づくり活動に積極的に参加させることにより、青少年と地域社会との交流を図り、地域の構成員としての自覚を高めることに大きな成果があった。</p> <p>参加人数</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>本渡地区</td> <td style="text-align: right;">10,685人</td> </tr> <tr> <td>栖本地区</td> <td style="text-align: right;">389人</td> </tr> <tr> <td>倉岳地区</td> <td style="text-align: right;">266人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">11,340人</td> </tr> </table>	本渡地区	10,685人	栖本地区	389人	倉岳地区	266人	合計	11,340人																		
旅費	9,700円																																							
消耗品費	7,128円																																							
収集運搬業務委託料	183,750円																																							
	200,578円																																							
本渡地区	10,685人																																							
栖本地区	389人																																							
倉岳地区	266人																																							
合計	11,340人																																							

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
199) 201	1 社会教育総務費	青少年健全育成事業	366	一般財源 366	<p>青少年の交流や自然体験事業等市内4地区で実施。</p> <p>五和 寺子屋体験学習 栖本 寺子屋体験学習 御所浦 ボランティア入門講座 御所浦 化石発掘体験事業 倉岳 青少年健全育成チラシの発行</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>消耗品費 5,887円 印刷製本費 21,105円 体験学習事業委託料 280,000円 車両借上料 15,000円 船舶使用料 43,600円 365,592円</p>	<p>地域の特性を活かした事業を取り込んでいる地区もあり、青少年の交流や自然とのふれあいなど豊かな体験事業として、青少年の健全育成に大きく寄与している。</p> <p>参加人数</p> <p>五和 寺子屋体験学習 24人 栖本 寺子屋体験学習 30人 御所浦 ボランティア入門講座 34人 御所浦 化石発掘体験事業 107人</p> <p>合計 195人</p>
		子ども会補助金	1,507	一般財源 1,507	<p>天草市子ども会育成連絡協議会に対し、補助金を交付した。</p> <p>協議会決算額 3,579,653円 うち補助金 1,507,000円</p> <p>【活動内容】 球技大会・駅伝大会・チャレンジキッズ・ 指導者研修会・県大会への派遣事業等</p>	<p>異年齢の子どもたちで組織されているという特性を活かしながら、各種のスポーツ大会や指導者研修会、また仲間と協力しないと出来ない遊び等を取り入れたイベントなどを取り入れ、子どもの健全育成に多くの成果を挙げた。</p> <p>そして、学校教育や家庭教育では培えない、地域による教育力としての「子ども会活動」を支援することにより、次代を担う青少年の健全育成に寄与した。</p>
		青少年育成市民会議補助金	575	一般財源 575	<p>天草市青少年育成市民会議に対し、補助金を交付した。</p> <p>市民会議決算額 404,591円 うち補助金 575,000円</p> <p>(超過分については、平成20年度で精算。)</p> <p>【活動内容】 夏休み夜間巡視事業 指導者研修会等</p>	<p>青少年育成の重要性に照らし、広く市民の総意を結集して関係機関及び諸団体との緊密な連携のもと、青少年の健全育成並びに非行防止に寄与した。</p>

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
199) 201	1 社会教育総務費	海洋少年団運営補助金	48	一般財源 48	<p>牛深海洋少年団に対し、補助金を交付した。</p> <p style="text-align: right;">少年団決算額 1,134,117円 うち補助金 48,000円</p> <p>【活動内容】 体験航海・水泳訓練・漂流物調査等</p>	海に学び、海に親しみながら、心身を鍛え、心を養い立派な社会人になるよう健全なる青少年の育成に寄与した。
		青年団補助金	611	一般財源 611	<p>天草市青年団並びに天草青年団協議会（天草市・上天草市・苓北町青年団）に対し、補助金を交付した。</p> <p style="text-align: right;">天草市青年団 青年団決算額 1,132,654円 うち補助金 564,000円</p> <p>【活動内容】 レクリエーション大会 映画鑑賞会等</p> <p style="text-align: right;">天草青年団協議会 協議会決算額 1,276,006円 うち補助金 47,000円</p> <p>【活動内容】 軟式野球大会、体育祭、青年の集い、ボウリング大会</p>	<p>社会人としての生活設計に対する考え方を養い、学習やレクリエーションを通し、教養と意識を高め、次代を担って立つ青年の団体として、社会の発展に寄与。</p> <p>各種学習会や奉仕活動、公民館等の各種地域行事にも積極的に参加している。</p>

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果	
201) 203	2 社会教育施設費	コミュニティーセンター整備事業	2,521	県支出金 2,500 一般財源 21	エアコンコインタイマー設置 9施設 (事業費内訳) 修繕料 2,520,811円	事務の簡素化及び利用者の利便性を図ることが出来た。	
		教養講座開設事業	2,302	一般財源 2,302	【本渡勤労青少年ホーム】 生花 書道・ペン習字 英会話 料理 着物着付 エアロビクス 【牛深勤労青少年ホーム】 生花 茶道 パッチワーク 着物着付 料理 エアロビクス (事業費内訳) 講師謝礼 2,215,000円 消耗品費 28,117円 印刷製本費 1,953円 会場等借上料 57,330円 2,302,400円	勤労青少年のレクリエーション、クラブ活動その他勤労の余暇に行われる活動有のための便宜を供するというホームの目的を果たしている。 また、本渡・牛深の2館による利用者の交流の機会も増えた。	
		社会教育施設利用状況	施設名		利用件数	利用者数	市内の社会教育施設（公民館、図書館を除く）の利用状況。
			有明町民センター		246	7,688	
			御所浦島開発総合センター		369	17,152	
			新和町民センター		397	14,589	
			五和町コミュニティセンター		448	16,524	
			下平いきいきふれあい館		147	1,482	
			大之浦いきいきふれあい館		7	328	
			池田いきいきふれあい館		0	0	
			くたまふれあいセンター		980	18,199	
			ふかみふれあいセンター		494	10,939	
			あこうの里ふれあい館		61	1,760	
			横浦島コミュニティセンター		311	7,117	
			五和地域交流センター		861	16,781	
			天草交流センター		174	2,114	
			天草町民センター		336	6,531	
			茂串総合学習施設白浜いきいき館		56	1,392	
			御所浦交流センター		18	460	
			合計		4,905	123,056	

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
203 ） 205	3 公民館費	公民館改修事業	12,807	県支出金 12,300 一般財源 507	<p>【需用費 修繕料】</p> <p>エアコンコンタイマー設置外 22施設 4,939,894円</p> <p>【委託料】</p> <p>営繕工事設計委託料 273,000円</p> <p>【工事請負費】</p> <p>宮野河内公民館空調設備改修工事 3,675,000円</p> <p>栖本町公民館図書室空調設備設置工事 843,150円</p> <p>天草市中央公民館給水配管改修工事 1,459,500円</p> <p>本渡北公民館駐車場整備工事 1,617,000円</p> <hr/> <p>7,594,650円</p>	<p>事務の簡素化及び利用者の利便性を図ることが出来た。</p> <p>老朽が著しい空調設備の改修を行なったことで、生涯学習の拠点施設としての施設環境向上が図られた。</p> <p>本工事の実施により、良好な図書空間を確保することが出来た。</p> <p>経年劣化が著しい給水配管及びポンプの改修を行なったことで、安全性（衛生面）の向上に繋がった。</p> <p>本工事の実施により、駐車スペースの確保ができ利用者の利便性向上に繋がった。</p>
		生涯学習推進事業	784	一般財源 784	<p>各種講座等の生涯学習機会の市民への提供。</p> <p>【主な内容】</p> <p>高齢者インターネット教室、あまくさ宝島教室、家庭教育学級、パソコン教室、高齢者学級、老人大学、青少年学級、女性学級、男の料理塾等の講座開催</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>報償費 540,000円</p> <p>旅費 229,238円</p> <p>需用費 7,981円</p> <p>使用料及び賃借料 6,480円</p> <hr/> <p>783,699円</p>	<p>住民の学習要求に応えるため各種学級を開催し知識と教養の向上を図り、学習を通して明るく住みよい豊かな地域づくりに努めた。</p>

(9) 教育費

(7) 社会教育費

決算書 対応頁	目	公民館利用状況 (公民館名)	利用件数	利用者数	主要事業	主催学級・自主学級等
203) 205	3 公 民 館 費	中央公民館	1,191	16,766	あまくさ宝島教室・高齢者インターネット教室	本渡ふるさと学級会・書道学級・健康体操教室・本渡市ママさんコーラス(はまゆうこおる)・本渡市四半的協会・陶芸サークル・ヨガ教室・天草スポーツダンス愛好会・インターネット市民塾・真向法体操天草支部本渡中央教室・女声合唱団「彩音」・手話奉仕員養成講座 その他多数
		本渡南公民館	969	13,496	老人大学・本渡南歩こう会	本渡南歩こう会・セイクオーレ・眞美体操・ダンススポーツ本渡・女声アンサンブルカーラ・大正琴イルカ・香雲堂 吟詠会・坂東流・天草社交ダンス・親子リズム つくしんぼ・混声合唱団 喜奏会・ その他多数
		本渡北公民館	1,691	25,805	老人大学・小学生「料理教室」	「いきいき教室」本渡北・本渡北暮楽会・本渡北大正琴A・ひまわり(健康体操)・もくれん(パッチワーク)・本渡町婦人会短歌学級・今釜民謡会・天草フォトクラブ・びよびよクラブ(親子エアロビクス)・太極拳教室・広瀬ミニバレー・リズム健康体操(コスモス会)・日本民謡天草灘会・拳道無形塾・日本空手道研修館 その他多数
		亀場町公民館	1,241	12,788	高齢者学級・家庭教育学級・男の料理教室	亀場歌謡教室・天草琴修会・絵画教室・のびのび教室・亀場フラダンス教室・翠踊会 亀場日舞教室・亀場童謡くらぶ・はなみずき(歌)・亀場幼稚園クラブ(ミニバレー)・亀場空手クラブ・日本デンマーク体操 その他多数
		杵宇土町公民館	415	4,538	高齢者対象(いこい学級)・家庭教育講演会	いこい学級・女性の広場・人づくり(家庭教育)学級・男の料理教室・久々山平床会(ミニバレー)・杵宇土華道教室・杵宇土ゴールド・杵宇土大正琴あやめ会・四半的弓道・健康えあるび・なかよしファミリー その他多数
		志柿町公民館	704	12,688	志柿老人大学	女性学級・志柿ファミリークラブ(ミニバレー)・カラオケ愛好会・エイサークラブ(沖縄太鼓)・クラリネットアンサンブル・志柿婦人会生花教室・舞踊教室・大正琴教室(琴志会)・健美体操 その他多数

(9) 教育費

(7) 社会教育費

決算書 対応頁	目	公民館利用状況 (公民館名)	利用件数	利用者数	主要事業	主催学級・自主学級等
203) 205	3 公 民 館 費	志柿町公民館瀬戸分館	494	10,310	瀬戸老人学級	大正琴教室・バッチワークサークル・生け花教室・ 社交ダンス教室・演劇愛好会・空手道教室
		下浦町公民館	983	18,904	男の料理教室・夏休みおもしろ劇場	下浦町公民館学級『夏休みおもしろ劇場』・男の料 理教室・農協女性部(ミニバレー)・パールシエルフ ラクラブケナフ(フラダンス)・書道サークル・カラ オケ愛好会・下浦ストーンズ(ソフトボール)・第一 福寿会(グランドゴルフ)・少年柔道クラブ その他 多数
		楠浦町公民館	685	6,614	パソコン教室・高齢者学級	高齢者学級・婦人学級・藤波会・大正琴五月会・楠 浦俳句会・楠浦生花クラブ・楠の花(童謡コーラ ス)・料理教室・植村道場(剣道)・楠浦愛球会(卓 球)・コスモス会(ミニバレー)・ その他多数
		本町公民館	667	8,997	高齢者学級・山学校川学校・男の料理教室・女性学 級	いきいき教室 本町・ミニバレー「鶴28」・本町盆 裁会・ミニバレー「本町女性会」・松武会「本町躰心 塾」 その他多数
		佐伊津町公民館	1,916	18,702	高齢者学級・女性学級・青年学級	女性学級・躰心塾 佐伊津・いきいき教室 佐伊津・ 健美体操実行会1・カラオケ教室・天草椿会 佐伊 津教室・コスモス会(舞踊教室)・英会話教室・上在 郷グラウンドゴルフビギナーズ・書道教室 その他 多数
		宮地岳町公民館	530	7,024	宮地岳わんぱーく(地域子ども教室)・いたてみゅー 会	四半的弓道協会 宮地岳支部・琴宮会(大正琴)・藤 宮会(舞踊)・豆木場自治会(ミニバレー)・ウイニ ングファイブ(フットサル)・宮地岳あそぼう会(ソフ トボール)・宮地岳GGクラブ(グランドゴルフ)・ 宮地岳健康歩こう会・コットンクラブ その他多数
		牛深町公民館	418	3,312	ハイヤっ子ハウス・夜間パトロール	フラダンス教育・茶道教室・琴藍会うしぶか・牛深 美術教室・生け花教室・民謡&歌謡教室・日本舞踊 教室・かな書道・公佳会・北時フラワーデザインス クール・茂串着付教室・水墨画同好会 その他多数

(9) 教育費

(7) 社会教育費

決算書 対応頁	目	公民館利用状況 (公民館名)	利用件数	利用者数	主要事業	主催学級・自主学級等
203 ） 205	3 公 民 館 費	久玉町公民館	980	18,199	グランドゴルフ大会	いずみ会・久玉着付け教室・煎茶教室・日本吟声流詩吟教室・久玉教養趣味の会・大正琴、辻教室・久玉生け花教室・エアロビクス
		魚貫町公民館	199	3,147	太極拳 ・ 交通安全、環境美化事業	出前スポーツ・太極拳・シルバースポーツ
		深海町公民館	494	10,939	体育祭・敬老会・グランドゴルフ大会	生け花教室・民謡教室
		二浦町公民館	511	4,296	太極拳	料理教室・太極拳
		楠甫町公民館	359	2,934	さわやか教室・料理教室	楠甫健康ダンス教室・パールシエルなぎさ・楠甫四半的弓道・楠甫囲碁愛好会・カラオケ愛好会
		大浦公民館	407	4,907	大浦さわやか大学	大浦舞踊教室・大浦陶芸クラブ・大浦大正琴教室・大浦書道教室・蘇山流蘇晴支部・フラダンス パールシエルサザナミ・ステンドグラス同好会・歌謡クラブ・いきいきサロン・大浦四半的弓道協会
		須子公民館	381	2,998	須子公民館さわやか大学・シルバー料理教室	須子大正琴教室・須子舞踊教室・須子陶芸教室・須子書道教室・須子四半的クラブ
		赤崎公民館	170	1,914	さわやか大学・父ちゃんの料理教室・球技大会	フラダンスありあけ・赤崎着物着付教室・赤崎舞踊(かもめ)・赤崎陶芸教室・さわやか大学・生け花教室
		上津浦公民館	391	5,308	高齢者料理教室・子供料理教室・男性料理教室	編み物教室・上津浦舞踊さくら会・楽しむ会・上津浦大正琴教室・有明ハーモニコーン・すみれ会・上津浦書道教室・上津浦健康体操クラブ・有明少年空手クラブ・スクエアダンス教室・生き生きサロン
		下津浦公民館	504	6,437	さわやか大学・男の料理教室・寺子屋・紙粘土教室	下津浦三味線教室・紙粘土教室・卓球クラブ・布のリフォーム教室・下津浦健康体操教室・下津浦生花会・編み物リフォーム教室・いきいきサロン・着付愛好会
		島子公民館	486	3,999	夏休み子ども囲碁教室・男性料理教室	童謡グループカナリア・島子詩吟教室・日舞椿会・島子生花教室・島子四半的弓道協会・シルバーダンス・島子大正琴教室・島子健康体操・島子日舞教室・健美体操・TOSS天草

(9) 教育費 (7) 社会教育費

決算書 対応頁	目	公民館利用状況 (公民館名)	利用件数	利用者数	主要事業	主催学級・自主学級等
203 ） 205	3 公 民 館 費	御所浦地区公民館	235	5,041	産山交流事業・しおさいマラソン大会	大正琴教室・子育てもじゃこグループ・北習字クラブ・夕月会
		浦公民館	51	625	浦地区高齢者学級	ぞろりんピック・夏まつり・環境美化作業
		棚底公民館	81	778	高齢者学級(電動カー講習会・楽しい音楽教室)	倉岳ウォークラリー・スポーツ大会・棚底探検隊・ふるさとまつり
		宮田公民館	28	526	宮田地区高齢者学級	分館対抗球技大会・世代間交流会・ペアーマラソン大会
		栖本町公民館	316	2,415	高齢者学級・寺子屋体験学習・文化祭・成人式	地域子ども教室・香雲堂吟詠会栖本支部・栖本ママさんコーラス フラワーコール・婦人学級・青年学級・琴華会・ブルーリーフその他多数
		小宮地公民館	391	3,363	男の料理教室・しんわどろリンピック・ひだまりの花畑	新和民謡会・うぐいす琴の会・はるうらら(大正琴)・小宮地舞踊会
		宮南公民館	194	2,333	パソコン教室	いきいき教室(筋トレ)・宮南舞踏会
		大宮地公民館	206	2,818	リバー祭ど大宮地・健康ミニバレー大会	花いっぱい運動・神掛の滝整備
		大多尾公民館	170	3,287	花いっぱい運動・グランドゴルフ大会	活花教室・大多尾舞踊会
		中田公民館	316	4,303	凧づくり教室・介護教室	書道教室・若返り教室・舞踏教室
		碓石公民館	215	4,361	消費生活講座(高齢者対象)・夏休み書道教室	ふれあい学習(書道)
		御領公民館	586	6,975	視察研修(女性部・振興会・公民館)・球技大会	りんどう会・琴華会(大正琴教室)・真向法・卓球クラブ その他多数
		大島公民館	276	3,708	球技大会・夏まつり・年始交換会・鬼火焼き	大島公民館総会
		鬼池公民館	365	6,433	球技大会・婦人学級研修・五和スポーツフェスティバル	鬼池パッチワーク教室・書道教室・パールシェル、フラキンレンカA教室・フラダンス キンレンカB・鬼池公民館文化部歌謡教室・鬼池木彫教室・健康体操教室・鬼池ミニバレーチーム・鬼池ソフトバレーボールクラブ・鬼池少年剣道クラブ・男の料理教室

(9) 教育費 (7) 社会教育費

決算書 対応頁	目	公民館利用状況 (公民館名)	利用件数	利用者数	主要事業	主催学級・自主学級等
203) 205	3 公 民 館 費	二江公民館	290	7,512	新春通詞島ウォーク・球技大会・産業文化祭	二江少年剣道クラブ・青雲塾空手部
		手野公民館	203	2,172	女性の料理教室・年代別ソフトボール大会・先進地研修	五和卓球クラブ・内野卓球愛好会・手野地区踊り愛好会
		城河原公民館	219	3,507	球技大会・ホテルフェスタ・ホテル交流事業	城河原着物着付愛好会・城河原着物着付教室・真向法協会城河原教室・婦人教養学級
		福連木公民館	194	3,945	ミニバレー大会・グランドゴルフ大会・産業文化祭 & バザー	尺八教室・卓球教室・官山散策会
		下田北公民館	159	1,848	下田温泉夏まつり・花いっぱい運動・ミニバレー大会	健康教室(真向法)・健康教室(ミニバレー)
		下田南公民館	266	4,514	下田南地区球技大会・ラジオ体操キャンペーン	大正琴教室・生花教室・真向法体操教室・ボランテニア踊りの会
		高浜公民館	456	19,763	球技大会・虫追い祭り・グランドゴルフ大会	地区球技大会・おね火焼き・書道教室
		大江公民館	137	3,640	球技大会・十五夜綱引き大会・大江冬まつり	大江生花教室・笑軍(軍ヶ浦ミニバレークラブ)・大ヶ瀬(ミニバレークラブ)・大江どしめく(ソフトボールクラブ)
		新合公民館	109	2,756	新年祝賀会・成人講座・総合学習の会	藤豊会・コレジヨコール
		一町田公民館	385	8,903	一町田高齢者大学・成人式・エンジョイミニバレー	琴成会・森のくまさん(大正琴)・書道クラブ・はまなす会(生花)・おもと(着物着付教室)・すずらん(舞踊)・さつき会(レザークラフト)・短歌サークル・絵手紙教室・豊南海会・コレジヨコール その他
		富津公民館	200	6,526	富津高齢者大学・ホテルの里ふれあいの集い	富津三味線・崎津ハイヤグループ
宮野河内公民館	350	8,141	宮野河内地区高齢者大学・通学合宿・花いっぱい運動	健康くらぶ・三味線愛好会・子ども書道教室・男の料理教室・子ども教室		

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
205 5 207	4 図書館費	童話発表市内各地区大会	217	一般財源 217	市内各地区大会：平成19年7月12日～ 9月8日開催 参加者合計 119人 (経費内訳) 審査員謝礼 84,000円 消耗品代 129,279円 御所浦地区大会審査員 海上船舶代 3,600円 216,879円	童話に親しみ、創造する機会を与えることにより 読書意欲の推進を図った。各地区大会より天草地方 大会への代表者を選出した。天草地方大会では天草 市代表1名が最優秀賞を受賞し、県童話発表大会へ 天草地区代表として出場した。 童話発表市内各地区大会（本渡・牛深・御所浦・五 和・河浦・新和・天草・有明・栖本・倉岳）
		子ども読書フェスティバル	0	一般財源 0	中学生によるステージ発表、直木賞作家・重松清 氏による記念講演、リサイクル本の配布（場所・図 書館） 日 時：平成19年10月27日（土） 開催 場 所：天草市民センター 大ホール 参加数：750名	文部科学省から委嘱を受けた「市町村等における 子どもの読書活動推進に関する調査研究」事業の一 環として開催し、子どもたちの読書振興を図った。 （事業経費全額を文部科学省が助成。）
		子どもの読書を育む大人の つどい	64	一般財源 64	大人が子どもの読書活動への理解と関心を深め、 子どもたちの読書意欲をさらに高めることを目的と して開催。 日 時：平成19年7月7日（土） 開催 場 所：天草市民センター 展示ホール 内 容：富原美智子氏 「福岡おはなしの会」元代表による講演他 参加数：144名 (経費内訳) 講師謝礼 64,000円	参加者に読み聞かせの必要性やお話の楽しさを伝 えることができ、子どもたちの読書意欲をさらに高 めることを行った。

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
205 ↳ 207	4 図書館費	読み聞かせボランティア 交流会	0		市内の読み聞かせボランティア団体の代表者を対象に、各団体の活動内容紹介や各グループの実践交流を通して読み聞かせ技術の向上を図る。 日 時：平成19年9月21日(金) 開催 場 所：天草市民センター 大会議室 内 容：各団体による活動内容紹介、 グループごとの実践交流 参加数：55名	「読んで楽しい・聞いて楽しい読み聞かせ」をテーマに、子どもの読書活動に対する取り組みを紹介し合うことで子どもの読書振興を図った。
		手づくり教室	0		小学生～高校生を対象に、布を使って絵本や人形を手作りする教室を開催。 日 時：平成19年7月28日(土)、8月11日(土)、 9月22日(土)、10月6日(土) 開催 場 所：中央図書館 2階 会議室 講 師：一般ボランティア 1日参加数：10名	子どもたちが本に親しむ機会を提供した。
		アートキッズ	0		小学生を対象に、夏休みの課題製作のための美術関係図書を参考にした絵や工作の創作を通して子どもたちの読書振興を図る。 【河浦図書館教室】 日 時：平成19年8月12日(日)開催 場 所：河浦図書館 1階 研修室 講 師：一般ボランティア 参加数：10名 【中央図書館教室】 日 時：平成19年8月18日(土)、19日(日)開催 場 所：中央図書館 2階 会議室 講 師：一般ボランティア 1日参加数：16名	絵や工作の創作を通して、子どもたちを物語の世界に誘い、読書振興を図った。

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
205 ┆ 207	4 図書館費	図書館巡回講座	105	一般財源 105	小学校、幼稚園、保育所等に出向き、小学生・幼児を対象にお話、紙芝居、パネルシアター、腹話術等を行った。 年間21回開催 (経費内訳) 講師謝礼 105,000円	紙芝居、パネルシアター、腹話術等を見聞きさせることにより、子どもたちの読書への興味を深めた。また、学校の読書教育との連携を図ることができた。
		おたのしみ会	0		子どもたちへの読み聞かせ、お話、紙芝居、腹話術等。 毎月第2土曜日 本渡北公民館にて開催 毎月第4土曜日 本渡南公民館にて開催 年間合計24回開催 「子ども読書の日お楽しみ会」を4月21日(土)実施 (参加者90人)	子どもたちへ多彩な構成で物語の楽しさを伝え、本に親しむ機会を提供し読書推進を図った。
		古文書学習会	55	一般財源 55	地域に眠る古文書を解読する為の学習会を開催。 毎月第3土曜日開催 年間11回開催 受講生15人 (経費内訳) 講師謝礼 55,000円	地域に眠る古文書を解読することにより郷土を理解し、郷土を再認識する機会を提供した。
		視聴覚ライブラリー事業	453	一般財源 453	学校、社会教育団体等に対して視聴覚教材及び機材の貸出しを行った。また、新たに購入する教材を研究開発委員によって選定し、購入した。 (経費内訳) 研究開発委員謝礼 30,000円 消耗品費 23,324円 映像教材購入費 399,600円 452,924円	教材及び機材の貸出しを通じて生涯学習の振興に努めた。 機材・教材利用件数 年間延べ113件 利用者数 4,445人

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
205 ） 207	4 図書館費	図書購入	14,649	その他 1,500 一般財源 13,149	新刊文学書、総合学習対応図書、参考図書の購入。 図書購入費 14,649,252円 (内訳) 中央図書館 8,448,581円 牛深図書館 2,677,862円 河浦図書館 901,356円 御所浦図書館 429,190円 五和図書室 749,897円 高浜公民館図書室 222,551円 栖本図書室 202,662円 新和図書室 296,858円 有明図書室 520,337円 倉岳図書室 199,958円 14,649,252円	図書購入に対して市民から多額の寄付があり、市民の読書に対する関心の高さと意識の向上が見られる。新刊書など各種資料を購入し、市民に提供することができた。 (貸出者数) (貸出冊数) 44,670 156,475 6,895 22,866 5,581 19,110 2,115 6,231 2,763 6,667 1,156 3,040 1,143 1,608 166 361 506 2,293 571 719 65,566 (人) 219,370 (冊)

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果										
207 ） 209	5 文化振興費	文化振興計画策定事業	413	一般財源 413	<p>天草市の文化行政を総合的な見地から計画的に推進していくため、天草市文化振興審議会に諮問し、「天草市文化振興計画」と「全島博物館構想計画」を策定した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>文化振興審議会委員報酬</td> <td>300,000円</td> </tr> <tr> <td>” 旅費</td> <td>102,240円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>11,025円</td> </tr> <tr> <td></td> <td><u>413,265円</u></td> </tr> </table>	文化振興審議会委員報酬	300,000円	” 旅費	102,240円	消耗品費	11,025円		<u>413,265円</u>	「天草市文化振興計画」と「全島博物館構想計画」が策定されたことにより、今後の文化振興がこの計画に則り、計画的に実施できるようになった。今後は、各施策ごとに年次計画を作成し、計画を推進していく。		
		文化振興審議会委員報酬	300,000円													
		” 旅費	102,240円													
消耗品費	11,025円															
	<u>413,265円</u>															
芸術文化振興事業	1,642	その他 676 一般財源 966	<p>多くの市民が優れた芸術文化公演に触れる機会をつくるため、宝くじ文化公演の活用や県立劇場との連携により公演を実施した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>報償費</td> <td>110,000円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>45,240円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>317,828円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>169,010円</td> </tr> <tr> <td>負担金(2事業)</td> <td>1,000,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td><u>1,642,078円</u></td> </tr> </table>	報償費	110,000円	旅費	45,240円	需用費	317,828円	役務費	169,010円	負担金(2事業)	1,000,000円		<u>1,642,078円</u>	宝くじ文化公演の活用や県立劇場との連携により、経費を抑えて質の高い事業を実施することができた。「みんな楽しく！ ピアノの日」では、無料でホールを開放し、ピアノを通して、芸術文化の振興を図ることができた。 宝くじ文化公演 劇団わらび座ミュージカル「天草四郎～四つの夢の物語」 ・5/12、天草市民センター：入場者数606人 県立劇場アトリ-事業「音楽の森」 10/17～20 天草地区・河浦地区・牛深地区の小・中学校5校、病院1ヶ所で演奏会、最終日に牛深支所旧議事堂でコンサート(入場者数：100人)を実施。 県立劇場ネットワーク事業「日本伝統芸能・牛深公演」、2/17、牛深総合センター 入場者数421人 みんな楽しく！ ピアノの日 3/2、天草市民センターホール出演者 71組84人
報償費	110,000円															
旅費	45,240円															
需用費	317,828円															
役務費	169,010円															
負担金(2事業)	1,000,000円															
	<u>1,642,078円</u>															
芸術作品展示事業	607	一般財源 607	<p>多くの市民が優れた芸術作品に触れる機会をつくるため芸術作品展示事業を実施している。本年度は、熊本県美術家連盟移動展と天草市の美術作品収蔵品展を開催した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>賃金</td> <td>102,592円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>186,627円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>111,236円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>206,600円</td> </tr> <tr> <td></td> <td><u>607,055円</u></td> </tr> </table>	賃金	102,592円	報償費	186,627円	需用費	111,236円	委託料	206,600円		<u>607,055円</u>	天草市の美術作品収蔵品展では、天草市が所蔵している美術作品の調査を行い、展示を行った。寄贈・購入などで市に所蔵している美術品の把握ができたので、今後の展示に生かしていきたい。 熊本県美術家連盟移動展 ・11/15～18 牛深総合センター 37点展示、入場者数500人 天草市の美術作品収蔵品展 ・2/20～24 天草市民センター展示ホール 44点展示、入場者数511人		
賃金	102,592円															
報償費	186,627円															
需用費	111,236円															
委託料	206,600円															
	<u>607,055円</u>															

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位:千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果												
207 ） 209	5 文化振興費	市民センターホール等 自主文化事業	11,585	その他 3,900 一般財源 7,685	<p>芸術文化振興事業を児童・生徒を中心とした事業内容とする一方、当事業を一般市民向けの娯楽性の高い公演も取り入れた事業として実施した。天草市民センターを天草市の文化情報発信拠点として、牛深総合センターを市南部地区の文化発信拠点として事業を実施した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">4,400円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">764,354円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">111,952円</td> </tr> <tr> <td>公演委託料</td> <td style="text-align: right;">10,650,000円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td style="text-align: right;">54,397円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">11,585,103円</td> </tr> </table>	旅費	4,400円	需用費	764,354円	役務費	111,952円	公演委託料	10,650,000円	使用料	54,397円		11,585,103円	<p>天草市民センターと牛深総合センターで、若い層にもアピールするような多彩な内容で実施することができた。</p> <p>天草市民センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/30 有森博ピアノリサイタル 入場者数471人 ・9/2 よしもと爆笑夏祭り 入場者数519人 ・11/11 マーチングと演奏会(玉名女子高) 入場者数591人(体育館で実施) ・2/16 わらび座「ひびきわくわくコンサート」 入場者数266人 <p>牛深総合センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/17 松竹特別公演 怪談「牡丹燈籠」 水谷八重子主演 入場者数611人 ・11/2~3 第28回牛深地区音楽芸能祭 2日: 芸能の夕べ、3日: 舞踊の夕べ 入場者計900人 ・11/17~18 第17回うしぶかふるさと音楽祭 17日: 一般の部、18日学生部の部 入場者計1,400人 ・3/30 劇団カップ座 「ぬいぐるみ人形劇 そんごくう」 入場者数450人
旅費	4,400円																	
需用費	764,354円																	
役務費	111,952円																	
公演委託料	10,650,000円																	
使用料	54,397円																	
	11,585,103円																	
		子ども作陶体験事業	1,878	一般財源 1,878	<p>6月~10月にかけて市内の窯元を小学校に派遣し、6年生(あるいは5年生)を対象に作陶体験教室を実施した。出来上がった作品は、天草大陶磁器展に合わせて、11月に天草市民センターで展示した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>作陶体験委託料</td> <td style="text-align: right;">1,878,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">(2,000円×939人)</td> </tr> </table>	作陶体験委託料	1,878,000円		(2,000円×939人)	<p>授業の一環として、子どもたちが地域の伝統産業に触れるとともに、郷土の歴史と文化について理解する機会とすることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校36校、計939人の参加で実施 ・子ども作陶作品展 11/1~5 入場者数1,267人 								
作陶体験委託料	1,878,000円																	
	(2,000円×939人)																	
		芸術ふれあい出前 コンサート	1,116	県支出金 265 一般財源 851	<p>芸術家を小・中学校に直接派遣して公演を行う「いきいき芸術体験教室」、「本物の舞台芸術体験事業」を実施した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>子ども映画鑑賞普及事業委託料</td> <td style="text-align: right;">265,000円</td> </tr> <tr> <td>いきいき芸術体験教室公演委託料</td> <td style="text-align: right;">850,500円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,115,500円</td> </tr> </table>	子ども映画鑑賞普及事業委託料	265,000円	いきいき芸術体験教室公演委託料	850,500円		1,115,500円	<p>芸術家を小・中学校に直接派遣して公演を実施することにより、子どもたちが気軽に芸術文化に触れる機会を作ることができた。</p> <p>いきいき芸術体験教室(熊本県等と共催)</p> <p>邦楽2校、演劇ワ-クショップ[®]4校、韓国舞踊と太鼓3校、声楽1校、能楽ワ-クショップ[®]1校、計11校で実施。</p> <p>本物の舞台芸術体験事業(文化庁等と共催)</p> <p>能楽1校、演劇3校、計4校で実施。</p> <p>子ども映画鑑賞普及事業 1校で実施</p>						
子ども映画鑑賞普及事業委託料	265,000円																	
いきいき芸術体験教室公演委託料	850,500円																	
	1,115,500円																	

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
207 ） 209	5 文化振興費	五足の靴文化の里づくり事業	3,808	一般財源 3,808	五足の靴文化の里づくり実行委員会に補助金を交付し、全国短歌大会、天草ロザリオ館特別展、五足の靴ウォークラリー大会を開催した。 事業費 5,906,070円 うち市補助金 3,807,659円	「五足の靴」の意義を再認識するとともに、全国に向けて顕彰し、短歌を通して文化活動の拡大と交流人口の増加を図ることができた。本年は、「五足の靴」来島100周年記念ということで実施し、観光キャンペーンともタイアップし、ロザリオ館特別展は、8月～翌年2月までの長期間にわたり開催した。 五足の靴顕彰全国短歌大会 日時：8月28日～29日 会場：望洋閣（天草町） 出詠数：1,153首 大会参加者数97人 ・天草ロザリオ館特別展 「五足の靴をたどる 天草情調の旅」 期間：8月25日～2月28日 入場者数：10,251人 ・五足の靴ウォークラリー大会（11月3日、五足の靴遊歩道） 参加者数：196名
		文化活動補助金	1,836	一般財源 1,836	天草市芸術文化協会に加盟する文化団体等が開催する事業に対して、経費の2分の1（上限10万円）を補助した。また、全国大会に出場した牛深高等学校郷土芸能部に対し全国大会補助金を交付した。 (事業費内訳) 文化活動補助金（17件） 1,483,000円 全国大会出場補助金（1件） 353,000円 1,836,000円	文化団体が実施する文化事業に対して補助することで、文化団体の活性化と本市の文化振興につなげることができた。さらに天草市の文化振興が図られるよう、関係団体に対して周知を行っていききたい。
		市民芸術祭開催補助金	2,900	一般財源 2,900	天草市芸術文化協会と加盟する各地区文化協会が実施する市民芸術祭に対して補助金を交付し、多彩な文化祭を開催することができた。 (事業費内訳) 市民芸術祭補助金 2,900,000円	昨年度まで3地区の文化協会に対して交付していた補助金を一本化し、天草市芸術文化協会に対して補助金を交付した。本年度は、市芸術文化協会を中心として各地区文化協会が連携し、天草市全体の文化祭として「天草市芸術文化祭イン牛深」が、そして各地区の文化祭がそれぞれ盛大に開催された。
		牛深ハイヤ節全国大会	1,700	一般財源 1,700	実行委員会に委託し、6月23日に予選大会、24日に決勝大会を、また、市民へのアピールのため、23日夜にハイヤ踊りのルーツを探るということでアトラクションを実施した。（牛深総合センター） (事業費内訳) 大会運営委託料 1,700,000円	本年度7回目を迎えた事業で、市指定文化財である牛深ハイヤ節の継承と発展に寄与することができた。今後も牛深ハイヤ節を守り育て、市内外に発信していくため、牛深ハイヤ祭りや連携し、事業を実施していききたい。 出場者数 98人

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
209 5 211	6 文化財保護費	棚底城跡調査整備事業	6,020	国庫支出金 1,950 一般財源 4,070	棚底城跡周辺地の発掘調査及び管理 大権寺遺跡発掘調査 H19.11.1~H20.3.31 棚底城跡暫定補修業務 業務委託 航空写真撮影 業務委託 学術検討委員会 2回実施 (事業費内訳) 報酬 100,000円 共済費 10,178円 賃金 2,433,800円 報償費 10,000円 旅費 479,142円 需用費 338,555円 役務費 6,141円 委託料 2,488,903円 使用料及び賃借料 134,799円 原材料費 18,000円 6,019,518円 (うち補助対象事業費) (3,900,535円) 補助率 5.0/10	国指定文化財への指定を目指す棚底城跡及び関連 史跡調査事業 平成19年度の調査において、150点程度の石 塔部材及び寺院跡と思われる石段遺構・石段から両 翼に延びる石垣遺構が検出され、中世寺院遺跡であ ることがほぼ明確となるなど、史跡の価値が高まっ た。
		天領「天草」地方文書調査 事業	3,566	国庫補助金 1,750 一般財源 1,816	「中西家」・「大塚家」・「佐藤家・酒井家」目録 の校正・発行 各300部 (事業費内訳) 共済費 61,341円 賃金 570,000円 報償費 80,000円 旅費 310,410円 需用費 2,544,626円 3,566,377円 (うち補助対象事業費) (3,517,842円) 補助率 5.0/10	本渡地区に点在する古文書の調査、目録作成を平 成15年度~19年度の5ヵ年で実施する事業。 最終年度である19年度は「中西本家」・「大塚 家」・「佐藤家・酒井家」(4家：3冊)の目録に ついて、校正・印刷業務を行った。 これにより、地域資料としての古文書の保護が図 られるとともに、天草アーカイブズにおける閲覧・ 展示や生涯学習・学校教育での活用が可能となっ た。

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
209 5 211	6 文化財保護費	文化財保存整備事業	7,680	県支出金 975 一般財源 6,705	指定文化財等について、保存のため必要な業務や案内板作成など周辺環境の整備を行なった。 また、文化財収蔵庫棚も整備（収蔵棚設置）し、出土遺物・調査報告書の整理を行なった。 【整備内容】 ・市指定文化財「烏帽子坑跡」保存整備工事 ・県指定文化財「山口の施無畏橋」補修業務委託 ・文化財案内板作成及び貼替え業務委託 (事業費内訳) 旅費 22,680円 需用費 306,600円 委託料 2,536,397円 工事請負費 3,585,860円 備品購入費 1,228,290円 7,679,827円 (うち補助対象事業費) (2,051,072円) 補助率 5.0/10	崩壊の恐れのある市指定文化財「烏帽子坑跡」、県指定文化財「山口の施無畏橋」について、必要な業務を行ない、保存することができた。併せて、文化財説明板等の整備を行い、訪問者の理解を深めることができるようになった。 また、御領公民館2階の収蔵庫に収蔵棚を設置し、これまでの出土遺物・調査報告書等の整理を行ったことにより、出土遺物等を良好な状態で保存できるようになった。
		「天草の歴史」改訂版発行事業	1,169	一般財源 1,169	「天草の歴史」（旧本渡市で発行）の改訂版を800部発行した。 天草の歴史改訂版印刷業務 800部 (事業費内訳) 需用費（印刷製本費） 1,168,660円	昭和37年の発行から40年以上が経過した「天草の歴史」の改訂版は、市町合併等最新の成果を取り入れた内容となっており、改訂版を発行・販売することにより天草の歴史を市内外に周知することができるようになった。

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																																																		
211) 214	7 文化施設費	市民センター維持管理事業	26,753	その他 23,803 一般財源 2,950	(事業費内訳) 需用費 11,226,339円 役務費 1,221,399円 委託料 14,063,230円 使用料 43,785円 備品購入費 198,240円 計 26,752,993円	天草市民センターの利用者数は、合併後も比較的 順調に推移している。今後も適正な運営を心がけ、 利用者の確保を図っていきたい。																																																																		
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>年度</th> <th>15</th> <th>16</th> <th>17</th> <th>18</th> <th>19</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">市民会館</td> <td>回数</td> <td>1,296</td> <td>1,421</td> <td>1,529</td> <td>1,552</td> <td>1,608</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>103,284</td> <td>116,523</td> <td>129,996</td> <td>136,056</td> <td>128,540</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">体育館</td> <td>回数</td> <td>836</td> <td>742</td> <td>818</td> <td>842</td> <td>976</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>44,146</td> <td>48,133</td> <td>50,641</td> <td>54,642</td> <td>48,768</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">武道館</td> <td>回数</td> <td>625</td> <td>723</td> <td>747</td> <td>897</td> <td>968</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>20,311</td> <td>18,963</td> <td>20,492</td> <td>20,789</td> <td>22,883</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合計</td> <td>回数</td> <td>2,757</td> <td>2,886</td> <td>3,094</td> <td>3,291</td> <td>3,552</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>167,741</td> <td>183,619</td> <td>201,129</td> <td>211,487</td> <td>200,191</td> </tr> <tr> <td>使用料収入額</td> <td>(千円)</td> <td>20,219</td> <td>21,603</td> <td>24,689</td> <td>22,502</td> <td>22,345</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	年度	15	16	17	18	19	市民会館	回数	1,296	1,421	1,529	1,552	1,608	人員	103,284	116,523	129,996	136,056	128,540	体育館	回数	836	742	818	842	976	人員	44,146	48,133	50,641	54,642	48,768	武道館	回数	625	723	747	897	968	人員	20,311	18,963	20,492	20,789	22,883	合計	回数	2,757	2,886	3,094	3,291	3,552	人員	167,741	183,619	201,129	211,487	200,191	使用料収入額	(千円)	20,219	21,603	24,689	22,502	22,345	
施設名	年度	15	16	17	18	19																																																																		
市民会館	回数	1,296	1,421	1,529	1,552	1,608																																																																		
	人員	103,284	116,523	129,996	136,056	128,540																																																																		
体育館	回数	836	742	818	842	976																																																																		
	人員	44,146	48,133	50,641	54,642	48,768																																																																		
武道館	回数	625	723	747	897	968																																																																		
	人員	20,311	18,963	20,492	20,789	22,883																																																																		
合計	回数	2,757	2,886	3,094	3,291	3,552																																																																		
	人員	167,741	183,619	201,129	211,487	200,191																																																																		
使用料収入額	(千円)	20,219	21,603	24,689	22,502	22,345																																																																		
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>年度</th> <th>15</th> <th>16</th> <th>17</th> <th>18</th> <th>19</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合センター</td> <td>回数</td> <td>2,376</td> <td>2,316</td> <td>2,302</td> <td>1,808</td> <td>1,760</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>80,805</td> <td>74,610</td> <td>67,898</td> <td>53,691</td> <td>53,288</td> </tr> <tr> <td>使用料収入額</td> <td>(千円)</td> <td>7,134</td> <td>6,964</td> <td>7,094</td> <td>4,253</td> <td>4,250</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	年度	15	16	17	18	19	総合センター	回数	2,376	2,316	2,302	1,808	1,760	人員	80,805	74,610	67,898	53,691	53,288	使用料収入額	(千円)	7,134	6,964	7,094	4,253	4,250																																								
施設名	年度	15	16	17	18	19																																																																		
総合センター	回数	2,376	2,316	2,302	1,808	1,760																																																																		
	人員	80,805	74,610	67,898	53,691	53,288																																																																		
使用料収入額	(千円)	7,134	6,964	7,094	4,253	4,250																																																																		
		総合センター維持管理事業	30,721	その他 4,251 一般財源 26,470	(事業費内訳) 需用費 15,194,514円 役務費 898,890円 委託料 14,227,365円 使用料 390,432円 負担金 10,000円 計 30,721,201円	牛深総合センターの利用状況は、利用が減少した 18年度と比較すると同じ規模で推移している。今 後、利用を促進していくためには、会議などの開催 誘致が必要かと考えられる。また、オーケストラ ピットや花道、残響など特徴ある舞台効果を生かし て利用率を高めていきたい。																																																																		

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																											
214 ） 217	8 資料館費	資料館維持管理事業	53,543	その他 8,901 一般財源 44,642	天草の歴史民俗資料、切支丹関連資料、遺物、化石等を展示する。併せて、収蔵展示管理を行う。 (事業費内訳) 報酬 10,386,000円 共済費 337,160円 賃金 4,514,400円 報償費 253,000円 旅費 194,833円 需用費 11,650,110円 役務費 2,067,438円 委託料 20,164,885円 使用料 2,835,004円 原材料費 27,090円 備品購入費 1,112,730円 計 53,542,650円	平成19年度入館者数は以下のとおり 玩具資料館は「五足の靴特別展」開催のため、8/25～2/29までは閉館。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>入館者数(人)</th> <th>入館料(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本渡歴史民俗資料館</td> <td rowspan="2">33,742</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>天草切支丹館</td> </tr> <tr> <td>天草口ザリオ館</td> <td>19,012</td> <td rowspan="2">5,394,390</td> </tr> <tr> <td>天草玩具資料館</td> <td>948</td> </tr> <tr> <td>天草コレジヨ館</td> <td>6,790</td> <td>1,112,260</td> </tr> <tr> <td>五和歴史民俗資料館</td> <td>1,976</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>御所浦白亜紀資料館</td> <td>9,153</td> <td>1,676,190</td> </tr> <tr> <td>他の3資料館</td> <td>141</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>71,762</td> <td>8,182,840</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	入館者数(人)	入館料(円)	本渡歴史民俗資料館	33,742	-	天草切支丹館	天草口ザリオ館	19,012	5,394,390	天草玩具資料館	948	天草コレジヨ館	6,790	1,112,260	五和歴史民俗資料館	1,976	-	御所浦白亜紀資料館	9,153	1,676,190	他の3資料館	141	-	計	71,762	8,182,840
施設名	入館者数(人)	入館料(円)																															
本渡歴史民俗資料館	33,742	-																															
天草切支丹館																																	
天草口ザリオ館	19,012	5,394,390																															
天草玩具資料館	948																																
天草コレジヨ館	6,790	1,112,260																															
五和歴史民俗資料館	1,976	-																															
御所浦白亜紀資料館	9,153	1,676,190																															
他の3資料館	141	-																															
計	71,762	8,182,840																															
		企画展開催事業	3,112	一般財源 3,112	天草玩具資料館収蔵品移動展 天草玩具資料館の収蔵品を本渡歴史民俗資料館で移動展示 「天草の昔のくらしジオラマ」移動展 本渡歴史民俗資料館の収蔵品を天草コレジヨ館で移動展示 「恐竜と天草の化石」展 御所浦白亜紀資料館の収蔵品を天草コレジヨ館で移動展示 資料館収蔵品調査事業 各資料館の収蔵品を調査し、資料整理を行う (事業費内訳) 需用費 217,255円 業務委託料 2,894,909円 計 3,112,164円	展示品数 全国の玩具(123件、210点) 開催期間 H19.11.17からH20.2.26の99日間開催 開催期間中の入館者数7,916名 展示品数 ジオラマ(立体模型)作品65点 開催期間 H19.11.17からH20.2.26の87日間開催 開催期間中の入館者数2,076名 対前年比696人増 展示品恐竜標本、天草諸島の化石等 開催期間 H19.11.17からH20.12.24開催 開催期間中の入館者数1,118名 対前年比716人増 五和歴史民俗資料館を実施(遺物を除く) 展示・収蔵品 718件(1,295点)																											

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																				
214 ） 217	8 資料館費	教育普及事業	302	一般財源 302	<p>移動資料館（館外での講演等） 実施期日：4月1日～3月31日 目的：住民等の学習を支援するため、市内の学校及び社会教育団体などに対し館外で講演や体験学習を行う。</p> <p>総合的学習への対応 実施期日：4月1日～3月31日 目的：郷土史調査等、資料館見学及び問い合わせに対応する。</p>	<p>歴史民俗資料館の広報と市民への啓発並びに各種団体、学校等との連携が深まった。</p> <p>年間34回実施 参加者1,341名</p> <p>郷土史及び昔の暮らしに対する、幼児、児童の関心が高まり、学校等との連携が深まった。</p> <p>年間32回実施 参加者852名</p>																				
		白亜紀資料館特別展事業	3,989	一般財源 3,989	<p>市内唯一の自然系資料館として、特別展「生きた化石と恐竜展」を開催した。また、併せて第9回恐竜絵画コンテストを実施し、優秀作品を特別展で展示した。期間中の土・日曜日に周遊バスを運行し、町内の歴史・文化や観光についての紹介を行った。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>共済費</td><td style="text-align: right;">1,404円</td></tr> <tr><td>賃金</td><td style="text-align: right;">412,800円</td></tr> <tr><td>旅費</td><td style="text-align: right;">85,564円</td></tr> <tr><td>需用費</td><td style="text-align: right;">659,601円</td></tr> <tr><td>役務費</td><td style="text-align: right;">394,550円</td></tr> <tr><td>委託料</td><td style="text-align: right;">1,739,855円</td></tr> <tr><td>使用料・賃借料</td><td style="text-align: right;">458,266円</td></tr> <tr><td>原材料</td><td style="text-align: right;">42,523円</td></tr> <tr><td>備品購入費</td><td style="text-align: right;">194,250円</td></tr> <tr><td style="text-align: right;">計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">3,988,813円</td></tr> </table>	共済費	1,404円	賃金	412,800円	旅費	85,564円	需用費	659,601円	役務費	394,550円	委託料	1,739,855円	使用料・賃借料	458,266円	原材料	42,523円	備品購入費	194,250円	計	3,988,813円	<p>特別展の開催により、化石や生物についての興味関心を深め、重要性や価値を伝えることができた。中でも生物を取り入れた展示を行うことで幼児でも楽しめる内容にできた。また、特別展の開催により御所浦への来島者が増加し、経済効果があるなど、地域振興や観光振興に繋がった。</p> <p>「生きた化石と恐竜展」開催 ・期間 7/21～9/2(44日間) ・入場者 5,332名 (収入 1,229,150円)</p> <p>恐竜絵画コンテスト ・応募数 3,104点 ・入賞 63点、佳作 259点選出 ・表彰式(8/4)</p>
共済費	1,404円																									
賃金	412,800円																									
旅費	85,564円																									
需用費	659,601円																									
役務費	394,550円																									
委託料	1,739,855円																									
使用料・賃借料	458,266円																									
原材料	42,523円																									
備品購入費	194,250円																									
計	3,988,813円																									

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果												
214 ） 217	8 資料館費	自然ワークショップ事業	391	一般財源 391	<p>御所浦の島の自然や化石に関する理解を深めるため、ゴールデンウィーク化石散策登山や夏休み化石セミナー・島の自然ワークショップなどを開催した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table> <tr> <td>講師謝礼</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>114,704円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>43,737円</td> </tr> <tr> <td>使用料・賃借料</td> <td>133,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>391,441円</td> </tr> </table>	講師謝礼	100,000円	旅費	114,704円	需用費	43,737円	使用料・賃借料	133,000円	計	391,441円	<p>御所浦の島の自然に関する学習会開催し、市内外、大人から子供まで幅広い参加者があった。特に、化石散策登山や化石セミナーは定員を超えるなど人気であった。セミナー形式やワークショップ形式で実施することで、多くの人に自然に対する興味関心を深めてもらうことができた。</p> <p>化石セミナー等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴールデンウィーク化石散策登山参加 48名 ・夏休み化石セミナー参加 (前期)42名(後期)43名 ・島の自然ワークショップ参加 28名 		
		講師謝礼	100,000円															
		旅費	114,704円															
需用費	43,737円																	
使用料・賃借料	133,000円																	
計	391,441円																	
自然観察地整備事業	845	一般財源 845	<p>御所浦町弁天島の恐竜化石を切り出し、資料館へ移設・展示するとともに、切り出した後には複製の設置を行った。</p> <p>(事業内訳)</p> <table> <tr> <td>需用費(修繕)</td> <td>47,250円</td> </tr> <tr> <td>委託料(恐竜足跡保護)</td> <td>798,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>845,250円</td> </tr> </table>	需用費(修繕)	47,250円	委託料(恐竜足跡保護)	798,000円	計	845,250円	<p>波による浸食から希少かつ重要な化石を保護することができ、白亜紀資料館での常設展示により来館者が気軽に見学できるようになった。また、現地も複製を設置することで、景観復元に配慮したほか、引き続き、現地見学地として活用できるようになった。</p>								
需用費(修繕)	47,250円																	
委託料(恐竜足跡保護)	798,000円																	
計	845,250円																	
化石発掘調査整理事業	3,082	一般財源 3,082	<p>市内を中心に恐竜・哺乳類・アンモナイト・貝類などの化石や地質を主とした自然遺産の発掘研究を行い、研究成果については、古生物学会や白亜紀資料館館報で発表した。また、本年度は、新たな化石採集体験場の整備を行った。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table> <tr> <td>共済費</td> <td>3,248円</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td>830,800円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>163,252円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費(館報)</td> <td>214,200円</td> </tr> <tr> <td>委託料(化石採集場設置)</td> <td>1,806,000円</td> </tr> <tr> <td>使用料・賃借料</td> <td>64,100円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,081,600円</td> </tr> </table>	共済費	3,248円	賃金	830,800円	需用費	163,252円	印刷製本費(館報)	214,200円	委託料(化石採集場設置)	1,806,000円	使用料・賃借料	64,100円	計	3,081,600円	<p>新たな化石採集場の整備により、より楽しく安全に化石採集が体験できるようになった。採集場の岩石については、化石を豊富に含んだ御所浦島内の化石採集場の岩石を運搬して使用している。化石のクリーニング作業においては、岩石から日本最古の大型哺乳類の骨化石の取り出しをほぼ終えることができた。館報(研究報告書)の発行により、研究や普及活動の公開を行うことができた。</p>
共済費	3,248円																	
賃金	830,800円																	
需用費	163,252円																	
印刷製本費(館報)	214,200円																	
委託料(化石採集場設置)	1,806,000円																	
使用料・賃借料	64,100円																	
計	3,081,600円																	

(9) 教育費

(7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
214 ） 217	8 資料館費	資料館施設整備事業	10,313	県支出金 8,800 一般財源 1,513	<p>【修繕料】 270,113円</p> <p>【委託料】 電気設備改修設計委託 246,750円 資料館施設台帳整備業務委託 147,000円</p> <p>【工事請負費】 電気設備改修工事 2,163,000円 天草コレヨ館 天草ロザリオ館 本渡歴史民俗資料館屋根瓦防風ネット工事 1,554,000円 天草玩具資料館屋根防水外改修工事 2,887,500円 天草コレヨ館施設整備工事 1,858,500円 五和歴史民俗資料館施設改修工事 (屋根防水、建具改修) 1,186,500円 10,313,363円</p>	<p>老朽化した施設の修繕を行なったことで、施設の機能性及び安全性向上に繋がった。</p> <p>老朽化した高圧受電設備の改修を行なったことで、機能性及び安全性の向上に繋がった。</p> <p>資料館の台帳を電子製図化することにより、施設の維持管理向上に繋がった。</p> <p>本工事の実施により、暴風時の瓦の浮き及び飛散等による事故防止に繋がった。</p> <p>経年変化により劣化したFRP防水を改修したことにより、施設の耐用年数向上に繋がった。</p> <p>老朽化の著しい建物内部及び建物周囲を改修したことにより、施設の安全性向上に繋がった。</p> <p>経年変化により劣化した屋根防水及び施設内装を改修したことにより、施設の耐用年数向上に繋がった。</p>

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
217 } 218	9 世界遺産登録推 進費	世界遺産登録推進事業	6,517	国庫支出金 1,200 一般財源 5,317	<p>【天草市文化的景観学術検討会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 3回 ・委員数 6人 <p>(事業費内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 報酬(委員) 190,000円 旅費(委員+調査官) 625,465円 消耗品費 69,681円 <li style="border-top: 1px solid black;">885,146円 <p>【文化的景観保存調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査数 4調査 <p>(事業費内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 賃金(調査員) 136,800円 報償費 140,000円 旅費 23,265円 委託料(調査) 1,880,000円 使用料 11,000円 <li style="border-top: 1px solid black;">2,191,065円 <p>【シンポジウム・講演会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム(9月：本渡) 約400名 ・講演会(12月：富津) 約160名 ・講演会(3月：大江) 約200名 <p>(事業費内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 報償費(講師) 300,000円 旅費(講師) 182,585円 使用料(バス、会場) 247,800円 <li style="border-top: 1px solid black;">730,385円 <p>【事務事業】</p> <p>(事業費内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 旅費(普通旅費) 961,720円 旅費(研修旅費) 709,898円 需用費 517,693円 役務費(郵便料) 32,415円 委託料 488,250円 <li style="border-top: 1px solid black;">2,709,976円 	<p>「重要文化的景観」選定の申出をするために、崎津・大江地区の土地利用や自然、社会・民俗等の調査を実施し、その調査を基に学術検討会において、調査内容や景観の価値付けについて検討した。平成20年度も調査を実施し、崎津地区については調査報告書作成、保存計画策定まで完了する予定である。この選定を受けた後、世界遺産登録の実現を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地利用調査(熊本県立大：委託：660千円) ・自然(熊本大：委託：590千円) ・建造物(熊本大：委託：630千円) ・社会・民俗(熊本大：賃金、旅費外) <p>「世界遺産」や「文化的景観」についてのシンポジウムと講演会を開催、当該地区住民や市民への周知を行い、理解を深めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近江八幡市や一関市等の先進地を研修し、本市における「文化的景観」の方向性や取り組みの参考とした。 ・区単位で座談会を開催し、周知活動を行うとともに、問題点や地区の実情の把握に努めた。また、地区代表と長崎の取り組みを視察し、両地区の参考になった。 ・崎津教会・大江教会の修理に関する資料整理を委託した。

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
218 ） 221	1 保健体育 総務費	第23回天草国際トライアスロン大会開催事業	16,301	一般財源 16,301	<p>【第23回天草国際トライアスロン大会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成19年5月20日 場所：本渡海水浴場 申込み者：559名 (内訳)トライアスロン：402名 リレー：102名 アクアスロン：55名 <p>実行委員会事業費 27,166,633円 うち市補助金 13,723,272円</p> <p>(事業費内訳) 補助金 13,723,272円 その他の事業費 2,577,531円 計 16,300,803円</p>	第23回大会は、559名の参加があり、交流人口の増大と地域の活性化が図られた。また、市民が見て楽しむスポーツとして参加することで支えるスポーツ心を喚起し、国際交流が図られ、競技力向上につながった。今後、もっとPRをして参加者の増員を図りたい。
		第62回熊本県民体育祭出場補助金	7,231	一般財源 7,231	<p>【第62回熊本県民体育祭への出場】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成19年9月15日・16日 場所：宇城地区 参加：23種目 30競技 374名 <p>事業費 7,230,961円 うち市補助金 7,230,961円</p>	第62回大会は、女子が9位、総合で12位の成績であった。各種目とも年間を通じて練習を行い、天草市の代表として自覚を持ち、選抜選手で試合に望んで欲しい。また、今後の競技力強化を図れば、さらに上位入賞も期待できる。
		熊本県民体育祭選手選考会補助金	1,178	一般財源 1,178	<p>【熊本県民体育祭選手選考会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催期間：平成19年4月1日～7月31日 場所：天草市一円 参加：19種目 1,644名 <p>事業費 1,177,988円 うち市補助金 1,177,988円</p>	市民体育祭を兼ねる種目もあり、広く市民にスポーツを普及し、市民の健康増進とスポーツ精神の高揚につながり、市民の生活発展に寄与した。

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
218 ） 221	1 保健体育費 総務費	第2回天草マラソン大会開催補助金	3,591	一般財源 3,591	<p>【第2回天草マラソン大会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成19年11月25日 ・場所：本渡運動公園陸上競技場 ・参加者：1,211名 <p>(内訳)フルマラソン：736名 ハーフマラソン：475名</p> <p>事業費 9,122,699円 うち市補助金 3,591,227円</p>	本大会は、長距離及びマラソン選手の発掘と併せて、健康づくり・体力づくりを図るとともに、イベントによる交流人口の増大と地域の活性化を図ることを目的に開催した。今回、4大会を合体させ、「空と海の宝島天草マラソンサーキット」を開催し、目標に近い参加者を集めることができた。今後は、更にPRに努め参加者の増加につなげたい。
		牛深海中公園マラソン大会開催補助金	982	一般財源 982	<p>【牛深海中公園マラソン大会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成19年12月2日 ・場所：牛深町 ・参加者：477名 <p>事業費 1,975,598円 うち市補助金 981,519円</p>	本大会は、体力の向上とスポーツの精神を育成し、ひいては長距離選手の発掘と指導とともに、選手相互の交流を図り、親睦を深める目的で開催した。地域のまつりと同時に開催することで地域の特性をアピールできた。今後、さらに効果的なPRの方法を検討し、参加者の増加につなげたい。
		倉岳えびすマラソン大会開催補助金	1,043	一般財源 1,043	<p>【倉岳えびすマラソン大会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成20年1月13日 ・場所：倉岳町 ・参加者：751名 <p>事業費 2,872,545円 うち市補助金 1,042,651円</p>	本大会は、市民の健康及び体力の増進を図るとともに、イベントによる交流人口の増加と天草市の地域振興に寄与することを目的に開催した。地域のまつりと同時に開催することで地域の特性をアピールできた。今後、さらに効果的なPRの方法を検討し、参加者の増加につなげたい。
		御所浦しおさいマラソン大会開催補助金	1,000	一般財源 1,000	<p>【御所浦しおさいマラソン大会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成20年2月11日 ・場所：御所浦町 ・参加者：545名 <p>事業費 1,591,434円 うち市補助金 1,000,000円</p>	本大会の目的である、市民の健康及び体力の向上はもとより、島の自然を満喫していただき地域住民との交流を深めてもらうことができた。ただ、開催時期の変更・内容等検討も必要があり今後、さらに効果的なPRの方法を検討し、参加者の増加につなげたい。

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
218 ） 221	1 保健体育 総務費	天草ロードレース大会開催 補助金	1,465	一般財源 1,465	【天草ロードレース大会の開催】 ・開催日：平成20年2月17日 ・場所：新和町 ・参加者：489名 事業費 1,930,948円 うち市補助金 1,465,312円	競技指向の大会であるため、参加者数が停滞していたが本年度は200名程の増であった。今後、さらに効果的なPRの方法を検討し、参加者の増加につなげたい。
		熊本県中学駅伝天草大会開催 補助金	665	一般財源 665	【熊本県中学駅伝競走大会の開催】 ・開催日：平成19年11月8日・9日 ・場所：本渡～五和町 ・参加者：58チーム（男女各29チーム） 事業費 1,615,420円 うち市補助金 665,000円	生徒並びに一般市民へのスポーツ振興を図ると共に、県下13都市の生徒・役員等約1,200名が市内のホテル・旅館に宿泊され弁当の注文も1,500個以上あり市の活性化に寄与した。
		熊本県高校駅伝城南地区大会 開催補助金	285	一般財源 285	【熊本県高校駅伝城南地区大会の開催】 ・開催日：平成20年2月2日・3日 ・場所：本渡～五和町 ・参加者：51チーム（男子30チーム・女子21チーム） 事業費 605,000円 うち市補助金 285,000円	生徒並びに一般市民へのスポーツ振興を図ると共に、人吉・球磨地区、宇城地区、八代地区、芦水地区、天草地区から生徒・役員等約400名が市内のホテル・旅館に宿泊、弁当の注文もあり市の活性化に寄与した。
		熊本県中学選抜バレーボール 選手権大会開催補助金	950	一般財源 950	【熊本県中学選抜バレーボール選手権大会の開催】 ・開催日：平成19年6月16日・17日 ・場所：稜南中学校他 ・参加者：64チーム（男女各32チーム） 事業費 1,377,095円 うち市補助金 950,000円	生徒並びに一般市民へのスポーツ振興を図ると共に、県内の各地域から選抜されたチームの生徒や役員等約1,200名が市内のホテル・旅館に宿泊し、市の活性化に寄与した。

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
218 ） 221	1 保健体育費 総務	男子ハンドボール世界選手権10周年記念熊本大会競技大会開催補助金	4,500	一般財源 4,500	<p>【男子ハンドボール世界選手権熊本大会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成19年7月11日・12日 ・場所：天草工業高校 ・参加者：4チーム <p>事業費 16,161,199円 うち市補助金 4,500,000円</p>	天草において、国際選手のプレーを観戦できてよい機会であったが、世界大会ともなると参加チームの調整等難しい問題もある。しかし、大変盛り上がった大会であった。
		三県架橋推進少年ソフトボール大会開催補助金	150	一般財源 150	<p>【三県架橋推進少年ソフトボール大会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成19年7月28日・29日 ・場所：牛深町 ・参加者：22チーム <p>事業費 728,186円 うち市補助金 150,000円</p>	長崎県島原半島から天草を経て鹿児島県長島町に至る、島原・天草・長島の三県架橋の早期実現に向け、その必要性を次世代を担う小学生に日頃から親しんでいるソフトボールを通じ、広くアピールするとともに、同地区のなお一層の交流連携を図ることができた。
		天草町ジュニアソフトボール大会開催補助金	101	一般財源 101	<p>【天草町ジュニアソフトボール大会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成19年10月20日 ・場所：天草町 ・参加者：12チーム <p>事業費 165,140円 うち市補助金 101,038円</p>	天草島内のジュニアソフトボールクラブの親睦を図るとともに、明るく元気な青少年育成に寄与することができた。
		オール天草少年ソフトボール五和大会開催補助金	128	一般財源 128	<p>【オール天草少年ソフトボール五和大会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成19年7月22日・29日 ・場所：五和町 ・参加者：41チーム（参加総数761名） <p>事業費 348,611円 うち市補助金 128,000円</p>	本大会を通じて心身ともに健やかな子どもの成長に寄与することができた。

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
218 ） 221	1 保健体育費 総務費	天草都市ソフトボール選手権河浦大会開催補助金	54	一般財源 54	【天草都市ソフトボール選手権河浦大会】 ・開催日：平成19年9月2日・4日・5日 ・場所：河浦町 ・参加者：19チーム 事業費 244,219円 うち市補助金 54,219円	本大会は、今回で46回目を迎える伝統ある大会で、天草都市ソフトボールの普及・発展及び各チーム間の親睦融和を深めることができた。
		栖本町少年剣道大会開催補助金	247	一般財源 247	【栖本町少年剣道大会の開催】 ・開催日：平成20年3月30日 ・場所：栖本町 ・参加者：36チーム 事業費 427,271円 うち市補助金 247,000円	天草管内の小中学生の健全育成と併せて競技人口の増大を図ることができた。
		五和町青少年剣道大会開催補助金	133	一般財源 133	【五和町青少年剣道大会の開催】 ・開催日：平成19年5月13日 ・場所：五和町 ・参加者：小学生284名 中学生127名 事業費 522,469円 うち市補助金 133,000円	本大会は、熊本県内の小中学生を対象に開催されており、今回は411名の参加があった。子どもたちの健全育成、体位、体力の向上と日本の武道に学ぶ礼儀作法を青少年に身に付けさせ、将来の人間形成に寄与できた。
		建国記念の日剣道大会開催補助金	155	一般財源 155	【建国記念の日剣道大会の開催】 ・開催日：平成20年2月11日 ・場所：河浦町 ・参加者：55チーム 266名 事業費 430,340円 うち市補助金 155,340円	本大会は、今回で42回目を迎え、剣道を通じて青少年の健全な育成と、お互いの親睦を深めることができた。

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
218 ） 221	1 保健体育費 総務費	有明町青少年スポーツクラブ大会開催補助金	428	一般財源 428	【有明町青少年スポーツクラブ大会の開催】 1. 剣道大会 ・開催日：平成19年6月17日 ・場所：有明町体育館 ・参加者：30チーム256名 2. 空手大会 ・開催日：平成19年8月19日 ・場所：有明町体育館 ・参加者：320名 3. 柔道大会 ・開催日：平成19年9月9日 ・場所：有明町体育館 ・参加者：250名 事業費 732,112円 うち市補助金 427,500円	当スポーツクラブでは、児童・生徒を対象に剣道、空手、柔道の各大会を開催している。これらの大会を通じて、会員相互の親睦と友情を深め、児童・生徒の基礎体力の向上と豊かな精神を養い、次代を担う青少年の健全育成を図ることができた。
		第34回郡市対抗熊日駅伝大会出場補助金	460	一般財源 460	【第34回郡市対抗熊日駅伝大会への出場】 ・開催日：平成20年2月10日 ・区間：天草市～熊本市 14区間 105.3km ・参加：各郡市 19チーム ・成績：途中棄権 事業費 460,000円 うち市補助金 460,000円	本大会は、県内長距離競技者の育成と強化、競技人口の底辺拡大を推進すると同時に、各郡市の親睦融和を目的に開催され、天草市は今回、選手の負傷により2区で途中棄権となった。今後、中学・高校生がレベルアップしているので上位入賞を目標に頑張りたい。
		第24回熊日郡市対抗女子駅伝大会出場補助金	300	一般財源 300	【第25回熊日郡市対抗女子駅伝大会への出場】 ・開催日：平成20年1月27日 ・区間：熊本市～益城町折返し 7区間 30km ・参加：各郡市 19チーム ・成績：第6位 事業費 300,000円 うち市補助金 300,000円	本大会は、県内女子長距離競技者の育成と強化、競技人口の底辺拡大を推進すると同時に、各郡市の親睦融和を目的に開催され、天草市は第6位の成績であった。今後、さらにレベルアップを図りたい。

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
218 ） 221	1 保健体育 総務費	第34回郡市対抗熊日駅伝 大会開催地補助金	80	一般財源 80	【第34回郡市対抗熊日駅伝大会開催地補助金】 ・開催日：平成20年2月10日 ・区間：天草市～熊本市 14区間 105.3km ・内容：コース沿線自治体より助成 事業費 3,260,021円 うち市補助金 80,000円	県下19郡市の選手・役員が市内のホテル、旅館 に宿泊し、市の活性化に寄与した。
		天草市体育協会補助金	2,697	一般財源 2,697	【天草市体育協会運営補助金として】 体育協会歳入歳出決算 歳入 25,677,527円 歳出 24,620,419円 事業費 24,620,419円 うち市補助金 2,697,000円	体育協会の健全な運営が図られ、市民の体育の向 上と相互の親睦、健康で明るい町づくりに寄与し た。
		総合型地域スポーツクラブ 活動補助金	1,900	国庫支出金 640 一般財源 1,260	【総合型地域スポーツクラブの運営】 ・名称：うしぶかイキイキクラブ ・会員数：404名 (一般：210名・中学生以下194名) ・主な活動： ミニバレーボール大会、マリンスポーツ体験等の開催。 山登り、仲間づくり交流活動。シルバーダンス 教室、バドミントン教室等の開催。各種指導者 講習会や学童駅伝大会等への参加。 事業費 3,949,789円 うち市補助金 1,900,000円	地域住民が主体的に運営する「総合型地域スポー ツクラブ」で、各種スポーツ大会や教室等を開催す ることで、生涯スポーツ社会実現のための環境づく りに寄与した。

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
218 ） 221	1 保健体育 総務費	スポーツ教室・スポーツ講習会開設補助金	370	一般財源 370	<p>【スポーツ教室・スポーツ講習会の開設】</p> <p>1. 天草市テニス協会：初心者・初級者テニス教室 ・開催期間：平成19年5月8日～6月1日 ・参加者：30名</p> <p>2. 天草市ゲートボール協会：審判員講習会 ・開催日：平成19年7月22日 ・参加者：178名</p> <p>3. 天草市卓球協会：卓球教室 ・開催期間：平成19年4月～平成20年1月 ・参加者：10名</p> <p>4. 天草市バレーボール協会：審判講習会 ・開催日：平成19年6月10日 ・参加者：118名</p> <p>5. 天草市剣道連盟：高段者講習会 ・開催日：平成19年10月28日 ・参加者：37名</p> <p>6. アーチェリー協会：初心者実技指導セミナー ・開催日：平成20年1月27日 ・参加者：32名</p> <p>7. ハンドボール協会：高校生ハンドボール講習会 ・開催日：平成19年12月8日 ・参加者：41名</p> <p>各事業費総額 370,010円 うち市補助金 370,010円</p>	各種目協会の競技力向上及び底辺拡大が図られた。また、スポーツクラブ指導者の育成につながった。

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
218 ） 221	1 保健体育費 総務費	全国大会出場補助金	880	一般財源 880	【全国大会出場に伴う補助金】 ・第41回全日本リトルリーグ野球選手権大会 ・全日本少年少女空手道選手権大会出場補助金 ・全日本卓球選手権大会 ・全国高等学校総合体育大会 ・日本身体障害者水泳選手権大会 ・全国高等学校定時制通信制バスケットボール大会 ・全国ママさんバレーボール大会 ・日本マスタース2007空手道競技大会 ・全国家庭婦人バレーボールことぶき大会 ・日本トライアスロン選手権東京港大会 ・ジュニアオリンピック陸上競技大会 ・JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会 ・都道府県対抗中学バレーボール大会 ・はまなす杯第2回全国中学生空手道選抜大会 ・全国ホープス選抜卓球大会 個人：36名 360,000円 団体：5団体 520,000円 (事業費内訳) 補助金 880,000円	県大会等で優秀な成績を収めた全国大会出場者に対し、スポーツの技術向上と意識啓発を図るために個人及び団体に対して助成し、個々の活躍につながった。
		三地区親善体育大会負担金	40	一般財源 40	【三地区親善体育大会負担金】 ・開催期間：平成19年7月8日 ・開催地：鹿児島県長島町 ・参加者：11種目(159名) (事業費内訳) 補助金 40,000円	三地区親善体育大会は、歴史的・地理的に密接な関係を持つ天草市(旧牛深市)、阿久根市、長島町より一層の親善を深めることを目的として実施されている。本年度開催された長島町には天草市より159名の参加があり盛大であった。

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
2 2 1 } 2 2 3	2 体育施設費	体育施設維持管理費	102,056	その他 23,676 一般財源 78,380	社会体育施設の貸出事務及び維持管理費。 (事業費内訳) 報酬 1,141,800円 共済費 384,072円 賃金 1,855,186円 報償費 30,000円 需用費 47,584,552円 役務費 2,928,240円 委託料 44,620,627円 使用料及び賃借料 3,039,448円 備品購入費 162,700円 負担金補助及び交付金 309,513円 102,056,138円	社会体育施設90施設の貸出業務及び学校施設の夜間等開放事業並びに施設の維持補修を行うことで、市民の健康増進及びスポーツ振興に貢献した。

H19 社会体育施設使用料の収納及び利用状況

(参考：昨年の実績)

地区	H19調定金額	H19収入済額	H19利用者数
本渡	9,838,639円	9,838,639円	218,214人
牛深	5,655,286円	5,655,286円	71,772人
有明	1,421,448円	1,421,448円	59,081人
御所浦	557,655円	557,655円	15,966人
倉岳	613,114円	613,114円	30,282人
栖本	1,022,626円	1,022,626円	34,630人
新和	663,894円	663,894円	25,231人
五和	1,262,782円	1,262,782円	42,916人
天草	302,722円	302,722円	30,002人
河浦	1,432,679円	1,432,679円	30,454人
	22,770,845円	22,770,845円	558,548人

平成18年度	収入済額
245,196人	10,150,486円
74,799人	5,571,866円
53,853人	1,484,081円
6,728人	565,425円
35,385人	838,617円
27,904人	1,043,698円
24,749人	914,735円
63,327人	1,667,719円
13,520人	499,289円
33,838人	1,394,484円
579,299人	24,130,400円

地区別内訳	決算額
事務局分施設管理経費	44,108,051円
本渡地区体育施設	20,862,380円
牛深地区体育施設	11,561,799円
有明地区体育施設	4,719,594円
御所浦地区体育施設	892,381円
倉岳地区体育施設	3,527,671円
栖本地区体育施設	2,733,746円
新和地区体育施設	4,076,047円
五和地区体育施設	2,293,502円
天草地区体育施設	2,253,656円
河浦地区体育施設	5,017,311円
熊本県体育施設協会負担金	10,000円
	102,056,138円

その他	調定金額	H19収入済額
自動販売機 電気使用料	905,807円	905,807円

23,676,652円

その他	収入済額
自動販売機 電気使用料	642,517円

24,772,917円

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
221 ） 223	2 体育施設費	体育施設整備事業	20,636	県支出金 20,100 一般財源 536	【委託料】 河浦総合運動場夜間照明施設改修設計業務委託 278,250円 社会体育施設台帳整備業務委託 556,500円 錦島プールスライダー定期検査業務委託 252,000円 計 1,086,750円 【工事請負費】 有明体育館屋根改修工事 6,609,750円 河浦総合運動場夜間照明施設改修工事 11,577,695円 稜南運動広場ダッグアウト工事 1,123,500円 本渡運動公園照明設置工事 238,350円 計 19,549,295円	天草市全域の社会体育施設を計画的に整備、改修を行うことにより、施設の経年劣化を防ぎ、施設の機能性及び安全性の向上につながった。 有明体育館は昭和58年建設で経年劣化により屋根鋼板に腐食が生じ雨漏りが発生していたが、510㎡をFRP防水修理を行うことで耐用年数向上に繋がった。 河浦総合運動場夜間照明施設は昭和53年建設で、ナイターの灯具、安定器、コン柱、配線が劣化し落下の危険性があったが、投光器ほか改修を行ったことで機能性及び安全性の向上に繋がった。 稜南運動広場には野球のダッグアウトが無くテントで代用していたが、新設したことで大会開催誘致に繋がった。 本渡運動公園野球場のダッグアウトに照明を設置したことで、機能性の向上に繋がった。 90もの社会体育施設図面を電子製図化することで、施設の維持管理向上に繋がった。 プールのスライダーを点検することで、事故防止及び安全性向上に繋がった。

(10) 災害復旧費 (1) 農林水産施設災害復旧費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
223	1 農林水産施設災害復旧費	現年発生単独農業施設	5,365	一般財源 5,169 その他 196	旅費 8,800円 需用費 3,900円 使用料賃借料 7,500円 委託料(4件) 5,344,500円 計 5,364,700円	異常な自然現象により被災した農地ならびに農業用施設において、災害復旧事業に取り組むための査定設計書作成業務を委託した。
		災害復旧事業(補助)	30,835	県支出金 29,978 地方債 400 その他 420 一般財源 37	災害復旧件数 28件 (農地23件 施設5件) (事業費内訳) 旅費 22,000円 需用費 88,597円 使用料賃借料 150,000円 委託料 174,825円 工事請負費 30,399,600円 計 30,835,022円	異常な自然現象により被災した農地ならびに農業用施設において、災害復旧事業に取り組むことにより、少ない農家負担で農業生産基盤の確保と農業用施設の機能回復が図れた。
	2 林業施設災害復旧費	現年発生補助林業施設災害復旧事業	2,370	国庫支出金 2,124 地方債 200 一般財源 46	下天草東部線 補助率90.2% 植生ネット A=107.7㎡ 厚層基材吹付 A=261.0㎡ 丸太積工 L=4.0m (事業費内訳) 需用費 81,000円 工事請負費 2,289,000円 計 2,370,000円	梅雨前線集中豪雨により被災した林道を早期に復旧することができた。

(10) 災害復旧費 (1) 農林水産施設災害復旧費

(単位:千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
223	2 林業施設災害復 旧費	現年発生単独治山施設災害 復旧事業	10,096	県支出金 6,057 その他 2,014 一般財源 2,025	山の口地区(本渡町) 補助率2/3 土留工 11.3m ² 2,936,895円 法面保護工 155.0m ² 水路工 4.0m 東多々良地区(深海町) 補助率2/3 法面保護工 115.7m ² 1,539,643円 かご工 19.7m 水路工 36.0m 筋工 40.8m 菅歌地区(久玉町) 補助率2/3 土留工 12.4m ³ 1,449,000円 法面保護工 76.2m ² 水路工 9.0m 古里地区(河浦町) 補助率1/2 法面保護工 246.5m ² 3,873,333円 (事業費内訳) 需用費 297,000円 工事請負費 9,798,871円 10,095,871円	梅雨前線により被災した民家の裏山を早期に復旧し、民生の安定が図られた。
233	3 水産業施設災害 復旧費	現年発生補助水産施設災害 復旧事業	11,120	国庫支出金 7,572 地方債 3,200 一般財源 348	漁港・海岸災害復旧事業 国庫負担率 本土0.69 (19年度からの繰越分) ・18災21号立漁港災害復旧工 10,710,000円 ・事務費 410,264円 合計 11,120,264円	平成18年9月17日台風13号により被災を受けた漁 港施設及び海岸の内9箇所を補助災害復旧事業とし て取り組み、19年度は、18年度から繰り越した立漁港 災害復旧事業を実施し、全箇所完了することが出来 た。 護岸復旧L=53m (重力式擁壁V=166m ³ 腹付工V=28m ³)

(1 0) 災害復旧費

(2) 公共土木施設災害復旧費

(単位 : 千円)

決算書 対応頁	目	施 策 名	決算額	財源内訳	施 策 の 概 要	施 策 の 成 果
2 2 3) 2 2 4	1 公共土木施設災 害復旧費	現年発生補助公共土木施設 災害復旧測量設計業務委託	15,574	一般財源 15,574	公共土木施設災害復旧測量設計業務委託料 道路・河川関係 9 件 15,573,523円 合 計 15,573,523円	
		現年発生補助公共土木施設 災害復旧	295,927	国庫支出金 41,129 地方債 10,600 一般財源 86,103	公共土木施設災害復旧工事 (H18災繰越) 道路災害 1 6 件 49,571,890円 河川災害 2 7 件 84,860,499円 事務費 3,399,998円 小 計 137,832,387円	災害復旧工事することによって市道及び河川の機 能回復を図った。
		現年発生単独公共土木施設 災害復旧	5,806	国庫支出金 105,288 地方債 52,600 一般財源 207	公共土木施設災害復旧工事 道路災害 4 1 件 86,361,266円 河川災害 2 9 件 62,091,291円 事務費 9,642,371円 小 計 158,094,928円 H 2 0 へ繰越河川災害 1 件 2,047,500円 合 計 295,927,315円	単独災害復旧工事することによって市道の機能回 復を図った。
				地方債 3,200 一般財源 2,606	単独公共土木施設災害復旧工事 道路災害 8 件 3,296,539円 生活関連道路災害 5 件 2,509,500円 合 計 5,806,039円	

(11) 公債費

(1) 公債費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																
224	1 元	公的資金補償金免除繰上 償還 金	100,871	その他 100,871	<p>国の地方財政対策の一環としての臨時特例措置により、将来の公債費負担を軽減するため、国などから過去に高金利で借り入れた地方債（公的資金）を補償金免除で繰上償還した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>財政融資資金</td> <td style="text-align: right;">52,570,103円</td> </tr> <tr> <td>【7.0%以上のもの8件】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公営企業金融公庫資金</td> <td style="text-align: right;">48,301,394円</td> </tr> <tr> <td>【6.6%以上のもの4件】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">100,871,497円</td> </tr> </table>	財政融資資金	52,570,103円	【7.0%以上のもの8件】		公営企業金融公庫資金	48,301,394円	【6.6%以上のもの4件】		計	100,871,497円	<p>財政融資資金及び公営企業金融公庫資金の高金利の地方債を繰上償還することにより、将来負担すべき元金や利子の公債費負担を軽減することができた。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>・軽減された利子</td> <td style="text-align: right;">15,755,143円</td> </tr> <tr> <td>・補償金免除額</td> <td style="text-align: right; border-bottom: 1px solid black;">8,676,213円</td> </tr> <tr> <td>効果額 計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">24,431,356円</td> </tr> </table>	・軽減された利子	15,755,143円	・補償金免除額	8,676,213円	効果額 計	24,431,356円
財政融資資金	52,570,103円																					
【7.0%以上のもの8件】																						
公営企業金融公庫資金	48,301,394円																					
【6.6%以上のもの4件】																						
計	100,871,497円																					
・軽減された利子	15,755,143円																					
・補償金免除額	8,676,213円																					
効果額 計	24,431,356円																					

3.国民健康保険特別会計 (決算書227頁～246頁)

(単位：千円・%)

区 分	18年度	19年度	伸 率
歳 入 総 額	14,183,619	15,238,603	7.4
歳 出 総 額	13,719,234	14,892,517	8.6
差 引 額	464,385	346,086	25.5
翌年度への繰越額	464,385	346,086	25.5

本会計では、歳入総額 15,238,603千円、歳出総額 14,892,517千円、差引 346,086千円を翌年度へ繰り越すことになりました。

決算額を前年度と比較してみると、歳入で7.4%、歳出で8.6%の増となっています。

歳入では、国保税が2,973,267千円で前年度比で3.3%減となりました。収納率は医療分が現年度95.63%、滞納分14.80%、また、介護分は現年度93.78%、滞納分14.31%で、医療分と介護分を合計した現年度の収納率は95.51%となり、前年度比0.55%の増となっています。国庫支出金は前年度比3.1%増の5,326,456千円で、主な内訳は療養給付費等負担金が1.7%減の3,091,115千円、普通調整交付金が0.3%減の1,631,357千円、特別調整交付金が64.0%増の550,840千円となっています。この他、県支出金が前年度比4.8%増の767,536千円、療養給付費交付金が前年度比8.7%増の2,481,442千円、共同事業交付金が前年度比90.7%増の1,924,947千円となっています。また、一般会計から1,076,178千円、財政調整基金から200,000千円を繰り入れしています。

歳出では、保険給付費が9,385,343千円で前年度比7.6%増となっています。その他、老人保健拠出金が前年度比5.0%減の2,637,558千円、介護納付金が前年度比6.1%減の718,480千円、共同事業拠出金が前年度比86.7%増の1,826,530千円となっています。

一般被保険者分

歳入総額 12,635,694千円、歳出総額 12,297,681千円、差引 338,013千円で、歳入の主なものは、国保税が2,419,575千円(構成割合19.2%)、国庫支出金5,326,456千円(同42.2%)、県支出金767,536千円(同6.1%)、一般会計繰入金1,076,178千円(同8.5%)、共同事業交付金1,924,947千円(同15.2%)、退職者の振替及び退職被保険者等の老人保健拠出金にかかる療養給付費交付金433,707千円(同3.4%)などです。

歳出の主なものは、総務費131,216千円(同1.1%)、保険給付費6,790,506千円(同55.2%)、老人保健拠出金2,637,558千円(同21.5%)、介護納付金718,480千円(同5.8%)及び共同事業拠出金1,826,530千円(同14.9%)などです。

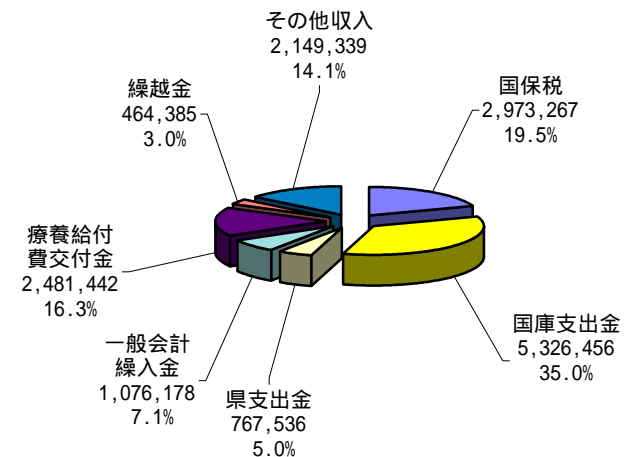
退職被保険者等分

歳入総額 2,602,909千円、歳出総額 2,594,836千円、差引 8,073千円となっていますが、この超過分については、翌年度返還することになります。

歳入の主なものは、国保税553,691千円(構成割合21.3%)、療養給付費交付金(現年度分)2,047,735千円(同78.7%)、その他の収入1,483千円(同0.1%)です。

歳出は、保険給付費2,594,836千円です。

国保歳入内訳(千円)

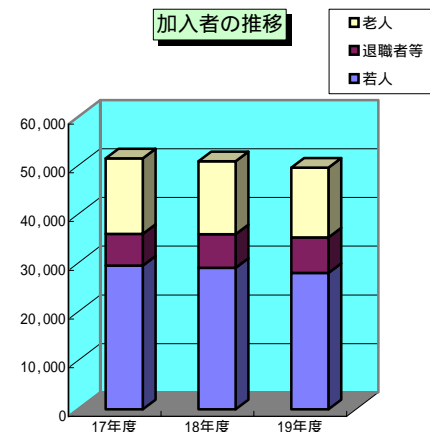


1. 世帯数及び被保険者数の推移

国保の被保険者数は減少傾向にあり、平成19年度は前年度比2.6%減、1,311人の減で49,568人となり、初めて5万人を下回った。人口の減少や雇用の促進による被用者保険への異動などが主な要因と考えられる。

ア. 世帯数、被保険者数の推移（年間平均）

年度	市全体		国保加入			加入率		若人		退職者等		老人	
	世帯数 (世帯)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	被保険者数 (人)	伸率 (%)	世帯 (%)	被保険者 (%)	被保険者数 (人)	被保険者に占める割合 (%)	被保険者数 (人)	被保険者に占める割合 (%)	被保険者数 (人)	被保険者に占める割合 (%)
17	38,117	99,612	25,158	51,499	1.5	66.0	51.7	29,469	57.2	6,496	12.6	15,534	30.2
18	38,427	98,900	25,324	50,879	1.2	65.9	51.4	29,026	57.0	6,882	13.5	14,971	29.4
19	38,303	97,123	25,200	49,568	2.6	65.8	51.0	27,965	56.4	7,273	14.7	14,330	28.9



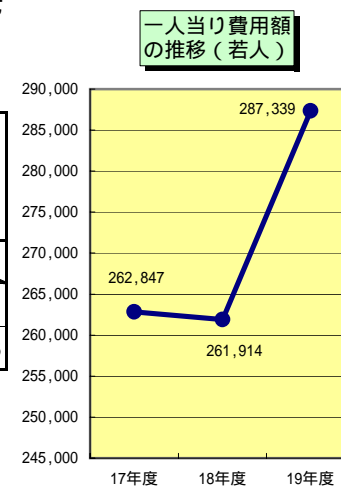
2. 医療費の状況

被保険者一人当たりの医療費は、平成18年度に診療報酬改定の影響等もあり、一時的に減少したが、19年度においては、若人、老人、退職の全てで前年度を大きく上回った。内訳としては、対前年度比で、若人が9.6%増の287,158円、退職4.7%増の429,522円、老人5.3%増の1,010,717円で、全体では6.1%増の517,226円となっている。

ア. 若人被保険者分

年度	入院		入院外		歯科		調剤		療養費等		合計		一人当り費用額 (円)	伸率 (%)
	件数 (件)	費用額 (千円)	件数 (件)	費用額 (千円)	件数 (件)	費用額 (千円)	件数 (件)	費用額 (千円)	件数 (件)	費用額 (千円)	件数 (件)	費用額 (千円)		
17	9,492	3,729,682	190,484	2,575,751	30,628	480,378	102,022	931,233	2,868	28,802	335,494	7,745,846	262,847	0.4
18	9,159	3,563,553	192,046	2,521,023	31,285	472,827	110,719	1,017,424	2,789	27,499	345,998	7,602,326	261,914	
19	9,245	3,863,392	194,148	2,505,511	30,521	457,393	121,442	1,175,391	2,770	28,687	358,126	8,030,374	287,158	

食事療養費を入院に、訪問看護を入院外に含める。



イ．退職被保険者分

年 度	入 院		入 院 外		歯 科		調 剤		療 養 費 等		合 計		一人当り費 用 額 (円)	伸 率 (%)
	件 数 (件)	費用額 (千円)	件 数 (件)	費用額 (千円)	件 数 (件)	費用額 (千円)	件 数 (件)	費用額 (千円)	件 数 (件)	費用額 (千円)	件 数 (件)	費用額 (千円)		
17	2,383	1,057,849	76,663	978,935	11,166	172,470	41,972	441,213	765	8,707	132,949	2,659,174	409,356	
18	2,519	1,081,834	82,755	1,038,100	12,004	186,236	48,486	506,515	867	11,015	146,631	2,823,700	410,302	0.2
19	2,678	1,178,330	91,851	1,131,425	13,314	187,193	57,220	615,053	883	11,912	165,946	3,123,913	429,522	4.7

食事療養費を入院に、訪問看護を入院外に含める。

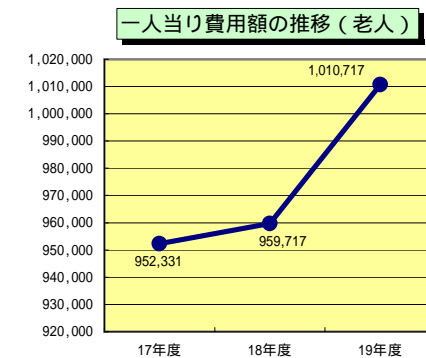
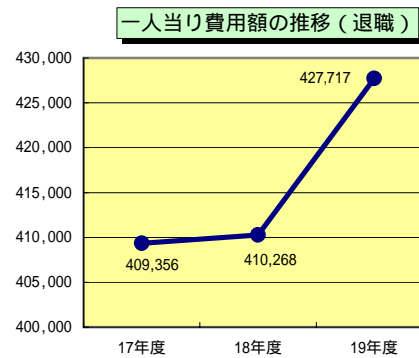
ウ．老人分

年 度	入 院		入 院 外		歯 科		調 剤		療 養 費 等		合 計		一人当り費 用 額 (円)	伸 率 (%)
	件 数 (件)	費用額 (千円)	件 数 (件)	費用額 (千円)	件 数 (件)	費用額 (千円)	件 数 (件)	費用額 (千円)	件 数 (件)	費用額 (千円)	件 数 (件)	費用額 (千円)		
17	21,306	8,938,520	228,530	3,832,348	16,925	308,798	129,220	1,688,751	1692	25,085	397,673	14,793,502	952,331	
18	21,179	8,697,366	221,628	3,627,091	16,061	271,847	133,380	1,747,002	1,509	24,622	393,757	14,367,928	959,717	0.8
19	21,165	8,847,784	216,122	3,437,885	15,836	259,841	140,371	1,914,153	1,536	23,907	395,030	14,483,570	1,010,717	5.3

食事療養費を入院に、訪問看護を入院外に含める。

老人高額医療費の推移

年 度	件 数 (件)	支給額 (千円)	伸 率 (%)
17	33,359	458,686	
18	40,982	511,526	11.5
19	63,063	534,330	4.5



エ. 合計

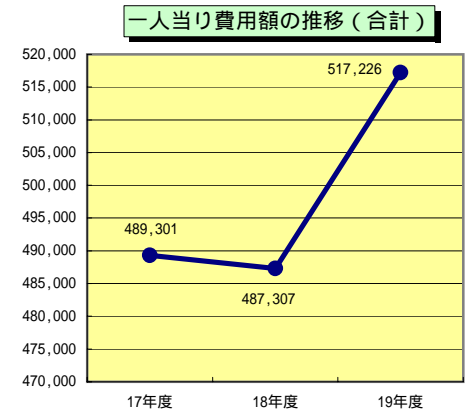
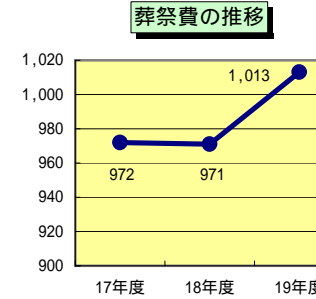
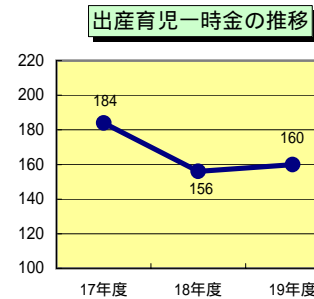
年度	入院		入院外		歯科		調剤		療養費等		合計		一人当り費用額 (円)	伸率 (%)	参考	
	件数 (件)	費用額 (千円)	件数 (件)	費用額 (千円)	件数 (件)	費用額 (千円)	件数 (件)	費用額 (千円)	件数 (件)	費用額 (千円)	件数 (件)	費用額 (千円)			受診率 (%)	総医療費に占める 老人の割合(%)
17	33,181	13,726,051	495,677	7,387,034	58,719	961,646	273,214	3,061,197	5,325	62,594	866,116	25,198,522	489,301		1,140.9	58.71
18	32,857	13,342,753	496,429	7,186,214	59,350	930,910	292,585	3,270,941	5,165	63,136	886,386	24,793,954	487,307	0.4	1,156.9	57.95
19	33,088	13,889,506	502,121	7,074,821	59,671	904,427	319,033	3,704,597	5,189	64,506	919,102	25,637,857	517,226	6.1	1,200.1	56.49

食事療養費を入院に、訪問看護を入院外に含める。

3. 出産育児一時金・葬祭費の状況

年度	出産育児一時金			葬祭費		
	件数 (件)	金額 (千円)	1件当り (円)	件数 (件)	金額 (千円)	1件当り (円)
17	184	55,200	300,000	972	24,300	25,000
18	156	50,700	350,000	971	24,275	25,000
19	160	56,000	350,000	1013	25,325	25,000

出産育児一時金は18年10月出生分から350,000円に改正。

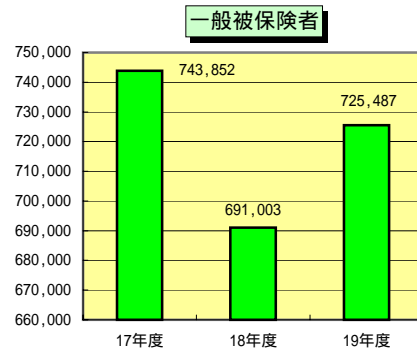


4. 高額療養費の推移

ア. 一般被保険者分

年度	件数 (件)	前年比較 (%)	支給額 (千円)	前年比較 (%)
17	8,562		743,852	
18	8,749	2.2	691,003	7.1
19	9,843	12.5	725,487	5.0

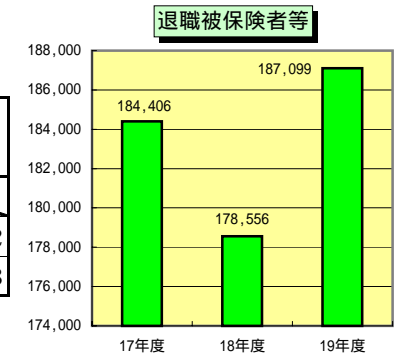
18年10月診療分から限度額改正あり。



イ. 退職被保険者等分

年度	件数 (件)	前年比較 (%)	支給額 (千円)	前年比較 (%)
17	2,159		184,406	
18	2,657	23.1	178,556	3.2
19	3,091	16.3	187,099	4.8

18年10月診療分から限度額改正あり。



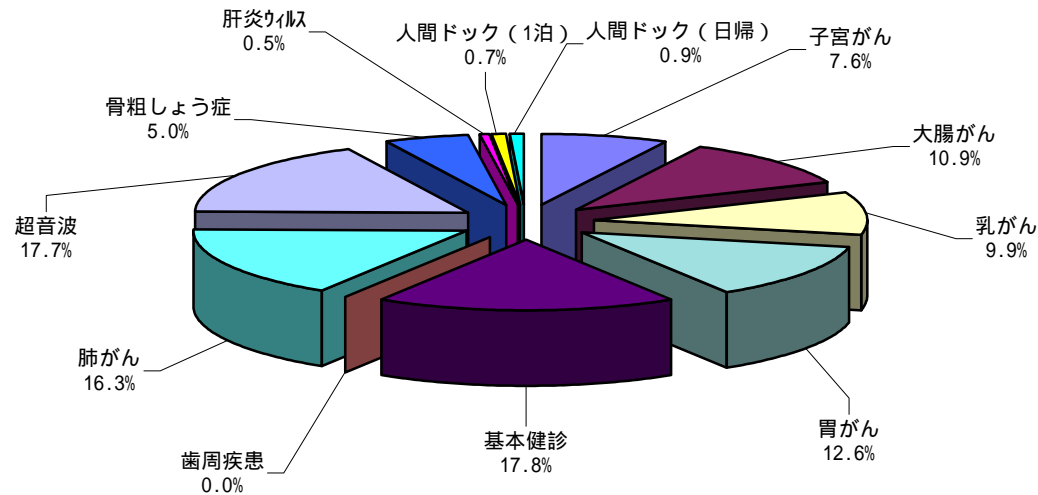
5. 保健事業

ア. あんま・はり灸等補助

補助額	1枚当り補助額	1世帯当り交付限度枚数	交付件数	使用枚数	使用率
13,309 千円	800 円	40 枚	36,928 枚	16,636 枚	45.05 %

イ. 検診補助

種別	子宮がん	大腸がん	乳がん	胃がん	基本健診	歯周疾患	肺がん	超音波	骨粗しょう症	肝炎ウイルス	人間ドック(1泊)	人間ドック(日帰)	
1人当り補助額(円)	700 800 1,200	300 700 1,500	600 900	900 1,700	1,600 1,900 1,700 2,000	900	300 400 500	700 900	700	500	7,420 7,840	4,900 5,320	
受診者数(人)	2,025	2,891	2,639	3,343	4,741	0	4,330	4,713	1,325	125	198	246	26,576 人
補助額(千円)	1,484	927	1,685	3,944	8,229	0	1,472	3,652	928	63	1,506	1,264	25,154 千円

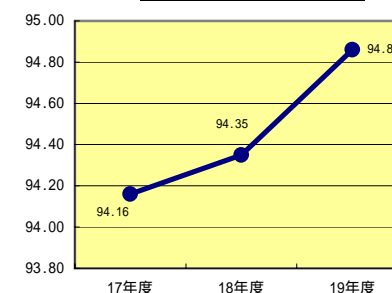


6. 国保税の状況（医療分）

ア. 一般被保険者分（老人含む・現年分）

年度	世帯数 (世帯)	被保険者 (人)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	調定額 (円)		軽減世帯			超過世帯		
						1世帯当り	1人当り	軽減額 (千円)	世帯数 (世帯)	割合 (%)	超過減額 (千円)	世帯数 (世帯)	割合 (%)
17	22,518	44,634	2,297,072	2,165,848	94.16	102,010	51,465	536,608	14,877	66.1	123,933	428	1.9
18	22,364	43,484	2,412,328	2,275,961	94.35	107,867	55,476	543,377	14,479	64.7	177,547	507	2.3
19	21,941	41,539	2,262,397	2,146,040	94.86	103,113	54,464	542,038	14,507	66.1	141,463	399	1.8

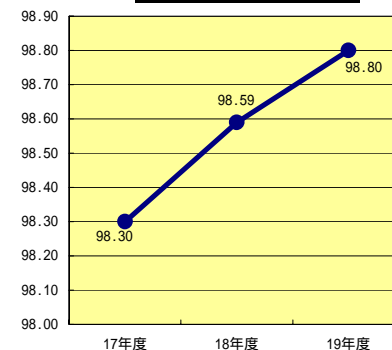
収納率の推移（一般）



イ. 退職被保険者分（現年分）

年度	世帯数 (世帯)	被保険者 (人)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	調定額 (円)		軽減世帯			超過世帯		
						1世帯当り	1人当り	軽減額 (千円)	世帯数 (世帯)	割合 (%)	超過減額 (千円)	世帯数 (世帯)	割合 (%)
17	2259	6,643	454,286	446,710	98.30	201,100	68,386	55,329	1422	62.9	7,090	33	1.5
18	2897	6,884	505,903	498,770	98.59	174,630	73,490	60,479	1534	53.0	12,482	42	1.4
19	3076	7,286	555,808	549,122	98.80	180,692	76,284	61,623	1595	51.9	21,030	46	1.5

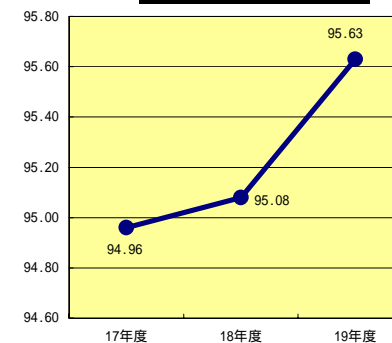
収納率の推移（退職）



ウ. 合計（現年分）

年度	世帯数 (世帯)	被保険者 (人)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	調定額 (円)		軽減世帯			超過世帯		
						1世帯当り	1人当り	軽減額 (千円)	世帯数 (世帯)	割合 (%)	超過減額 (千円)	世帯数 (世帯)	割合 (%)
17	24,777	51,277	2,751,358	2,612,558	94.96	111,045	53,657	591,937	16,299	65.8	131,023	461	1.9
18	25,261	50,368	2,918,231	2,774,731	95.08	115,523	57,938	603,856	16,013	63.4	190,029	549	2.2
19	25,017	48,825	2,818,205	2,695,162	95.63	112,652	57,721	603,661	16,102	64.4	162,493	445	1.8

収納率の推移（合計）

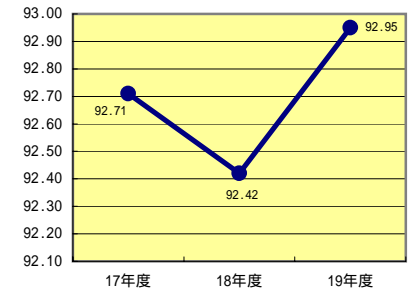


7. 国保税の状況（介護分）

ア. 一般被保険者分（現年分）

年度	世帯数 (世帯)	被保険者 (人)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	調定額 (円)			軽減世帯			超過世帯		
						1世帯当り	1人当り	軽減額 (千円)	世帯数 (世帯)	割合 (%)	超過減額 (千円)	世帯数 (世帯)	割合 (%)	
17	9,690	13,066	177,842	164,879	92.71	18,353	13,611	34,106	5,378	55.5	6,983	184	1.9	
18	9,581	12,820	185,531	171,459	92.42	19,364	14,472	34,154	5,077	53.0	6,663	143	1.5	
19	9,234	12,243	171,371	159,292	92.95	18,559	13,997	34,262	5,090	55.1	6,155	130	1.4	

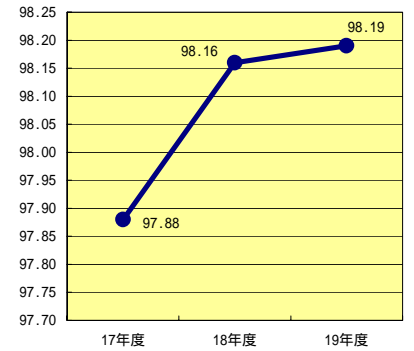
収納率の推移（一般）



イ. 退職被保険者分（現年分）

年度	世帯数 (世帯)	被保険者 (人)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	調定額 (円)		軽減世帯			超過世帯		
						1世帯当り	1人当り	軽減額 (千円)	世帯数 (世帯)	割合 (%)	超過減額 (千円)	世帯数 (世帯)	割合 (%)
17	1671	2,350	34,791	34,075	97.88	20,820	14,805	3,952	723	43.3	286	11	0.7
18	1522	2,118	31,949	31,361	98.16	20,991	15,085	3,978	666	43.8	158	4	0.3
19	1507	2,089	32,392	31,807	98.19	21,494	15,506	3,700	648	43.0	489	10	0.7

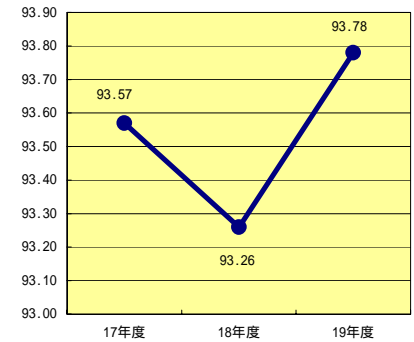
収納率の推移（退職）



ウ. 合計（現年分）

年度	世帯数 (世帯)	被保険者 (人)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	調定額 (円)		軽減世帯			超過世帯		
						1世帯当り	1人当り	軽減額 (千円)	世帯数 (世帯)	割合 (%)	超過減額 (千円)	世帯数 (世帯)	割合 (%)
17	11,361	15,416	212,633	198,954	93.57	18,716	13,793	38,058	6,101	53.7	7,269	195	1.7
18	11,103	14,938	217,480	202,820	93.26	19,587	14,559	38,132	5,743	51.7	6,821	147	1.3
19	10,741	14,332	203,763	191,099	93.78	18,971	14,217	37,962	5,738	53.4	6,644	140	1.3

収納率の推移（合計）

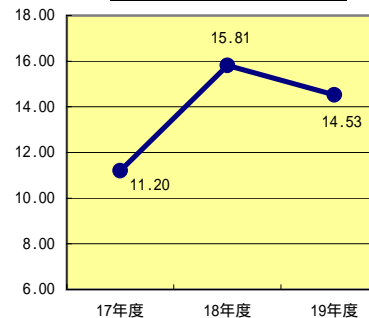


8. 過年度収納状況

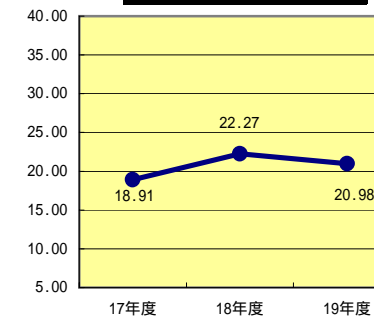
ア 医療分

年度	一般被保険者				退職被保険者			
	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	不納欠損額 (千円)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	不納欠損額 (千円)
17	561,750	62,910	11.20	91,754	18,902	3,575	18.91	1,423
18	538,627	85,147	15.81	68,263	21,545	4,798	22.27	2,032
19	516,499	75,070	14.53	66,317	21,779	4,569	20.98	1,706

収納率の推移（一般）



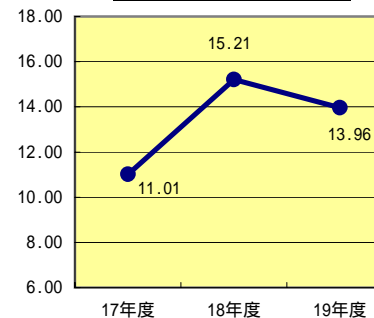
収納率の推移（退職）



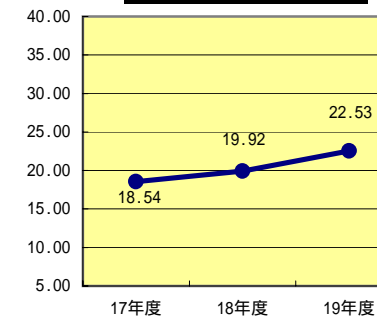
イ 介護分

年度	一般被保険者				退職被保険者			
	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	不納欠損額 (千円)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	不納欠損額 (千円)
17	44,202	4,866	11.01	3,710	1,870	347	18.54	89
18	48,627	7,395	15.21	5,586	2,166	431	19.92	209
19	49,378	6,893	13.96	5,390	2,103	474	22.53	148

収納率の推移（一般）



収納率の推移（退職）



4. 老人保健医療特別会計 (決算書247頁～257頁)

(単位：千円・%)

区 分	18年度	19年度	伸 率
歳 入 総 額	16,200,678	16,372,768	1.1
歳 出 総 額	16,148,878	16,342,069	1.2
歳入歳出差引額	51,800	30,699	40.7
翌年度繰越額	51,800	30,699	40.7

本会計では、歳入総額 16,372,768千円に対して、歳出総額は16,342,069千円で、差引 30,699千円を翌年度へ繰り越すことになりました。

歳入の主なものは、支払基金交付金8,286,521千円(構成比 50.6%)、国庫支出金5,354,322千円(同 32.7%)、県支出金 1,321,996千円(同 8.1%)及び一般会計繰入金 1,337,518千円(同 8.2%)です。

歳出では、医療諸費が 16,281,211千円(同 99.6%)、総務費が40,005千円、諸支出金が20,853千円となっています。

医療費については、平成14年10月の制度改正により対象年齢が引き上げられたため、受給対象者は減少しているものの、1人当たりの費用額は、対前年度比 5.9%の増となっています。

(事業概要)

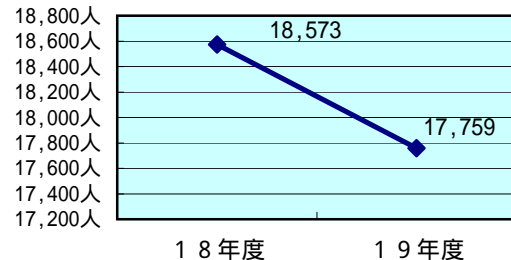
1 老人医療対象者 17,759 人

2 対象者及び老人医療費推移

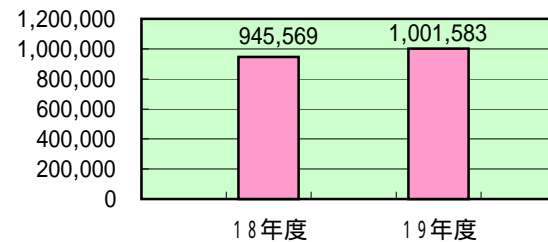
(単位：千円・%)

年 度	18年度	19年度	伸 率
対 象 者 (人)	18,573	17,759	4.4
総 医 療 費 (千 円)	17,562,046	17,787,117	1.3
一 人 当 り 医 療 費 (円)	945,569	1,001,583	5.9

老人医療対象者推移



一人当たり医療費の推移



(1) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
256 ） 257	1 一般管理費	老人医療特別会計事務費医 療費適正化事業	13,119	国庫支出金 4,614 一般財源 8,505	・レセプト点検員（6名）による点検 ・看護師・保健師による訪問指導活動 補助率 1/2 補助基準額 9,228,861円 (事業費内訳) 報酬 7,473,600円 共済費 1,103,918円 賃金 552,687円 旅費 596,400円 委託料 3,392,344円 合計 13,118,949円	縦覧点検・内容点検・資格点検等レセプト点検、 重複・頻回受診者へ訪問し健康・生活指導、第三者 行為求償事務委託を実施することにより、医療費の 適正化を図ることができた。
		老人医療受給者健康指導事 業	1,060	一般財源 1,060	・医療費通知 年2回 役務費 384,800円 委託料 675,363円 合計 1,060,163円	医療費の通知を実施することにより、健康に対す る意識の高揚と医療費動向の啓発を図ることができ た。
		保険者別医療費通知事務	4,042	一般財源 4,042	・各保険者への医療費状況の通知 委託料 3,904,778円 使用料及び賃借料 137,410円 合計 4,042,188円	各保険者に医療費を通知することにより、各保険 者の医療費適正化へのデータを提供することができ た。
		その他の事務	21,783	一般財源 21,783	給料 9,340,500円 職員手当等 4,689,652円 共済費 2,634,134円 旅費 70,400円 需用費 715,984円 役務費 1,351,885円 委託料 262,771円 使用料及び賃借料 114,955円 負担金補助及び交付金 2,603,000円 合計 21,783,281円	

(2) 医療諸費

(1) 医療諸費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要及び成果																																			
257	1 医療給付費	老人医療給付費	16,089,367	国庫支出金 5,244,246 県支出金 1,311,062 その他 8,222,997 一般財源 1,311,062	・老人医療費の支出状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>件数</th> <th>費用額</th> <th>保険者負担額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>25,735件</td> <td>9,698,277,180円</td> <td>9,070,330,334円</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>269,350件</td> <td>4,291,375,810円</td> <td>3,892,287,032円</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>19,341件</td> <td>316,966,590円</td> <td>280,342,936円</td> </tr> <tr> <td>調剤</td> <td>174,472件</td> <td>2,369,703,120円</td> <td>2,119,585,898円</td> </tr> <tr> <td>食事</td> <td>(25,069)件</td> <td>1,067,199,086円</td> <td>711,631,610円</td> </tr> <tr> <td>訪問看護</td> <td>217件</td> <td>16,792,780円</td> <td>15,188,805円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>489,115件</td> <td>17,760,314,566円</td> <td>16,089,366,615円</td> </tr> </tbody> </table> 	項目	件数	費用額	保険者負担額	入院	25,735件	9,698,277,180円	9,070,330,334円	外来	269,350件	4,291,375,810円	3,892,287,032円	歯科	19,341件	316,966,590円	280,342,936円	調剤	174,472件	2,369,703,120円	2,119,585,898円	食事	(25,069)件	1,067,199,086円	711,631,610円	訪問看護	217件	16,792,780円	15,188,805円	合計	489,115件	17,760,314,566円	16,089,366,615円			
	項目	件数	費用額	保険者負担額																																				
入院	25,735件	9,698,277,180円	9,070,330,334円																																					
外来	269,350件	4,291,375,810円	3,892,287,032円																																					
歯科	19,341件	316,966,590円	280,342,936円																																					
調剤	174,472件	2,369,703,120円	2,119,585,898円																																					
食事	(25,069)件	1,067,199,086円	711,631,610円																																					
訪問看護	217件	16,792,780円	15,188,805円																																					
合計	489,115件	17,760,314,566円	16,089,366,615円																																					
2 医療費支給費	医療費支給費	138,738	国庫支出金 40,886 県支出金 10,221 その他 77,409 一般財源 10,222	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>件数</th> <th>費用額</th> <th>保険者負担額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般診療</td> <td>3件</td> <td>35,550円</td> <td>31,995円</td> </tr> <tr> <td>コルセット</td> <td>478件</td> <td>12,386,737円</td> <td>11,077,715円</td> </tr> <tr> <td>柔道整復</td> <td>933件</td> <td>10,890,745円</td> <td>9,641,847円</td> </tr> <tr> <td>はり・きゅう</td> <td>343件</td> <td>3,905,350円</td> <td>3,511,167円</td> </tr> <tr> <td>マッサージ</td> <td>124件</td> <td>2,485,840円</td> <td>2,237,256円</td> </tr> <tr> <td>食事差額</td> <td>87件</td> <td></td> <td>302,090円</td> </tr> <tr> <td>高額医療費</td> <td>17,606件</td> <td></td> <td>111,936,072円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19,574件</td> <td>29,704,222円</td> <td>138,738,142円</td> </tr> </tbody> </table> 	項目	件数	費用額	保険者負担額	一般診療	3件	35,550円	31,995円	コルセット	478件	12,386,737円	11,077,715円	柔道整復	933件	10,890,745円	9,641,847円	はり・きゅう	343件	3,905,350円	3,511,167円	マッサージ	124件	2,485,840円	2,237,256円	食事差額	87件		302,090円	高額医療費	17,606件		111,936,072円	合計	19,574件	29,704,222円	138,738,142円
項目	件数	費用額	保険者負担額																																					
一般診療	3件	35,550円	31,995円																																					
コルセット	478件	12,386,737円	11,077,715円																																					
柔道整復	933件	10,890,745円	9,641,847円																																					
はり・きゅう	343件	3,905,350円	3,511,167円																																					
マッサージ	124件	2,485,840円	2,237,256円																																					
食事差額	87件		302,090円																																					
高額医療費	17,606件		111,936,072円																																					
合計	19,574件	29,704,222円	138,738,142円																																					

(2) 医療諸費

(1) 医療諸費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要及び成果			
					区分	件数	単価	支給額
257	3 審査支払手数料	審査支払手数料	53,106	その他 53,002 一般財源 104				
					国保連合会委託分	397,836件	111.6円	44,294,262円
					国保連合会委託分(柔道 整復)	933件	111.6円	104,119円
					支払基金委託分	59,340件	114.2円	8,603,634円
						31,939件	57.2円	
					合計	490,048件		53,002,015円

(3) 諸支出金

(1) 償還金

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
257	1 償還金	償還金利子及び割引料	20,853	一般財源 20,853	県支出金返納金 20,853,047円	平成18年度の医療費確定に伴い、県支出金を精算返納した。

5. 介護保険特別会計 (決算説明書 259頁～280頁)

1 決算の概要

(1) 決算規模

(単位：千円・%)

区 分	18年度	19年度	伸 率
歳入総額	8,555,055	9,150,983	7.0
歳出総額	7,892,646	8,545,484	8.3
差 引 額	662,409	605,499	8.6
翌年度へ繰越すべき財源	1,248	0	皆減
翌年度への繰越額	661,161	605,499	8.4

本会計では、歳入総額 9,150,983千円に対して、歳出総額 8,545,484千円で、差引額 605,499千円を翌年度に繰り越すことになりました。

決算額を前年度と比較すると、歳入で7.0%、歳出で8.3%の増となっています。

歳入では、介護保険料は前年度より1.6%増の1,366,001千円になりました。現年度分の収納率は99.14%と前年度に比較し0.14ポイント増加しました。

介護給付費の財源である国庫負担金は前年度より0.2%増の1,413,789千円、県負担金は3.2%減の1,115,239千円、支払基金交付金は3.6%増の2,270,233千円となっています。

なお、調整交付金は、前年度に比較して3.8%減の691,178千円になりました。

また、繰入金は一般会計から対前年比18.9%増の1,016,579千円となっています。

歳出では、保険給付費（介護等サービス費・審査支払手数料・高額介護等サービス費・特定入所者介護等サービス費）は、居宅サービスの利用の増加等から前年度より、1.7%増の7,318,093千円となりました。

平成18年度から20年度の3年間の介護保険事業計画では、介護保険料の基準額は月額4,200円に設定をしています。

また、平成18年4月には制度の全般的な見直しがあり、介護予防を重視したシステムへ転換され、介護予防マネジメントを行う地域包括支援センターを設置して、介護予防支援業務や地域支援事業を実施をしています。

2 事業の概要

(1) 第1号被保険者の状況（年度末現在）

第1号被保険者は、確実に増加をしています。特に後期高齢者（75歳以上）の増加は著しく今後もこの傾向は続くものと予想されます。

第1号被保険者数

年度	前期高齢者 (65歳～74歳)	後期高齢者 (75歳以上)	再掲 外国人被保険者	再掲 住所地特例者	合 計
17	13,675	16,124	7	28	29,799
18	13,435	16,642	8	69	30,077
19	12,946	17,096	9	69	30,042

第1号被保険者のいる世帯数

年度	世帯数
17	21,285
18	21,406
19	21,392

(2) 要介護等認定事務処理の状況

寝たきりや痴認知症等により日常の生活が困難になった場合に介護保険の給付を受けるためには、保険者に申請を行い、保険者は要介護認定調査、主治医意見書によって審査判定を行い、その後、要介護等認定を行います。なお、審査判定は天草広域連合の介護認定審査会で行われます。

平成18年4月からの制度の改正により、認定基準の変更があり、要支援が2つの要介護状態区分に分割されました。

申請者(年間の延べ件数)

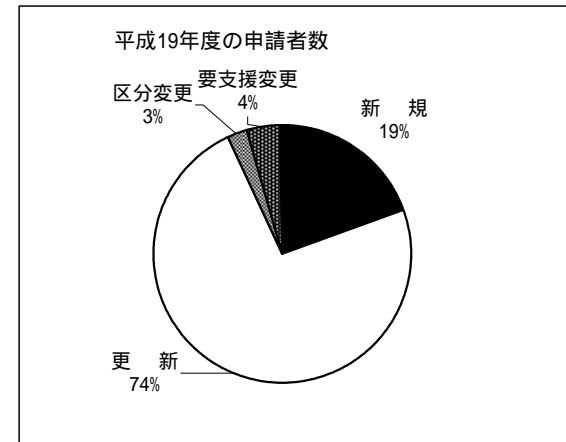
年度	新規申請	更新申請	区分変更申請	要支援者の状態変更申請	転入申請	合計
18	1,273	5,617	242	233	25	7,390
19	1,262	4,763	167	269	13	6,474

要介護認定調査(年間の延べ件数)

年度	職員	嘱託員	委託	合計
18	212	6,749	236	7,197
19	103	5,866	255	6,224

主治医意見書(年間の延べ件数)

年度	依頼数	回収数
18	7,489	7,123
19	6,369	6,309

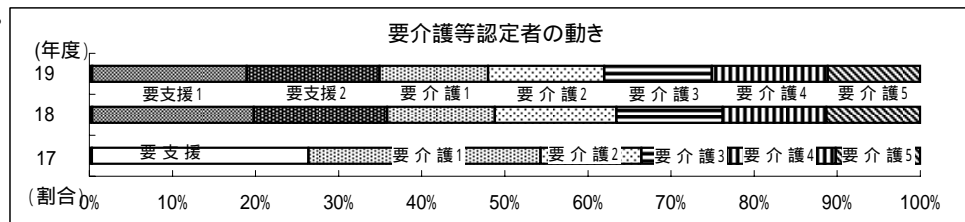


(3) 要介護等認定者の状況(年度未現在)

年度	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
17	1,374	1,473	639	543	689	537	5,255

年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
18	1,036	855	690	779	681	666	600	5,307
19	981	843	688	738	682	734	588	5,254

上記の認定者のうち第2号被保険者(40~64歳)は約2%になります。



3 保険給付の状況

平成19年度の介護保険の給付を前年度と比較しますと居宅サービスの利用の増加から給付費も増加しています。居宅サービス給付費は、対前年度比5.7%の増となり、今後も制度の浸透等に伴い増加するものと思われます。一方、施設給付費は、介護療養型医療施設の減少等により給付費も減少をしています。高額介護等サービス費は、平成17年10月から利用者負担段階の第2段階が設定されたため、年々増加をしています。特定入所者介護等サービス費は、ユニット型個室の増加等により増えています。

(1) 保険給付の推移

年度	居宅サービス			施設サービス				
	受給者数	保険給付決定状況		1人当たり 給 付 費	受給者数	保険給付決定状況		1人当たり 給 付 費
		費用額	支給額			費用額	支給額	
(人)	(千円)	(千円)	(円)	(人)	(千円)	(千円)	(円)	
17	36,302	3,253,955	2,958,994	81,510	14,876	4,915,429	4,357,545	292,924
18	36,920	3,268,468	2,972,485	80,512	14,199	4,104,889	3,713,802	261,554
19	37,179	3,461,158	3,142,959	84,536	14,054	4,014,695	3,628,318	258,170

(2) 高額介護等サービス費の推移

年度	件数 (件)	支給額 (千円)	一件平均 支給額 (円)
17	12,093	90,370	7,473
18	12,137	134,619	11,092
19	15,460	162,192	10,491

(3) 特定入所者介護等サービス費の推移

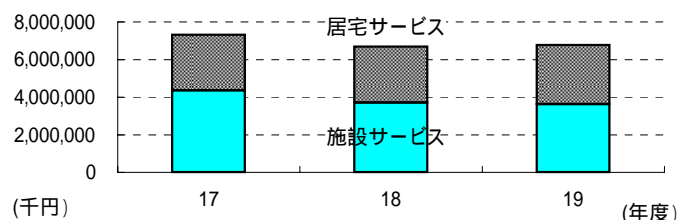
食費

年度	件数 (件)	支給額 (千円)	一件平均 支給額 (円)
17	5,145	135,452	26,327
18	12,437	324,179	26,066
19	12,539	323,375	25,790

居住費(滞在費)

年度	件数 (件)	支給額 (千円)	一件平均 支給額 (円)
17	2,161	8,993	4,161
18	4,082	40,467	9,913
19	4,081	51,111	12,524

介護保険給付の推移



4 第1号被保険者介護保険料の状況

(1) 第1号被保険者の所得段階介護保険料(円/月)

年度	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階
18~20	2,100	2,730	3,150	4,200	5,250	6,300

(2) 所得段階賦課人数(年度末)

年度	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	計
17	271	15,974	10,019	2,286	1,249	0	29,799
18	270	8,275	4,925	9,690	5,196	1,721	30,077
19	272	8,343	5,264	9,484	5,108	1,571	30,042

平成17年度は第4段階と第5段階、18年度は第5段階と第6段階の境界の合計所得金額は200万円です。また、17年度までの第2段階が18年度は、年金収入等が80万円以下の方は第2段階にそれ以上は第3段階に分割されました。

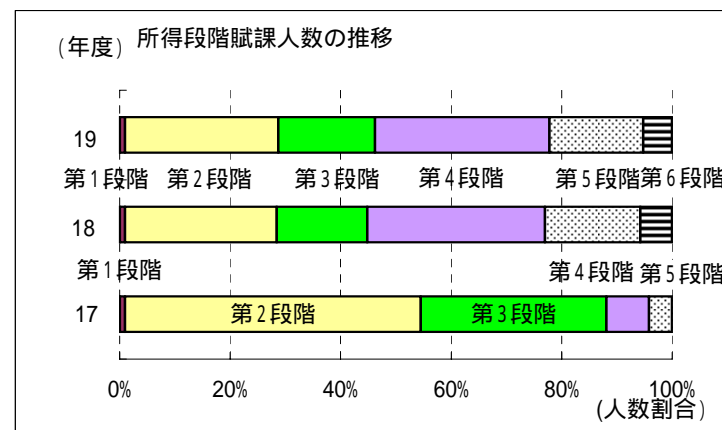
現年度

年度		調定額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)
17	特別徴収	949,552	949,552	100.00
	普通徴収	154,463	143,912	93.17
	計	1,104,015	1,093,464	99.04
18	特別徴収	1,183,110	1,183,110	100.00
	普通徴収	168,526	155,004	91.98
	計	1,351,636	1,338,114	99.00
19	特別徴収	1,266,984	1,266,984	100.00
	普通徴収	104,463	92,716	88.75
	計	1,371,447	1,359,700	99.14

特別徴収の収納額は、未還付額を差し引いた金額を計上しています。

過年度

年度	調定額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)
17	17,636	3,452	19.57
18	19,756	4,941	25.01
19	22,497	5,445	24.20



5 介護予防給付の状況

予防給付は、「要支援1」及び「要支援2」の要介護認定を受けている人が対象であり、平成20年3月末現在1,824人で前年度に比べ67人減となっている。更新結果は、要支援1では、非該当及び要支援1の認定を受けた方が66.1%（前年度18.6%増）、要支援2では、非該当及び要支援1、要支援2の認定を受けた方が73.2%（前年度9%増）となっている。

また、要支援又は要介護1から要介護2以上へ移行することを防止する効果として、要支援及び要介護1のうち6%を標準とする目標値として設定しているが、実績としては3.5%に留まっている。

この傾向は、熊本県下共通の結果となっており、要支援認定者数は減少し、中・重度である要介護2から要介護5までの認定者数は増加している状況である。

制度改正から、要支援の認定者数は減少しており、介護予防サービス利用率は75%程度で推移してきている。サービス利用者数は、平成20年3月で地域包括支援センター担当件数743件（前年度と比較237件増）、居宅介護支援事業所委託件数608件（前年度と比較289件減）となっている。

地域包括支援センターのみでの対応は難しく、適正な運営をしている居宅介護支援事業所へ業務委託を行う必要があり、居宅介護支援事業所に自己点検表を作成し、必要な項目について確認を行っている。

（1）介護予防給付更新時の維持・改善率

要支援1・2の認定者の更新前と後の介護状態区分の状況は次のとおりです。

	更新後	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
更新前										
要支援1		29	719	205	102	32	26	13	6	1,132
要支援2		3	180	555	94	95	51	13	17	1,008
合計		32	899	760	196	127	77	26	23	2,140

	全体数	維持数	改善数	維持・改善数	維持・改善率
要支援1の維持・改善率	1,132	719	29	748	66.1%
要支援2の維持・改善率	1,008	555	183	738	73.2%
合計	2,140	1,274	212	1,486	69.4%

（2）介護予防支援費請求件数

（単位：円）

担当の地域包括支援センター	地域包括支援センター作成		委託		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
中央	4,452	18,184,000	2,751	11,178,000	7,203	29,362,000
東	1,490	6,205,500	1,516	6,064,000	3,006	12,269,500
西	2,659	10,904,500	3,687	15,004,500	6,346	25,909,000
合計	8,601	35,294,000	7,954	32,246,500	16,555	67,540,500

(2) 保険給付費

(1) 介護サービス等諸費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
274	1 居宅介護サービス給付費	居宅介護サービス給付費	1,939,972	国庫支出金 625,560 (570,965) 県支出金 240,836 (242,752) その他 597,550 (601,391) 一般財源 476,026 (524,864)	居宅介護サービス給付費 区分 延べ利用者数 訪問介護 6,596人 訪問入浴介護 353人 訪問看護 1,276人 訪問リハビリテーション 722人 通所介護 8,628人 通所リハビリテーション 7,121人 福祉用具貸与 6,600人 短期入所 2,750人 居宅療養管理指導 763人 特定施設入居者生活介護 24人	要介護者は、在宅で暮らすために必要なサービスを受け、安心して住み慣れた自宅等で生活することができた。
274	3 地域密着型介護サービス給付費	地域密着型介護サービス給付費	331,344	国庫支出金 106,845 (97,564) 県支出金 41,134 (41,418) その他 102,061 (102,717) 一般財源 81,304 (89,645)	地域密着型介護サービス給付費 区分 延べ利用者数 痴呆対応型通所介護 382人 痴呆対応型共同生活介護 1,200人	要介護者は、在宅で暮らすために地域密着型介護サービスを受け、安心して住み慣れた自宅等で生活することができた。

(2) 保険給付費

(1) 介護サービス等諸費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
275	5 施設介護サービス給付費	施設介護サービス給付費	3,628,318	国庫支出金 938,965 (886,935) 県支出金 637,869 (634,956) その他 1,117,594 (1,124,779) 一般財源 933,890 (981,648)	施設介護サービス給付費 区分 延べ利用者数 介護老人福祉施設 7,215人 介護老人保健施設 4,393人 介護療養型医療施設 2,446人	在宅で生活できない要介護者等が施設に入所して介護サービスを受けることができた。
275	7 居宅介護福祉用具購入費	居宅介護福祉用具購入費	6,189	国庫支出金 1,996 (1,823) 県支出金 768 (774) その他 1,906 (1,919) 一般財源 1,519 (1,673)	福祉用具購入費の9割を支給 (支給限度基準額 年間10万円) 区分 延べ利用者数 福祉用具購入費 259人	福祉用具(腰掛便座、入浴補助用具など)の購入により、要介護者の自立支援、介護者の負担軽減が図られた。

(2) 保険給付費

(1) 介護サービス等諸費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
275	8 居宅介護住宅 改修費	居宅介護住宅改修費	16,813	国庫支出金 5,422 (4,951) 県支出金 2,087 (2,102) その他 5,179 (5,212) 一般財源 4,125 (4,548)	住宅改修費の9割を支給 (支給限度基準額 20万円) 区分 延べ利用者数 住宅改修費 166人	既存住宅の欠点をカバーする工事(手すりの取り 付け、床段差の解消など)が行われ、在宅生活者の 自立支援、介護者の負担軽減が図られた。
275	9 居宅介護サービ ス計画給付費	居宅介護サービス計画給付	211,706	国庫支出金 68,266 (62,336) 県支出金 26,282 (26,463) その他 65,210 (65,629) 一般財源 51,948 (57,278)	居宅介護サービス計画作成等への支給 要支援1件当たり 4,000～13,000円/月 延べ利用者数 18,818人	介護支援専門員(ケアマネージャー)が在宅介護支 援のために「居宅サービス計画」を作成し、在宅の 要介護者に必要なサービスが提供された。

(2) 保険給付費

(2) 介護予防サービス等諸費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
275	1 介護予防サービス給付費	介護予防サービス給付費	544,527	国庫支出金 175,587 (160,334) 県支出金 67,600 (68,066) その他 167,725 (168,803) 一般財源 133,615 (147,324)	介護予防サービス給付費 区分 延べ利用者数 訪問介護 6,589人 訪問入浴介護 3人 訪問看護 276人 訪問リハビリテーション 374人 通所介護 5,865人 通所リハビリテーション 6,281人 福祉用具貸与 1,747人 短期入所 241人 居宅療養管理指導 96人 特定施設入居者生活介護 12人	介護予防サービスを受けることにより、要介護移行への予防ができた。
275	3 地域密着型介護予防サービス給付費	地域密着型介護予防サービス給付費	3,414	国庫支出金 1,100 (1,005) 県支出金 424 (427) その他 1,052 (1,058) 一般財源 838 (924)	地域密着型介護予防サービス給付費 区分 延べ利用者数 痴呆対応型通所介護 28人 痴呆対応型共同生活介護 13人	地域密着型介護予防サービスを受けることにより、要介護移行への予防ができた。

(2) 保険給付費

(2) 介護予防サービス等諸費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
276	5 介護予防福祉 用具購入費	介護予防福祉用具購入費	3,941	国庫支出金 1,271 (1,160) 県支出金 489 (493) その他 1,214 (1,222) 一般財源 967 (1,066)	福祉用具購入費の9割を支給 (支給限度基準額 年間10万円) 区分 延べ利用者数 福祉用具購入費 209人	福祉用具の購入により、要支援者の自立支援、介護者の負担軽減が図られた。
276	6 介護予防住宅 改修費	介護予防住宅改修費	17,595	国庫支出金 5,674 (5,181) 県支出金 2,184 (2,199) その他 5,420 (5,454) 一般財源 4,317 (4,761)	住宅改修費の9割を支給 (支給限度基準額 20万円) 区分 延べ利用者数 住宅改修費 214人	手すりの取り付け、床段差の解消により在宅生活者(要支援者)の自立支援、介護者の負担軽減が図られた。

(2) 保険給付費 (2) 介護予防サービス等諸費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
276	7 介護予防サービス 計画給付費	介護予防サービス計画給付	67,458	国庫支出金 21,752 (19,863) 県支出金 8,375 (8,432) その他 20,779 (20,912) 一般財源 16,552 (18,251)	介護予防サービス計画作成等への支給 要支援1件当たり 4,000円 (初回加算 2,500円) 延べ利用者数 16,485人	地域包括支援センター(指定介護予防支援事業 者)の保健師等が在宅介護予防支援のために「介護 予防サービス計画」を作成し、在宅の要支援者に必 要なサービスが提供された。

(2) 保険給付費 (3) その他諸費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
276	1 審査支払手数料	審査支払手数料	10,139	国庫支出金 3,270 (2,986) 県支出金 1,259 (1,267) その他 3,123 (3,143) 一般財源 2,487 (2,743)	国保連合会への審査支払手数料 介護給付費請求明細書 1件 95円 延べ審査件数 106,727件	介護給付費の請求の審査を行うことにより、介護 保険のサービス事業者からの給付費の請求の審査が 迅速で正確に対応することができた。

(2) 保険給付費

(4) 高額介護サービス等費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果			
276	1 高額介護 サービス費	高額介護サービス費	161,076	国庫支出金	介護サービスの利用者負担額(1ヶ月分)が一定の 基準額を超えた場合、その超えた額を支給	高額介護サービス給付費の支給により、サービス 受給者の自己負担額の軽減が図られた。			
				51,940					
				(47,428)					
				県支出金			利用者負担段階区分	上限額	
				19,997			一般世帯	37,200円	
				(20,135)			住民税世帯非課税	24,600円	
				その他			高齢福祉年金の受給者	個人 15,000円	
				49,615			合計所得金額及び課税年 金額の合計が80万円以下の 人		
				(49,934)			一般財源	生活保護の受給者等	個人 15,000円
				39,524			(43,579)	高額介護サービス費	15,113件
276	2 高額介護予防 サービス費	高額介護予防サービス費	1,116	国庫支出金	高額介護予防サービス費	347件	高額介護予防サービス給付費の支給により、サー ビス受給者の自己負担額の軽減が図られた。		
359									
(328)									
県支出金									
139									
(140)									
その他									
344									
(346)									
一般財源									
274									
(302)									

(2) 保険給付費

(5) 特定入所者介護サービス等費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果	
276	1 特定入所者介護 サービス費	特定入所者介護サービス費	373,744	国庫支出金	食費・居住費の負担限度額を超える費用を低 所得者に現物給付	特定入所者介護サービス費の給付により、施設利 用者等の食費及び居住費の自己負担額の軽減が図ら れた。	
				96,720	(91,988)		(居住費・滞在費)
				県支出金	利用者負担段階		負担限度額
				65,705	第1段階		0円～820円
				(64,778)	第2段階		320円～820円
				その他	第3段階		320円～1,640円
				115,121	(食費)		
				(115,861)	利用者負担段階		負担限度額
				一般財源	第1段階		300円
				96,198	第2段階		390円
				(101,117)	第3段階		650円
					特定入所者介護サービス費		12,434件
				276	3 特定入所者介護 予防サービス費		特定入所者介護予防サービ ス費
240	115件						
(219)							
県支出金							
91							
(91)							
その他							
226							
(228)							
一般財源							
184							
(203)							

(3) 財政安定化基金拠出金

(1) 財政安定化基金拠出金

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
277	1 財政安定化基金 拠出金	財政安定化基金拠出金	8,314	国庫支出金 0 県支出金 0 その他 0 一般財源 8,314 (8,314)	介護保険財政の安定運営のため各県に設置。赤字 0 財政となった場合に不足額を貸付・交付し、一般財 () 源からの繰入を回避 財源 国・県・市が各1/3 () 拠出金 0 平成18年度から20年度までの3ケ年の給付費見込 () 額の0.1%を拠出。 本市の負担額 19年度 8,313,733円	

(5) 地域支援事業費

(1) 介護予防事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
278	1 介護予防特定高 齢者施策事業費	介護予防特定高齢者施策事業	8,875	国庫支出金 3,140 (2,219) 県支出金 1,570 (1,109) その他 7,083 (2,751) 一般財源 2,918 (2,796)	要支援、要介護となるおそれの高い虚弱な高齢者を把握して、介護予防の利用が望ましい人を特定高齢者として決定する。 対象者数 基本チェックリスト記入者 9,615人 生活機能評価の受診者 5,897人 特定高齢者候補者数 2,516人 特定高齢者決定数 1,303人 この事業で把握して決定した虚弱高齢者を「特定高齢者」として、次の介護予防のプログラムを実施している。	平成19年度は、本人や家族、民間組織などからの情報提供と基本健康診査や実態把握などから特定高齢者候補者を把握するとともに各地区の老人会に高齢者健康教室を行い、地域包括支援センターの業務内容や介護予防事業の周知と併せて、特定高齢者候補者の把握を行ってきた。高齢者人口の約32%にあたる9,615人に基本チェックリストを実施し、2,516人の特定高齢者候補者を把握し、高齢者人口の4.3%にあたる1,303人を特定高齢者として決定することができた。 平成18年度の特定高齢者決定者数は235人の0.8%であったのに対して大幅な増加である。平成19年度の主な決定者の増加の要因としては、特定高齢者の基準が緩和されたことと基本健康診査からの候補者と高齢者健康教室で把握したことによる。
		通所型介護予防事業	28,346	国庫支出金 10,028 (7,087) 県支出金 5,014 (3,543) その他 22,621 (8,787) 一般財源 9,317 (8,929)	平成18年6月から運動器の機能向上を目指して、事業参加を希望した特定高齢者に対して、週1回の運動機能向上のプログラムを34事業所に委託して通所方式で実施している。なお、事業実施に当たっては、事業実施従事者に対して研修会や現地指導を行い事業の質向上を図った。 運動器の機能向上プログラ ム利用者 401人 延べ3,417人 低栄養状態にある人に対して、通所の事業所で栄養指導を行った。 栄養改善プログラム利用者 1人 天草都市歯科医師会に委託して、口腔機能向上のプログラムが必要な特定高齢者に対して、通所事業所に歯科衛生士を派遣して口腔機能の向上の指導を行った。 口腔機能向上プログラム利用者 16人	介護予防運動器機能向上は、34箇所のサービス事業者に集団及び個別の指導を委託し、対象者401人に述べ9,255回実施した。事業成果としては、改善修了者が70名で、事故や疾病等による状態の悪化者が45名で、現状維持が多数を占め維持改善率は約82%で、介護予防に取り組んで介護状態の悪化を予防している。 天草市の管理栄養士がサービス事業所を訪問し、対象者1名に延べ5回の栄養改善の指導を実施した。 平成18年度は対象者がなかったが、平成19年度は天草都市歯科医師会に委託して利用者16人に延べ31回の口腔改善の指導を実施した。

(5) 地域支援事業費

(1) 介護予防事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
278	1 介護予防特定高 齢者施策事業費	訪問型介護予防事業	1,691	国庫支出金 598 (423) 県支出金 299 (211) その他 1,349 (524) 一般財源 555 (533)	特定高齢者の対象者が、閉じこもりで通所による 介護予防事業を利用することが困難な人に対して市 の訪問看護師等が自宅で指導を実施した。 対象者数 運動器の機能向上支援 16人 栄養改善支援 3人 閉じこもり予防・支援 4人 認知症予防・支援 10人 うつ予防・支援 3人	通所できない閉じこもりがちの特定高齢者の自宅 を訪問し、出来るだけ通所による改善指導を呼びか けると同時に運動機能向上の指導を行った。運動機 能向上の対象者は16人で延べ361回指導し、改善を 図った。 訪問指導により、外部の人と接触する機会の場を 得ることにより、運動機能等改善と少しずつではあ るが明るくなったり、他者との交流ができるよう改 善が図られた。
278	2 介護予防一般高 齢者施策事業費	介護予防普及啓発事業	1,890	国庫支出金 701 (496) 県支出金 351 (248) その他 1,582 (615) 一般財源 652 (623)	高齢者の栄養状態の改善のため、食生活改善推進 員協議会に委託して、調理実習などを通じて栄養改 善指導を行った。 高齢者食生活改善事業 食生活改善推進員協議会に委託 65回開催 のべ963人 実人数 614人 認知症サポーター養成講座を4回開催し、参加者が 173人ありました。	高齢者の栄養状態の改善のため、食生活改善推進 員協議会に委託し、調理実習などで栄養改善指導を 行い、栄養改善に対する意識啓発ができた。 認知症高齢者等を地域で温かく見守る「認知症の人 の応援者」を育成できた。
		地域介護予防活動支援事業	21			
		一般高齢者施策評価事業	71		施策評価も含む先進地研修を行った。	今後の施策評価の参考となる。

(5) 地域支援事業費

(2) 包括的支援事業・任意事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
279	1 介護予防ケア マネジメント事業 費	介護予防ケアマネジメント 事業	694	国庫支出金 604 (281) 県支出金 302 (141) 一般財源 212 (272)	特定高齢者に対して、介護予防事業のケアマネジメントを行い、運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能向上を支援した。 特定高齢者事業利用希望者全員にケアマネジメントを実施した。 対象者数 ケアマネジメント実人数 421人 年度末ケアマネジメント数 274人	特定高齢者に対して、介護予防事業のケアマネジメントを行い、運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能向上を図るためのサービスを提供することができた。 その結果、特定高齢者の約8割の対象者が運動機能向上等の維持改善が図られた。
279	2 総合相談事業費	総合相談事業	537	国庫支出金 467 (217) 県支出金 234 (109) 一般財源 164 (211)	認知症のメカニズムと予防できることを周知した。 対象者数 1,017人 認知症予防講演会 10会場 介護保険サービスや高齢の福祉事業の内容を掲載するとともに、各種事業所を紹介し、利用者に必要な介護情報を提供した。 サービスガイドの作成 詳細版(追加のみ) 350部 簡易版 2,000部 住民からの各種の相談を受けつけた。 介護や介護保険等福祉相談 610件 保健医療に関する相談 82件 その他相談 107件	認知症のメカニズムと予防できることを周知した。今後の活動につながる認知症予防の普及啓発を行うことができた。 簡易版は、介護保険サービスや高齢の福祉事業の内容を掲載するとともに、各種事業所を紹介し、利用者に必要な介護情報を提供した。詳細版は、居宅介護支援事業所等に配付し、相談業務を行ううえで効果があった。 地域包括支援センターの知名度も少しずつ浸透し、相談も多く寄せられるようになってきている。各種の住民からの相談に応じ、関係機関と連携し、住民の疑問を解消したり、問題解決の糸口を示すなど必要な支援を行い住民生活の向上につなげた。

(5) 地域支援事業費

(2) 包括的支援事業・任意事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
279	3 権利擁護事業費	権利擁護事業	215	国庫支出金 187 (87) 県支出金 94 (44) 虐待相談 虐待認定 一般財源 66 (84)	高齢者の虐待が疑われるケースについての相談を受け、訪問等により事実確認を行なっている。 対象者数 180件 9人 判断能力がなく金銭管理等ができない対象者に、支援機関を紹介したり成年後見制度の利用を勧めている。また、成年後見制度を啓発するため、136名参加者を得て同研修会を開催した。 権利擁護・成年後見相談 55件 判断能力が無く成年後見の申請が必要であるが、親族による申し出ができない場合に、市長が代わって申し立てを行う制度である。 成年後見制度利用支援事業 市長による申し立て 1人	虚弱高齢者や相談者に対して、その担当者に応じて介護保険サービスを導入したり、関係機関との連携を深めながら対応し、対象者の生活安定を図った。また、高齢者の虐待等については、虐待防止マニュアルを作成し、迅速かつスムーズな対応ができる体制を整え、虐待の相談については、関係機関による見守り、定期的な訪問活動により生活の安定を図ってきている。 成年後見制度の研修会を開催し、関係機関の従事者等が制度の理解と普及啓発をすることができ、参加者の約8割が十分な理解ができたとの結果を得ている。
279	4 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	164	国庫支出金 143 (66) 県支出金 71 (33) 居宅支援事業所研修支援 サービス事業所研修支援 一般財源 50 (65)	介護予防訪問介護・介護サービス事業所と介護予防通所系事業所のスタッフに研修会を開催した。また、介護予防支援計画作成担当者に研修会を2回開催し、居宅介護支援事業者連絡協議会の依頼により、研修会の支援も行なった。 総会時の研修等 総会時の研修等	介護予防訪問介護、介護サービス事業所の研修会は46人の参加があり、グループワークを通して自立支援を考えたサービスの有り方を再認識していただいた。また、通所系事業所の研修会は、120名の参加があり、83%がモニタリング・評価のポイントが確認できたという回答で、目標は達成された。また、介護予防支援計画作成担当者研修会は16名の支援員ほとんどが2回の研修会を通してモニタリング及び評価の視点・ポイントが理解できたと回答があり、目的は達成された。 介護支援専門員、民生児童委員とともに、研修会を通じて顔見知りになり、お互いの役割の再確認もできて、連携が取りやすくなったという声が聞かれた。介護支援専門員との連携は、介護支援専門員からの相談を340件受けて、支援を行い、困難事例の解決や質の向上に繋がった。

(5) 地域支援事業費

(2) 包括的支援事業・任意事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
279 ） 280	5 任意事業費	介護給付費等費用適正化事業	876	国庫支出金 6,547 (3,045)	介護サービス利用者に給付費の支給通知を行った。 対象者数 適正化のはがき郵送(3回) 延べ 13,555人	介護サービス利用者等の給付費の確認をしていただくとともに、事業の適正化を図った。
		家族介護支援事業	6,616	県支出金 3,272 (1,523) 一般財源 2,299 (2,952)	介護技術の向上を図るために、サービス事業所に委託して実施した。 家族介護教室事業 13カ所 220人 介護者同士の交流を図りながら、リフレッシュをしてもらうために、社会福祉協議会に委託して事業を実施した。 家族介護者交流事業9カ所 158人 要介護4及び5の介護認定者を、在宅で介護している双方市民税非課税の介護者に対して介護用品の購入費用の一部(6,250円/月)を助成して経済的負担を軽減した。 介護用品支給事業 112人 支給券発行延べ枚数 896枚	在宅で介護している家族等の介護技術の向上や情報交換で要介護者が在宅で生活できている。 要介護者が住み慣れた地域で在宅生活ができると同時に、介護者の気持ちの転換と介護者同士の交流が図られ、介護者の軽減に繋がってきている。 在宅で介護をしている世帯に対して、介護用品に対する経済的支援を行い、住み慣れた在宅での生活維持ができています。
		その他事業	28		介護認定を受けて、住宅改修のみを行う利用者に対して、改修の理由書作成費用を1件につき2,000円助成した。 福祉用具・住宅改修支援事業 住宅改修意見書作成委託費 14件	在宅生活で住宅改修の必要な対象者の理由書作成を委託し、在宅生活での維持のための住宅改修を行うことができた。

6. 公共下水道事業特別会計 (決算書281頁～293頁)

(単位：千円、%)

区 分	18年度	19年度	伸び率
歳 入 総 額	1,675,601	2,625,564	56.7
歳 出 総 額	1,634,508	2,625,563	60.6
差 引 額	41,093	1	100.0
翌年度へ繰越すべき財源	5,689	0	皆減
翌年度への繰越額	22,284	1	100.0

本会計では、歳入総額2,625,564千円から歳出総額2,625,563千円を差引いた1千円を翌年度へ繰り越すこととなりました。

歳入の主なものは、使用料486,075千円(構成比18.5%)、地方債1,237,300千円(同47.1%)内訳は、事業に伴う市債139,500千円と公的資金補償金免除繰上償還に伴う借換債1,097,800千円、国庫支出金154,453千円(同5.9%)、また一般会計からの繰入金は614,385千円(同23.4%)です。

歳出の内訳は、下水道総務費103,628千円(同4.0%)、下水道施設管理費231,853千円(同8.8%)、下水道建設費366,023千円(同13.9%)で公共下水道費全体では701,504千円(同26.7%)となります。さらに、公債費が1,924,060千円(同73.3%)となっています。

歳入歳出総額が前年度に比べ伸びているのは、公的資金補償金免除繰上償還による元金償還金及びそれに伴う借換債が主な要因です。

[進捗状況]

区分	全体計画(A)	事業認可(B)	19年度末現在(C)	(C)/(A)	(C)/(B)
処理面積	722 ha	659 ha	(供用) 594 ha	82.3%	90.1%
処理人口 (戸数)	26,000 人 (8,624 戸)	25,500 人 (8,458 戸)	25,579 人 (8,484 戸)	98.4%	100.3%
事業費	30,679,000千円 (S46～H25)	29,382,000千円 (S46～H23)	26,832,756千円	87.5%	91.3%

(1) 公共下水道費

(1) 公共下水道費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
290	1 下水道総務費	下水道事業受益者負担金前 納報奨金	17,397	一般財源 17,397	・負担金の期別納付額を納期前に一括納付した者に、その納付期別数に応じた割合で前納報奨金を支給。 報償費 17,396,514円	平成19年度調定に対して一括納付率88.2%であった。 全体調定520件 一括納付306件
290 ↳ 292	2 下水道施設管理費	下水道施設管理事業	277,162	その他 206,552 一般財源 70,610	年間有収水量 2,728千m ³ (事業費内訳) 人件費 45,309,019円 旅費 62,400円 需用費 41,619,030円 役務費 4,597,950円 委託料 173,558,753円 使用料及び賃借料 184,223円 工事請負費 8,820,000円 原材料費 2,224,915円 負担金補助及び交付金 785,474円 計 277,161,764円	平成19年度から21年度までの債務負担行為による処理場運転管理委託を行い、運転管理費を節減できた。 また、茂木根汚水中継ポンプ場の汚水ポンプ更新及び本渡浄化センターの脱水機・今釜新町ポンプ場天井走行クレーン等の分解整備を行い円滑な運転が可能となった。
292 ↳ 293	3 下水道建設費	下水道建設事業	377,678	国庫支出金 154,453 地方債 139,500 その他 78,000 一般財源 5,725	【繰越】 (事業費内訳) 需用費 397,867円 委託料 88,906,000円 工事請負費 23,138,137円 計 112,442,004円 (事業箇所内訳) ○今釜新町(ポンプ場、本渡浄化センター) (施設の改築更新工事・全体計画再構築基本設計) 委託料(日本下水道事業団) 88,906,000円 ○本渡町、船之尾町外地区(管渠) 工事請負費 23,138,137円	生活環境の改善、浸水解消、公共用水域の水質改善を図った。また、施設の改築更新を行い、適正な運転が可能となった。 ○補助事業 308,906,000円 ○単独事業 68,771,538円 ○汚水管渠布設延長 L=1,702.1m ○雨水渠築造延長 L=289.8m ○整備面積 A=3.41ha 平成19年度は、面整備として事業認可区域内の本渡町・亀場町地区の管渠工事を行い普及促進に努めた。また、合流式下水道改善事業として、分合流区域解消のための管渠工事及び今釜新町ポンプ場雨水滞水池遮集管布設・遮集ポンプ機械設備工事等を

(1) 公共下水道費

(1) 公共下水道費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																
292 ↳ 293	3 下水道建設費	下水道建設事業（つづき）			<p>【現年分】 （事業費内訳）</p> <table border="0"> <tr><td>人件費</td><td>11,655,000円</td></tr> <tr><td>旅費</td><td>243,020円</td></tr> <tr><td>需用費</td><td>1,574,931円</td></tr> <tr><td>役務費</td><td>987,511円</td></tr> <tr><td>使用料及び賃借料</td><td>949,346円</td></tr> <tr><td>委託料</td><td>1,386,000円</td></tr> <tr><td>工事請負費</td><td>247,534,262円</td></tr> <tr><td>補償費及び賠償金</td><td>905,464円</td></tr> <tr><td>計</td><td>265,235,534円</td></tr> </table> <p>（事業箇所内訳）</p> <p>○本渡町、亀場町地区（管渠）</p> <table border="0"> <tr><td>委託料</td><td>1,386,000円</td></tr> <tr><td>工事請負費</td><td>100,262,649円</td></tr> </table> <p>○本渡町（小松原雨水幹線築造）</p> <table border="0"> <tr><td>工事請負費</td><td>23,088,522円</td></tr> </table> <p>○東浜町外地区 （分合流解消の管渠）</p> <table border="0"> <tr><td>工事請負費</td><td>51,573,941円</td></tr> <tr><td>補償費及び賠償金</td><td>905,464円</td></tr> </table> <p>（管渠工事に伴うガス管補償費）</p> <p>○今釜新町（ポンプ場、本渡浄化センター） （雨水滞水池遮集管布設・ポンプ機械設備工事）</p> <table border="0"> <tr><td>工事請負費</td><td>72,609,150円</td></tr> </table> <p>平成20年度へ繰越 （雨水滞水池遮集管布設・ポンプ機械設備工事）</p> <table border="0"> <tr><td>工事請負費</td><td>41,000,000円</td></tr> </table>	人件費	11,655,000円	旅費	243,020円	需用費	1,574,931円	役務費	987,511円	使用料及び賃借料	949,346円	委託料	1,386,000円	工事請負費	247,534,262円	補償費及び賠償金	905,464円	計	265,235,534円	委託料	1,386,000円	工事請負費	100,262,649円	工事請負費	23,088,522円	工事請負費	51,573,941円	補償費及び賠償金	905,464円	工事請負費	72,609,150円	工事請負費	41,000,000円	<p>行い放流水質の改善対策の早期推進を図った。</p> <p>浸水対策事業として、継続して小松原雨水幹線築造工事を行い浸水防止を図った。</p> <p>平成18年度繰越工事については、機能高度化下水道事業として、今釜新町ポンプ場自家発電棟建設・電気設備工事及び本渡浄化センター全体計画再構築基本設計業務を日本下水道事業団に委託し、より適正な運転管理を行えるようにし、今後の計画的な改築更新を図った。</p> <p>平成19年度末での進捗状況は、処理区域面積594ha、処理区域内人口25,579人で、全体計画に対し面積で82.3%、人口では98.4%となった。また、本渡処理区での全人口（旧本渡市）に対する普及率は64.7%となった。</p>
人件費	11,655,000円																																					
旅費	243,020円																																					
需用費	1,574,931円																																					
役務費	987,511円																																					
使用料及び賃借料	949,346円																																					
委託料	1,386,000円																																					
工事請負費	247,534,262円																																					
補償費及び賠償金	905,464円																																					
計	265,235,534円																																					
委託料	1,386,000円																																					
工事請負費	100,262,649円																																					
工事請負費	23,088,522円																																					
工事請負費	51,573,941円																																					
補償費及び賠償金	905,464円																																					
工事請負費	72,609,150円																																					
工事請負費	41,000,000円																																					

(2) 公債費

(1) 公債費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
293	1 元	公的資金補償金免除繰上償 金還	1,098,303	地方債 1,097,800 一般財源 503	<p>国の地方財政対策の一環として平成19年度～平成21年度の間、臨時特例措置として公的資金補償金免除繰上償還の制度により経営健全化計画を策定し、経営改革を行うことを要件として、国などから過去に高利(7～5%)で借り入れた地方債の繰上償還を行うこととなった。</p> <p>(繰上償還額)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧資金運用部資金 528,404,374円 【7.0%以上のもの8件】 ・公営企業金融公庫資金 569,898,386円 【5.0%以上のもの8件】 <p style="text-align: right;">合 計 1,098,302,760円</p> <p>(借換債)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銀行等資金 528,300,000円 【0.83%～0.97%で借換】 ・公営企業金融公庫資金 569,500,000円 【2.4%で借換】 <p style="text-align: right;">合 計 1,097,800,000円</p>	<p>財政融資資金及び公営企業金融公庫資金の高利の地方債を繰上償還し、低利の資金に借換を行うことで、将来支払う利子償還金の軽減を図った。</p> <p>将来軽減される利子償還額 213,211,387円 補償金免除額 103,363,502円</p> <hr/> <p style="text-align: right;">効果額 計 316,574,889円</p>

7. 特定環境保全公共下水道事業特別会計 (決算書295頁～306頁)

(単位：千円、%)

区 分	18年度	19年度	伸び率
歳入総額	289,565	467,459	61.4
歳出総額	279,651	467,459	67.2
差引額	9,914	0	皆減
翌年度へ繰越すべき財源	100	0	皆減
翌年度への繰越額	9,814	0	皆減

本会計では、歳入総額、歳出総額ともに467,459千円となり、形式収支は0千円となりました。

歳入の主なものは、使用料23,856千円(構成比5.1%)、事業に伴う市債が143,700千円(同30.7%)、国庫支出金125,000千円(同26.7%)、また一般会計からの繰入金は152,931千円(同32.7%)です。

歳出の内訳は、下水道総務費16,408千円(同3.5%)、下水道施設管理費45,827千円(同9.8%)、下水道建設費273,188千円(同58.4%)で特定環境保全公共下水道事業費全体では335,423千円(同71.8%)となります。さらに、公債費が132,036千円(同28.2%)となっています。

歳入歳出総額が前年度に比べ伸びているのは、高浜処理区の早期供用開始へ向け管渠布設工事を推進したため、歳出における下水道建設費、歳入における国庫支出金並びに市債が増額となったことが主な要因です。

[進捗状況]

処理区	区分	全体計画(A)	事業認可(B)	19年度末現在(C)	(C)/(A)	(C)/(B)
一町田 (河浦)	処理面積	53.5 ha	53.5 ha	(供用) 53.5 ha	100.0%	100.0%
	処理人口 (戸数)	1,360 人 (493 戸)	1,360 人 (493 戸)	1,096 人 (397 戸)	80.6%	80.6%
	事業費	3,636,000千円 (H8～H25)	3,636,000千円 (H8～H18)	3,378,801千円	92.9%	92.9%
下田 (天草)	処理面積	22 ha	22 ha	(供用) 22 ha	100.0%	100.0%
	処理人口 (戸数)	800 人 (318 戸)	800 人 (318 戸)	614 人 (244 戸)	76.8%	76.8%
	事業費	1,210,000千円 (H8～H27)	1,210,000千円 (H8～H24)	1,203,000千円	99.4%	99.4%
高浜 (天草)	処理面積	39 ha	39 ha	未供用	-	-
	処理人口 (戸数)	1,000 人 (283 戸)	1,000 人 (283 戸)	未供用	-	-
	事業費	2,715,400千円 (H16～H33)	2,715,400千円 (H16～H24)	477,284千円	17.6%	17.6%

(1) 特定環境保全公共下水道事業費

(1) 特定環境保全公共下水道事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
304 ↳ 305	2 下水道施設管理 費	下水道施設管理事業	53,319	その他 23,856 一般財源 29,463	年間有収水量 178千m ³ (事業費内訳) 人件費 7,492,469円 需用費 15,283,007円 役務費 1,890,329円 委託料 19,578,043円 使用料及び賃借料 208,080円 負担金補助及び交付金 8,867,122円 計 53,319,050円	本事業は、河浦町一町田地区及び天草町下田地区 で実施しており、汚水処理施設の適正な運転管理を 行い、公共用水域の水質保全を図ることができた。 また、一町田及び下田浄化センターに設置してい る曝機装置の分解整備を行い円滑な運転が可能と なった。
305 ↳ 306	3 下水道建設費	下水道建設事業	278,385	国庫支出金 125,000 地方債 143,700 一般財源 9,685	【繰越】 (事業費内訳) 需用費 125,354円 役務費 66,558円 使用料及び賃借料 190,600円 工事請負費 49,617,488円 計 50,000,000円 (事業箇所内訳) ○高浜地区(管渠) 工事請負費 49,617,488円 【現年分】 (事業費内訳) 人件費 5,197,000円 旅費 15,400円 需用費 1,161,761円 役務費 480,000円 使用料及び賃借料 170,100円 備品購入費 194,250円 委託料 29,615,146円 工事請負費 191,389,473円 公有財産購入費 161,975円 計 228,385,105円	生活環境の改善、公共用水域の水質改善の事業推 進を図った。(未供用) ○補助事業 250,000,000円 ○単独事業 28,385,105円 ○汚水管渠布設延長 L=4,938.4m ○整備面積 A=9.0ha 平成19年度は、面整備として高浜地区の事業認 可区域内の管渠工事及び管渠実施設計業務委託を行 い、平成22年度の一部供用開始へ向けた事業促進 を図った。 平成18年度繰越工事についても、平成20年度 に処理場建設着工の予定であり早期供用開始へ向け 事業促進を図った。 平成19年度末での高浜地区の整備状況(未供 用)は整備面積12.5haで全体計画に対し面積 で32.1%となった。他、供用開始済みの2処理 区(河浦町一町田、天草町下田)については、面整 備は完了しており処理区域内人口は一町田処理区 1,096人、下田処理区614人で、全体計画に 対し人口で、一町田80.6%、下田76.8%と なった。

(1) 特定環境保全公共下水道事業費

(1) 特定環境保全公共下水道事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
305 306	3 下水道建設費	下水道建設事業(つづき)			(事業箇所内訳) ○高浜地区(管渠) 工事請負費 191,389,473円 委託料(管渠実施設計) 24,955,146円 委託料(処理場実施設計) 4,660,000円 計 29,615,146円 公有財産購入費(管布設用地) 161,975円	

8. 農業集落排水事業特別会計 (決算書307頁～317頁)

(単位：千円、%)

区 分	18年度	19年度	伸び率
歳入総額	80,039	63,767	20.3
歳出総額	75,488	63,767	15.5
差引額	4,551	0	皆減
翌年度へ繰越すべき財源			
翌年度への繰越額	4,551	0	皆減

本会計では、歳入総額、歳出総額ともに63,767千円となり、形式収支は0千円となりました。

歳入の主なものは、使用料14,437千円(構成比22.6%)、雑入7,070千円(同11.1%)、また一般会計からの繰入金は31,173千円(同48.9%)です。

歳出の内訳は、農業集落排水総務費8,364千円(同13.1%)、農業集落排水施設管理費14,212千円(同22.3%)で農業集落排水事業費全体では22,576千円(同35.4%)となります。さらに、基金積立金が269千円(同0.4%)公債費が40,922千円(同64.2%)となっています。

[進捗状況]

処理区	区分	区域内人口(戸数)及び総事業費(A)	19年度末現在(B)	(B)/(A)
棚底 (倉岳)	処理人口 (戸数)	1,242人 (470戸)	(水洗化人口) 796人 (285戸)	64.1%
	事業費	1,671,880千円 (H6～H10)	1,671,880千円	100.0%
新町 (倉岳)	処理人口 (戸数)	122人 (45戸)	(水洗化人口) 53人 (25戸)	43.4%
	事業費	186,783千円 (H6～H18)	186,783千円	100.0%

(1) 農業集落排水事業費

(1) 農業集落排水事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
316 317	2 農業集落排水施設管理費	農業集落排水施設管理事業	22,576	その他 14,437 一般財源 8,139	年間有収水量 83千m ³ (事業費内訳) 人件費 8,364,035円 旅費 2,200円 需用費 4,336,181円 役務費 290,114円 委託料 8,770,751円 工事請負費 663,600円 負担金補助及び交付金 20,000円 公課費 128,700円 計 22,575,581円	本事業は、倉岳町棚底地区及び新町地区で実施しており、汚水処理施設の適正な運転管理を行い、公共用水域の水質保全を図ることができた。

9. 漁業集落排水事業特別会計 (決算書319頁～331頁)

(単位：千円、%)

区 分	18年度	19年度	伸び率
歳 入 総 額	611,252	989,037	61.8
歳 出 総 額	598,626	989,011	65.2
差 引 額	12,626	26	99.8
翌年度へ繰越すべき財源			
翌年度への繰越額	12,626	26	99.8

本会計では、歳入総額989,037千円から歳出総額989,011千円を差引いた26千円を翌年度へ繰り越すこととなりました。

歳入の主なものは、使用料24,646千円(構成比2.5%)、事業に伴う市債が379,500千円(同38.4%)、県支出金401,554千円(同40.6%)、また一般会計からの繰入金は137,212千円(同13.9%)です。

歳出の内訳は、漁業集落排水総務費53,539千円(同5.4%)、漁業集落排水施設管理費45,985千円(同4.6%)、漁業集落排水施設整備費733,039千円(同74.1%)で漁業集落排水事業費全体では832,563千円(同84.2%)となります。さらに、基金積立金が35,248千円(同3.6%)、公債費が121,200千円(同12.3%)となっています。

歳入歳出総額が前年に比べ伸びているのは、船津地区の汚水処理施設の整備費、佐伊津地区の雨水排水路、汚水管路、汚水処理施設の整備費増のため、歳出における漁業集落排水施設整備費、歳入における県支出金並びに市債が増となったことが主な要因です。

[進捗状況]

処理区	区分	区域内人口(戸数)及び総事業費(A)	19年度末現在(B)	(B)/(A)
本郷 (御所浦)	処理人口 (戸数)	753人 (314戸)	(水洗化人口) 629人 (259戸)	83.5%
	事業費	390,200千円 (S53～S59)	390,200千円	100.0%
宮田 (倉岳)	処理人口 (戸数)	1,240人 (465戸)	(水洗化人口) 590人 (191戸)	47.6%
	事業費	1,390,848千円 (H6～H17)	1,390,848千円	100.0%
通詞島 (五和)	処理人口 (戸数)	652人 (185戸)	(水洗化人口) 380人 (100戸)	58.3%
	事業費	1,043,880千円 (H8～H18)	1,043,880千円	100.0%
崎津 (河浦)	処理人口 (戸数)	661人 (287戸)	(水洗化人口) 331人 (134戸)	50.1%
	事業費	1,082,003千円 (H8～H17)	1,082,003千円	100.0%
船津 (河浦)	処理人口	(計画人口) 950人	未供用	-
	事業費	1,144,700千円 (H9～H21)	756,965千円	66.1%
佐伊津 (本渡)	処理人口	(計画人口) 3,300人	未供用	-
	事業費	4,783,600千円 (H16～H24)	1,304,470千円	27.3%

(1) 漁業集落排水事業費

(1) 漁業集落排水事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
328 ┆ 329	2 漁業集落排水施設管理費	漁業集落排水施設管理事業	55,342	その他 24,647 一般財源 30,695	年間有収水量 163千m ³ (事業費内訳) 人件費 9,357,877円 旅費 4,400円 需用費 9,943,293円 役務費 1,711,391円 委託料 27,691,958円 使用料及び賃借料 343,886円 工事請負費 2,126,995円 原材料費 43,890円 負担金補助及び交付金 4,080,959円 公課費 37,800円 計 55,342,449円	汚水処理施設を整備している御所浦町本郷地区、倉岳町宮田地区、五和町二江地区、河浦町崎津地区では、汚水処理施設の適正な運転管理を行い、公共用水域の水質保全を図ることができた。 また、佐伊津地区では雨水ポンプ場の運転により、梅雨時期の集中豪雨の際に浸水防除ができた。
329 ┆ 331	3 漁業集落排水施設整備費	船津地区漁業集落排水事業	200,633	県支出金 97,000 地方債 103,600 一般財源 33	【繰越】 補助事業 補助率5/10 (事業費の内訳) 工事請負費(補助) 62,149,950円 事務費 50,050円 計 62,200,000円 【現年】 補助事業 補助率5/10 (事業費の内訳) 工事請負費(補助) 124,150,000円 (単独) 7,139,476円 ・汚水管路整備工事(補助1件) マンホールポンプ 6箇所 汚水圧そう管 L=114.6m ・処理場施設場内整備工事(単独1件) 門扉・柵設置 1式 ・汚水処理施設整備工事(補助4件) 土木建築・機械設備・電気設備 1式 工事負担金(補助) 65,858円 事務費(補助) 6,684,142円	平成20年7月1日に一部供用開始を行うため、H18、19年度の2ヶ年債務により汚水処理施設の整備に着手すると共に汚水管路の整備も実施した。 事業期間 平成9年度～平成22年度 事業費 1,144,700千円 うち、補助分1,087,000千円 汚水管路整備 L=6,659m うち、単独分L=856m 汚水処理施設 1箇所 太陽光発電設備 40kw 1式 計画処理人口 868人 計画処理対象人口 950人 事業進捗率 66.1%

(1) 漁業集落排水事業費

(1) 漁業集落排水事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
329 ↳ 331	3 漁業集落排水施 設整備費	船津地区漁業集落排水事業 (つづき)			事務費(単独) 393,840円 計 138,433,316円 平成20年度へ繰越 71,100,000円	
		佐伊津地区漁業集落排水事業	545,570	県支出金 269,500 地方債 275,900 その他 170	【繰越】 補助事業 補助率5/10 (事業費の内訳) 工事請負費(補助) 150,746,459円 ・雨水排水路、汚水管路、処理施設用地造成 整備工事(6件) 雨水整備 L=702.3m 汚水管路 L=50.7m 用地造成 A=12,000㎡ 委託料(補助) 11,116,842円 公有財産購入費(補助) 28,374,224円 補償費(補助) 3,502,475円 事務費(補助) 360,000円 計 194,100,000円 【現年】 補助事業 補助率5/10 (事業費の内訳) 工事請負費(補助) 313,074,400円 (単独) 2,857,265円 ・雨水排水路、汚水管路、汚水処理施設建設 整備工事(補助13件) 雨水整備 L=1,623.0m 汚水管路 L=4,449.9m 処理施設土木建築 1式 ・汚水管路工事(単独2件) 汚水管路 L=74.1m 委託料(補助) 14,586,066円 公有財産購入費(補助) 39,850円 (単独) 390,850円 補償費(補助) 5,580,441円	H17・18年度の2ヶ年債務により建設した雨水ポンプ場が平成18年7月に完成し、その上流の雨水排水路L=926mについても平成19年11月末に整備を終え、浸水地帯の浸水防止を図った。また、汚水処理施設については、懸案であった建設位置の問題も解決し、当用地造成も3月末には完了することができ、処理施設本体の土木建築工事に着手することができた。汚水管路についても、平成21年4月の一部供用開始に向け、整備を実施した。 事業期間 平成16年度～平成24年度 事業費 4,783,600千円 うち、補助分4,657,600千円 雨水排水路整備 L=9,740m 雨水ポンプ場 1箇所 汚水管路整備 L=28,100m うち、単独分L=3,000m 汚水処理施設 1箇所 計画処理人口 3,300人 計画処理対処人口 4,830人 事業進捗率 27.3%

(1) 漁業集落排水事業費

(1) 漁業集落排水事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
329 }	3	佐伊津地区漁業集落排水事			補償費(単独) 3,118,569円	
331	漁業集落排水施 設整備費	業(つづき)			事務費(補助) 11,619,243円	
					(単独) 202,988円	
					計 351,469,672円	
					平成20年度へ繰越 236,100,000円	

10 . 浄化槽市町村整備推進事業特別会計 (決算書333頁～344頁)

(単位：千円、%)

区 分	18年度	19年度	伸び率
歳 入 総 額	177,121	145,913	17.6
歳 出 総 額	176,442	145,893	17.3
差 引 額	679	20	97.1
翌年度へ繰越すべき財源			
翌年度への繰越額	679	20	97.1

本会計では、歳入総額145,913千円から歳出総額145,893千円を差引いた20千円を翌年度へ繰り越すこととなりました。

歳入の主なものは、使用料40,311千円(構成比27.6%)、事業に伴う市債が21,000千円(同14.4%)、国県支出金17,021千円(同11.7%)、また一般会計からの繰入金は46,944千円(同32.2%)です。

歳出の内訳は、浄化槽市町村整備推進総務費16,178千円(同11.1%)、浄化槽市町村整備推進管理費60,468千円(同41.4%)、浄化槽市町村整備推進事業費41,518千円(同28.5%)で浄化槽市町村整備推進事業費全体では118,164千円(同81.0%)となります。さらに、基金積立費が4,491千円(同3.1%)、公債費が23,238千円(同15.9%)となっています。

[進 捗 状 況]

区分	全体計画(A)	19年度末現在(B)	(B)/(A)
倉岳	H14～ 165基	122基	73.9%
新和	H11～ 772基	574基	74.4%
天草	H14～ 900基	265基	29.4%
計	1,837基	961基	52.3%

(1) 浄化槽市町村整備推進事業費

(1) 浄化槽市町村整備推進事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
343	1	浄化槽市町村整備推進事業 分担金納期前納付報奨金	234	一般財源 234	・分担金を納期前納付した者に、納期数に応じた割合で報奨金を支給。(天草町処理区域のみ) 報償費 234,400円	平成19年度調定に対して納期前納付率91%であった。 全体調定11件 納期前納付10件
343	2	浄化槽市町村整備推進管理 事業	60,468	その他 40,311 一般財源 20,157	年間有収水量 226千m ³ (事業費内訳) 旅費 2,200円 需用費 2,733,893円 役務費 4,337,700円 委託料 53,394,472円 60,468,265円	本事業は、倉岳町、新和町、天草町で実施しており、浄化槽の適正な維持管理を行い、公共用水域の水質保全を図ることができた。
344	3	倉岳町浄化槽市町村整備推進事業	8,101	国庫支出金 2,637 地方債 3,890 その他 1,285 一般財源 289	【補助事業】 補助率 1/3 ・浄化槽設置 5人槽 5基 7人槽 4基 (事業費の内訳) 工事請負費(補助) 7,650,160円 (単独) 216,078円 設置工事(7件) 9基 事務費(補助) 234,524円 8,100,762円	トイレ水洗化等により生活環境改善、公衆衛生の向上及び、公共用水域の水質保全を図った。 事業期間 平成14年度～平成25年度 事業費 183,266千円 うち単独21,000千円 ・浄化槽計画設置基数 165基 浄化槽設置済基数 122基(設置率73.9%)
		新和町浄化槽市町村整備推進事業	19,998	国庫支出金 6,282 地方債 10,720 その他 1,592 一般財源 1,404	【補助事業】 補助率 1/3 ・浄化槽設置 5人槽 14基 7人槽 5基 14人槽 1基 (事業費の内訳) 工事請負費(補助) 18,216,934円 (単独) 1,310,775円 設置工事(16件) 20基 事務費(補助) 事務委託料1件含む 470,595円 19,998,304円	トイレ水洗化等により生活環境改善、公衆衛生の向上及び、公共用水域の水質保全を図った。 事業期間 平成11年度～平成25年度 事業費 711,544千円 うち単独51,597千円 ・浄化槽計画設置基数 772基 浄化槽設置済基数 574基(設置率74.4%)
		天草町浄化槽市町村整備推進事業	13,418	国庫支出金 3,696 地方債 6,390	【補助事業】 補助率 1/3 ・浄化槽設置 5人槽 9基 7人槽 2基 12人槽 1基	トイレ水洗化等により生活環境改善、公衆衛生の向上及び、公共用水域の水質保全を図った。

(1) 浄化槽市町村整備推進事業費

(1) 浄化槽市町村整備推進事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
344	3 浄化槽市町村 整備推進事業費	天草町浄化槽市町村整備推 進事業(つづき)		その他 1,115 一般財源 2,217	(事業費の内訳) 工事請負費(補助) 10,701,522円 (単独) 2,144,090円 設置工事(9件) 12基 事務費(補助) 572,881円 13,418,493円	事業期間 平成14年度～平成25年度 事業費 732,541千円 内単独120,946千円 うち単独120,946千円 ・浄化槽計画設置基数 900基 浄化槽設置済基数 265基(設置率29.4%)

1 1 . 簡易水道事業特別会計 (決算書 3 4 5 頁 ~ 3 5 7 頁)

(単位：千円・%)

区 分	18年度	19年度	伸 率
歳 入 総 額	1,542,098	1,896,350	23.0
歳 出 総 額	1,519,197	1,885,644	24.1
差 引 額	22,901	10,706	53.3
翌年度へ繰り越すべき財源	200	0	皆減
翌年度への繰越額	22,701	10,706	52.8

本会計では、歳入総額1,896,350千円から歳出総額1,885,644千円を差し引いた10,706千円を翌年度へ繰越すこととなりました。

歳入の主なものは、使用料517,975千円(構成比27.3%)、国庫支出金129,330千円(構成比6.8%)、事業に伴う市債が501,600千円(構成比26.5%)、また一般会計からの繰入金711,068千円(構成比37.5%)です。

歳出の内訳は、一般管理費が203,977千円(構成比10.8%)、維持管理費242,742千円(構成比12.9%)、建設改良費397,097千円(構成比21.1%)、公債費1,041,828千円(構成比55.2%)となっています。

[給水状況]

簡易水道名	18年度			19年度		
	給水区域内人口	給水人口	給水区域面積	給水区域内人口	給水人口	給水区域面積
牛深簡易水道	3,471	3,371	7.2km ²	3,346	3,264	7.2km ²
有明東簡易水道	2,102	2,102	7.1km ²	2,073	2,073	7.1km ²
有明西簡易水道	3,714	3,712	6.1km ²	3,668	3,664	6.1km ²
倉岳簡易水道	3,634	3,249	15.5km ²	3,551	3,169	15.5km ²
栖本簡易水道	2,803	2,722	7.0km ²	2,795	2,698	7.0km ²
新和簡易水道	3,874	3,874	13.5km ²	3,757	3,757	13.5km ²
五和簡易水道	632	614	1.5km ²	629	593	1.5km ²
御領山浦簡易水道	-	-	-	122	56	0.9km ²
天草簡易水道	4,406	3,885	6.6km ²	3,909	3,781	6.6km ²
一町田簡易水道	2,575	2,419	5.3km ²	3,086	2,362	5.3km ²
宮野河内簡易水道	987	941	1.1km ²	968	925	1.1km ²
富津簡易水道	1,060	1,029	1.5km ²	1,072	1,042	1.5km ²
合 計	29,258	27,918	72.4km ²	28,976	27,384	73.3km ²

(1) 簡易水道事業費

(1) 簡易水道総務費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
354 355	1 一般管理費	一般管理費	203,977	一般財源 203,977	(事業費内訳) 給料 55,268,100円 職員手当等 33,072,894円 共済費 15,543,424円 旅費 201,978円 需用費 2,558,114円 役務費 9,530,615円 委託料 31,087,101円 使用料及び賃借料 437,731円 負担金補助及び交付金 39,348,849円 補償補填及び賠償金 1,100,000円 公課費 15,827,900円 203,976,706円	一般管理について 事務の効率化を図るため、簡易水道使用料等の徴収事務について、水道課に業務委託している、業務委託内容を精査した結果、前年度に比べ委託料を削減できた。また、簡易水道施設維持管理業務を外部委託し、遠方監視装置の整備などにより、職員を1名減し人件費を削減した。 上天草・宇城水道企業団からの受水及び新和町大宮地川からの取水確保により、倉岳町・新和町において、昨年同様安定した水道水の供給ができた。
356	2 維持管理費	維持管理費	242,742	一般財源 242,742	(事業費内訳) 賃金 1,119,000円 需用費 85,094,041円 役務費 3,172,260円 委託料 45,532,545円 使用料及び賃借料 2,029,191円 工事請負費 96,321,739円 原材料費 3,919,248円 備品購入費 5,321,451円 負担金補助及び交付金 233,000円 242,742,475円 (工事請負費の内訳) 河浦町一町田簡易水道第3 水源取水ポンプ増設工事 4,013,872円 河浦町四名田地区配水管拡張工事 8,638,734円 河浦町女岳地区水道管布設工事 4,919,572円	維持管理について 簡易水道施設の維持管理業務を外部委託したことと、遠方監視装置の整備により、職員1名減につながった。 昨年度までは、有明町の簡易水道施設の管理業務委託を行っていたが、今年度から栖本町・倉岳町を含めた上島3町の簡易水道施設について、年間を通じて委託した。 また、下島地区(五和町・天草町・河浦町)については、施設管理の内容と範囲を広げ、土日・祝祭日について、それぞれ維持管理業務を外部委託した。更に、上島地区の遠方監視装置を整備し、事務の効率化を図った。なお、牛深・新和簡易水道事業については、昨年同様、浄水場に管理人を配置して、施設管理を行った。また、配水管等の布設替え工事等の実施により、安全で安心な水道水を供給することができた。

(1) 簡易水道事業費

(1) 簡易水道総務費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
356	2 維持管理費	維持管理費(つづき)			<p>河浦町宮野河内地区配水管 布設工事 1,338,742円</p> <p>魚貫崎浄水場ろ過池補砂及 び天地替工事 1,081,500円</p> <p>天草町福連木浦道浄水場 フェンス改修工事 945,000円</p> <p>大多尾漁港関連道路整備事 業に伴う配水管布設工事 1,120,973円</p> <p>新和町浦線配水管移設工事 1,646,400円</p> <p>新和町小宮地地区消火栓設 置工事 501,900円</p> <p>新和町浪床橋架替工事に伴 う配水管移設工事 4,449,638円</p> <p>有明町赤崎地区配水管布設 替その1工事 15,747,131円</p> <p>有明町赤崎地区配水管布設 替その2工事 19,417,960円</p> <p>有明町赤崎地区配水管布設 替その3工事 14,920,621円</p> <p>倉岳町才津原地区配水管布 設替工事 6,878,088円</p> <p>宮田橋架替工事に伴う配水 管本設工事 1,207,500円</p> <p>栖本町村・上地区配水管布 設替工事 1,459,722円</p> <p>国道389号道路改良工事に 伴う仮設管布設工事 1,239,000円</p> <p>国道389号道路改良工事に 伴う配水管本設工事 2,122,886円</p> <p>簡易水道遠方監視装置工事 4,672,500円</p>	

(1) 簡易水道事業費

(2) 簡易水道建設改良費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
357	2 建設改良費	建設改良費	397,097	国庫支出金 129,330 地方債 264,200 その他 3,567	(事業費内訳) 旅費 19,800円 需用費 274,871円 委託料 2,520,000円 使用料及び賃借料 269,897円 工事請負費 374,812,515円 負担金補助及び交付金 19,200,000円 計 397,097,083円 【事業の内容】 有明町大浦地区簡易水道 改良その1工事 (工事請負費) 108,150,000円 (工事内容) ・浄水施設 前処理設備工1式 膜ろ過設備工1式 場内配管工1式 有明町大浦地区簡易水道 改良その2工事 (工事請負費) 125,475,000円 (工事内容) ・電気施設 浄水施設電気計装設備1式 中央監視設備工1式 須子配水池電気計装設備工1式 浄水場電気計装設備1式 接合槽電気計装設備工1式	有明町大浦地区簡易水道改良事業 平成17年度から平成19年度までの3ヵ年計画の事業として整備してきた事業が計画どおり完了できたため、大浦地区及び須子地区に、より安全で安心できる水道水が供給できるようになった。

(1) 簡易水道事業費

(2) 簡易水道建設改良費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
357	2 建設改良費	建設改良費(つづき)			<p>有明町大浦地区簡易水道 改良その3 工事</p> <p>(工事請負費) 66,830,904円</p> <p>(工事内容)</p> <p>・導水施設 導水管布設 100・75 L=160m</p> <p>・送水施設 送水管布設 75 L=706m</p> <p>・配水施設 須子配水池築造工等 1式</p> <p>有明町大浦地区簡易水道改良その4 工事</p> <p>(工事請負費) 18,182,408円</p> <p>(工事内容)</p> <p>・配水施設 配水管布設 150 L=423m</p> <p>【平成18年度からの繰越分】</p> <p>有明町大浦浄水場管理棟築造工事</p> <p>(工事請負費) 50,715,000円</p> <p>(工事内容)</p> <p>浄水場管理棟築造 1式</p> <p>有明町大浦地区送水ポン プ施設工事</p> <p>(工事請負費) 5,459,203円</p> <p>(工事内容)</p> <p>・送水施設 送水ポンプ施設 1式</p> <p>路木ダム建設負担金 320,000,000円×6% 19,200,000円</p>	<p>一町田地区簡易水道再編推進事業の取水源として利用する県営路木ダム建設事業に伴う負担金として、6%を負担する。</p>

(2) 公債費

(1) 公債費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果						
357	1 元	公的資金補償金免除繰上償 金還	237,645	地方債 237,400 一般財源 245	<p>公的資金補償金免除繰上償還を行った。</p> <p>従来、政府資金等の繰上償還を行う場合は、繰上償還に必要な補償金の支払いが必要であったが、国は今年度から、公債費負担の軽減策として、財政健全化計画又は公営企業健全化計画を策定し、行政改革・経営改革を行う地方公共団体を対象に、平成19年度から3年間で5兆円規模の公的資金の補償金免除繰上償還等を行うこととなった。</p> <p>繰上償還の対象となる地方債は、旧資金運用部資金、旧簡易生命保険資金及び公営企業金融公庫資金で、平成4年5月までに貸し付けられた、金利5%以上の普通会計債及び公営企業債となっており、簡易水道事業特別会計では、下記のとおり繰上償還を行った。</p> <p>(事業内訳)</p> <p>利率が7%以上のものについて、繰上償還を行った。</p> <p>(1) 件数 14件 (2) 償還額 237,644,697円</p>	<p>財政融資資金等の高金利の地方債を繰上償還し、低利の資金に借換ることで、将来負担すべき利子償還金の軽減を図った。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>・軽減された利子</td> <td style="text-align: right;">51,993,286円</td> </tr> <tr> <td>・補償金免除額</td> <td style="text-align: right;">52,026,411円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">104,019,697円</td> </tr> </table>	・軽減された利子	51,993,286円	・補償金免除額	52,026,411円		104,019,697円
・軽減された利子	51,993,286円											
・補償金免除額	52,026,411円											
	104,019,697円											

天草市簡易水道事業の概要

平成20年3月31日現在

施設名称	年度	行政区域内人口	計画給水人口	給水人口	給水件数	年間総配水量	年間総有収水量	有収率	一日最大給水量	一日平均給水量	一人一日平均給水量	年間水道料金	備考
牛深簡易水道	17	3,562	4,850	3,512	1,372	281,739	215,872	76.6	1,248	591	168	56,989,310	
	18	3,475	4,850	3,371	1,372	302,214	221,090	73.2	1,539	606	180	58,565,760	
	19	3,348	4,850	3,264	1,373	300,134	223,398	74.4	1,332	612	188	59,042,220	
有明東簡易水道	17	2,144	2,320	2,144	852	256,341	179,438	70.0	779	492	229	96,728,540	
	18	2,102	2,320	2,102	866	276,633	181,142	65.5	776	496	236	99,921,750	
	19	2,073	2,320	2,073	859	249,971	181,043	72.4	907	496	239	99,754,120	
有明西簡易水道	17	4,111	4,390	3,780	1,508	470,069	329,048	70.0	1,437	902	238		
	18	4,042	4,390	3,712	1,502	467,250	331,077	70.9	1,507	907	244		
	19	3,990	4,390	3,664	1,498	450,520	330,054	73.3	1,538	904	247		
倉岳簡易水道	17	3,703	3,700	3,181	1,353	393,046	234,443	59.6	1,269	642	202	51,726,020	
	18	3,634	3,700	3,223	1,349	422,951	231,989	54.9	1,354	636	197	54,209,290	
	19	3,578	3,700	3,169	1,344	334,709	234,232	70.0	1,231	642	203	55,464,914	
栖本簡易水道	17	2,857	3,200	2,755	976	259,447	239,050	92.1	972	655	238	54,902,440	
	18	2,823	3,200	2,722	974	265,651	243,995	91.8	933	668	246	55,832,630	
	19	2,795	3,200	2,698	970	281,462	250,656	89.1	894	687	255	57,706,770	
新和簡易水道	17	3,969	4,610	3,971	1,580	482,743	310,130	64.2	1,560	850	214	71,432,885	
	18	3,874	4,610	3,874	1,563	454,779	297,794	65.5	1,520	816	211	69,794,685	
	19	3,757	4,610	3,757	1,552	443,998	295,993	66.7	1,516	811	216	69,130,650	
五和簡易水道	17	646	806	624	277	36,471	31,287	85.8	253	86	137	7,800,180	
	18	632	806	614	224	35,122	29,952	85.3	265	82	134	7,638,900	
	19	629	806	593	223	42,402	31,038	73.2	224	85	143	8,163,980	
御領山浦簡易水道	17	121	123	0	0	0	0	0.0	0	0	0		
	18	121	123	0	0	0	0	0.0	0	0	0		
	19	122	123	56	21	1,138	1,111	97.6	9	3	54		
天草簡易水道	17	4,546	3,980	3,988	1,884	464,951	399,339	85.9	2,105	1,094	274	99,495,920	
	18	4,406	3,980	3,885	1,859	463,322	398,883	86.1	2,098	1,093	281	116,354,320	
	19	4,283	3,980	3,781	1,848	508,962	389,867	76.6	2,054	1,068	282	111,280,370	
一町田簡易水道	17	3,711	3,720	2,391	1,075	396,635	269,757	68.0	1,456	739	309	69,143,510	
	18	3,661	3,720	2,419	1,066	382,682	267,823	70.0	1,497	734	303	72,798,780	
	19	3,562	3,720	2,362	1,062	408,217	257,473	63.1	1,557	705	299	71,424,945	
宮野河内簡易水道	17	1,276	1,174	930	386	91,094	72,502	79.6	372	199	214		
	18	1,235	1,174	941	384	118,998	73,810	62.0	466	202	215		
	19	1,209	1,174	925	381	117,563	73,442	62.5	468	201	218		
富津簡易水道	17	1,160	1,260	1,018	619	131,740	92,844	70.5	434	254	250		
	18	1,134	1,260	1,029	614	119,387	93,134	78.0	467	255	248		
	19	1,112	1,260	1,042	630	123,415	92,203	74.7	446	253	242		
合計	17	31,806	34,133	28,294	11,882	3,264,276	2,373,710	72.7	11,885	6,503	230	508,218,805	
	18	31,139	34,133	27,892	11,773	3,308,989	2,370,689	71.6	12,422	6,495	233	535,116,115	
	19	30,458	34,133	27,384	11,761	3,262,491	2,360,510	72.4	12,176	6,467	236	531,967,969	

12. 国民健康保険診療施設特別会計 (決算書359頁～371頁)

(単位：千円・%)

区 分	18年度	19年度	伸 率
歳 入 総 額	251,887	221,206	12.2
歳 出 総 額	200,042	197,167	1.4
歳入歳出差引額	51,845	24,039	53.6
翌年度繰越額	51,845	24,039	53.6

本年度の収支額は24,039千円でしたが、これから基金積立金を控除した前年度繰越金40,837千円を差し引くと、単年度収支は16,798千円の赤字となりました。これは歳出は前年並みであったものの、外来患者の減少による診療収入の大幅な減少によるものが原因となっています。

歳入の内訳は、診療収入162,643千円(構成比73.5%)、繰越金51,845千円(同23.4%)がほとんどを占めています。また、一般会計繰入金はありません。歳出の内訳は、総務管理費が137,615千円(同69.8%)、医業費42,483千円(同21.5%)、公債費6,061千円となっています。11,008千円の基金積立を行いました。

(1) 総務管理費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施 策 名	決算額	財源内訳	施 策 の 概 要	施 策 の 成 果
368 } 370	1 一 般 管 理 費	専門診療対策事業	9,362	一般財源 9,362	定期的に専門医(代謝内科・眼科・整形外科)による診療。診療日開設 年間114日 (事業費内訳) 医療業務委託料 8,792,000円 使用料及び賃借料 570,000円 計 9,362,000円	高齢化が進む中、お年寄りが島外の専門医の診療を受けるためには、船の乗り降りの際の危険性など様々な問題を抱えている。 その解決策として、週に3日専門医を診療所に呼び、地元(御所浦島)で受診できる体制をつくり、地域医療の確保を行うことができた。

(2) 医業費

(1) 医業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	項	施 策 名	決算額	財源内訳	施 策 の 概 要	施 策 の 成 果
370	1 医 業 費	医業費	42,483	一般財源 42,483	19年度外来患者数(本院) 30,752人 " (北診) 4,081人 (事業費内訳) 医業費 需用費 816,438円 委託料 374,220円 備品購入費 6,881,490円 医療用消耗機材費 876,655円 医薬品衛生材料費 29,000,859円 検査費 4,533,768円 計 42,483,430円	御所浦診療所の外来患者数は一日平均117人、御所浦北診療所の患者数は一日平均28人であり、慢性疾患の定期外来通院が多い。高齢者には身近に利用できる、御所浦町唯一の初期医療機関として欠かせないものとなっている。また、専門医への紹介・急患の二次救急病院への転送も臨機に行うことができた。備品購入費では、機械器具類購入として上部消化管スコープの更新を行ったが、最新の鼻腔用を導入して患者の負担軽減を図った。

13. 歯科診療所特別会計 (決算書373頁～382頁)

(単位：千円・%)

区 分	18年度	19年度	伸 率
歳 入 総 額	52,449	47,428	9.6
歳 出 総 額	45,980	44,101	4.1
歳入歳出差引額	6,469	3,327	48.6
翌年度繰越額	6,469	3,327	48.6

本年度の収支額は3,327千円でしたが、これから前年度繰越金6,469千円を差し引くと、単年度収支は3,142千円の赤字となりました。この原因は、歳出は前年より減少したものの、外来患者の減少による診療収入の減少によるものとなっています。歳入の主なものは、歯科診療収入30,240千円(構成比63.8%)、繰越金6,469千円(同13.6%)、一般会計繰入金8,645(同18.2%)千円です。歳出の内訳は、総務管理費が34,311千円(同77.8%)、歯科医業費9,791千円(同22.2%)となっています。

(2) 歯科医業費

(1) 歯科医業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	項	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
382	1 歯 科 医 業 費	歯科医業費	9,791	その他 1,922 一般財源 7,869	19年度年間外来患者数 4,998人 (事業費内訳) 需用費 189,000円 歯科医薬品衛生材料費 9,601,736円 計 9,790,736円	外来患者数は一日平均20人を数えており、施設の維持管理を行いながら、御所浦島内唯一の歯科医療機関としての運営を行い、市民に欠かせない医療の提供をすることができた。

14. 国民宿舎特別会計 (決算書382頁～394頁)

(単位：千円・%)

区 分	18年度	19年度	伸 率
歳 入 総 額	103,438	81,602	21.1
歳 出 総 額	96,933	66,740	31.1
歳入歳出差引額	6,505	14,862	228.5
翌年度繰越額	6,505	14,862	228.5

本年度の収支額は14,862千円で、これから前年度繰越金6,505千円、基金繰入金5,009千円を差し引くと、単年度収支は3,348千円の黒字となる。

黒字の要因については、売却譲渡決定により11月末日で営業を終了したため、施設修繕費や施設管理委託料が減額されると共に、消費税納付が翌年度納付となり減額となった。加えて事業収入が前年度同期実績を上回ったため。

(1) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
391) 392	1 一般管理費	事務費	35,570	その他 121 一般財源 35,449	売却譲渡により11月末日で営業を終了したため、支出が大幅な減額となった。 (事業費内訳) 職員給等(人件費) 34,152,854円 旅費 136,192円 需用費 1,191,774円 役務費 51,680円 公課費 37,800円 計 35,570,300円	11月末日の営業を終了に向けて、リピーターへの誘客売り込みを行い、集客を図った。
392) 393	2 施設管理費	施設整備事業	1,187	一般財源 1,187	施設老朽化に伴う玄関等の修繕工事を行った。 (事業費内訳) 修繕料 1,186,645円	利用客の安心、安全を図ることができた。

15. 埠頭事業特別会計 (決算書395頁～403頁)

(単位：千円・%)

区分	18年度	19年度	伸率
歳入総額	14,358	14,513	1.1
歳出総額	14,263	14,449	1.3
歳入歳出差引額	95	64	32.6
翌年度繰越額	95	64	32.6

本会計では、歳入総額 14,513千円から、歳出総額は 14,449千円を差し引いた 64千円を翌年度へ繰越すこととなりました。

歳入の主なものは、使用料7,698千円(構成比53.0%)、一般会計からの繰入金6,650千円(同45.8%)です。

歳出の内訳は、一般管理費558千円(同3.9%)、公債費13,891千円(同96.1%)となりました。

(1) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
403	1 一般管理費	港湾管理事業	558	その他 558	【棚底港・大宮地港の外灯等管理事業】 (事業費内訳) 電気料 167,499円 修繕料 100,569円 待合所管理業務委託料 42,000円 駐車場の整備 248,430円 計 558,498円	埠頭用地である棚底港、大宮地港の外灯及び待合所の管理を行った。また、棚底港の非舗装駐車場の整備を行った。

16. 斎場事業特別会計 (決算書405頁～414頁)

(単位：千円・%)

区分	18年度	19年度	伸率
歳入総額	120,628	115,327	95.6
歳出総額	114,612	110,850	96.7
歳入歳出差引額	6,016	4,477	74.4
翌年度繰越額	6,016	4,477	74.4

本会計では、歳入総額115,327千円から、歳出総額は110,850千円を差し引いた4,477千円を翌年度へ繰越すこととなりました。

歳入の主なものは、使用料21,143千円(構成比18.3%)、と一般会計からの繰入金87,974千円(同76.3%)です。

歳出の内訳は、斎場事業費が46,845千円(同42.3%)、公債費64,005千円(同57.7%)となりました。

(1) 斎場事業費

(1) 斎場事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
413	1 斎場総務費	斎場総務費	3,690	一般財源 3,690	(斎場総務費内訳) 臨時職員賃金 2,759,604円 " 共済費 388,707円 需用費 194,198円 役務費等 347,638円 計 3,690,147円	天草本渡斎場、牛深火葬場、御所浦火葬場及び天草火葬場の4施設の管理運営を実施した。 天草本渡斎場では、委託職員1名、臨時職員2名、シルバー人材センター委託職員1名を雇用し、牛深火葬場、御所浦火葬場、天草火葬場においては、委託職員1名にて、業務を実施、遺族の受付案内、火葬業務及び清掃等の接遇サービスの向上を図った。
413 414	2 斎場施設管理費	斎場施設管理費	43,155	その他 21,336 一般財源 21,819	(斎場施設管理費内訳) 天草本渡斎場 需用費 16,662,390円 役務費 44,331円 委託料 10,727,979円 使用料及び賃借料 192,402円 計 27,627,102円	平成19年度利用件数 1,328件 (施設別内訳) 天草本渡斎場 830件(市内 802件、市外28件) 牛深火葬場 328件(市内 325件、市外3件) 御所浦火葬場 75件(市内 74件、市外1件) 天草火葬場 95件(市内 92件、市外3件)

(1) 斎場事業費

(1) 斎場事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
413 }	2 斎場施設管理費	斎場施設管理費(つづき)			牛深火葬場	年度別計画(修繕)と保守点検報告に基づいて、 修繕・補修を実施することにより、機能を維持し火 葬業務を行うことができた。
414					需用費 2,580,094円 役務費 11,829円 委託料 3,171,951円 備品購入費 78,750円 計 5,842,624円	
					御所浦火葬場	・牛深火葬場 炉内セラミックス張り替え、台車キャスター 煙道入口耐火レンガ積み替え修繕 945,000円
					需用費 1,022,603円 役務費 26,757円 委託料 2,119,245円 使用料及び賃借料 119,910円 計 3,288,515円	・天草火葬場 誘引送風機インバーター取替修繕 274,050円 施設天井張り替え等修繕 506,235円 炉内セラミックス張り替え、 煙道入口耐火レンガ積み替え修繕 556,500円
					天草火葬場	
					需用費 2,706,290円 役務費 40,760円 委託料 3,631,283円 使用料及び賃借料 14,910円 負担金補助及び交付金 3,600円 計 6,396,843円	

17. 一町田財産区特別会計 (決算書415頁～423頁)

(1) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
423	1 財産区管理費	財産区管理事業	42	一般財源 42	【財産区管理会の開催】 ・管理委員数 7人 ・開催回数 1回 (事業費内訳) 報酬 42,000円	一町田財産区管理委員報酬のみの執行であった。

18. 新合財産区特別会計 (決算書425頁～433頁)

(1) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
433	1 財産区管理費	財産区管理事業	24	一般財源 24	【財産区管理会の開催】 ・管理委員数 4人 ・開催回数 1回 (事業費内訳) 報酬 24,000円	新合財産区管理委員報酬のみの執行であった。

19. 富津財産区特別会計 (決算書435頁～443頁)

(1) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
443	1 財産区管理費	財産区管理事業	12	一般財源 12	【財産区管理会の開催】 ・管理委員数 3人 ・開催回数 1回(1人欠席) (事業費内訳) 報酬 12,000円	富津財産区管理委員報酬のみの執行であった。